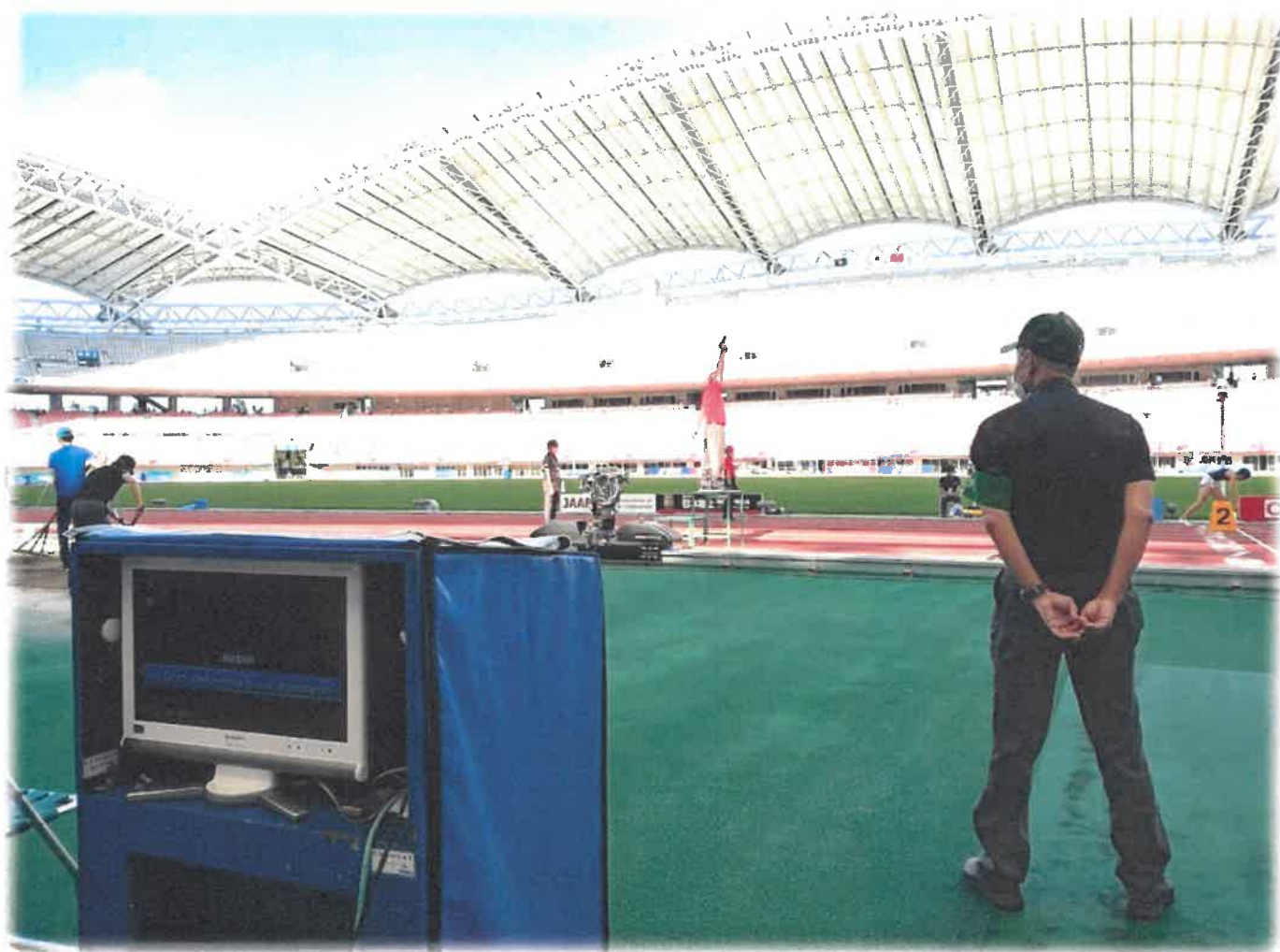


2020 年度

全国競技運営責任者会議



期日：2021 年 2 月 13 日（土）

場所：オンライン会議

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

2020 年度全国競技運営責任者会議資料 もくじ

NO.	項目	ページ
1	会議日程	1
2	競技会実施報告	
	第 104 回日本陸上競技選手権大会（新潟）	2
	全国高等学校陸上競技大会 2020 兼 U20 全国陸上競技大会（広島）	4
	全国中学生陸上競技大会 2020	
	第 105 回日本陸上競技選手権大会・リレー競技（神奈川）	5
4	施設用器具委員会報告	7
	2021 施設用器具委員会関係の規則の改正と対応	
	第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様	
	公認陸上競技場に関する細則の改正	
	その他の注意事項	
5	JTO 活動報告	19
6	2021 年度競技規則修改正案	
	構成表	22
	対比表	
	修改正案	
	《分科会 A》	
①	公認競技会申請	41
	記録の公認申請 状況	48
	「JAAF が定めている記録用紙」改訂について	57
②	広告規程の改訂	63
	2021 広告規程	70
	《分科会 B》	
①	S 級審判員昇格審査報告	102
	昇格候補者	103
②	ハンドブック改訂の概要	106
	オリンピック・パラリンピックマニュアルについて	109
③	C 級審判員創設について	110
	公認審判員規程の改正	115
	C 級公認審判員養成テキスト	119
資料	2020 年度公認審判員数	149
	公認陸上競技場一覧表	150
	公認陸上競技場長距離競争路一覧表	151
	出席者名簿	165

2020(令和2)年度 全国競技運営責任者会議 会議日程(案)

※あくまで予定です。今後の調整で内容が変更になる場合があります。

2021年2月13日(土) 全体会

- 13:20 オンライン開始
- 13:30 開会(陸連挨拶)
事務連絡
公認審判員用ウェアについて(資料にて確認)
- 13:35 競技会実施報告(諸問題発生事例)
(日本選手権:新潟、全国高校:広島、全国中学:神奈川)
- 13:45 施設用器具委員会報告
JTO報告(資料にて確認)
- 14:00 2021年度競技規則修改正提案
- 15:00 質疑応答
- 15:15 休憩(事務連絡等)
- 15:30 分科会

<分科会A 主に競技部長対象>

15:30~16:30

- ① 競技カレンダー・記録PTより
 - ・公認競技会開催申請(鍋島委員)
 - ・記録用紙の改訂(片岡典幹事)
- ② 広告展示物規則PTより
 - ・広告規程改訂(杉本委員)

(全体会)

- 16:35 分科会報告
- 16:45 オリンピック・パラリンピック準備状況
- 17:00 全体質疑応答
- 17:10 事務連絡
- 17:15 閉会挨拶
- 17:20 閉会予定

<分科会B 主に審判部長対象>

15:30~16:30

- ① S級審判昇格審査報告(羽田幹事)
- ② 審判HBPTより
 - ・ハンドブック改訂の概要(関幹事)
 - ・オリパラマニュアルについて(関幹事)
- ③ 審判員研修PTより
 - ・C級審判員創設について(本橋委員)

(関根副委員長・)

(鈴木委員長)

(赤峰幹事)

(鈴木委員長)

第104回日本陸上競技選手権大会 発生した問題とその解決法

(一財)新潟陸上競技協会 高塚 俊

はじめに

大会2日目最終種目終了後も表彰式まで多くの観客がスタンドを埋め、選手権者らに賞賛の拍手や声援を送ってくれた。全日程終了後もスタンドでレースの余韻に浸り、いつまでも立ち去らない観客。このスタンドの光景を観るにつけ「新潟でやって良かったんだ」と改めて思った。

開催まで5か月という短い準備期間で主管として日本選手権開催の一翼を担い、何とか成し得たことは、共催としてご指導ご尽力を賜りました新潟県・新潟市及びそれぞれの教育委員会様、そして競技役員・補助員を派遣して下さった関係の各企業、事業所、大学及び高校中学や加入団体陸上競技協会会員など関係各位のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

選手にとっては、長期間自粛を強いられた後の大会として、新潟開催とともに強く印象に残る大会となったことと思います。そして、この大会が本年開催のオリンピックへ繋がる新たなエネルギーのひとつになると信じています。

発生した問題と解決法

例年と違い大会のサブ、プレイベントもなく、小中高生のジュニア種目も行われず。新潟陸協としてこの大会開催で何を得ることができるのか、価値は？と考えことも事実。

新潟陸協として、また所属陸協それぞれの組織として「結束、纏まるための機会」とすること、それを「確認するため」に開催する。新潟陸協がONE-TEAMになるために。

今回の大会開催は何よりも準備期間が短いことにより様々な困難を生じた。

1 補助員の確保

開催に当たりいつも助けてもらっている高校生の補助員がコロナ禍のため、協力してもらえないという事態が起こった（教職員も含め回避したもの）。そのため補助員として、新潟医療福祉大学、国際情報大学、アップルスポーツカレッジの大学生等に補助員をお願いせねばならなかった。また、部署それぞれの人数を最小必要数に絞らねば不足となる状況であった。

2 競技役員の編成

木・金（+土）曜日のウィークディ開催であることから、審判員の3日間確保に苦慮した。土曜日は休日のため希望者が多く、1日のみの方はお断りした。木・金曜は反対に1日のみの方もお願いするという苦肉の策を取らざるを得なかった。

また、競技役員の高齢化があり、65歳以上は日本選手権では審判できないという申し合わせがあったが、今回は急な開催要請と地方陸協の実情を考慮いただき、65歳以上も審判をお願いすることになった。これからは、新規若年層審判の開拓とともに避けて通れない大きな課題である。

「とにかく、できない理由を探す（数える）より、できる方法を考えて（数える）開催したい。

とりあえず、走りながら考える（準備期間が短い）なんとか実施、開催にこぎ着けたい、と考えた。」

3 実務段階での問題点

① 投てき審判員不足 どうしても砲丸投以外の種目の審判経験者が少ない。

② 光波測定員が限られている。日本選手権前は4人しか確認できなかった。

③ 人が判定する部署

・跳躍、投てきの有効・無効の判定員が少ない。全国大会規模の経験者が少ないため。

・監察員に高齢者が多く、反応や俊敏さに欠ける。

これらの問題点が明らかになり、対応を迫られた。審判の一本釣りや講習研修などを行うことで解決してゆかねばならなかったが、準備期間の関係で大会直前にしか、主任会や全体会が開けず競技役員の仕事・業務、行動様式の徹底が図れなかったことが反省事項である。

- 4 (地方陸協に取って) 新しい大会 (GP大会等、現在進行中の全国規模の大会) の競技運営
大会運営に関するもの
- ① EPM (イベント・プレゼンテーション・マネージャー) 主導とした (観客を中心の) 競技会
運営
 - ② PEC (R) (ポストイベントコントロール (ルーム)) の関係部署の流れと連携
 - ③ イベント (大会) 運営会社による大会運営と警備
これらに慣れ、担当者の育成、確かなものとして使いこなすことが目標である。
 - ⑤ 投てきの「囲い」、棒高の「電動スタンド」など新しい器具が備わっていない。
日本選手権ゆえ、借用することができた。

5 感想

コロナ禍がなければ新潟開催はあり得なかった。日頃から5年前開催の99回大会の残した遺産「競技運営、大会運営の技術やノウハウ、審判技術の維持と向上」を図らねばと考え、GP大会の誘致や日本インカレの誘致を行ってきた。今回のように競技運営のみで、大会費用も日本陸連が負担で開催という形は願ってもできないもので、結果として、新潟陸協は本当に良い経験をさせていただいたと感謝する次第です。大会の1週間前から新潟陸協事務局に詰め、私どもに指導・アドバイスいただいた事業部の榎田さんはじめ陸連の皆さんのおかげであります。重ねて感謝いたします。また、今回の規模のような全国大会等はもはや金銭面で地域陸協が単独で開催するのは無理と感じさせられた大会でもありました。

6 その他

計画「目標とした大会開催のコンセプト」(陸協実行委で最初に説明したもの)

「コロナ対策のモデル大会として、また大会のスリム化」

- ・コロナ対策・・・検温、アルコール消毒、マスク着用、密集・密接・密閉の回避
無観客? (コロナ対策のロールモデル大会として)
- ・開催条件・・・緊急事態宣言が発出されていないこと
県・市が大規模大会の開催を容認すること。
- ・スリム、エコ、スマート大会・・・競技役員、補助員の削減と準備の簡素化
(何年も前から準備した大会と同じにはできない)
- ・新潟へのメリット・・・
 - 大会開催費用は日本陸連の負担
 - 補助員は大学生、ボランティアの募集
 - 小中高生の活躍の場
 - コロナからの回復・復帰の象徴
 - 大会開催の経済効果 (新潟まつり、シティーマラソン等多くのイベント中止の中唯一の実施)
- ・北陸陸協エリアで受ける
 - 北陸各県に審判協力の要請 (旅費、宿泊費の負担は日本陸連)
 - 北信越 (北陸) ブロック高校生の種目を実施

7 番外編

今回、一番最初?に困ったことは、新潟陸協として開催決定のための臨時理事会を招集し日本選手権開催を理事会決議で承認いただこうとした矢先、どこからのリークか存じ上げないが「10月1日から新潟市デンカビッグスワンで開催」が新聞発表されてしまったこと。おかげですぐに謝罪文書は出すわ。臨時理事会では、理事会を経ずに開催できるのか、勝手に決めたのか、どうなっているのか、と強いおしかりを受けた。幸い、何とかお認めいただいたend。

JOC ジュニアオリンピックカップ
全国高等学校陸上競技大会 2020 兼 U20 全国陸上競技大会 報告書

一般財団法人広島陸上競技協会競技運営委員会
競技運営委員長 田川 司・審判部長 新宅 昭二

- 1 期 日 2020 年 10 月 23 日（金）～25 日（日）
- 2 場 所 エディオンスタジアム広島（広島市安佐南区）
- 3 実施種目 【全国高校】（男子）18 種目（女子）17 種目
【U20】（男子）14 種目（女子）14 種目
- 4 報告事項

（1）準備にあたって

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、全国高校総体の中止、国民体育大会の延期の中、全国高校総体の代替大会として開催されることとなった。昨年に引き続いての本県開催であったが、その意味合いは昨年と大きく異なり、何より新型コロナウイルス感染症をこの大会で決して拡大させてはならないという強い意気込みと細心の中止を払う必要があった。

しかし、昨年と同じように、日本陸連事務局の方々に何度も現地に足を運んでいただき、競技場の状況等（補助競技場・投擲練習場を含む）を視察していただくということは不可能であり、準備会議も 2 回開催するにとどまったが、関係者がそれぞれ準備を重ね、何とか開催にこじつけることができた。

（2）新型コロナウイルス感染症防止対策

日本陸上競技連盟が定めた「陸上競技再開についてのガイダンス」を準拠し、徹底した競技運営を行った。無観客での開催、入場時の検温モニター設置、消毒の徹底、ADカードによる規制と毎日の検温チェックがされているかをシールの貼り付けによって徹底する等の対策を講じた。

（3）競技運営全般

昨年度の開催同様、競技種目が多いことによる競技日程の設定と当日の進行の懸案があった。特に今回は代替大会ということもあり、昨年度より種目数も増加したため、苦心した。ターゲットナンバーはトラック競技 40 名、フィールド競技 30 名であったが、フィールド 40 種目中 25 種目で 30 名に満たない状況であり、さらに予選 2 回・決勝 2 回というルールを設定したため、競技時間が大幅に遅れるということではなかった。

（4）競技役員編成

準備を含め、4 日間という長い間、人数が確保できるかどうか、非常に不安であった。しかし、昨年度同様に公立学校では職専免という形で、従事することが許されたことも追い風となり、各方面の協力も得られ、昨年度同様の人数の方に参加していただいた。

しかし、4 日間又は 3 日間を通しての参加が難しかったり、部署によっては、人数が不足する場面もあった。

全国中学生陸上競技大会 2020

第 104 回日本選手権リレー兼全国高等学校陸上競技大会 2020・リレー競技

期日：2020 年 10 月 16 日～18 日

場所：日産スタジアム

大会概要

例年はジュニアオリンピックとして中学 1 年生から高校 1 年生（早生まれ）が対象となる大会として開催されていたが、本年は「新型コロナウイルス感染防止対策」から、第 47 回全日本中学校陸上競技選手権大会が中止となり、その代替大会として全日中種目を実施する大会として開催された。

全国的に大会開催数が少ないため、2019 年 1 月 1 日～2020 年 9 月 6 日までの公認記録を基にトラック 40 名、フィールド 30 名、混成競技 20 名のターゲットナンバー（出場者の上限）を設定し、出場選手を決定して行われた。中学生のリレーについては各都道府県 1 チームの 47 チームで開催。

またインターハイ中止を受けて、日本選手権リレーと共に全国高等学校陸上競技大会 2020・リレー競技も同時に開催された。

主な感染症対策（事前準備等）

日本陸連より示されたガイダンスに基づき、事前の健康調査の提出、競技場入場の際のサーモグラフィカメラによる検温（検温後 ID カードに各日のシールを貼る。）、各場所でのソーシャルディスタンスの確保等を実施。例年の JO ではコンコース等に各県別のエリアを設置したが、三密の回避を目的に設置せず、できる限り各校毎に分散してスタンドの利用を依頼した。

主な感染症対策（競技会）

- ・招集所における混雑の緩和の為、招集所のスペースの確保や招集時間を各レース毎に時間を設定して実施した。
- ・感染症防止対策の為、特別ナンバーカード・腰ナンバー標識は全て回収せず配布。
- ・トラック競技では出場選手の負担軽減を目的として、予選・AB 決勝として実施。
但し、1500m・3000m は予選（タイムレース）後に上位 16 名での決勝とした。
- ・競技時間の短縮と 3 密防止の為、フィールド種目の予選における試技回数を 2 回として、トップ 16 の選手は更に 2 回の試技で実施。
- ・混成競技のフィールド種目も同様に 2 回の試技とした。

【大会期間中の主任会議等の確認事項等について】

【1 日目】2020 年 10 月 16 日（金）

- ・感染症拡大防止対策の徹底実施。
 - ※選手と対面でのやりとりのある競技役員はフェイスシールドの着用を確認。
 - ※炭マグ使用の際はペットボトルやバケツ等を使用して感染防止を実施。
- ・今年度は競技会回数が少なく、また感染防止の為に新たな方の導入等、慣れていない

- ・競技者・競技役員となるので、慌てずに、安心・安全な運営を実施。
- ・競技日程にはかなり余裕をとったので、アナウンスについては全参加者の紹介を実施。

- ・招集所については特に選手、競技役員の感染症防止対策の実施
- ・WA 広告規程の改定 今回はユニフォームのみ適応を確認。
- ・WA（シューズ）のルール改訂についてはトラックのみ適応。

※測定方法：（日本選手権、インカレを参考に実施。）

トラック競技について

- ・スタートの際の「ピクつき動作」スタート前に止まっても、本来はイエローカードですが、競技会が少なく、選手も慣れていないので今回は「グリーン（注意）」。
但し、繰り返された場合は「イエローカード」です。そのまま出せばそれは不正スタートとすることを確認。
- ・日本選手権リレーは「SIS」を使用する為、事前に波形の確認方法等を確認した。

フィールド競技について

- ・競技会経験が少ないので安全の為、練習については可能な限り実施。※2回以上も可。
- ・走高跳、棒高跳の高さは天候に合わせて臨機応変に、参加選手に不利にならないように。
可能な限り、「NM（記録無し）」を避ける。

【2日目】2020年10月17日（土）

- ・男子走り高跳び決勝 2ピットで実施の為、試技順等について確認、特に残りの競技者数についての試技時間の対応について確認。
- ・あいにくの雨でしたが男女の四種競技で、それぞれ日本中学記録が誕生しました。
- ・リレー種目で様々な事例が生じた、中には競技役員の不注意が関わった事例が発生した。
 - ①走者の進路を競技役員が遮る事例が発生し、2チームとも決勝に進出とした。
 - ②レーン標識の撤去忘れによる進路妨害が生じ、抗議により救済となり日本選手権の男子1600mRは9チームで決勝を実施した。
天候の悪い中ではあるが、一歩間違えると事故にも繋がる事例であった。それぞれの役割に集中するだけでなく周囲の安全を最優先に考えることを再度確認した。

【最終日】2020年10月18日（日）

- ・特に大きなトラブル無し

【まとめ】

感染症拡大防止の影響から3月～8月まで、県内では競技会が開催されず。今大会が神奈川県陸上競技協会として、今年度初の競技会運営となった。例年のジュニアオリンピックとは異なる実施種目での「全国中学生陸上競技大会2020」となり、あらたな大会として準備にあたった。また、感染症拡大防止対策との両立を図るため、参加者・関係者の皆様にも不便を感じさせる場面も生じたが、感染症拡大防止対策の中であらたな競技会の運営を試みて、その後の大会運営にも大いに参考とすることができました。

施設用器具委員会報告

1. 2021施設用器具委員会関係の規則の改正と対応

最終条文については、ルールブックで確認してください。
地域陸協でも伝達をお願いします。

(1) 第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様の改正

● 第1種公認陸上競技場の基本仕様

- ・ 新設（陸上競技専用、多目的）、既設の分類を廃止して、統一する。
競技規則、公認陸上競技場に関する細則の整合及び文言の整理。
 - ① 内水濠の推奨寸法を追加する。
 - ② 走高跳の項を追加する。
 - ③ ハンマー囲いの寸法の表現を整理する。
 - ④ 記者席の新設、既設を整理する。
- ・ メインスタンドの収容数の明確化と既設競技場での対応。
メインスタンドの収容数は7,000人程度と不明瞭であったので、7,000人以上と明確にする。基本仕様制定（1994年）前の1種はメインスタンド5,000人以上であった。基本仕様制定時にはメインスタンドの規定はなく、1999年改正時に7000人程度となった。既設の競技場では、基本仕様制定前からの1種競技場では観客の収容数は満たしているが、メインスタンドの収容数を満たしていない競技場がある。スタンドの改修には莫大な費用が必要となり、対応ができない状況である。また、スタンド改修の費用があれば、トラック&フィールドの整備を優先したい。既設競技場のスタンド改修の猶予を明記する。

● 第2種公認陸上競技場の基本仕様

- ・ 新設、既設の分類を廃止して、統一する。
競技規則、公認陸上競技場に関する細則の整合及び文言の整理。
 - ① 内水濠の推奨寸法を追加する。
 - ② 走高跳の項を追加する。
 - ③ ハンマー囲いの寸法の表現を整理する。
 - ④ スタンド及び記者席の新設、既設を整理する。
- ・ メインスタンドの収容数の明確化。
メインスタンドの収容数は1,000人程度と不明瞭であったので、1,000人以上と明確にする。基本仕様制定（1994年）前の2種はメインスタンド1,000人以上であった。基本仕様制定時既設の競技場では、観客、メインスタンドの収容数は満たしている。
- ・ 芝生の長さの基準を一部変更する。
直線84.39m以上の時の芝生の長さ107mを認める。半円部分が狭いと走高跳の助走が大きくトラックに出ることになる。また、棒高跳のピットを2面半円部分に収めることができなく、競技運営に支障が出てくるので、半円部分を25m以上確保するようにしている。直線の長さ84.39m以上の競技場では、芝生が107mでも半円部分が25m以上の確保ができ、競技エリアを確保することができる。

2021年4月1日改正

第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様

この基本仕様は、世界陸連の示す TRACK AND FIELD FACILITIES MANUAL の内容を準用し、公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程のほか関連する規則の規程による。

第1種公認陸上競技場

- 1 トラックは8レーンまたは9レーンとし、1レーンの幅は1m220とする。走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。
- 2 障害物競走の水濠は、レーンの内側または外側に設置する。水濠の部分の走路の厚さは25mm以上とする。水濠を内側に設置するときには、トラックの直走路84m390以上を推奨する。
- 3 トラック内のマーキングは、必要最小限とする。

跳躍場

- 4 第1曲走路側の半円部分をAゾーン、第2曲走路側の半円部分をBゾーンと称し、トラックの半径の2つの中心点を結んだ線の延長上の全天候舗装部分の長さは、原則としていずれかを25m以上とする。走高跳はAゾーン、Bゾーンのいずれかに3カ所以上、いずれかのゾーンで同時に2面競技が出来るように設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。
- 5 走幅跳、三段跳の助走路ならびに砂場は、メインスタンド側またはバックスタンド側（インフィールドでもよい）に6カ所以上設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。
- 6 棒高跳の助走路ならびにボックスはAゾーン、Bゾーンのいずれかに2カ所または4カ所、アウトフィールドのバックスタンド側に2カ所または4カ所の合計6カ所以上を設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。

投てき場

- 7 投てき用芝生は、投てき距離が十分であるようスペースを確保するものとし、最大106m×73mとする。ただし、以下に定める条件に適合する競技場のみ、最大107m×73mまで認める。延長を認める競技場の数は全国47カ所以内とし、検定時に以下の条件を充たすことを要する。

【条件】

- ① 本連盟が多目的使用の競技場として認める第1種公認陸上競技場。
 - ② 全投てき種目における決勝の実施が可能であること。
- 8 砲丸投は、芝生に投てきするサークルを2カ所以上設置する。その他AゾーンまたはBゾーンのいずれかに、扇形の投てきエリアをつくることができる。

- 9 円盤投、ハンマー投のサークルは兼用型でもよいが、2カ所設置する。砲丸投のサークルと兼ねてはならない。
- 10 ハンマー投の囲いの可動パネルと最前部の2mの部分のパネルの高さは9m以上、
囲いの後部のパネルか網掛け部分は7m以上とする。ハンマー投の囲いで円盤投の囲
いを兼ねることができる。
- 11 やり投の助走路の末端は、やりが構造物と接触しないようにする。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。半円より外側の助走路の厚さは13mmでもよい。

構造物

- 12 レーンの外側からスタンドまでは極力近づける。ただし、スタンドから競技全体が見わたせ、死角が生じないように配慮する。
- 13 メインスタンド側のダッグアウトの幅は2m程度が望ましく、また床のレベルはグラウンドレベルとする。やむをえない場合は50cmまで下げることができる。
- 14 ダッグアウトの天井の高さは最低2m300以上が望ましい。
- 15 メインスタンドの中央廊下の幅は3m以上が望ましい。
- 16 高齢者、身障者に配慮し、車椅子席を設置する。またその動線を確保する。車椅子席の席数については、条例その他の法令等の規定に従うものとする。
- 17 用器具庫は2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上でマット等が完全に収容できるものとする。用器具庫の出入口の高さ、間口はマット等の出し入れに支障のないようにする。床はグラウンドレベルにする。ただし、他の競技の用器具等も収納する場合は、この基準を充足するほかにその必要な広さを確保するものでなければならない。
- 18 夜間照明設備を必要とし、1m220の高さで平均照度が1000Lx程度とする。また、フィニッシュラインは1500Lx以上を確保する。
- 19 電光掲示盤を設置することが望ましい。日本選手権大会、国民体育大会、その他国際競技会等の全国大会規模（以下、大規模競技会）の会場では、仮設でもよい。常設にあたっては本連盟と事前に協議されたい。
- 20 スタンドの上層部には放送室、指令室、電光掲示盤操作室等を設け、同一レベルに隣り合わせて写真判定室ならびに装置を設置する。また、下層部には、情報処理室、コピー室、医務室、ドーピング検査室、ウエイト・トレーニング室等を競技会運営上、最も使用しやすい場所に設ける。
- 21 大規模競技会では、記者席はフィニッシュライン上方の観覧席に設置し、通信機器の設置が可能な施設とする。ただし、1994年以前から継続して公認されている第1種競技場及び多目的な利用を予定する競技場においては記者席、通信機器は仮設でもよい。
- 22 大規模競技会では、監視カメラ（12カ所）を必要とする。
- 23 観客の収容数は15,000人以上（芝生を含む）とする。少なくともメインスタンドは、7,000人以上かつ屋根付きとする。1994年以前からの第1種競技場のメインスタンドの収容数は、スタンド改修時に対応することに努めるものとする。

24 メインスタンドまたはバックスタンド側に雨天走路を必要とする。

25 役員、補助員等の休憩の場を確保する。

その他の施設

26 補助競技場は、第3種公認陸上競技場とする。1周の距離が400mの全天候舗装で6レーンまたはそれ以上とし、直走路は8レーンとする。また、舗装材は主競技場と同等とし、表面仕上げおよび硬度は同一とする。立地条件等やむを得ない事情により、2011年4月1日現在、補助競技場の1周の距離が300mの全天候舗装で6レーンまたはそれ以上であり、直走路が8レーンの第4種公認陸上競技場である場合に限りこれを認める。

27 大規模競技会では、投てき練習場は主競技場の至近に設置する。

28 主競技場と補助競技場との動線を簡単かつ明快な関係にあるようにしなければならない。また、陸上競技場の設置にあたっては主競技場と補助競技場の相対関係（動線）を十分考慮し、特に招集所とその付近の仮設トイレ等を含めた施設づくりをする。

その他

29 陸上競技場の設置についての計画、公認陸上競技場としての認定に必要とされる申請は、その所在地の加盟団体を経て本連盟に提出しなければならない。

30 走路および助走路の全天候舗装の厚さが規定に合致しているかを、本連盟検定員が確認する。

31 派遣費用は、申請者が負担する。旅費は、本連盟の定める旅費規程に準ずる。

第2種公認陸上競技場

1 トラックは8レーンまたは9レーンとし、1レーンの幅は1m220とする。走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。

2 障害物競走の水濠は、レーンの内側または外側に設置する。水濠の部分の走路の厚さは25mm以上とする。水濠を内側に設置するときには、トラックの直走路84m390以上を推奨する。

3 トラック内のマーキングは、必要最小限とする。

跳躍場

4 第1曲走路側の半円部分をAゾーン、第2曲走路側の半円部分をBゾーンと称し、トラックの半径の2つの中心点を結んだ線の延長上の全天候舗装部分の長さは、原則としていずれかを25m以上とする。走高跳はAゾーン、Bゾーンのいずれかに3か所以上、いずれかのゾーンで同時に2面競技が出来るように設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。

5 走幅跳、三段跳の助走路ならびに砂場は、メインスタンド側またはバックスタンド側（インフィールドでもよい）に6カ所以上設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。

- 6 棒高跳の助走路ならびにボックスは4カ所以上設置する。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。

投てき場

- 7 投てき用芝生は、投てき距離が十分であるようスペースを確保するものとし、最大106m×73mとする。ただし、トラックの直線が84m390以上でAゾーン、Bゾーンのいずれも25m以上とするときには、最大107m×73mまで認める。
- 8 砲丸投は、AゾーンまたはBゾーンのいずれかに扇形の投てきエリアを設置する。その他、芝生に投てきするサークルを1カ所以上つくることができる。
- 9 円盤投、ハンマー投のサークルは兼用型でもよいが、2カ所設置する。砲丸投のサークルと兼ねてはならない。
- 10 ハンマー投の囲いの可動パネルと最前部の2mの部分のパネルの高さは9m以上、囲いの後部のパネルか網掛け部分は7m以上とする。ハンマー投の囲いで円盤投の囲いを兼ねることができる。
- 11 やり投の助走路の末端は、やりが構造物と接触しないようにする。助走路の厚さは15mm以上とする。全天候舗装に直接踏切る部分の厚さは18mm以上とする。半円より外側の助走路の厚さは13mmでもよい。

構造物

- 12 レーンの外側からスタンドまでは極力近づける。ただし、スタンドから競技全体が見わたせ、死角が生じないよう配慮する。
- 13 メインスタンド側のダッグアウトの幅は2m程度が望ましく、また床のレベルはグラウンドレベルとする。やむをえない場合は50cmまで下げることができる。
- 14 ダッグアウトの天井の高さは最低2m300以上が望ましい。
- 15 メインスタンドの中央廊下の幅は3m以上が望ましい。
- 16 高齢者、身障者に配慮し、車椅子席を設置する。またその動線を確保する。車椅子席の席数については、条例その他の法令等の規定に従うものとする。
- 17 第2種公認陸上競技場に必要の器材が完全に収容できる用器具庫を設置する。用器具庫の出入口の、高さ、間口はマット等の出し入れに支障のないようにする。床はグラウンドレベルにする。ただし、他の競技の用器具等も収納する場合は、この基準を充足するほかにその必要な広さを確保するものでなければならない。
- 18 夜間照明設備があることが望ましい。また移動式でもよいが、フィニッシュラインの付近は写真判定に支障のない明るさを必要とする。
- 19 電光掲示盤を設置することが望ましい。第2種公認陸上競技場で開催し得る競技会の条件として電光掲示盤を必要とするときは、仮設でもよい。常設にあたっては本連盟と事前に協議されたい。
- 20 スタンドの上層部には放送室、指令室、電光掲示盤操作室等を設け、同一レベルに隣り合わせて写真判定室ならびに装置を設置する。また、下層部には、情報処理室、コピー室、医務室、ドーピング検査室、ウエイト・トレーニング室等を競技会運営上、最も使用しやすい場所に設ける。1994年以前から継続して公認されている

第2種競技場では、少なくとも、写真判定室と審判長との間には通信機器を必要とする。

- 21 記者席は仮設でもよいが、フィニッシュライン上方の観覧席に設置し、電話、モニター等の設置が可能な施設とする。
- 22 大規模競技会では、監視カメラ（12カ所）を必要とする。
- 23 観客の収容数は5,000人以上（芝生を含む）とする。少なくともメインスタンドは、1,000人以上とし、屋根付きを希望する。多目的な利用での競技場として必要な収容数は、別に定めればよい。
- 24 メインスタンドまたはバックスタンド側に雨天走路を必要とする。
- 25 役員、補助員等の休憩の場を確保する。

その他の施設

- 26 全天候舗装の補助競技場があることが望ましい。
- 27 投てき練習場が主競技場の近くにあることが望ましい。
- 28 主競技場と補助競技場の相対関係（動線）を十分考慮し、とくに招集所とその付近の仮設トイレ等を含めた施設づくりをする。

その他

- 29 陸上競技場の設置についての計画、公認陸上競技場としての認定に必要とされる申請は、その所在地の加盟団体を経て本連盟に提出しなければならない。
- 30 走路および助走路の全天候舗装の厚さが規定に合致しているかを、本連盟検定員が確認する。
- 31 派遣費用は、申請者が負担する。旅費は、本連盟の定める旅費規程に準ずる。

付則 2021年4月1日改正

公認陸上競技場に関する細則の改正

- ・ ブルートラックでの青色マーキングの規定の追加。
- ・ 三段跳の踏切板位置の明確化。
- ・ 全天候舗装用レーンマーキング色分け標準表の修正
- ・ 競歩用パドルの競技規則第 230 条に整合するため、名称とサイズの変更

(標識タイルとマーキング)

第 10 条

6. 塗布する色彩および形状は、全天候舗装用レーンマーキング色分け標準表(別表 1)による。ただし、舗装がレンガ色以外の場合は、見やすい色に変更してもよい。なお、別表 1 の青色のマーキングは、ブルートラックの場合には赤色とすることが望ましい。

(走幅跳、三段跳)

第 16 条 走幅跳・三段跳の施設はつぎのとおりとする。() 内は女子。

	施設数	助走路		砂 場			踏切板から 砂場までの距離	
		長さ(m)	幅(m)	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	走幅(m)	三段(m)
第 1・2 種	6 以上	45 以上	1.22	2.75 ~ 3.00	8 以上	0.50 以上	2	13 (10)
第 3 種	1 以上	40 以上	1.22	2.75 ~ 3.00	8 以上	0.50 以上	2	11 <u>以上</u> (7 <u>以上</u>)
第 4 種	1 以上	40 以上	1.22	2.75 ~ 3.00	7 以上	0.50 以上	2	11 <u>以上</u> (7 <u>以上</u>)

- [注] 1 助走路の長さは踏切板からとする。
 2 助走路の横断面は山型が望ましい。
 3 施設数は砂場の数とする。助走路の両側に砂場があるときは 2 施設とカウントする。5.55m 以上の一つの砂場に同時に競技が出来る助走路があるときは 2 施設とカウントする。
 4 走幅跳と三段跳の設備は、それぞれ併用してもさしつかえない。
 5 走幅跳、三段跳の助走路は、踏切板ならびに砂場の上縁と同一レベルとする。
 6 走幅跳の踏切板は、施設数以上を設置する。
 7 三段跳の踏切板から砂場までの距離の最大は 13m とする。踏切板から砂場までの距離は、開催する競技会及び地域のレベルに応じて上記と異なる距離の踏切板を追加して設置することができる。第 1 種、第 2 種の踏切板から砂場までの距離女子 10m、男子 13m は、6 か所以上が基本であるが、少なくとも 4 箇所以上とし、同時に競技が出来るように設置する。第 3 種、第 4 種の踏切板から砂場までの距離女子 7m 以上、男子 11m 以上は、開催する競技会及び地域のレベルに応じて踏切板を設置する。国際大会では、女子三段跳の踏切板から砂場までの距離は 11m より短くしない。設置する踏切板が不足する競技場は、公認満了が 2026 年 4 月 1 日以降の継続検定までに対応する。

全天候舗装用レーンマーキング色分け標準表

- ・ 8、代用縁石の置き方の削除

3000m、5000mのグループスタートの末端(合流点になる所) (ただし $L=80\text{m}$ 、 $R=37.898\text{m}$ の場合)

マーキング(緑)50×50

5レーン

50

131

代用織石(白)

走る方向

4レーン

D'

D

- ・ 18、走高跳、判定補助線の訂正

18

走高跳の支柱台

2,000 4,000 2,000 4,020 4,020 3,000

判定補助線 W50
他の競技に影響がなく、
定例のときに差布してもよい

計測基準台
40 × 150

支柱台
φ80~150

判定補助線がやり投スレーティングライン
の前にかかる場合は差布しない

白

- ・ 19、レーン幅 1m250 の訂正、今年度校正ミス

棒高跳の助走路、支柱台
棒高跳助走路が単独である場合は実線でよい
支柱台の寸法は支柱の土台の大きさによる

19

1,800以上
600以上
1,100 700
5,500~6,000
5,000 1,200 50
ゼロ・ラインW10 白
支柱台の外縁(500程度)まで

白

- ・ 20、走幅跳・三段跳での中央の助走路を使ったときの黄マークの追加

走幅跳、三段跳の助走路

5,500

1,350 90 2,750 50 1,250 90 2,750

貴マール 黒マール 貴マール

50 1,250 (1,220) 50

用器具一覧

必備用具

用器具名称	区別	1種	2種	3種	4種	4種L	摘 要
<u>競歩用イエローパドル</u> 競歩警告用円板（黄）	×	10組	10	5	0	0	直径 <u>120mm 以上</u> 150mm～160mm 柄の長さ <u>全長 210mm 以上</u> 120mm～150mm 、プラスチック又は軽金属表裏同一マークとする。 <u>イエローパドル</u> 黄は2種類、 <u>レッドパドル</u> 赤は無地
<u>競歩用レッドパドル</u> 競歩失格用円板（赤）	×	2枚	2	2	0	0	

必備器具

<u>競歩用掲示板</u> 競歩用警告掲示板	×	1台	1	1	0	0	縦 1000 mm×横 800 mm以上
--------------------------------------	---	----	---	---	---	---	----------------------

付則 2021年4月1日改正



- ・ 名称を競技規則と整合する。
- ・ 国際競歩審判員（IRWJ）が使用しているパドルの寸法を加える。
- ・ ロスオブコンタクトのマークが違う。
- ・ IRWJが使用しているものと同様な製品が作成されている。
- ・ どちらのパドルも使える。
- ・ IRWJを呼ぶ大会では海外選手も参加するので、出来ればIRWJと同じパドルを使えば戸惑わないので、IRWJと同じパドルを使っていただきたい。

(3) その他の注意事項

● 150m、145mのスタート位置

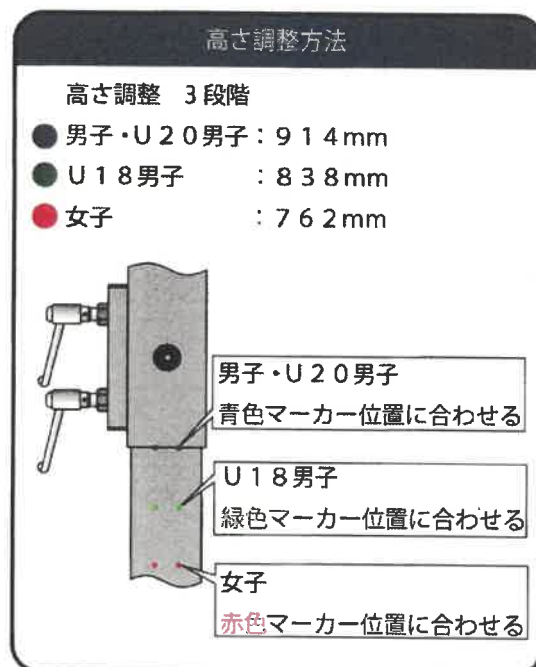
- ・ 150mスタート … 300mHのハードル4台目と同じ
- ・ 145mスタート … 400mHのハードル7台目と同じ

● 300mH設置の注意事項

- ・ 競技会での実施が予定されています。すべての競技場で必要ではないことから設置の義務付けはしていません。各陸協で設置を必要とする競技場を検討して設置を働きかけてください。設置後、検定が必要となります。
- ・ 標識タイルでない費用負担の少ない表示方法としています。
- ・ マーキングはしていませんので、競技会時に設置位置をマーキングしてください。チョーク付きの水糸を利用すると簡単に早く設置ができます。この方法は、全国検定会議、全国区域技術役員会議において各都道府県の検定員、技術役員に周知をしています。
- ・ ハードルの高さは、男子 U20、914 mm、U18、838 mm、女子 762 mm。

● 障害物の対応(競技規則第169条)

- ・ 障害物の高さに U18 男子 (838 mm (±3 mm)) の規格が 2020 ルールに新たに定められた。
- ・ 国内では競技会で行わないことから、〔国際〕対応になっているが、導入されてもすべての競技場が対応するには 10 年近くかかることから、2020 年から U18 の高さにも対応した製品が納入されている。
- ・ 製品の値上げはなく、競技場の了解を得て納入することとなっている。
- ・ 固定障害は水濠改修時など固定障害の支柱を更新するとき、移動障害は更新するときに対応している。義務付けではないので注意されたい。
- ・ 納入した競技場では、高さの違いが判りづらく、競技会時に高さの修正に間違いがないよう注意をされたい。使用する審判員等に周知をしてください。



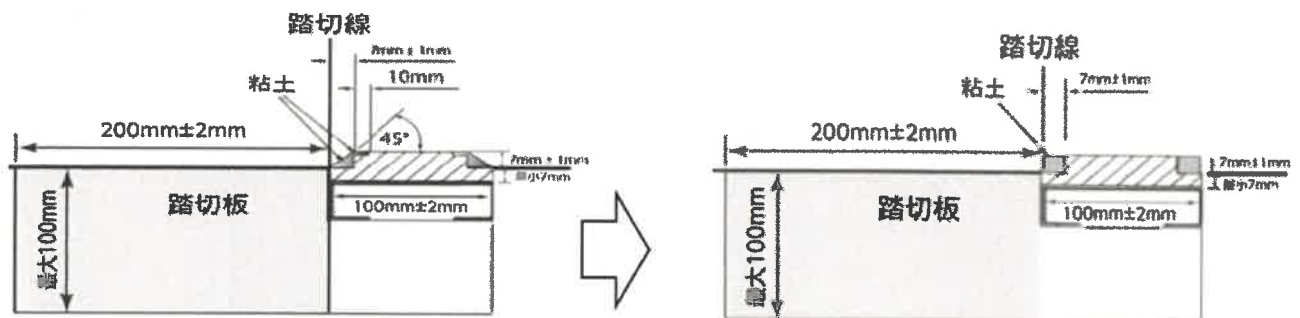
固定障害の高さの表示

● 障害物競走等、グループスタートにおける代用縁石の置き方

- ・ 競技規則により、国内の競技場では代用縁石を置くことから、代用縁石を縁石とみなして、トラックの計測は縁石の外側から300mmの所で計測している。
- ・ 代用縁石を設置する際は、競技場保有の代用縁石の数が不足しているので、1本おきとしていたが、競技規則に則れば全線に置く必要がある。
- ・ 競技場の代用縁石の補充整備を進めている。

● 粘土板の粘土の角度変更

- ・ 粘土を45度から90度となる。（競技規則第184条3～5）
- ・ 適用開始時期が延期された。
WA：2020年11月1日 → 2021年11月1日から
国内：2021年4月1日 → 2022年4月1日から
- ・ 粘土板は、新ルール適用後も現在使用しているタイプ（45度成型対応）が粘土を90度に成型できるため、粘土板はそのまま使用する。
- ・ 粘土を90度に成型するローラーは製品がある。



粘土を45°の成型から90°に成型することになる



成型ローラー

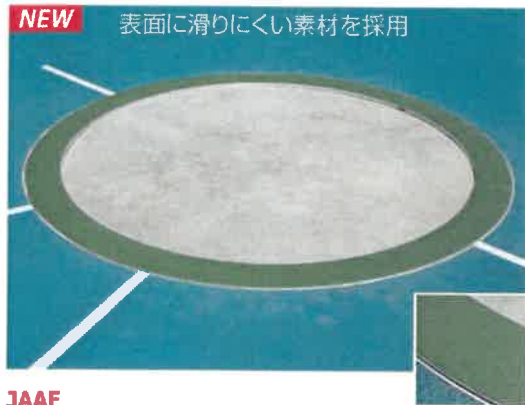


ローラーなしでも成型可

● 兼用サークル表面の仕上げの追加

- ・ 2019WA施設マニュアルの改正において、ハンマー投の兼用サークル（ドーナツ板）は素材によっては雨天時に滑りやすいものがあり、上部を白色以外で、滑らない仕上げとされた。
- ・ 国際大会では対応した物を使用する必要がある。
- ・ 国内でも、滑らない仕上げの製品が販売される。（190,000円＋税）検定品であるので、買い替え時には滑らないものを購入する。
- ・ 買い替えるのは高額のため、買い替えるまでの措置として競技場にある製品には、滑らないテープを貼ることで対応可能としている。

推奨品：すべり止めテープザラザラ、テープ代は概ね8,000円程度。
 色は透明あるいは単色。
 規格外の白のドーナツ板も違う色を貼ることで使用可。
 現地で吹き付けをしたところもあるが、買い替えるまでの措置であり、安価のものでの対応とされたい。



JAAF

NF2004D 円盤投、ハンマー投兼用サークル

(台)本体価格 ¥190,000 + 税 3



テープを貼った状況

● 長距離競走路、競歩路コース設定の注意事項

① 長距離競走路、競歩路コース設定

- ・ 競技会では計測したコースを設定してください。計測したコースと同じに設定されないと公認大会と認められません。
- ・ 計測時に作成された経路図、ポイント図を基に設定をしてください。コース所有者がこれらの図面を作成しています。
- ・ 計測されたコースと違うコースとなる時には、事前にコース変更の検定を受けなければなりません。
- ・ 途中計時の記録もコース設定の条件を満たしている箇所は、公認記録となりますが、必ずラインを入れてください。

② WA認証コースの競技会

- ・ 世界記録、アジア記録の認定において、競技に先立ち、正式に計測され記録されたとおりのコースであることを確認しなければなりません。（競技規則第260条21(d)）
- ・ 当初のコース計測を行った計測員（A級、B級）またはその計測員に指名された者が、競技中に先導車に乗り込み、競技者が同じコースを走っていることを確認しなければなりません。
- ・ 陸連の後援競技会では国際道路コース計測員の派遣を義務付けております。
- ・ 派遣を希望する大会では、陸連に派遣依頼を提出してください。
- ・ プログラムの審判編成には「国際道路コース計測員」としてください。

③ 競歩路コース

- ・ 2022 オレゴン世界選手権から男女の35km競歩が追加されることになった。
 - ・ 35キロ競歩を正式種目となる予定。WAが規則改正時期を検討中。
- WA規則改正後、国内規則の変更を経てからコース計測等の対応をする予定。

JTO'S 派遣報告

日本陸上競技連盟 競技運営委員会
審判研修 PT 赤峰 俊彦

1. 2020 年度派遣競技会の状況

(2019 年度全国会議以降)

- ・ BIWAKO クロカン
- ・ 京都マラソン
- ・ クロスカントリー日本選手権
- ・ 日本選手権 20 km 競歩
- ・ 東京マラソン
- ・ びわ湖毎日マラソン
- ・ 名古屋ウイメンズマラソン
- ・ 全日本競歩能美大会

(2020 年度) ～1 月 10 日までの派遣競技会

- ・ 4 月～6 月については、緊急事態宣言発出等の対応のため、派遣競技会なし。
- ・ セイコーゴールデングランプリ陸上 2020 東京
- ・ 富士北麓ワールドトライアル 2020
- ・ 天皇賜杯第 89 回日本学生陸上競技対校選手権大会
- ・ 第 68 回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
- ・ 日本選手権混成・U20 日本選手権混成
- ・ 第 104 回日本陸上競技選手権大会
- ・ 全国中学生陸上競技大会 2020、第 104 回日本選手権大会リレー競技、全国高等学校陸上競技大会 2020 リレー競技
- ・ 第 17 回 田島直人記念陸上競技大会
- ・ 第 7 回 木南孝道記念陸上競技大会
- ・ 第 42 回北九州カーニバル
- ・ 全国高等学校陸上競技大会 2020 兼 U20 全国陸上競技大会
- ・ 第 104 回日本陸上競技選手権大会・長距離種目 OSAKA2020
- ・ 第 74 回福岡国際マラソン選手権大会
- ・ 男子第 71 回 女子第 32 回 全国高等学校駅伝競走大会

2. 共有しておきたい事項

1) 大会開始前

- ・荒天対策（雪・台風）など、特に開催を決めてからの降雪などがあった模様（BIWAKO クロカン）
- ・「ナンバーカード」がルールブック上は「アスリートビブス」に変更されている。競技注意事項に記載されている表現をルールに合わせて統一していく。（日本学生対校）

2) 競技開始前

- ・今回は WA のルール改定で途中からシューズのチェックが入り、非常に苦労した部分があった。今後も継続しなければならないことから、派遣競技会や普段の競技会で「これは良い方法だ」というものがあれば、今後 JTO メーリングリストで情報共有していきたい。
- ・商標の確認については、かなり浸透してきたが、一方で商標対応を全く行っていなかったという報告もあるので、派遣された際には確認をする。

3) 競技中のトラブル

- ・赤カードの間違った表示（日本選手権 20 km 競歩）…今後ミスのない対応を考える。
- ・走行不能となった選手に対するケア。（セイコーグランプリ）なかなか現場での対応は難しいと思うが、何かあれば近くにいる審判員が動くという対応をどうとっていくかが課題である。
- ・日本選手権、男子 100m 準決勝の番組編成で質問が TIC に来た。内容としては 6 組 2 着 +4 の進出条件で +4 の中で 4 番目 10.474 5 番目 10.480 だった。どちらも 1/100 では、10.48 同タイムだし、9 レーンあるので、2 人とも準決勝に進出できないかという質問でした。
「着差あり」というアナウンスが違うという主張もあり、その点については謝罪をし、R167-5 によりこの 2 人が同成績ではないことを説明した。（間違っていたことは素直に謝罪、ルールはルール通りできちんと説明する。）
- ・日本選手権男子 4 × 4 0 0 m R 予選において、8 レーンのナンバー標識がスタート後、完全に撤去されず 9 レーン上に置かれていた。そのため 9 レーンの選手が標識を避けて走行した。レース後、該当チームより抗議を受ける。監視ビデオを確認し、審判長の裁定により救済し決勝進出とした。決勝は 9 チームで実施した。要因としては審判員や報道・テレビカメラなどが行き交う場所であり、トラック外スペースが一番狭くなっていた場所であった。何らかの事情でいったん置き、そのままになってしまったと推測される。（これ以外にも思いもかけない所でいろいろな物が置き去りにされることがある。）
- ・四種競技の男子 HJ において、残りが 1 名になった際にタイマー担当審判員が「制

限時間 3 分」とコール。当該選手から「本当に 3 分ですか？」と質問がり、近くにいた別の審判員が「混成競技なので 2 分」とすぐに訂正。（混成競技と一般種目との試技時間の違い。）

4) 競技後

- ・日本記録の確認ミス。（特に U18、U20 などは落としやすい。）上手く伝達できる方法を今後模索していく。大会派遣前に、日本記録、U20 日本記録、U18 日本記録等は最新のものを調べ、参加する。特に道路競技の途中時間については注意する。

5) その他

- ・コロナ対策…2020 年度の派遣報告にはいろいろな取り組みが紹介されています。しばらくはこの対応が続くことから、有効な感染症対策について確認していきます。
- ・JTO 報告書の内容については、JTO がいる都道府県については、JTO 自身にお問い合わせいただき、いない都道府県については、陸連本部にお問い合わせいただくか、地域の JTO にお問い合わせください。

競技規則構成（案）

WA（2020Edition）		JAAF（2021 年度）【案】
Table of Rules References		条文番号対比表
Definitions		国際競技会定義
Competition Rules		Competition Rules（競技会規則）
Part I	General	第 1 部 総則
Part II	Competition Officials	第 2 部 競技会役員
Part III	World Records	第 3 部 世界記録と日本記録
Technical Rules		Technical Rules（競技規則）
Part I	General	第 1 部 総則
Part II	Track Events	第 2 部 トラック競技
Part III	Field Events	第 3 部 フィールド競技
A	Vertical Jump	A 高さの跳躍
B	Horizontal Jump	B 長さの跳躍
C	Throwing Events	C 投てき競技
Part IV	Combined Events competitions	第 4 部 混成競技
Part V	Indoor Competitions	第 5 部 室内競技
Part VI	Race Walking Events	第 6 部 競歩競技
Part VII	Road Races	第 7 部 道路競走
Part VIII	Cross Country, Mountain and Trail Races	第 8 部 クロスカントリーとマウンテンレース、トレイルレース
		日本陸上競技連盟駅伝競走規準
		公認審判員規程
		公認競技会規程
		公認競技会における取扱いについて
		公認記録規程

JAAF（2020 年度）	
第 1 章	国際競技会及び日本競技会と出場資格
日本陸上競技連盟競技規則	
World Athletics 競技規則条文番号対比表	
第 1 部	競技会役員
第 2 部	競技会一般規則
第 3 部	トラック競技
第 4 部	フィールド競技
A	高さの跳躍
B	長さの跳躍
C	投てき競技
第 5 部	混成競技
第 6 部	室内競技
第 7 部	競歩競技
第 8 部	道路競技
第 9 部	クロスカントリーとマウンテンレース、トレイルレース
第 10 部	世界記録と日本記録
日本陸上競技連盟駅伝競走規準	
公認審判員規程	
公認競技会規程	
公認競技会における取扱いについて	
公認記録規程	

条文番号 対比表 (案)

【Competition Rules : 競技会規則】

新条文番号	従前条文番号	条文名
Rule 1 of the Competition Rules or CR1	Rule 2 第 2 条	Authorisation to Stage Competitions 競技会の開催認可
Rule 2 of the Competition Rules or CR2	Rule 3 第 3 条	Regulations Governing the Conduct of International Competitions 国際競技会を実施するための統括規則
Rule 3 of the Competition Rules or CR3	Rule 110 第 110 条	International Officials 国際競技会役員
Rule 4 of the Competition Rules or CR4	Rule 111 第 111 条	Organisational Delegates 組織代表
Rule 5 of the Competition Rules or CR5	Rule 112 第 112 条	Technical Delegates 技術代表
Rule 6 of the Competition Rules or CR6	Rule 113 第 113 条	Medical Delegates 医事代表
Rule 7 of the Competition Rules or CR7	Rule 114 第 114 条	Anti-Doping Delegates アンチ・ドーピング代表
Rule 8 of the Competition Rules or CR8	Rule 115 第 115 条	International Technical Officials (ITOs) ITOs (国際技術委員) と JTOs (日本陸連技術委員)
Rule 9 of the Competition Rules or CR9	Rule 116 第 116 条	International Race Walking Judges (IRWJs) IRWJs (国際競歩審判員) と JRWJs (日本陸連競歩審判員)
Rule 10 of the Competition Rules or CR10	Rule 117 第 117 条	International Road Course Measurers 国際道路コース計測員
Rule 11 of the Competition Rules or CR11	Rule 118 第 118 条	International Starters and International Photo Finish Judges 国際スターターと国際写真審判員
Rule 12 of the Competition Rules or CR12	Rule 119 第 119 条	Jury of Appeal ジュリー
Rule 13 of the Competition Rules or CR13	Rule 120 第 120 条	Officials of the Competition 競技会役員〔国内競技会〕
Rule 14 of the Competition Rules or CR14	Rule 121 第 121 条	Competition Director 競技会ディレクター
Rule 15 of the Competition Rules or CR15	Rule 122 第 122 条	Meeting Manager 総務
Rule 16 of the Competition Rules or CR16	Rule 123 第 123 条	Technical Manager 技術総務
Rule 17 of the Competition Rules or CR17	Rule 124 第 124 条	Event Presentation Manager イベント・プレゼンテーション・マネージャー
Rule 18 of the Competition Rules or CR18	Rule 125 第 125 条	Referees 審判長
Rule 19 of the Competition Rules or CR19	Rule 126 第 126 条	Judges 審判員
Rule 20 of the Competition Rules or CR20	Rule 127 第 127 条	Umpires (Running and Race Walking Events) 監察員 (競走、競歩種目)
Rule 21 of the Competition Rules or CR21	Rule 128 第 128 条	Timekeepers, Photo Finish Judges and Transponder Timing Judges 計時員、写真判定員とトランスポンダー係

Rule 22 of the Competition Rules or CR22	Rule 129 第 129 条	Start Coordinator, Starter, Recalls スタートコーディネーターとスターター およびリコーラー
Rule 23 of the Competition Rules or CR23	Rule 130 第 130 条	Starter's Assistants 出発係
Rule 24 of the Competition Rules or CR24	Rule 131 第 131 条	Lap Scorers 周回記録員
Rule 25 of the Competition Rules or CR25	Rule 132 第 132 条	Competition Secretary, Technical Information Centre (TIC) 記録・情報処理員、テクニカル・インフォメーション・センター (TIC)
Rule 26 of the Competition Rules or CR26	Rule 133 第 133 条	Marshal マーシャル
Rule 27 of the Competition Rules or CR27	Rule 134 第 134 条	Wind Gauge Operator 風力計測員
Rule 28 of the Competition Rules or CR28	Rule 135 第 135 条	Measurement Judge (Scientific) 計測員 (科学)
Rule 29 of the Competition Rules or CR29	Rule 136 第 136 条	Call Room Judges 競技者係
Rule 30 of the Competition Rules or CR30	Rule 137 第 137 条	Advertising Commissioner 広告コミッショナー
Rule 31 of the Competition Rules or CR31	Rule 260 第 260 条	World Records 世界記録
Rule 32 of the Competition Rules or CR32	Rule 261 第 261 条	Events for which World Records are Recognised 世界記録が公認される種目
Rule 33 of the Competition Rules or CR33	Rule 262 第 262 条	Events for which World U20 Records are Recognised U20 世界記録が公認される種目
Rule 34 of the Competition Rules or CR34	Rule 263 第 263 条	Events for which World Indoor Records are Recognised 室内世界記録として公認される種目
Rule 35 of the Competition Rules or CR35	Rule 264 第 264 条	Events for which World U20 Indoor Records are Recognised U20 室内世界記録が公認される種目
Rule 36 of the Competition Rules or CR36	Rule 265 第 265 条	Other Records その他の記録
〔国内〕 Rule 37 of the Competition Rules or CR37	第 266 条	日本記録と公認記録
〔国内〕 Rule 38 of the Competition Rules or CR38	第 138 条	アナウンサー
〔国内〕 Rule 39 of the Competition Rules or CR39	第 139 条	公式計測員

【Technical Rules : 競技規則】

新条文番号	従前条文番号	条文名
Rule 1 of the Technical Rules or TR1	Rule 100 第 100 条	General 総則
Rule 2 of the Technical Rules or TR2	Rule 140 第 140 条	The Athletics Facility 陸上競技場
Rule 3 of the Technical Rules or TR3	Rule 141 第 141 条	Age and Sex Categories 年齢と性別

Rule 4 of the Technical Rules or TR4	Rule 142 第 142 条	Entries 申し込み
Rule 5 of the Technical Rules or TR5	Rule 143 第 143 条	Clothing, Shoes, and Athlete Bibs 服装、競技用靴、アスリートビブス
Rule 6 of the Technical Rules or TR6	Rule 144 第 144 条	Assistance to Athletes 競技者に対する助力
Rule 7 of the Technical Rules or TR7	Rule 145 第 145 条	Effect of Disqualification 失格
Rule 8 of the Technical Rules or TR8	Rule 146 第 146 条	Protests and Appeals 抗議と上訴
Rule 9 of the Technical Rules or TR9	Rule 147 第 147 条	Mixed Competition 男女混合の競技
Rule 10 of the Technical Rules or TR10	Rule 148 第 148 条	Surveying and Measurements 測量と計測
Rule 11 of the Technical Rules or TR11	Rule 149 第 149 条	Validity of Performance 記録の有効性
Rule 12 of the Technical Rules or TR12	Rule 150 第 150 条	Video Recording ビデオ記録
Rule 13 of the Technical Rules or TR13	Rule 151 第 151 条	Scoring 得点
Rule 14 of the Technical Rules or TR14	Rule 160 第 160 条	Track Measurements トラックの計測
Rule 15 of the Technical Rules or TR15	Rule 161 第 161 条	Starting Blocks スターティング・ブロック
Rule 16 of the Technical Rules or TR16	Rule 162 第 162 条	The Start スタート
Rule 17 of the Technical Rules or TR17	Rule 163 第 163 条	The Race レース
Rule 18 of the Technical Rules or TR18	Rule 164 第 164 条	The Finish フィニッシュ
Rule 19 of the Technical Rules or TR19	Rule 165 第 165 条	Timing and Photo Finish 計時と写真判定
Rule 20 of the Technical Rules or TR20	Rule 166 第 166 条	Seedings, Draws and Qualifications in Track Events トラック競技におけるラウンドの通過
Rule 21 of the Technical Rules or TR21	Rule 167 第 167 条	Ties 同成績
Rule 22 of the Technical Rules or TR22	Rule 168 第 168 条	Hurdle Races ハードル競走
Rule 23 of the Technical Rules or TR23	Rule 169 第 169 条	Steeplechase Races 障害物競走
Rule 24 of the Technical Rules or TR24	Rule 170 第 170 条	Relay Races リレー競走
Rule 25 of the Technical Rules or TR25	Rule 180 第 180 条	General Conditions – Field Events 総則－フィールド競技
Rule 26 of the Technical Rules or TR26	Rule 181 第 181 条	General Conditions –Vertical Jumps 総則－垂直跳躍
Rule 27 of the Technical Rules or TR27	Rule 182 第 182 条	High Jump 走高跳
Rule 28 of the Technical Rules or TR28	Rule 183 第 183 条	Pole Vault 棒高跳

Rule 29 of the Technical Rules or TR29	Rule 184 第 184 条	General Conditions –Horizontal Jumps 総則－水平跳躍
Rule 30 of the Technical Rules or TR30	Rule 185 第 185 条	Long Jump 走幅跳
Rule 31 of the Technical Rules or TR31	Rule 186 第 186 条	Triple Jump 三段跳
Rule 32 of the Technical Rules or TR32	Rule 187 第 187 条	General Conditions –Throwing Events 総則－投てき種目
Rule 33 of the Technical Rules or TR33	Rule 188 第 188 条	Shot Put 砲丸投
Rule 34 of the Technical Rules or TR34	Rule 189 第 189 条	Discus Throw 円盤投
Rule 35 of the Technical Rules or TR35	Rule 190 第 190 条	Discus Cage 円盤投用囲い
Rule 36 of the Technical Rules or TR36	Rule 191 第 191 条	Hammer Throw ハンマー投
Rule 37 of the Technical Rules or TR37	Rule 192 第 192 条	Hammer Cage ハンマー投用囲い
Rule 38 of the Technical Rules or TR38	Rule 193 第 193 条	Javelin Throw やり投
Rule 39 of the Technical Rules or TR39	Rule 200 第 200 条	Combined Events Competitions 混成競技
Rule 40 of the Technical Rules or TR40	Rule 210 第 210 条	Applicability of Outdoor Rules to Indoor Competitions 屋外競技規則の室内競技への適用
Rule 41 of the Technical Rules or TR41	Rule 211 第 211 条	The Indoor Stadium 室内競技場
Rule 42 of the Technical Rules or TR42	Rule 212 第 212 条	The Straight Track 直走路（室内）
Rule 43 of the Technical Rules or TR43	Rule 213 第 213 条	The Oval Track and Lanes 周回トラックおよびレーン（室内）
Rule 44 of the Technical Rules or TR44	Rule 214 第 214 条	Start and Finish on the Oval Track 周回トラックのスタートおよびフィニッシュ（室内）
Rule 45 of the Technical Rules or TR45	Rule 215 第 215 条	Seedings, Draw for Lanes in Track Events トラック競技におけるレーンの抽選（室内）
Rule 46 of the Technical Rules or TR46	Rule 216 第 216 条	Clothing, Shoes and Athlete Bibs 服装、競技用靴、アスリートビブス（室内）
Rule 47 of the Technical Rules or TR47	Rule 217 第 217 条	Hurdle Races ハードル競走（室内）
Rule 48 of the Technical Rules or TR48	Rule 218 第 218 条	Relay Races リレー競走（室内）
Rule 49 of the Technical Rules or TR49	Rule 219 第 219 条	High Jump 走高跳（室内）
Rule 50 of the Technical Rules or TR50	Rule 220 第 220 条	Pole Vault 棒高跳（室内）
Rule 51 of the Technical Rules or TR51	Rule 221 第 221 条	Horizontal Jumps 長さの跳躍（室内）
Rule 52 of the Technical Rules or TR52	Rule 222 第 222 条	Shot Put 砲丸投（室内）

Rule 53 of the Technical Rules or TR53	Rule 223 第 223 条	Combined Events Competitions 混成競技（室内）
Rule 54 of the Technical Rules or TR54	Rule 230 第 230 条	Race Walking 競歩競技
Rule 55 of the Technical Rules or TR55	Rule 240 第 240 条	Road Races 道路競技
Rule 56 of the Technical Rules or TR56	Rule 250 第 250 条	Cross Country Races クロスカントリー競技
Rule 57 of the Technical Rules or TR57	Rule 251 第 251 条	Mountain and Trail Races マウンテンレースとトレイルレース

2021 年度 日本陸上競技連盟競技規則修改正（案）

競技運営委員会
2021.2.13

（太字：修改正、追加、挿入 修改正前：削除 修正前&修改正：移動）

【CR：競技会規則】

新番号	従前番号	修改正前	修改正
定義	§1	規則が適用される国際競技会	国際競技会定義【「定義」として別括り掲載】
CR8	§ 115	ITO s（国際技術委員）	ITO s（国際技術委員）と JTOs（日本陸連技術委員）
CR13	§120	競技会役員	競技会役員 〔国際〕 競技会の主催者および加盟団体は、競技会が開催される加盟団体の規則に従い、すべての競技役員を任命する。国際競技会定義 1.1、1.2、1.3 及び 1.6 の競技会の場合は、WA が定める規則および競技会が開催される加盟団体が定める規則および手順に従い、すべての役員を任命する。WA 規則に記載している競技役員リストは、主要国際競技会に必要と考えられる役員構成であり、主催者は地域の状況に応じてこれを変更してもよい。
CR16.1	§123	技術総務	技術総務 〔国内〕 4. 道路競技においては、コースの整備状況や設備、用器具の配置等が競技規則や競技会の技術的・組織的計画に従っていることを確認する。
CR18.5 グリーン	§125-5 グリーン	審判長	審判長 (7) リレー競技では、当該競技会のどのラウンドであっても、一人または複数のチームメンバーが受けたカードは、チームに対して示されたものとしてカウントする。このため、もし、リレーに出場している一人の選手がリレー競技の予選、決勝等のラウンドで 2 枚目のイエローカードを示されたのなら、当該リレー・チームはレッドカードを示されたことになり、失格となる。リレー競技で示されたカードは、リレー・チームに対してのみ効力があり、個別競技者単位としては無関係でこれをカウントしない。
CR23.2	§130-2	出発係 〔国内〕 800mを超えるレースではスタートラインに並べる。	出発係 〔国内〕 800mを超えるレースではスタートラインの後方約 1m のところに並べる。
CR25.4	§132-4	記録・情報処理員・TIC （略号表記：文章形式での表記）	記録・情報処理員・TIC （略号表記：一覧表形式での表記）
CR25.4 グリーン	§132-4 グリーン	記録・情報処理員・TIC …達成される。	記録・情報処理員・TIC …達成される。 ‘r’ は競技者が怪我によって競技継続ができない場合、あるいは競技者がそれ以上競技を行わないと決めた場合に使用することを想定している。競技者が、それ以上競技を行う必要がないというケースは走高跳や棒高跳でよくあるが、他の選手による競技が続いている際には、TR25.17 に規定されている試技時間に影響があることに留意する必要がある。競技をやめる者が出ることにより、競技を続行している競技者の人数が 3 人、2 人または 1 人と減り、適用する試技時間が変化する可能性があるためである。

			<p>試技放棄（離脱）は混成競技にも関連があり、その後に行なわれるトラック競技の組数にも影響を与える可能性がある。</p> <p>他のフィールド競技では、代替方法として、残り全ての試技の機会を「パス扱い（－）」とすることもできるが、競技者は後から気が変わることもあるので、「Y」を記載することにより当該競技者がその後の試技を行わないという意味表示をしたことを明確にするものである。</p> <p>CR6 の WA 解釈も参照のこと。</p>
CR28	§135	<p>計測員（科学）</p> <p>〔注意〕</p> <p>競技中に計測機器が正常に作動しているかを確認する必要がある場合、競技場所には検査済鋼鉄製巻尺を用意しておく。</p> <p>〔国内〕</p> <p>計測装置の動作確認には、JIS 規格1級認証品の鋼鉄製巻尺を使用する。</p>	<p>計測員（科学）</p> <p>〔注意〕</p> <p>計測機器の一連のチェックは当該機器を使用する次の競技が行われるまでの間に行う。競技中に正常に作動しないといった正当な理由がある場合には、競技中に計測機器のチェックを行うが、その際には通常は検査済鋼鉄製巻尺を使用せずにチェックを行う。</p> <p>〔注釈〕</p> <p>距離を測るチェックポイントにゴルフのティー等でマークしておき、速やかにチェックできるようにしておくことよい。</p> <p>〔国内〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計測装置の動作確認には、JIS 規格1級認証品の鋼鉄製巻尺を使用する。 2. 競技中に計測機器が正常に作動しているかを<u>確認する必要がある場合、競技場所には検査済鋼鉄製巻尺を用意しておく。</u>
CR31.3.5	§ 260-3 (e)	<p>競技種目終了後、本規則および The Anti-Doping Regulations に基づいて実施されるドーピング検査に検体を提出すること。提出された検体は WADA 認定分析機関に送られ、分析される。Athletics Integrity Unit に送り返された分析結果は、記録公認手続きのために競技規則として提出を求めるその他の情報に加えられる。検査の結果、ドーピング規程に違反していたことが判明した場合、またはドーピング検査が実施されなかった場合、記録は公認しない。</p>	<p>競技者が世界新記録または世界タイ記録を樹立したら、競技終了後直ちにドーピング検査を受けなければならない。Anti-Doping Regulations（ドーピング防止規則・Appendix5－5.4.4a）で認められている事由以外での遅延は認められない。世界記録の承認のためのドーピング検査は、アンチドーピング規則に従って厳密に実施され、検体は収集後速やかに WADA 認定分析機関に送られ、分析されなければならない。400m 以上種目では、世界記録を承認するために収集された検体は、赤血球生成刺激剤（ESA）について分析されなければならない。</p> <p>ドーピング検査に関連する文書（ドーピング管理フォームおよび対応する検査結果）は、入手次第、直ちに WA に送付するものとし、理想とすれば、記録申請の際に記載しなければならない世界記録申請書類一式と共に、競技開催日を含め 30 日以内に WA 事務局に発送されなければならない（CR31.6 参照）。ドーピング検査に関する書類は Athletics Integrity Unit において審査され、以下の場合には記録は公認しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ドーピング検査が実施されていない場合 b. ドーピング検査が競技規則またはアンチドーピング規則に従って実施されていない場合 c. ドーピング検査の検体が分析に適していない場合、または 400m 以上の競走競技で ESA の分析されていない場合 d. ドーピング検査によりアンチドーピング規則に違反していることが判明した場合
CR31.6	§ 260-6	<p>WA への公式申請書は 30 日以内に記入し、WA 事務局に送付されなければならない。</p>	<p>WA への公式申請書は 30 日以内に記入し、WA 事務局に送付されなければならない。外国人選</p>

			手または外国チームに関する申請書であれば、当該申請書のコピー当該外国人選手または外国チームの所属する加盟団体に対して、同じ期限内に送付されなければならない。
CR31.14.4 グリーン	§ 260-14 (d)		TR17.3 に違反したり、混成競技の個々の種目において TR39.8.3 で認められている不正スタート（1 回目の不正スタートの後の 2 回目以降のスタート）での記録は、世界記録としては公認されない。 (グリーン) TR31.14.4 のみを適用する場合は、TR17.4 に基づく例外は適用されないということを明確化する。
CR37	§266	日本記録と公認記録 国内記録のみが対象につき、〔国内〕第 266 条	日本記録と公認記録 国内記録のみが対象につき、〔国内〕CR37
CR38	§138	アナウンサー 国内のみの審判種別につき、〔国内〕第 138 条	アナウンサー 国内のみの審判種別につき、〔国内〕CR38
CR39	§139	公式計測員 国内のみの審判種別につき、〔国内〕第 139 条	公式計測員 国内のみの審判種別につき、〔国内〕CR39

【TR：競技規則】

新番号	従前番号	修正前	修正
TR4.3	§142-3	同時申込 競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技あるいは 2 種目以上のフィールド競技に参加する時には、審判長は 1 ラウンドに一度、走高跳および棒高跳で各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。もし、競技者がその後の特定の試技に不在の時、その試技時間が過ぎれば、パス扱いとなる。	同時申込 競技者が、同時にトラック競技とフィールド競技あるいは 2 種目以上のフィールド競技に出場している場合には、審判長は 1 ラウンドに一度、走高跳および棒高跳では各試技に一度、競技会に先立って決めた順序によらないで、その試技を許すことができる。もし、競技者がその後の試技を行うべき順序の際に不在の時、その試技時間が過ぎれば、パス扱いとなる。
TR4.3 グリーン	§142-3 グリーン	同時申込 …代替試技が与えられた場合には、通常では試技順の変更は行われない]。	同時申込 代替試技が与えられた場合には、通常では試技順の変更は行われない]。 TR4.3 と 26.2 において、高さを競う跳躍ではある高さを 1 回目または 2 回目の試技でクリアした場合には、同じ高さの 2 回目または 3 回目を跳躍することはできないとしているが、子供や学校の大会のように競技者のレベルが高くない場合には、同じ高さの 2 回目または 3 回目の試技を選択できるように規則を変更してもよい。
TR5.2	§143-2	競技用靴 競技者は、裸足でも、また片足あるいは両足に靴を履いて競技をしてもよい。競技の時靴を履く目的は、足の保護安定とグラウンドをしっかり踏みつけるためである。靴は、競技者に不公平となる助力や利益を与えるものであってはならない。 靴はどのようなものであっても、陸上競技の普遍的精神に合致し合理的かつ無理なく入手できるものでなくてはならない。 この要件を満たすため、2020年4月30日以降、靴はいかなるものであっても、当該競技会の少なくとも4か月前には店舗またはオンラインショップ等にて市販され、どの競技者でも購入が可能になっていなければ競技会では使用できない。この要件を満たさない靴はすべて試作品とみなされ、競技会では使用できない。	競技用靴 競技者は、裸足でも、また片足あるいは両足に靴を履いて競技をしてもよい。競技の時、靴を履く目的は、足の保護安定とグラウンドをしっかり踏みつけるためである。靴は、競技者に不公平となる助力や利益を与えるものであってはならない。靴はどのようなものであっても、陸上競技の普遍的精神に合致し合理的かつ無理なく入手できるものでなくてはならない。この要件を満たすため、2020年1月31日以降に新たに販売された靴には移行に関する規則（〔注意〕 ii）も適用される。2021年8月9日以降に販売された靴はいかなるものであっても、〔注意〕 ii (a)で示されている the Athletic Shoe Availability Scheme で入手可能でなければ、競技会では使用できない。 Development Shoe（開発段階の試作シューズ・後記(㊦参照) または同様の靴の使用について

TR5.2.1	(a)	<p>本項に定められた基準を満たす靴を医療上の理由や芸術的な観点から、個々の競技者に合わせて改良することは認められる。個々の競技者の足や要望に合わせて作られた靴は認められない。</p>	<p>は、移行に関する規則（〔注意〕 ii）の要件を満たすこと。</p> <p>TR5 に定められた基準を満たす靴を、個々の競技者の足の特徴に合わせて改良することは認められる。しかしながら、個々の競技者の足や要望に合わせた、唯一無二のものとしてオーダーメイドされた靴（既製品とは異なり、他に存在しないもの）は認められない。</p>
TR5.2.2	(b)	<p>WA はある種の靴または特定の技術が競技規則とその精神に反している可能性があると考えられる理由がある場合、詳細な調査のために靴または技術について問い合わせることができ、調査結果が判明するまではそのような靴または技術の使用を禁止することができる。</p> <p>〔注意〕 競技者がそれまでに国際競技会で使用したことのない靴を履くことを検討する場合、国際競技会の少なくとも4か月前に、競技者（またはその代理人）は WA に対して、当該靴の仕様（サイズ、寸法、靴底厚、構造など）、使用する新しい靴を何らかの方法で改良しているかどうか、新しい靴の店舗またはオンラインショップでの市販状況等入手可能性に関する情報を提供しなければならない。この情報を確認した後、WA はさらに調査するために、靴のサンプルを製造元から提出するよう求めることができる。靴のさらなる調査が必要な場合、WA は合理的な努力を尽くして、可能な限り早く検査を完了する（可能であれば、WA が靴を受け取ってから30日以内）。</p>	<p>WA はある種の靴または特定の技術が競技規則とその精神に反している可能性があると考えられる理由がある場合、詳細な調査のために靴または技術について問い合わせることができ、調査結果が判明するまではそのような靴または当該靴に用いられている技術の使用を禁止することができる。</p> <p>〔注意〕</p> <p>i 競技者がそれまでに国際競技会で使用したことのない靴を履くことを企図する場合、国際競技会の少なくとも4か月前に、競技者（またはその代理人）は、WA に対して当該靴の仕様（サイズ、寸法、靴底厚、構造など）、使用する新しい靴を何らかの方法で改良しているかどうか、新しい靴の店舗またはオンラインショップでの市販の状況等入手可能性に関する情報を提供しなければならない。この情報を確認した後、WA はさらに調査するために、靴のサンプルを製造元から提出するよう求めることができる。靴のさらなる調査が必要な場合、WA は合理的な努力を尽くして、可能な限り早く検査を完了する（可能であれば、WA が靴を受け取ってから30日以内とする）。</p> <p>ii 2020年1月31日から2021年8月8日までを移行期間とする。この〔注意〕iiは、2020年7月15日、WA カウンシルが「競技用靴に関するワーキンググループ (a Working Group on Athletic Shoes)」を設置し、靴製造メーカーと協力して検討し、2020年末までに TR5 を靴に適用することを承認したことから設けられた。</p> <p>次の注記(a)～(t)は、2021年8月8日までのすべての靴（特に明記されていない限り、ロード競技、クロスカントリー競技、トラック競技、フィールド競技で着用する靴とする）に対してこの TR5 を実際に適用するにあたり、すべての利害関係者のガイドラインとする。靴について規定している TR5 は、国際大会および加盟団体が認可した、当該規則や規定を適用することを決めた大会に適用する。</p> <p>(a) 2020年1月31日以降に販売され、2020年7月28日の時点で TR5.13 の要件を満たすことが WA によって既に確認されている新しい靴は、すぐに使用することができる（「承認済靴」）。</p> <p>2020年7月28日以降、WA が書面で特別に定めない限り、後記(n)から(r)にあるように、新しいロードシューズは the Athletic Shoe Availability Scheme を通じて入手可能になっていなければならない。開発段階の試作シューズまたは同様の靴の使用については、後</p>

		<p>記(f)～(t)に記載している。</p> <p>(b) 2020年7月28日以降、エリート競技者が新しい靴の着用を企図した場合、その競技者（またはその代理人）は、当該靴の仕様（サイズ、寸法、靴底厚、構造など）、新しい靴を何らかの方法で改良しているかどうか、開発段階の試作シューズまたは同様の靴として使用することを意図しているかどうかの情報をWAに提出しなければならない。</p> <p>この情報を確認した後、WAは、さらに調査するために新しい靴のサンプルを靴製造メーカーから提出するよう求めることができる。靴の更なる調査が必要となった場合、WAは、合理的な努力を尽くして、可能な限り早く検査を完了する（可能であれば、WAが新しい靴を受け取ってから30日以内とする）。</p> <p>靴は使用する前に、TR5.13の要件を満たしていることをWAによって承認されていなければならない。</p> <p>(c) 2020年7月28日以降、エリート競技者が指定国際競技会で新しいロードシューズの着用を企図した場合、後記(f)～(r)に記載された開発段階の試作シューズまたは同様の靴を除き、上記(b)に従って当該靴の使用が承認されていれば、その競技者（またはその代理人）は、靴製造メーカーによって新しい靴が the Athletic Shoe Availability Scheme で利用できるようになっていることが確認できる情報を、WAに提出しなければならない。</p> <p>(d) 上記(b)および(c)を適用することを条件として、2020年7月28日以降に発売された新しい靴は着用できるが、ロードシューズの場合は the Athletic Shoe Availability Scheme の適用対象となる。また、開発段階の試作シューズまたは他の同様のタイプの靴については、後記(f)～(t)が適用される。</p> <p>(e) TR5.2の冒頭の段落、TR5.2.1、5.3、5.4、5.6 および 5.13 は、この注記で説明されている移行期間のみ適用される。</p> <p>(f) 「開発段階の試作シューズ」とは、購入可能になる前段階の安全性や性能などに問題がある靴を意味する。購入できるようになる前にスポーツ用品メーカーが市場に投入するために開発中で、靴のテストを行うことに同意している当該メーカーが後援している競技者とテストを行っている靴である。</p> <p>(g) 開発段階の試作シューズは、ワールド・アスレティック・シリーズおよびオリンピックで着用することは認められない。</p> <p>(h) 開発段階の試作シューズは、購入可能である必要はなく、the Athletic Shoe Availability Scheme で利用できる必要はない。但し、初めて着用される前に以下の条件を満たす必要がある。</p> <p>i. 競技者（またはその代理人）は、上記(h)に従って靴の仕様書をWAに提出し、WAから要求された場合は、必要に応じて靴を切断することを含む、さらなる検査のために開発段階の試作シューズのサンプルを提出しなければならない。</p> <p>ii. スポーツ用品メーカーが開発段階の試作シューズの最終バージョンを購入可能となる</p>
--	--	--

		<p>予定の最終期日を確定している。ロードシューズについては、the Athletic Shoe Availability Scheme の要件を満たしていなければならない。</p> <p>iii. 上記(h) ii. で言及している期日は、開発段階の試作シューズを初めて着用してから 12 か月以内でなければならない。開発段階の試作シューズは、この期間内でしか着用できない。</p> <p>iv. 競技者（またはその代理人）は、12 か月以内に開発段階の試作シューズを着用することを企図している最初およびその後のすべて競技会の日付及び競技会名を含むリストを WA に提出する。競技者（またはその代理人）は、当該リストに変更があった場合は WA に通知しなければならない。</p> <p>v. 競技者（またはその代理人）は、開発段階の試作シューズが TR5 の要件を満たし競技で使用するのを、事前に書面によって WA から承認を受けていなければならない。</p> <p>(i) すべての規則や規程（TR5 およびこれらの注記を含む）を順守していることを条件として、開発段階の試作シューズを履いた競技者によって達成された記録は有効とする。当該靴を使用した競技終了後、WA から要求された場合は必要に応じて靴を切断することを含む、さらなる検査のために開発段階の試作シューズのサンプルを提出しなければならない。</p> <p>(j) WA は、開発段階の試作シューズの着用可能開始日と承認の有効期限を記載した、承認済み開発段階の試作シューズのリストを Web サイトで随時公開する。スポーツ用品メーカーに属する技術情報や専有情報は公開されない。</p> <p>(k) 上記 (h) iii. で指定された有効期限が過ぎるか期限までに開発段階の試作シューズの使用を終了した場合、当該靴は開発段階の試作シューズとしての資格を失い、着用することはできない。当該靴は有効期限後に承認済みリストから削除されるか、使用中止日以降は着用できなくなるが、すべての規則や規程（TR5 およびこれらの注記を含む）を順守していることを条件として、開発段階の試作シューズを着用した競技者によって達成された記録は引き続き有効とする。</p> <p>(l) スポーツ用品メーカーが</p> <p>i. 開発段階の試作シューズの開発を継続せず、その後購入可能になることもなく、the Athletic Shoe Availability Scheme の要件を満たさない場合には、WA は当該靴の開発中止に関する詳細情報をスポーツ用品メーカーに要求する権利を留保する。</p> <p>ii. 開発段階の試作シューズがパフォーマンステストや安全性テストに合格するなどして最終バージョンの作成に進むには、WA から開発段階の試作シューズが新しい靴として認められ、書面による承認を受ける必要がある。開発段階の試作シューズは、TR5 に定められた要件を満たし、新しい靴の場合は、上記(g)～(i)に記載されている the Athletic Shoe Availability Scheme に関する追加要件を満たす必要がある。</p>
--	--	---

		<p>(m) WA は、競技者やスポーツ用品メーカーが開発段階の試作シューズに関する条文または精神に反して行動していることを確認した場合、以下を含み、これに限定されない措置を講じる権利を留保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> i. スポーツ用品メーカーに既に与えている開発段階の試作シューズの承認を取り消す。 ii. 承認済みリストから承認済みの他の開発段階の試作シューズを削除する。 iii. 以降の、スポーツ用品メーカーによる競技者が開発段階の試作シューズの着用することの承認申請を合理的な期間保留する。 <p>(n) The Athletic Shoe Availability Scheme は、指定国際競技会に参加する競技者が競技用靴を確実に購入できるようにすることを目的とする。現在のスキーム（枠組み）で取り扱う靴は、ロードシューズに特化している。できるだけ多くの競技者が靴を受け取る機会を得るために、特定のワールド・アスレティックス・シリーズまたはオリンピックにソリダリティ枠や招待枠で出場する競技者に対して靴を提供する、別の solidarity scheme を確立する予定である。</p> <p>(o) The Athletic Shoe Availability Scheme は以下のように定義する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「購入可能」とは、スポーツ用品メーカーが独自に決めた、スポーツ用品メーカーの販売チャネルを通じて競技者が靴を購入できること。販売チャネルには、小売（実店舗）、ブランドの Web サイトまたはアプリ、および e コマースが含まれる。 ・「オーダーメイドの靴」とは、1 人特定の競技者のために特別にオーダーメイドされた靴（即ち、その種類の靴のみ）であり、他の者は購入が不可能な靴のこと。 ・「カスタマイズされた靴」とは、購入可能な既存の小売されている靴または新しい靴で、TR5.2.1 に従って特定の競技者の足の特性に合うようにカスタマイズされた靴のこと。カスタマイズによって TR5 で定める技術的要件の範囲外になることはない。 ・「指定国際競技会」とは、世界陸上競技選手権、世界陸上ハーフマラソン選手権（世界陸上ロードランニング世界選手権）、オリンピック、世界陸上プラチナラベルロードレースのこと。 ・「既存の小売靴」とは、TR5 の要件を満たしている、または満たしていると見なされ、購入可能である、または購入可能であった靴のこと。 ・「新しい靴」とは、TR5 の要件を満たし、指定国際競技会でスポーツ用品メーカーが支援または後援する競技者が初めて着用する靴であり、開発段階の試作シューズではない靴のこと。（上記(f)）。 <p>(p) 競技者が指定国際競技会で新しい靴（ロードシューズのみ）の着用を企図する場合、新しい靴（ロードシューズ）は、着用を企図している指定国際競技会が開催される初日の 1 か月前までに購入可能となっていなければならない。購入可能であるとは、新しい靴（ロードシューズ）の在庫（各種サイズを含む）や製造スケジュールも考慮される。新しい靴（ロードシュー</p>
--	--	--

			<p>ズ) が売り切れの場合、新しい靴 (ロードシューズ) の購入を希望する競技者は、新しい靴の再入庫を待つか、購入可能な代替の新しい靴を購入することができる。</p> <p>(q) 上記(c)に従い競技者(またはその代理人)は、新しい靴 (ロードシューズ) が購入できる場所と購入方法を WA に通知しなければならない。WA はこの情報を加盟団体と競技者に配布するか公開する。WA は競技者(またはその代理人) に対し、書面による要求に応じて、新しい靴 (ロードシューズ) が購入可能であるとの根拠をスポーツ用品メーカーから提出するように求めることができる。スポーツ用品メーカーがその求めに対応できない場合、WA はスポーツ用品メーカーが新しい靴 (ロードシューズ) が購入可能であることを示す要求した根拠を提出するまで、新しい靴 (ロードシューズ) の承認を取消す。</p> <p>(r) カスタマイズされた靴は TR5.2.1 に従って承認されたものであり、「ベースとなる小売されている靴のモデルが購入可能」という定義から、当該靴が購入可能である必要はなく、the Availability Scheme の対象にする必要もない。上記(b)にあるように、靴をカスタマイズする計画がある場合、WA に対しカスタマイズの仕様書と、更なる調査のために靴を提出する必要がある。</p> <p>(s) TR5.2.1 に従い、オーダーメイドの靴またはその他同様の種類の靴の着用は認めない。</p> <p>(t) 規則および規程に従い、WA は結果を「未認定」(「UNC TR5.5」)として分類するか、TR5 に違反した場合に競技者の記録を無効と宣言する権利を留保する。</p>
TR5.3	§143-3	<p>スパイクの数</p> <p>競技用靴の靴底および踵は、11 本以内のスパイクを取りつけられる構造とする。11 本以内であればスパイクは何本でもよい。</p>	<p>スパイクの数</p> <p>競技用靴の靴底 (踵の下靴底を含む) は、11 本以内のスパイクを取りつけられる構造とする。11 本以内であればスパイクは何本でもよい。</p>
TR5.4	§143-4	<p>スパイクの寸法</p> <p>…もしくは競技場管理者がより小さい寸法の上限を設けている場合は、これを適用する。</p>	<p>スパイクの寸法</p> <p>…もしくは競技場管理者がより小さい寸法の上限を設けている場合や特定の形状のスパイクの使用を認めていない場合は、これを適用する。</p>
TR5.5	§143-5	<p>靴底と踵</p> <p>靴底または踵には、うね、ぎざぎざ、突起物などがあってもよいが、これらは、靴底本体と同一もしくは類似の材料で作られている場合に限る。</p> <p>走高跳と走幅跳における靴底の厚さは13mm以内、走高跳の踵の厚さは10mm以内でなければならない。本条13項により、その他の種目における靴底と踵はどのような厚さでもさしつかえない。</p>	<p>靴底と踵</p> <p>靴底 (踵の下靴底を含む) には、うね、ぎざぎざ、突起物などがあってもよいが、これらは、靴底本体と同一もしくは類似の材料で作られている場合に限る。靴底の最大の厚さは TR5.13 に定める。</p>
TR5.5 [注意]	§143-5 [注意]	<p>iii 本条で規定している靴底の最大厚は、標準的な事例としてユニセックスサイズ42 (EUR) (=26.0cm) の靴底の厚さに基づいている。</p>	<p>iii 本条で規定している靴底の最大厚は、標準的な事例としてユニセックスサイズ 42 (EUR) (=26.5~27.0cm) の靴底の厚さに基づいている。</p>

TR5.10	§143-10	<p>アスリートビブス 〔国内〕</p> <p>ii. アスリートビブス（ビブス）の大きさは、横 24 cm 以内×縦 20 cm 以内とし、数字の大きさは縦最低 6 cm～最高 10 cm とする。腰ナンバー標識は 18 cm×12 cm を標準とする。</p> <p>iii. アスリートビブス（ビブス）上部の広告（スポンサー名）は、縦 6 cm 以内、横 24 cm 以内とする。</p> <p>iv. アスリートビブス（ビブス）の広告は、男女別に分けることができる。</p> <p>v. アスリートビブス（ビブス）の下部の大会名は、縦 4 cm 以内とする。</p>	<p>アスリートビブス 〔国内〕</p> <p>ii. アスリートビブス（ビブス）の大きさは、横 24 cm 以内×縦 16 cm 以内とし、個人を識別する文字や数字等の大きさは縦最低 6 cm～最高 10 cm とする。腰ナンバー標識は 18 cm×12 cm を標準とする。</p> <p>〔注意〕 競技会毎にビブスを作成する場合は、2021 年 4 月から新規格のものを使用する。但し、以下のような場合は 2023 年 3 月末まで旧規格（横 24 cm 以内×縦 20 cm 以内）の使用は可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連・高体連等で 3 年間、同一番号のビブスを使用している場合、在校生（2021 年 4 月から 2 年生以上）の卒業まで（最長 2 年間）。 ・2021 年 4 月からの 1 年生は新規格のビブスを使用する。 ・加盟団体に大量に旧規格の在庫がある場合。 <p>iii. アスリートビブス（ビブス）上部の広告（スポンサー名）は、縦 6 cm 以内、横 24 cm 以内とする。</p> <p>iv. アスリートビブス（ビブス）の広告は、男女別および種目別に分けることができる。</p> <p>v. アスリートビブス（ビブス）の下部の大会名等は、縦 4 cm 以内とする。</p>
TR5.13	§143-13	<p>猶予</p> <p>WA による書面での追加通知があるまで、競技会で使用される靴は</p>	<p>猶予</p> <p>WA による書面での追加通知があるまで、競技会で使用される靴は</p>
TR5.13.1	(a)	<p>本項 (b) が遵守され、靴の全長または靴の長さの一部のみかどうにかかわらず、炭素繊維または同様の特性を持つ、または同様の効果をもたらす別の材料で作られた複数の剛性プレートまたはブレードを含んではならない。</p>	<p>TR5.13.2 が遵守される場合を除き、靴の全長または靴の長さの一部のみかどうにかかわらず、炭素繊維または同様の特性を持つ、または同様の効果をもたらす別の材料で作られた複数の剛性プレートまたはブレードを含んではならない。</p>
TR5.13.2	(b)	<p>スパイクを靴の外側下面に取り付ける場合にのみ、1 つの剛性プレートまたは他の機構を追加することができる。</p>	<p>スパイクを靴の外側下面に取り付ける場合にのみ、1 つの剛性プレートまたは他の機構を追加することができる。</p>
TR5.13.3	(c)	<p>靴底は最大厚さ 40mm 以下でなければならない（スパイクを含む靴は、靴底の厚さは最大 30mm 以下でなければならない）。</p> <p>〔注意〕</p> <p>i. 靴底の厚さの測定については本条5項参照。</p> <p>ii. 本項 1 号の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく（例：個々のパーツは互いに上に積み重ねない）、1 つの平面に連続して配置しなければならない。</p>	<p>靴底の最大の厚さは、以下の表に記載されたものでなければならない。（表は別添）</p> <p>〔注意〕</p> <p>i. TR5.13.1 の「1 つの剛性プレートまたはブレード」は、複数のパーツで構成される場合があるが、それらのパーツは、平行ではなく、1 つの平面に連続して配置しなければならない（例：個々のパーツは互いに上に積み重ねない）。</p>
TR6.3	§ 144-3	<p>競技者に対する助力</p> <p>この規則の目的から下記については、助力とみなし許可しない。</p>	<p>競技者に対する助力</p> <p>この規則の目的から下記のような場合は、助力とみなし許可しない。</p>
TR6.3.3	(c)	<p>第 143 条で認められた靴を除き、本規則で規定された用具では達成できない有利さを使用者に提供する装置の使用。</p>	<p>TR5 に準拠する靴を除き、本規則で指定された、あるいは認められた機器を使用して得ることができると考えられる効果以上の利益を使用者に提供する技術や装置を使用すること。</p>
TR6.3.4	§ 144-3 (d)	<p>何らかの機械的補助を利用すること。ただし、そうした補助を使用していない他の競技者よ</p>	<p>何らかの機械的補助を利用すること。ただし、そうした補助を使用していない他の競技者よりも</p>

		りも有利にならないことを、その競技者が必然性のある理由で説明できる場合を除く。	有利にならないことを、合理的に疑いなく説明できる場合を除く。
TR6.4	§ 144-4	競技者に対する助力 この規則の目的から下記については、助力とはみなさず許可する。	競技者に対する助力 この規則の目的から下記の場合は、助力とはみなさず許可する。
TR6.4.8	(h)	電子掲示や類似の器具による、関連する記録も含めた競技の経過時間の提示。	電子ライトや類似の器具による、レースの進行時間や関連する記録の提示。
TR11.3 グリーン	§ 149-3	WA は、競技者が混成競技で参加標準記録を達成したかどうかを決定する目的を例外として決定した。風速が測定される種目において…	WA は競技者が混成競技で参加標準記録を達成したかどうかを判断することのみを目的として、以下を例外的に決めている。 風速が測定される種目において…
TR17.5 グリーン	§ 163-5 グリーン		800m競走および該当するリレー種目で使用するブレイクラインのマーカーは 50 mm×50 mm で高さ 150 mm 以下でなければならない。 CR25.4 で失格の理由を明確にするために、以下のように記載する。 (a) 競技者が TR17.3 に違反し、ラインの上や内側を踏んだ。 (b) 競技者が TR17.5 に違反し、ブレイクラインの手前やグループスタートで決められた位置の手前で内側を走った。
TR19.8	§ 165-8	各レースの第 1 着の時間および記録のために計時すべき他の競技者の時間は、3 人の任命された計時員（そのうち 1 人は計時員主任）と 1～2 人の予備に任命された計時員が計時する。（混成競技では第 200 条 8(b)参照）予備計時員の時間は、1～2 人の任命された計時員が適切な計時に失敗した場合に事前に決めた順序によって採用され、いつの場合でも 3 個の時計で時間を記録する。	各レースの 1 着ならびに記録のために計時すべき他の競技者の時間は、3 人の任命された計時員（そのうち 1 人は計時員主任）と 1～2 人の予備に任命された計時員（予備計時員）が計時する。（混成競技については TR39.8.2 参照）。予備計時員によって記録された時間は、1～2 人の任命された計時員が適切な計時に失敗した場合にのみ、事前に決めた順序により採用される。どのような場合でも 1 着の時間は 3 個の時計で記録する。
TR19.24.5	§ 165-24 (e)	トランスポンダーシステム [注意] 公式の時間は信号器のスタート合図（または同期したスタート信号）から競技者がフィニッシュラインに到達するまでの時間である。ただし、非公認ではあるが、競技者がスタートラインを通過してからフィニッシュラインに到達するまでの時間を知らせることができる。	トランスポンダーシステム [注意] 公式の時間は信号器のスタート合図（または同期したスタート信号）から競技者がフィニッシュラインに到達するまでの時間（グロスタイム）である。ただし、非公認ではあるが、競技者がスタートラインを通過してからフィニッシュラインに到達するまでの時間（ネットタイム）を知らせてもよい。 [注釈] 大会主催者はネットタイムを参加標準記録の資格記録として扱ったり、エリートカテゴリーの競技者を除くランナーの順位付け等に活用してもよい。
TR22.6 グリーン	§ 168-6 グリーン	…リード脚と抜き脚の両方に適用される。 ハードルを蹴り倒しても、そのことだけでは失格とはならない。多くの競技者は、後足を抜くときにバーの上部に当たってハードルを倒している。意図的にハードルをノックダウンする（例えば、競技者がハードルに近づきすぎたとき）と違反となる。審判長は、各競技者がすべてのハードルを越えなくてはならない（go over）と定める規則第 168 条 7 の重要な要件を逸脱し、競技者の行為は、ハードルを意図的に倒したという事実に同意しなければならない。最も明白な意図的に倒したといえる例は、競技者が手を使っている場合である。他の例では、足や太腿の裏が意図的に使われているように見える場合、審判長は、そうした行為が意図的	…リード脚と抜き脚の両方に適用される。 ハードルを蹴り倒しても、そのことだけでは失格とはならない。以前の「故意にハードルを倒す」という規則は削除された。TR22.6.2 では審判長によって考慮される、より客観的な要素に変更された。わかりやすい事例として、競技者が「手を使う」といっても、ハードルを駆け抜ける際に胸のそばに手があるということもある。また、「振り上げ脚の上側」は膝だけでなく、振り上げ脚の前側を意味している。 注意との関連では、…

		であり、規則の意図に違反しているという、強い確信を持たなければならない。競技者がハードルをクリアする際に十分な高まで抜き足を上げず、その結果として蹴り倒してしまう例は、意図的と判断されることがある。 注意との関連では、…	
TR23.2	§ 169-2	障害物競走 3,000m競走は、障害物を 28 回と水濠を 7 回越えなければならない。また 2,000m競走では、障害物を 18 回と水濠を 5 回越えなければならない。	障害物競走 3,000m競走は、障害物を 28 回と水濠を 7 回越えなければならない。スタートラインから最初の 1 周に入るまでの間には、障害物を置かない。競技者が最初の 1 周に入るまでにあるその他の周で使用される障害物は、その間移動しておく。
TR23.3	§ 169-3	障害物競走 障害物競走では、フィニッシュラインを初めて通過してから各周に 5 個の障害物があり、その 4 番目に水濠を越す。障害物は均等距離に置く方が良い。すなわち障害物間の距離は、1 周の長さの約 5 分の 1 とする。 〔注意〕 ±WA 陸上競技施設マニュアルに示すように、フィニッシュラインの前後で安全のために十分なだけ障害物やスタートラインからの距離や次の障害物までの距離を確保するため、障害物の間隔の調整が必要な場合がある。 ii 2,000m競走で、トラックの内側に水濠がある場合、5 個の障害物すべてが設置された周回は、スタート後フィニッシュラインを 2 回通過した第 2 周目からとする。 〔国内〕 1. 2,000m競走では、水濠は 1 周目の 2 番目の障害物とし、つぎの周からは 4 番目の障害物とするのがよい。 2. トラックの内または外側の地域に水濠を設置することによって、1 周の距離を延ばしたり縮めたりすることができる。1 周の正確な長さを定めたり、水濠の位置を正確には明記できない。 3. 3,000m競走では、競技者が混雑しないようにスタートラインから最初の障害物まで 70m 以上とする。9 レーンのトラックで水濠がトラックの外側に設置されている競技場においては、この距離を確保するためスタートラインから最初の障害物までを 70m とし、全競技者が第 1 障害物を通過した後、この障害物を等間隔の位置に置き換える。	障害物競走 障害物競走では、フィニッシュラインを初めて通過してから各周に 5 個の障害物があり、その 4 番目に水濠を越す。障害物は均等距離に置く方が良い。すなわち障害物間の距離は、1 周の長さの約 5 分の 1 とする。 〔注意〕 WA 陸上競技施設マニュアルに示すように、フィニッシュラインの前後で安全のために十分なだけ障害物やスタートラインからの距離や次の障害物までの距離を確保するため、障害物の間隔の調整が必要な場合がある。 〔国内〕 1. トラックの内または外側の地域に水濠を設置することによって、1 周の距離を延ばしたり縮めたりすることができる。1 周の正確な長さを定めたり、水濠の位置を正確には明記できない。 2. 3,000m競走では、競技者が混雑しないようにスタートラインから最初の障害物まで 70m 以上とする。9 レーンのトラックで水濠がトラックの外側に設置されている競技場においては、この距離を確保するためスタートラインから最初の障害物までを 70m とし、全競技者が第 1 障害物を通過した後、この障害物を等間隔の位置に置き換える。
TR23.4	§ 169-4	障害物競走	障害物競走 2,000m競走は、障害物を 18 回と水濠を 5 回越えなければならない。最初の障害物は、周回の 3 番目の障害物の位置とする。それよりも手前にある障害物は、最初に競技者が通過するまでは設置しない。 〔注意〕 2,000m競走で、トラックの内側に水濠がある場合、5 個の障害物すべてが設置された周回は、スタート後フィニッシュラインを 2 回通過した第 2 周目からとする。 〔国内〕 2,000m競走では、水濠は 1 周目の 2 番目の障害物とし、つぎの周からは 4 番目の障害物とするのがよい。

TR23.7 TR23.7.1	§ 169-7 (a)	障害物競走 …、次のことをすると失格となる。 水濠の外側に着地したとき	障害物競走 …次のことをすると失格となる。 水濠のある場所で、水濠以外の地面を踏んだとき（水濠の右側・左側を問わない）
TR24.7	§ 170-7	リレー競走 …、競技者の身体の位置ではない。	リレー競走 …、競技者の身体の位置ではない。 テイク・オーバー・ゾーン外でのバトンの受け渡しは、失格となる。
TR24.8	§ 170-8	リレー競走 …適用されない。 但し、自分のレーンの外を走ったり、外で立ち止まったりすることによって、バトンを渡し終えた競技者が、 <u>自分の位置やレーンの外を走ること</u> で故意に他のチームの競技者を妨害したときは、第 163 条 2 が適用される。	リレー競走 …適用されない。 但し、自分のレーンの外を走ったり、外で立ち止まったりすることによって、バトンを渡し終えた競技者が他のチームの競技者を妨害したときは、TR17.2 が適用される。
TR24.22 (新規)	—	リレー競技	リレー競技 この規則によらないでリレー競走を行う場合には、関連する各種規則や適用方法を決めなければならない。
TR25.3.2	§ 180-3 (b)	マーカー サークルから行う投てき競技ではマーカーを 1 個だけ使用することができる。このマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くことができる。マーカーは…	マーカー サークルから行う投てき競技ではマーカーを 1 個だけ使用することができる。このマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くことができるが、 <u>線上や着地場所に置くことはできない</u> 。マーカーは…
TR25.6 グリーン	§ 180-6	試技順と試技	試技順と試技 競技者が自分の意思により、あるいは CR6 により競技を途中で止めた場合、当該競技者はその競技のその後の試技を行うことはできない。 例えば高さを競う跳躍競技での 1 位決定のためのジャンプオフや、混成競技でのそれ以降の種目には出場できない。
TR28.2 グリーン	§ 183-2	棒高跳	棒高跳 (e) 競技者が試技を行った後、その試技が成功失敗に関わらず、ボックスの位置に戻り、ポールをボックスの中に差し込んで跳躍する際の自分の位置をチェックするという習慣がある。この行為は TR25.8 に従い、次の競技者が試技を開始するまでに行うか、競技の実施を遅らせない限り許される。
TR29.3 TR30.1 他	§ 184-3 § 185-1 他	踏切板 走幅跳（三段跳び） 粘土板角度・ビデオ判定 無効試技の定義 適用時期 〔国際〕 2020.11.1～ 〔国内〕 2021. 4. 1～	踏切板 走幅跳（三段跳び） 粘土板角度・ビデオ判定 無効試技の定義 適用時期 〔国際〕 2021.11.1～ 〔国内〕 2022. 4. 1～
TR30.1 (a)	§ 185-1 (a)	〔国際〕 2020.11.1～ 〔国内〕 2021. 4. 1～ 競技者が踏切を行う際、跳躍しないで走り抜ける中で、あるいは跳躍の動きの中で、身体のどこかが踏切線の先の地面（粘土板を含む）に触れた時。	〔国際〕 2021.11.1～ 〔国内〕 2022. 4. 1～ 競技者が踏切る際、跳躍しないで走り抜けた後、あるいは跳躍の動きの中で踏切足または踏切足の靴のどこかが、踏切板または地面から離れる前に踏切線の垂直面より前に出た時。
TR34.1	§ 189.1	円盤投 円盤の胴体は、…金属板なしで円盤をつくってよい。縁の円弧の始まるところから、円盤の中心より 25 mm～28.5 mm の円周にいたる円盤の両面は直線で傾斜させる。 円盤の断面は、…	円盤投 円盤の胴体は、…金属板なしで円盤をつくってよい。円盤の両面は同一であり、くぼみや突起がなく、縁が鋭利なものであってはならない。縁の円弧の始まるところから、円盤の中心より 25 mm～28.5 mm の円周にいたる円盤の両面は直線で傾斜させる。 円盤の断面は、…

TR35.4 TR37.5	§ 190-4 § 192-5	円盤投囲い ハンマー投囲い …。網目の大きさは鋼製ワイヤーの場合は 50 mm、紐でつくられた場合は 44 mm とする。	円盤投囲い ハンマー投囲い …。網目の大きさは鋼製ワイヤーの場合は 50 mm、紐でつくられた場合は 44 mm ([国際] 最大 45 mm) とする。
TR39.8.5	§ 200-8	混成競技	混成競技 混成競技での試技順や最終種目のレーン順は、技術代表または混成審判長が望ましいと判断した場合には、変更することができる。それ以外の種目の試技順やレーン順は抽選により決める。

上記以外に、

- ・項番付記体系を WA 新体系にあわせて変更（並び替え）した箇所あり。
- ・国際適用と国内適用が判別しやすいように、これまでの内容は変えずに表記を〔国際〕〔国内〕で別立て表記にした箇所あり。それに伴い、記載場所を同一条文番号内で前後に動かした箇所あり。
- ・グリーンテキストについては、より分かりやすい文章に再翻訳した箇所あり。英文から既に削除されているものは日本語でも削除。

TR5.13.3 表

種目	靴底の最大の厚さ (TR5.5、TR 5.13.3)	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25mm	
道路競技（競走、競歩）	40mm	
マウンテンレースとトレイルレース (TR57)	制限なし	

以 上

加盟団体・協力団体 公認競技会申請担当者

公認競技会申請書の記載方法と送付について

2021年度分申請は、昨年までと同様に本連盟が定める所定書式でご提出ください。

陸連ホームページには、各都道府県市区町村において行われる「すべての公認競技会」を掲載するものといたします。追加・変更・訂正等も同じ要領で申請していただき、順次陸連ホームページに掲載いたします。

申請のない競技会は、公認競技会となりませんのでご承知置ください。また、申請されても、期日や会場等が未定のままでは、公認競技会とはなりませんので、必ず開催前に訂正の申請を行なってください。

1. 2021年度開催される公認競技会について（様式1）

2021年度において開催されるすべての公認競技会を申請してください。

- (1) 新規の競技会は、(1)の資料（様式1）へ日程、競技会コード、競技会名、競技場コードをそのまま入力してください。競技会コードは各団体で管理し付与してください。
 - (2) 地域競技会等（主催者欄「50」）で開催都道府県が変更になった場合は、2021年度に開催する都道府県陸協または協力団体にて作成および申請をしてください。（競技会コードは、通知文3を参照）新規の地域競技会等（主催者欄「50」）は、陸連より競技会コードを付与しますので、その旨を通知の上で空欄にしておいてください。
 - (3) 地域陸協の申請につきましては、引継ぎ等を確実にし申請漏れのないようにお願いします。
 - (4) 学連主催競技会の競技日程は、日本学連との不一致を避けるため日本学連に一本化をお願いしています。各都道府県からの申請は不要です。大学同好会など学連に登録していない団体が企画する競技会については、主催権の有無を含め確認をお願いいたします。
- ◎都道府県単位の実業団の団体は、日本実業団陸上競技連合の下部組織ではない事が、2016年12月に確認されました。それらの団体は、各陸協の加盟団体として登録していなければ競技会的主権権を持ちません。各要項を確認される際にご留意ください。
- (5) 公認競技会規程の一部が2019年に改訂（道路競走第3条10）に伴い、加盟団体・協力団体以外の団体（自治体など）が主催時には申請書式へ道路競技開催時の医務員配置、AED設置、保険加入の有無記入をいただいた上、申請をお願い申し上げます。加盟団体・協力団体が主催時は記入不要です。

2. 追加申請について

2021年度公認競技会申請時に開催日、会場などが決定していない競技会については、追加・変更・訂正申請を認めます。変更分を、陸連ホームページに掲載します。申請方法は、2021年度に申請したファイルに追加箇所がわかるようにマーキング（色付け）して申請をお願いします。なお、1(1)と同様に処理をお願いします。気象災害または天災、感染症等に伴う感染拡大時（特別対応）などのようなやむをえない場合を除いて、開催前の申請を厳守してください。

3. 提出期限、方法及び提出先

- ① **2021年2月20日（土）**までに電子メールにて送付してください。（第1次申請）
- ② 追加申請及び訂正など：追加申請・訂正は常時受け付けます。
ただし、陸連ホームページ掲載は、翌月（毎月20日までに受付分）になります。
追加申請および訂正部分は、直近の申請ファイルに変更箇所がわかるようにマーキング（色付け）して、申請をお願いします。
- ③ 開催日を過ぎてからの申請（事後申請）は受け付けませんので、ご了承ください。
* 申請ファイルは、下記の陸連・競技運営委員会のメールアドレス宛に送信してください。送信時には各加盟団体・加入団体のご担当者ご明記をお願いいたします。

送信先メールアドレス 「 kyogi21@jaaf.or.jp 」

4. その他 お問い合わせは、陸連事務局・公認競技会担当宛に上記アドレス（競技運営委員会・公認競技会受付担当）へメールにてお願いします。

2021（令和 3）年度・加盟・協力団体競技会公認申請について

2021 年度公認競技会の日程作成について、下記のようにお願いいたします。

日本陸連ホームページに陸上競技カレンダーを掲載するにあたっては、各都道府県市区町村において行われる公認競技会はすべて掲載いたします。追加申請・訂正なども下記の方法により、順次陸連ホームページに掲載いたします。申請のない競技会は、公認競技会として認めませんので取り扱いをよろしくをお願いいたします。また、申請されても、未定項目が残ったままでは、公認競技会として認められませんので必ず後日（競技会開催前に）訂正の申請を行なってください。

記録申請においてはホームページに掲載されている競技会コードと競技場コードが必要となります。

（1）公認競技会とは、

本連盟が公認する競技会は、公認競技会の要件を満たすものでなければならない。

1. 参加競技者の全員が競技者の資格を有していること。
2. 本連盟競技規則によること。
3. 本連盟の公認競技場で開催すること。
4. 審判員は、補助員を除きすべて公認審判員であること。

さらに、

公認競技会として申請された競技会であること。

（2）日程表に記載する競技会の範囲について

下記の主要競技会（室内、マラソン、ロードレース、競歩を含む）の競技日程に掲載しております。

主催・主管

日本陸連	国際大会、全国大会、共催大会、小学生大会
実業団	全国大会、地域大会、実業団対学生大会
学連	日本学生対校選手権、日本学生選手権、地区対校競技会及び記録会、新人大会
マスターズ	全国大会、地域大会
地域	10 地域大会
都道府県	都道府県選手権及び記録会、都市選手権、地区大会
高体連	全国対抗選手権、全国混成、全国駅伝、地域大会、都道府県大会、および記録会、新人大会
中体連	全国選手権、全国通信、地域大会、都道府県大会、駅伝、地区大会

（3）競技会・行事名称について

企業名・個人名を付けた競技会・行事の名称は日本陸連で認められているものに限られます。

※道路競走の名称には、特にご注意ください。

〇〇マラソン、△△ハーフマラソン、××ロードレース・・・

（4）道路競走について

ロードレースなどの競技については、公認コースであっても、競技会内容の距離のコース検定がなければ、公認とはなりません。申請時には、必ず競技会名に続いて（ ）書きで「公認される実施種目」を表示してください。

【記入例】21 13 0014 第 68 回元旦競歩（20km,10km,5km）137230 神宮外苑絵画館 20km
申請される距離は、コースの検定がされているものに限りです。過去の申請では、競技場／競走路コードを入力し、あたかも公認コースであるような申請がありました。公認コースで無い場合には、申請は無効となります。申請は、公認コースで行われる競技会に限りです。

ただし、特例として、駅伝競走およびクロスカントリーは、公認コースでなくても公認競技会として扱っています。この場合、コースの出発場所～到着場所または、〇〇公園周回コースなどを記入してください。競技場・競走路コード番号は入力せず、空欄としてください。

(5) すべての競技会コードは、西暦年を除いて固定化します。

競技会コードは、下記のように数字8桁で表示しています。

〇〇	〇〇	〇〇〇〇	(例)	21	50	0100
西暦年	主催者	競技会名		2021年	陸連主催	日本選手権大会

① 西暦年 西暦下2桁 00～99とし100年サイクルとする。

② 主催者 2桁 50－全国・地域競技会 01～47－都道府県 60-69－学連

③ 競技会名 4桁

競技会コードは、前年より継続して開催される競技会は前年と同じコードを使用する事が基本です。新規に申請される競技会については、それぞれ下記の競技会コードを参照のうえ重複や誤りのないよう競技会コードを記載してください。

※1：主催者欄「50」の競技会コードは陸連で付与します。新規競技会は空欄で申請してください。既存競技会は競技会コード一覧に基づき見直し記載ください。

※2：主催者欄「60xx-69xx」の競技会コードは日本学連で付与されます。また、学連主催競技会の競技日程は、不一致を避けるため日本学連に一本化をお願いしています。各都道府県では申請せず、日本学連の競技日程を参照するようにお願いします。

※3：主催者欄「01～47」の競技会コードは各都道府県で管理し、新規競技会は各都道府県で以下の④に基づき付与してください。

④競技会コード

都道府県内	0001～0200	県－選手権、駅伝、ロードレース、国体予選、競歩 定通制、ジュニア、小学生大会予選
	0301～0400	県－記録会
	0501～0600	郡－選手権、駅伝、ロードレース、記録会
	0701～1000	市・区－選手権、駅伝、記録会
高体連	1001～1200	県－選手権、総体、駅伝、ロードレース、新人
	1301～1400	県－記録会
	1501～1600	郡－選手権、駅伝、ロードレース
	1701～2000	市・区－選手権、駅伝、ロードレース、記録会
	2001～2200	県内地区、新人
	2301～2400	地区記録会
中体連	3001～3200	県－選手権、総体、駅伝、ロードレース、新人
	3301～3400	県－記録会
	3501～3600	郡－選手権、駅伝、ロードレース
	3701～4000	市・区－選手権、駅伝、ロードレース、記録会
	4001～4200	県内地区、新人
	4301～4400	地区記録会

※ 各都道府県内の実業団、マスターズの競技会は都道府県内のコードを付与して下さい。

(6) 複数日数、分散日程で開催される地区競技会の掲載方法

1つの主催者が行う競技会で、日程が離れて開催する場合は、日程別に掲載してください。(競技会コードは共通)

(例) 5/9～10、5/16～17 東京高校総体 → 5.9～10 東京高校総体
5.16～17 東京高校総体

※ 第〇回記録会／第〇回競技会など開催時期・開催単位が独立して行われるもの(プログラムの作成単位が異なる競技会)は異なる競技会コードを付与してください。

(7) 競技場コードについて

申請される競技場・コースの中には、公認期限が切れているものや年度内に公認期限が切れる競技場・コースが見受けられます。公認期限切れの競技場・コースで開催された競技会は非公認になります。年度途中で有効期限に達する場合は特にご注意ください。また、公認検定で競技場種別が昇格または降格

する競技場があります。確認のうえ競技場コードの更新手続きを行ってください。更新されていないコードで申請されている場合は、再申請をお願いすることがあります。陸連から年数回更新のデータを送信しますので申請時に確認をお願いします。

(8) 陸協住所について

住所等は、カレンダーへの掲載を行っておりません。陸連ホームページの別の箇所に掲載されていますので、加盟・協力団体の事務局所在地が変更になった場合は、陸連事務局までお知らせください。順次、陸連ホームページを更新いたします。

【都道府県コード】

1 北海道	北海道 01						
2 東北	青森 02	岩手 03	宮城 04	秋田 05	山形 06	福島 07	
3 関東	茨城 08	栃木 09	群馬 10	埼玉 11	千葉 12	神奈川 14	山梨 15
4 東京	東京 13						
5 北陸	新潟 16	長野 17	富山 18	石川 19	福井 20		
6 東海	静岡 21	愛知 22	三重 23	岐阜 24			
7 近畿	滋賀 25	京都 26	大阪 27	兵庫 28	奈良 29	和歌山 30	
8 中国	鳥取 31	島根 32	岡山 33	広島 34	山口 35		
9 四国	香川 36	徳島 37	愛媛 38	高知 39			
10 九州	福岡 40	佐賀 41	長崎 42	熊本 43	大分 44	宮崎 45	鹿児島 46
	沖縄 47						

【日本学生連合・地区学生連盟コード】

学連 60xx	北海道 61xx	東北 62xx	関東 63xx	北信越 64xx	東海 65xx	関西 66xx
	中四国 67xx	九州 68xx				

【競技場コード】

第1種 1	第2種 2	第3種 3	第4種 4
競走(歩)路 7		室内競技場 8	

【競技会コード】

21 50 0001
西暦下2桁 都道府県・競技会コード
学連コード

【競技会コード一覧(1/3)】

競技会コード 2050□□□□

0001-0999 陸連・1000-2999 地域陸協・4000-4699 実業団・5000-マスターズ

【日本陸連主催競技会】

50	0001	全国都道府県女子駅伝大会	全国都道府県女子駅伝
50	0002	大阪国際女子マラソン	大阪国際女子マラソン
50	0006	金栗記念中・長距離選抜陸上	中・長距離選抜
50	0009	唐津10マイルロード	唐津10マイルロード
50	0011	東京マラソン	東京マラソン
50	0017	全国都道府県男子駅伝大会	全国都道府県男子駅伝
50	0032	びわ湖毎日マラソン	びわ湖毎日マラソン
50	0035	U20日本室内陸上	U20日本室内陸上
50	0036	日本陸上競技選手権大会(室内競技)	日本選手権(室内競技)
50	0039	日中韓3カ国交流陸上競技大会	日中韓3カ国交流
50	0050	日本陸上競技選手権大会(50Km競歩)	日本選手権(50Km競歩)
50	0052	全日本50Km競歩大会	全日本50Km競歩
50	0100	日本陸上競技選手権大会	日本選手権
50	0140	全日本中学校通信陸上北海道日胆大会	中学通信陸上北海道日胆大会
50	0141	全日本中学校通信陸上北海道十勝大会	中学通信陸上北海道十勝大会
50	0142	全日本中学校通信陸上北海道札幌大会	中学通信陸上北海道札幌大会
50	0143	全日本中学校通信陸上北海道旭川大会	中学通信陸上北海道旭川大会
50	0144	全日本中学校通信陸上北海道釧路大会	中学通信陸上北海道釧路大会
50	0145	全日本中学校通信陸上北海道空知大会	中学通信陸上北海道空知大会
50	0146	全日本中学校通信陸上北海道後志大会	中学通信陸上北海道後志大会
50	0147	全日本中学校通信陸上北海道北見大会	中学通信陸上北海道北見大会
50	0148	全日本中学校通信陸上北海道道南大会	中学通信陸上北海道道南大会
50	0149	全日本中学校通信陸上北海道道央大会	中学通信陸上北海道道央大会
50	0150	全日本中学校通信陸上北海道オホーツク大会	中学通信陸上北海道オホーツク大会
50	0152	全日本中学校通信陸上青森大会	中学通信陸上青森大会
50	0153	全日本中学校通信陸上岩手大会	中学通信陸上岩手大会
50	0154	全日本中学校通信陸上宮城大会	中学通信陸上宮城大会
50	0155	全日本中学校通信陸上秋田大会	中学通信陸上秋田大会
50	0156	全日本中学校通信陸上山形大会	中学通信陸上山形大会
50	0157	全日本中学校通信陸上福島大会	中学通信陸上福島大会
50	0158	全日本中学校通信陸上茨城大会	中学通信陸上茨城大会
50	0159	全日本中学校通信陸上栃木大会	中学通信陸上栃木大会
50	0160	全日本中学校通信陸上群馬大会	中学通信陸上群馬大会
50	0161	全日本中学校通信陸上埼玉大会	中学通信陸上埼玉大会
50	0162	全日本中学校通信陸上千葉大会	中学通信陸上千葉大会
50	0163	全日本中学校通信陸上東京大会	中学通信陸上東京大会
50	0164	全日本中学校通信陸上神奈川大会	中学通信陸上神奈川大会
50	0166	全日本中学校通信陸上富山大会	中学通信陸上富山大会
50	0167	全日本中学校通信陸上石川大会	中学通信陸上石川大会
50	0168	全日本中学校通信陸上福井大会	中学通信陸上福井大会
50	0169	全日本中学校通信陸上山梨大会	中学通信陸上山梨大会
50	0170	全日本中学校通信陸上長野大会	中学通信陸上長野大会
50	0171	全日本中学校通信陸上岐阜大会	中学通信陸上岐阜大会
50	0172	全日本中学校通信陸上静岡大会	中学通信陸上静岡大会
50	0173	全日本中学校通信陸上愛知大会	中学通信陸上愛知大会
50	0174	全日本中学校通信陸上三重大会	中学通信陸上三重大会
50	0175	全日本中学校通信陸上滋賀大会	中学通信陸上滋賀大会
50	0176	全日本中学校通信陸上京都大会	中学通信陸上京都大会

50	0177	全日本中学校通信陸上大阪大会	中学通信陸上大阪大会	27	大阪
50	0178	全日本中学校通信陸上兵庫大会	中学通信陸上兵庫大会	28	兵庫
50	0179	全日本中学校通信陸上奈良大会	中学通信陸上奈良大会	29	奈良
50	0180	全日本中学校通信陸上和歌山大会	中学通信陸上和歌山大会	30	和歌山
50	0181	全日本中学校通信陸上鳥取大会	中学通信陸上鳥取大会	31	鳥取
50	0182	全日本中学校通信陸上島根大会	中学通信陸上島根大会	32	島根
50	0183	全日本中学校通信陸上岡山大会	中学通信陸上岡山大会	33	岡山
50	0184	全日本中学校通信陸上広島大会	中学通信陸上広島大会	34	広島
50	0185	全日本中学校通信陸上山口大会	中学通信陸上山口大会	35	山口
50	0186	全日本中学校通信陸上徳島大会	中学通信陸上徳島大会	37	徳島
50	0187	全日本中学校通信陸上香川大会	中学通信陸上香川大会	38	香川
50	0188	全日本中学校通信陸上愛媛大会	中学通信陸上愛媛大会	38	愛媛
50	0189	全日本中学校通信陸上高知大会	中学通信陸上高知大会	39	高知
50	0190	全日本中学校通信陸上福岡大会	中学通信陸上福岡大会	40	福岡
50	0191	全日本中学校通信陸上佐賀大会	中学通信陸上佐賀大会	41	佐賀
50	0192	全日本中学校通信陸上長崎大会	中学通信陸上長崎大会	42	長崎
50	0193	全日本中学校通信陸上熊本大会	中学通信陸上熊本大会	43	熊本
50	0194	全日本中学校通信陸上大分大会	中学通信陸上大分大会	44	大分
50	0195	全日本中学校通信陸上宮崎大会	中学通信陸上宮崎大会	45	宮崎
50	0196	全日本中学校通信陸上鹿児島大会	中学通信陸上鹿児島大会	46	鹿児島
50	0197	全日本中学校通信陸上沖縄大会	中学通信陸上沖縄大会	47	沖縄
50	0210	全国高等学校陸上競技対校選手権大会	全国高校総体陸上		
50	0211	全国高等学校定時制通信制陸上競技大会	全国定時制通信制陸上		
50	0212	全日本中学校陸上競技選手権大会	全日本中学陸上		
50	0213	全国小学生陸上競技交流大会	全国小学生陸上大会		
50	0214	日本選手権男女20Km競歩	日本選手権男女20Km競歩		
50	0242	国民体育大会陸上競技大会	国民体育大会陸上競技		
50	0243	日本陸上競技選手権(リレー)競技	日本選手権(リレー)		
50	0244	ジュニアオリンピック陸上競技大会	ジュニアオリンピック		
50	0246	U20日本陸上競技選手権大会	U20日本選手権		
50	0247	U18日本陸上競技選手権	U18日本選手権		
50	0254	名古屋ウィメンズマラソン	名古屋ウィメンズマラソン		
50	0255	全国中学生クロスカントリー選手権大会	全国中学クロカン		
50	0280	福岡国際マラソン	福岡国際マラソン		
50	0281	全国高等学校駅伝競走大会	全国高校駅伝		
50	0282	全国中学校駅伝大会	全国中学駅伝		
50	0293	全国高等専門学校体育大会	全国高等体育大会		
50	0296	日本陸上競技選手権(クロスカントリー)	日本選手権(クロスカントリー)		
50	0297	U20日本陸上競技選手権(クロスカントリー)	U20日本選手権(クロスカントリー)		
50	0298	福岡クロカン	福岡クロカン		
50	0304	長野マラソン	長野マラソン		
50	0310	日本聴覚障害者陸上競技選手権大会(全国ろうあ者陸上競技大会)	全国ろうあ者陸上		
50	0316	全国小学生クロスカントリーリレー	全国小学生クロカン		
50	0321	日本陸上競技選手権大会(混成競技)	日本選手権(混成競技)		
50	0322	U20日本陸上競技選手権大会(混成競技)	U20日本選手権(混成競技)		
50	0323	ゴールデングランプリ	ゴールデングランプリ		
50	0324	全国高等学校選抜大会	全国高校選抜		
50	0325	TOKYO Open Games	TOKYO Open Games		
50	0326	U18陸上競技大会	U18陸上競技大会		
50	0327	U18陸上競技大会	U18陸上競技大会		
50	0328	READY STEADY TOKYO - 陸上競技	READY STEADY TOKYO - 陸上競技		
50	0329	〈仮〉東京チャレンジ	〈仮〉東京チャレンジ		

【競技会コード一覧(2/3)】

競技会コード 2050□□□□

0001-0999 陸連・1000-2999 地域陸協・4000-4699 実業団・5000-マスターズ

【地域陸協主催地域選手権・競技会／地域高体連中体連の地域選手権・競技会①】

50	1000	北海道選手権	北海道選手権	01	北海道
50	1001	北海道高校選手権	北海道高校選手権	01	北海道
50	1002	北海道中学校陸上競技大会	北海道中学校陸上競技大会	01	北海道
50	1003	北海道高校駅伝	北海道高校駅伝	01	北海道
50	1004	北海道高校女子駅伝	北海道高校女子駅伝	01	北海道
50	1005	サロマ湖100kマラソン	サロマ湖100kマラソン	01	北海道
50	1007	北海道マラソン	北海道マラソン	01	北海道
50	1008	北海道高校新人陸上	北海道高校新人陸上	01	北海道
50	1009	北海道中学駅伝	北海道中学駅伝	01	北海道
50	1010	函館マラソン	函館マラソン	01	北海道
50	1200	東北総体陸上	東北総体陸上		
50	1202	東北高校選手権	東北高校選手権		
50	1203	東北中学校陸上競技大会	東北中学校陸上競技大会		
50	1204	東北高校駅伝	東北高校駅伝		
50	1205	東北中学駅伝(男子)	東北中学駅伝(男子)		
50	1207	東日本女子駅伝	東日本女子駅伝		
50	1213	東北高校新人	東北高校新人		
50	1214	仙台国際ハーフマラソン	仙台国際ハーフマラソン	04	宮城
50	1215	東北薬学校陸上	東北薬学校陸上		
50	1216	東日本医科学生選手権	東日本医科学生選手権		
50	1217	東北高専陸上	東北高専陸上		
50	1219	東北中学駅伝(女子)	東北中学駅伝(女子)		
50	1220	東北高校駅伝(女子)	東北高校駅伝(女子)		
50	1221	奥羽横断駅伝	奥羽横断駅伝		
50	1223	東日本医科学生体育大会	東日本医科学生体育大会		
50	1300	関東選手権	関東選手権		
50	1302	関東高校選手権	関東高校選手権		
50	1303	関東中学校陸上競技大会	関東中学校陸上競技大会		
50	1304	関東高校駅伝	関東高校駅伝		
50	1306	関東中学駅伝	関東中学駅伝		
50	1307	関東高校新人	関東高校新人		
50	1310	関東甲信越高専陸上	関東甲信越高専陸上		
50	1311	関東ろう学校陸上	関東ろう学校陸上		
50	1312	関東医科大学対抗陸上競技大会	関東医科大学対抗陸上競技大会		
50	1313	全関東医薬獣医科大学対抗	全関東医薬獣医科大学対抗		
50	1322	関東甲信越薬学生対抗陸上	関東甲信越薬学生対抗陸上		
50	1323	九校医科大学対抗陸上競技大会	九校医科大学対抗陸上競技大会		
50	1325	東日本医療系学生対抗陸上競技大会	東日本医療系学生対抗陸上競技大会		
50	1326	関東大学クラブ対抗陸上	関東大学クラブ対抗陸上		
50	1327	関東文系学部学生親善陸上	関東文系学部学生親善陸上		
50	1400	東京陸上競技選手権大会	東京陸上競技選手権大会	13	東京
50	1402	東京陸上競技選手権ルーニ競技大会	東京陸上競技選手権ルーニ競技大会	13	東京
50	1403	東京陸上競技選手権大会(混成競技)	東京陸上競技選手権大会(混成競技)	13	東京
50	1600	北陸陸上競技選手権	北陸陸上競技選手権		
50	1502	全日本競歩輪島大会	全日本競歩輪島大会		
50	1503	全日本競歩能美大会	全日本競歩能美大会		
50	1504	北信越高校選手権	北信越高校選手権		
50	1505	北信越中学選手権	北信越中学選手権		
50	1506	北信越高校駅伝	北信越高校駅伝		

50	1507	北信越高校選抜	北信越高校選抜		
50	1508	北陸高専大会	北陸高専大会		
50	1609	北信越高校新人陸上	北信越高校新人陸上		
50	1511	北信越中学校陸上競技大会	北信越中学校陸上競技大会		
50	1512	北陸地区国立大学体育大会陸上競技大会	北陸地区国立大学体育大会陸上競技大会		
50	1600	東海選手権	東海選手権		
50	1602	東海高校選手権	東海高校選手権		
50	1604	東海中学校陸上競技大会	東海中学校陸上競技大会		
50	1605	東海高校駅伝	東海高校駅伝		
50	1606	東海国立・高専陸上	東海国立・高専陸上		
50	1607	東海高校新人陸上	東海高校新人陸上		
50	1608	東海混成	東海混成		
50	1609	東海小学生ルーニ大会	東海小学生ルーニ大会		
50	1700	近畿選手権	近畿選手権		
50	1701	近畿高校選手権	近畿高校選手権		
50	1702	全国高校近畿予選会	全国高校近畿予選会		
50	1703	近畿中学校陸上競技大会	近畿中学校陸上競技大会		
50	1704	近畿高校定通制総体	近畿高校定通制総体		
50	1705	近畿高校駅伝	近畿高校駅伝		
50	1706	近畿高校女子駅伝	近畿高校女子駅伝		
50	1707	近畿中学駅伝(男子)	近畿中学駅伝(男子)		
50	1710	びわ湖クロスカントリー	びわ湖クロスカントリー	25	滋賀
50	1711	近畿地区高専陸上	近畿地区高専陸上		
50	1712	近畿高校新人陸上	近畿高校新人陸上		
50	1717	全国歯科系大学	全国歯科系大学		
50	1718	五府県交流小学生陸上	五府県交流小学生陸上		
50	1721	近畿中学駅伝(女子)	近畿中学駅伝(女子)		
50	1722	阪奈和高校対校陸上競技大会	阪奈和高校対校陸上競技大会		
50	1723	神戸マラソン	神戸マラソン	28	兵庫
50	1724	大阪マラソン	大阪マラソン	27	大阪
50	1725	関西医歯薬学生対校	関西医歯薬学生対校		
50	1800	中国選手権	中国選手権		
50	1801	中国五県対抗陸上	中国五県対抗陸上		
50	1803	別府読売マラソン	別府読売マラソン	35	山口
50	1804	山陽女子ロードレース	山陽女子ロードレース	33	岡山
50	1805	中国高校新人	中国高校新人		
50	1807	中国高校選手権	中国高校選手権		
50	1810	金山陸陸上	金山陸陸上		
50	1811	中国中学校陸上競技大会	中国中学校陸上競技大会		
50	1812	西中国陸上	西中国陸上		
50	1813	中国高校駅伝	中国高校駅伝		
50	1814	中国高校女子駅伝	中国高校女子駅伝		
50	1816	中国高専陸上	中国高専陸上		
50	1820	全国医師薬師獣医師陸上競技大会	全国医師薬師獣医師陸上競技大会		
50	1821	出雲陸上	出雲陸上	32	島根
50	1823	松江レディスハーフマラソン	松江レディスハーフマラソン		
50	1824	九州山口医科大学対抗陸上競技大会	九州山口医科大学対抗陸上競技大会		
50	1825	西日本医科学生総合体育大会陸上競技大会	西日本医科学生総合体育大会陸上競技大会		
50	1900	四国選手権四県対抗	四国選手権四県対抗		
50	1901	高知マラソン	高知マラソン	39	高知
50	1902	愛媛マラソン	愛媛マラソン	38	愛媛
50	1903	四国高校選手権	四国高校選手権		

【競技会コード一覧(3/3)】

競技会コード 2050□□□□

	0001-0999	陸連・1000-2999	地域陸協・4000-4699	実業団・5000-マスタース
	【地域陸協主催地域選手権・競技会／地域高体連中体連の地域選手権・競技会②】			
50	1905	四国中学校陸上競技大会	四国中学校陸上競技大会	
50	1906	四国駅伝	四国駅伝	
50	1907	四国高校駅伝	四国高校駅伝	
50	1909	四国高校新人陸上	四国高校新人陸上	
50	1910	四国高校女子駅伝	四国高校女子駅伝	
50	1911	香川・丸亀マラソン大会	香川・丸亀マラソン大会	
50	1912	春野オープン記録会	春野オープン記録会	
50	1913	徳島マラソン	徳島マラソン	
50	1914	四国女子駅伝	四国女子駅伝	
50	1915	高知龍馬マラソン	高知龍馬マラソン	39 高知
50	2000	九州選手権	九州選手権	
50	2001	九州都市対抗陸上	九州都市対抗陸上	
50	2003	別府大分毎日マラソン	別府大分毎日マラソン	44 大分
50	2004	熊日30Kmロード	熊日30Kmロード	
50	2006	延岡西日本マラソン	延岡西日本マラソン	
50	2007	金栗杯五名ハーフマラソン	金栗杯五名ハーフマラソン	
50	2011	北九州高校選手権	北九州高校選手権	
50	2012	南九州高校選手権	南九州高校選手権	
50	2013	九州高校新人陸上	九州高校新人陸上	
50	2014	九州高専陸上	九州高専陸上	
50	2015	九州中学校陸上競技大会	九州中学校陸上競技大会	
50	2016	九州高校駅伝	九州高校駅伝	
50	2017	九州中学駅伝(男子)	九州中学駅伝(男子)	
50	2019	青島太平洋マラソン	青島太平洋マラソン	
50	2023	ゴールデンゲームin延岡	ゴールデンゲームin延岡	45 宮崎
50	2026	九州中学駅伝(女子)	九州中学駅伝(女子)	
50	2027	九州高校女子駅伝	九州高校女子駅伝	
	【実業団連合の全国競技会・地域競技会】			
50	4000	全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	
50	4003	全日本実業団対抗駅伝競走大会	全日本実業団対抗駅伝競走大会	14 神奈川
50	4004	全日本実業団対抗女子駅伝競走大会	全日本実業団対抗女子駅伝競走大会	35 山口
50	4005	秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会	秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会	
50	4007	全日本実業団ハーフマラソン大会	全日本実業団ハーフマラソン大会	
50	4009	全日本実業団陸上競技連合女子長距離記録会	全日本実業団陸上競技連合女子長距離記録会	
50	4100	東日本実業団陸上競技選手権大会	東日本実業団陸上競技選手権大会	
50	4103	東日本実業団対抗駅伝競走大会	東日本実業団対抗駅伝競走大会	
50	4200	北陸実業団陸上競技選手権大会	北陸実業団陸上競技選手権大会	
50	4201	北陸実業団対抗駅伝競走大会	北陸実業団対抗駅伝競走大会	
50	4202	北陸実業団記録会	北陸実業団記録会	
50	4300	中部実業団陸上競技選手権大会	中部実業団陸上競技選手権大会	
50	4302	中部実業団対抗駅伝競走大会	中部実業団対抗駅伝競走大会	
50	4304	中部・北陸実業団駅伝	中部・北陸実業団駅伝	
50	4305	中部実業団対抗陸上競技大会	中部実業団対抗陸上競技大会	
50	4400	関西実業団陸上競技選手権大会	関西実業団陸上競技選手権大会	
50	4402	関西実業団対抗駅伝競走大会	関西実業団対抗駅伝競走大会	
50	4405	関西・兵庫実業団記録会	関西・兵庫実業団記録会	
50	4407	関西実業団陸上競技日本記録挑戦記録会	関西実業団陸上競技日本記録挑戦記録会	
50	4500	中国実業団陸上競技選手権大会	中国実業団陸上競技選手権大会	
50	4501	中国実業団対抗駅伝競走大会	中国実業団対抗駅伝競走大会	

50	4502	中国実業団記録会	中国実業団記録会
50	4504	第1回中国実業団長距離記録会	第1回中国実業団長距離記録会
50	4505	第2回中国実業団長距離記録会	第2回中国実業団長距離記録会
50	4506	第3回中国実業団長距離記録会	第3回中国実業団長距離記録会
50	4507	第4回中国実業団長距離記録会	第4回中国実業団長距離記録会
50	4600	九州実業団陸上競技選手権大会	九州実業団陸上競技選手権大会
50	4601	九州実業団対抗駅伝競走大会	九州実業団対抗駅伝競走大会
50	4602	実業団女子駅伝西日本大会	実業団女子駅伝西日本大会
	【日本マスタース陸上連合主催競技会・管轄競技会】		
50	5000	全日本マスタース陸上	全日本マスタース陸上
50	5001	全日本マスタース混成	全日本マスタース混成
50	5002	全日本マスタースマラソン	全日本マスタースマラソン
50	5004	日本マスタースクロスカントリー	日本マスタースクロスカントリー
50	5007	北海道マスタース陸上競技大会	北海道マスタース陸上競技大会
50	5008	東北マスタース陸上競技大会	東北マスタース陸上競技大会
50	5009	関東マスタース陸上競技大会	関東マスタース陸上競技大会
50	5010	北陸マスタース陸上競技大会	北陸マスタース陸上競技大会
50	5011	東海マスタース選手権大会	東海マスタース選手権大会
50	5012	近畿マスタース選手権大会	近畿マスタース選手権大会
50	5013	中国マスタース選手権大会	中国マスタース選手権大会
50	5017	四国マスタース選手権大会	四国マスタース選手権大会
50	5018	九州マスタース選手権大会	九州マスタース選手権大会
50	5021	九州マスタース駅伝	九州マスタース駅伝
50	5023	国際ゴールドマスタース	国際ゴールドマスタース
50	5024	全日本競歩大会	全日本競歩大会
50	5025	全日本マスタース混成競技選手権大会	全日本マスタース混成競技選手権大会
50	5026	全日本マスタース混成競技選手権大会	全日本マスタース混成競技選手権大会
50	5027	東日本マスタース陸上競技大会	東日本マスタース陸上競技大会
50	5028	関東マスタースロード選手権大会	関東マスタースロード選手権大会
50	5029	東日本マスタースロード選手権大会	東日本マスタースロード選手権大会
50	5030	近畿マスタース駅伝	近畿マスタース駅伝
	【日本学生陸上競技連合主催競技会・管轄競技会】		
6001	0001	天皇賜杯日本学生陸上競技対校選手権大会	天皇賜杯日本学生陸上競技対校選手権大会
6002	0001	日本学生陸上競技個人選手権大会	日本学生陸上競技個人選手権大会
6003	0001	出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲全日本大学選抜駅伝競走
6004	0001	秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会	秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会
6005	0001	全日本大学女子駅伝対校選手権大会	全日本大学女子駅伝対校選手権大会
6006	0001	全日本大学女子選抜駅伝競走	全日本大学女子選抜駅伝競走
6007	0001	日本学生ハーフマラソン選手権大会	日本学生ハーフマラソン選手権大会
6008	0001	日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	日本学生女子ハーフマラソン選手権大会
6009	0001	日本学生20km競歩選手権大会	日本学生20km競歩選手権大会
6010	0001	秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会	秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会

※不備ありましたら、陸連公認競技会申請担当／鍋島宛まで連絡をお願いします。

2021Ver1

記録の 公認申請 状況 2020

高橋克実

陸上競技ランキング編集部

(陸上競技マガジン記録部)

2020開催競技会の結果の報告状況

■2020年1～12月の公認競技会（約5300大会；駅伝・クロカンを含む）

※2692大会は中止

- 電子申請 : 4864大会（18年3577大会→ 19年3816大会から約1050大会増
※4864大会には中止の報告があった2692大会を含む。
- 紙の申請 : 175大会（18年 700大会 → 19年 446大会から約270大会減）
- メールのみ : 88大会（18年 137大会 → 19年 137大会から約50大会減）
- 未報告 : 348大会（18年 350大会 → 19年 351大会から増減なし）

5300大会の **94%** (5000大会) が報告済み
5000大会報告済み (中止の報告を含む) は史上初!

■電子申請のテスト運用開始は2011年。その1年前、2010年の報告件数は…

- ・ 2010年 **3500大会**
- ・ 2018年・19年 **4500大会**
- ・ 2020年 **5000大会**

※「開催した競技会の9割以上を申請すること」

これが日本陸上界の**全国平均**です。

エリア大幅拡大中！

報告率 100% 陸協は昨年の10から19陸協に増加！

【北海道】北海道

【東北】岩手・山形・福島

【関東】茨城・栃木・神奈川

【北陸】新潟

【東海】長野・岐阜・静岡・三重

【近畿】滋賀・和歌山

【中国】鳥取・島根・岡山

【九州】大分・鹿児島

※東北が100%クラブに新加入。四国にも100%候補があります。

※2019年の申請率100%陸協【北海道】北海道【関東】茨城【北陸】新潟【東海】静岡・岐阜・三重【近畿】和歌山【中国】岡山【九州】大分・鹿児島

報告率100%への課題 ポイントその1

記録申請がしっかりしている都道府県でも未報告が目立つのは…。

市民・区民大会／定時制・通信制競技会／高専大会
医歯薬系大学競技会／小学生大会／障害者大会など。

報告率100%への課題
ポイントその2

ランキングに関係がない競技会

駅伝大会、クロカン大会など
※特に市区町村レベル

報告率の計算は、
公認競技会コードがついている
すべての競技会を対象にしています。

報告率100%への課題

ポイントその 3

未報告が常態化している競技会

申請率が上がってきたことで、
毎年、未報告が続いている競技会が明確になってきました。
主催者への指導をお願い致します。

報告率100%へのカギは
コミュニティーの拡大。

報告率が低い競技会の関係者を、
都道府県陸協のコミュニティーに加える方法を、
ぜひ、考えてみてください。

◎未報告が目立つ競技会
市民・区民大会／定時制・通信制競技会／高専大会
医歯薬系大学競技会／小学生大会／障害者大会など。

電子申請についてのお願いです。

- 電子申請に対応しているシステムを**すでに使用している**競技会について、電子申請用CSVデータで報告する流れをぜひ確立してください。

※電子申請対応のシステムから出力した記録用紙で報告が届く競技会があります。

- マラソン／駅伝／クロスカントリーは、競技会の結果をまとめたExcelデータを電子申請に使えます。

※単一競技のみを実施した競技会の特例（記録送付用封筒の表書き参照）。

「JAAF が定めている記録用紙」改訂について

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

この度、各種記録用紙(旧「陸連が定めている各記録用紙などの様式」)の改訂をおこないました。主な改訂内容は、次のとおりです。

①競技規則の改正及び番号体系変更に伴う修正

「監察員記録用紙」を中心に、用紙中の文言はできる限り競技規則条文にあわせた表現にしました。各用紙に引用されている規則の内容を改正に合わせ、条文番号を新番号に修正しました。

②用紙としての役割の充実

これまで 2 種類で対応していた「日本記録・日本タイ記録申請書」(表題変更。旧「日本陸上競技連盟新(タイ)記録申請書」)を確認事項や添付書類が異なる種目ごとにあわせて、7 種類に分けました。

③使い勝手の改善

④書式番号表記の統一

書式番号〇〇と、改訂した年・月を「JAAF-〇〇.2021/2」に統一しました。

陸連 HP に「もくじ」とともに掲載します。

「もくじ」には、各用紙の改訂内容の詳細が記載されていますので、こちらもご確認ください。

日本記録・日本タイ記録申請についての留意点

用紙の改訂で、これまでになかった項目が増えました。

審判長・総務などのほかに、フィールド競技の場合は、計測した 3 名のフィールド競技審判員のサインが追加されました。その際、サイン欄に JAAF ID の記入が必要です。

その場で ID を調べられない場合もあるため、当該年度の ID を審判手帳にメモしておくなどの備えをするよう、貴団体所属の審判員のみなさんへお伝えください。

日本記録・タイ記録がマークされた場合に規則で定められている条件は何か(例えば投てき物の確認など)、申請には誰のサインが必要なのか、改訂された内容の確認をお願いします。

U20/U18 の記録を見落とすケースが多くなっています。シニアと一緒に競技会では特に、ご注意ください。

また、道路競技で、途中距離の記録の見落としも目立ちます。同一競走(歩)路で距離別の公認を取得している場合は、途中記録(日本記録として認められる種目)も確認していただきますようお願いいたします。

以 上

JAAFが定めている記録用紙 もくじ

- ・ 2021年より、用紙№の表記を統一しました。
- ・ 2020年度に改訂された用紙№と、特に内容を大きく変更した用紙名称に色付けしました。

用紙 №	用 紙 名 称	内 容	最終更新日	改 訂 内 容
	はじめにお読みください			
	表紙(2021年)	製本用(表紙)	2021/2	デザイン変更
JAAF-01	順位記録用紙		2004/5	
JAAF-02	競走(歩)競技順位判定表		2005/1	審判員(記録者)に修正
JAAF-03	計時記録用紙		2004/5	
JAAF-04	計時記録判定表		2004/5	
JAAF-05A	競歩審判記入用紙A	18名分	2016/2	赤カードをレッドカードに修正、注意をイエローカードに修正
JAAF-05B	競歩審判記入用紙B	40名分	2016/2	赤カードをレッドカードに修正、注意をイエローカードに修正
JAAF-06	競歩レッドカード		2020/9	用紙名「警告(レッド)カード」を「競歩レッドカード」に改名
JAAF-07A	競歩審判集計表A(トラック)	30名分	2016/2	赤カードをレッドカードに修正、注意をイエローカードに修正
JAAF-07B	競歩審判集計表B(道路用)	40名分	2016/2	赤カードをレッドカードに修正、注意をイエローカードに修正
JAAF-07C	競歩ペナルティゾーン記録表		2020/9	用紙名「ビットレーン記録表」を「ペナルティゾーン記録表」に改名
JAAF-08	成績記録表・番組編成表(A)	9名分	2004/5	
JAAF-09	成績記録表・番組編成表(B)	30名分	2004/5	
JAAF-10	道路競技成績記録表		2004/5	
JAAF-11	トラック種目記録表(一覧表)	予選・準決・決勝	2008/4	中学高校などに学年を記入
JAAF-12	リレー種目記録表	予選・準決・決勝	2008/4	中学高校などに学年を記入
JAAF-13	走高跳・棒高跳記録表		2020/9	科学計測装置確認欄の削除
JAAF-14A	走幅跳・三段跳記録表A		2020/9	科学計測装置確認欄の削除
JAAF-14B	走幅跳・三段跳記録表B	試技回数を独自に記入	2020/9	科学計測装置確認欄の削除・試技回数欄を自由記入可能に修正
JAAF-15	混成競技記録得点表		2020/9	備考欄を追加(新記録などの記入)
JAAF-16A	投てき種目記録用紙A	砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投	2020/9	科学計測装置確認欄の削除
JAAF-16B	投てき種目記録用紙B	試技回数を独自に記入	2020/9	科学計測装置確認欄の削除・試技回数欄を自由記入可能に修正
JAAF-17	写真判定用紙		2004/5	
JAAF-18	写真判定用紙(中長距離用)		2004/5	
JAAF-19A/②	監察員記録用A/②	外水濠トラック用 / ② Aの裏面	2021/2	違反内容の改訂、取り扱いの少ない事例を裏面に追加、新条文№へ移行表記
JAAF-19B/②	監察員記録用B/②	内水濠トラック用 / ② Bの裏面		
JAAF-20	ラップタイム記録表		2004/5	
JAAF-21A	周回記録表A	30名分	2016/2	枝番を追加
JAAF-21B	周回記録表B	90名分	2016/2	枝番を追加
JAAF-22	リレーオーダー用紙		2017/4	リレーメンバー以外の記入項目を追加
JAAF-23	リレーオーダー変更届		2021/2	オーダー変更上の注意を追記、受付時刻と受理者自署欄を追加
JAAF-24	トラック種目風向風速記録表	トラック用	2021/2	表題変更「種目別風力記録表」→「トラック種目風向風速記録表」
JAAF-25	走幅跳・三段跳風向風速記録表	走幅跳・三段跳用	2008/4	ベスト8→トップ8に変更
JAAF-26	定時観測連絡票		2021/2	表題変更「表」→「票」
JAAF-27A	グラウンドコンディション記録表A	16段	2021/2	表題にAを追加
JAAF-27B	グラウンドコンディション記録表B	24段	2021/2	表題にBを追加
JAAF-28	競技会記録公認申請書		2016/2	男子100mH,女子100mH(84.0cm→83.8cm)
JAAF-29	欠番			
JAAF-30A	日本記録・日本タイ記録申請書A	トラック個人種目	2021/2	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙を種目別に分け、それぞれに応じた確認内容と責任者を明確にした ・ゼロコントロールテスト立会者と判定写真確認者用紙を廃止して、各写真に直にサインすることとした ・添付書類を追加変更 ・ドーピング検査についての記入欄追加 ・審判長などの JAAF ID 記入欄追加 ・申請団体印廃止 など
JAAF-30B	日本記録・日本タイ記録申請書B	リレー種目		
JAAF-30C	日本記録・日本タイ記録申請書C	トラック競歩種目		
JAAF-30D	日本記録・日本タイ記録申請書D	跳躍種目		
JAAF-30E	日本記録・日本タイ記録申請書E	投てき種目		
JAAF-30F	日本記録・日本タイ記録申請書F	混成競技		
JAAF-30G	日本記録・日本タイ記録申請書G	道路競走・道路競歩		
JAAF-31	欠番		2021/2	
JAAF-32	スタート記録表	フォームと記入見本	2016/2	略号の変更により記入方法を修正
JAAF-33	競技進行管理表		2004/9	フィールド競技並び順を修正
JAAF-34	上訴申立書		2021/2	記入欄の配置換え、領収者押印廃止、新条文№へ移行表記
JAAF-35	競技会で使用する略号例		2021/2	新条文№へ移行表記、内容を整理、表題変更
JAAF-36	欠場届		2021/2	監督などの押印を廃止
JAAF-37	科学計測装置確認書		2020/9	確認欄を1ヶ所とした
JAAF-38	アップライト申告書		2021/2	新条文№へ移行表記

* 用紙類はA4で作成してありますので、適宜必要な用紙サイズに印刷または拡大コピーなどとしてご利用ください。

監 察 員 記 録 用 紙 A

競技会名		日時	月	日	時	分
種 目	男・女	予 選 ・ 準 決 勝 (組) ・ 決 勝				
規則違反 / 途中棄権 ※どちらかに○	レーンNo.	ピブスNo.	(リレー: 第 走者 → 第 走者)			
			○ 監 察 員 位 置 × 発 生 場 所			
			[]	周 目		
			[]	m		
			[]	歩		
			[]	台 目		

※レーンNo.やピブスNo.のほかに、ユニフォームの色も記録しておくこと(リレーでは特に見間違ふことがある)

※以下に当てはまる項目がない場合は、裏面を参照のこと。

チェック	規 則 違 反 内 容	規 則
共通	不正スタート	TR 16.7
	レーン走行のレースで、割当てられたレーン以外を走った [直走路 / 曲走路]	TR 17.3.1
	レーン走行しないレースで、曲走路区間の縁石・ラインの上やその内側を踏んだ、走った	TR 17.3.2
	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR 17.5.3
	他の競技者を妨害した (詳細は所見欄に記入)	TR 17.2.2
ハードル・障害物	割当てられたレーン以外を走った	TR 22.6
	すべてのハードルを越えなかった	TR 22.6
	足・脚がハードルをはみ出てバーの高さより低い位置を通った	TR 22.6.1
	手や体、振り上げ脚の上側で、ハードルを [倒した / 移動させた]	TR 22.6.2
	自分や他のレーンのハードルを [倒して / 移動させ] 他の競技に影響を与えた / 妨害した	TR 22.6.3
	全ての障害物と水濠を越えていない	TR 23.7
	水濠のある場所で、水濠以外の地面を踏んだ (水郷の右側・左側を問わない)	TR 23.7.1
リレー種目	足・脚が障害物をはみ出して障害物の高さより低い位置を通った	TR 23.7.2
	バトンパスがテイク・オーバーゾーン内で完了しなかった (オーバーゾーン)	TR 24.7
	テイク・オーバーゾーンの外からスタートした	TR 24.19
	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側レーンに入った	TR 24.17
	バトンを渡し終えた競技者が他のチームを妨害した	TR 24.8
	コーナートップの順に並んだあと入れ替わった	TR 24.20
	コーナートップの順に並んだ次走者が、内側に移動する際に他の走者を妨害した、押しのけた	TR 24.21
	バトンパスの [完了前に後走者 / 完了後に前走者] が落としたバトンを拾った	TR 24.6.3
	バトンを拾い上げた後、落とした地点に戻らずにレースを再開した	TR 24.6.3

監 察 員 所 見 [妨害あり / 妨害なし] ※妨害の詳細

報告者氏名	記入者自署
-------	-------

※以下、審判長記入欄

その他の判定資料(ビデオ映像(ビデオNo.を明記)、SISなど)・上記以外の判定の根拠となる規則No.

裁定／結果	ピブスNo.	失 格 (DQ)	失格としない	救 済	途中棄権
		審判長自署			

※裏面に (JAAF-19②) を印刷して使用のこと

(JAAF-19 A, 2021/2)

※ おもて面および以下に当てはまる事例がない場合は、所見欄に詳細を記入のこと。

(おもて面以外の) 違 反 事 例			条文No.
共通	競技者にあるまじき行為、下品な行為などがあった		CR18.5
	スタート時に、不適切行為があった		TR16.5
	他者に押されて・妨害されて、自分のレーンの外、縁石・ライン上や内側に入った。 直走路・障害物競走の水濺へ向かう迂回路の直線区間で、自分のレーン外をまたは、曲走路で自分のレーンの外側を 踏んだり走ったりした。→実質的な利益にならず、妨害をしていなければ、失格としない		TR17.4
	競技者が自らの意思でトラックを離れた		TR17.6
	リレー以外で走路上や走路脇にマークをつけた、 またはマークの代わりに物を置いたので、指導したが取り除かなかった(審判員が取り除いた)		TR17.7
	助力	同一レースに参加していない者によってペースを得た。周回遅れか、 周回遅れになりそうな競技者がペースメーカーとして競技をした。	TR6.3.1
		転倒後、他の競技者から立ち上がることを手助けしてもらう以外に、 前に進むための手助けを得た	TR6.3.6
		審判長の承諾なしに、競技区域内で途中時間を知らされた	TR17.14
		主催者が設置した供給所以外で飲食物や水を受け取った 他の競技者に飲食物・水の受け渡しを繰り返した。	TR17.15.4
障害物			
リレー	許可されている以外のマーカーを剥がすよう指導したが、従わなかった(審判員が剥がした)		TR24.4
	バトンを手でもち運ばなかった		TR24.6.1
	バトンを受け取りやすくする目的で手袋をはめたり、何かを手に付けたりした		TR24.6.2
	バトンを落とした際、または落としたバトンを拾う際、他のチームを妨害した		TR24.6.3
	他のチームのバトンを使った、拾い上げた		TR24.9
	落としたバトン进行他のチームが拾い上げた際、落としたチームが有利になった		TR24.9

※監察員記録用紙(A)の裏面に印刷して使用のこと

(JAAF-19②, 2021/2)

日本記録・日本タイ記録申請書 A (トラック個人種目)

日本陸上競技連盟競技規則により、次の記録を申請する。

※ 該当するすべての項目の□にしるしをつける。日付は西暦。

<input type="checkbox"/> 男子	<input type="checkbox"/> 女子	種 目 名		
<input type="checkbox"/> 日本記録	<input type="checkbox"/> 日本タイ記録	<input type="checkbox"/> U 20	<input type="checkbox"/> U 18	<input type="checkbox"/> 室内
1. 記 録		風向風力	＋ ・ －	m
フリガナ		生年月日		登録都道府県
2. 氏 名		年	月	日
所属団体正式名		JAAF ID(確認できれば記入)		
3. 競技会名		コード		
4. 記録した日		年	月	日
5. 競技場名		コード		

※ 以下の確認した項目・該当するすべての項目の□にしるしをつける

6. 競技場・施設用器具について、私は以下のことについて確認した。	
<input type="checkbox"/> この競技場が日本陸上競技連盟の公認競技場である <input type="checkbox"/> 競技場のすべての施設用器具が日本陸上競技連盟競技規則に則るものであり、正しく使用された	
技術総務自署	JAAF ID
7. 競技会運営・実施について、私は以下のことについて確認した。	
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 写真判定装置 <input type="checkbox"/> 手動計時で使用したストップウォッチ) が正しく作動し、計測された <input type="checkbox"/> 風向風力計が正しい位置に設置され、正しく作動し、計測された <input type="checkbox"/> 競技が日本陸上競技連盟競技規則に則り、正しくおこなわれた <input type="checkbox"/> これは混成競技の中で記録されたものであるが、1回目の不正スタート後の2回目以降のスタートではない	
トラック競技審判長自署	JAAF ID
スタート審判長自署 (任命されている場合)	JAAF ID
総 務 自 署	JAAF ID
混成競技審判長 (混成競技の場合)	JAAF ID
8. 私は上記すべてについて正しいことを確認し、以下の書類を添付して申請する。	
<input type="checkbox"/> 大会プログラム <input type="checkbox"/> 該当種目の全記録 (風向風力・ハードルの規格を記入した) <input type="checkbox"/> 判定写真 (トラック競技審判長・写真判定員主任・写真判定員の3名がサインをした) <input type="checkbox"/> ゼロコントロールテスト写真 (トラック競技審判長・スターター・写真判定員主任・派遣されていればJTO がサインした。装置のメーカー名・品番が明記されている) <input type="checkbox"/> (手動計時の場合) 計時順位判定表・計時記録判定表 <input type="checkbox"/> ドーピング検査の依頼をした (オリンピック種目のみ。U20/18・室内は不要)	
依頼日	月 日 / 実施日 月 日
記録申請日	年 月 日
加盟団体名/協力団体名	
代表者自署	

(JAAF-30A. 2021/2)

日本記録・日本タイ記録申請書 D (跳躍種目)

日本陸上競技連盟競技規則により、次の記録を申請する。

※ 該当するすべての項目の□にしるしをつける。日付はすべて西暦。

<input type="checkbox"/> 男子	<input type="checkbox"/> 女子	種 目 名
<input type="checkbox"/> 日本記録	<input type="checkbox"/> 日本タイ記録	<input type="checkbox"/> U 20 <input type="checkbox"/> U 18 <input type="checkbox"/> 室内
1. 記 録	風向風力 + ・ -	m
フリガナ	生年月日	登録都道府県
2. 氏 名	年 月 日	
所属団体正式名	JAAF ID(確認できれば記入)	
3. 競技会名	コード	
4. 記録した日	年 月 日	
5. 競技場名	コード	

※ 以下の確認した項目・該当するすべての項目の□にしるしをつける。

6. 競技場・施設用器具について、私は以下のことについて確認した。	
<input type="checkbox"/> この競技場が日本陸上競技連盟の公認競技場である <input type="checkbox"/> 競技場のすべての施設用器具が日本陸上競技連盟競技規則に則るものであり、正しく使用された	
技術総務自署	JAAF ID
7. 記録は、以下の3名のフィールド競技審判員が計測したものである。	
フィールド競技審判員①自署	JAAF ID
フィールド競技審判員②自署	JAAF ID
フィールド競技審判員③自署	JAAF ID
8. 競技会運営・実施について、私は以下のことについて確認した。	
<input type="checkbox"/> (<input type="checkbox"/> 検査済みの高度計 <input type="checkbox"/> 検査済みの鋼鉄製巻尺 <input type="checkbox"/> 事前確認した科学的計測器) を使用して、正しく計測された。	
<input type="checkbox"/> 風向風力計が正しい位置に設置され、正しく作動し、計測された <input type="checkbox"/> 競技が日本陸上競技連盟競技規則に則り、正しくおこなわれた <input type="checkbox"/> これは混成競技の中で記録されたものであるが、風向風力など単独種目と同様の条件を満たしている	
フィールド競技審判長自署	JAAF ID
総 務 自 署	JAAF ID
混成競技審判長(混成競技の場合)	JAAF ID
9. 私は上記すべてについて正しいことを確認し、以下の書類を添付して申請する。	
<input type="checkbox"/> 大会プログラム <input type="checkbox"/> 該当種目の全記録 (風向風速を記入した) <input type="checkbox"/> 科学計測装置確認書	
<input type="checkbox"/> ドーピング検査の依頼をした(オリンピック種目のみ。U20/18・室内は不要)	
依頼日	月 日 / 実施日 月 日
記録申請日	年 月 日
加盟団体名/協力団体名	
代表者自署	

(JAAF-30D. 2021/2)

新広告規程変更点（抜粋）

競技者の衣類

	従来	新広告規程
1	<p>ベスト</p> <p>衣類の製造会社名/ロゴをベストの<u>前に</u> 1 ヶ所表示できる。その大きさは、<u>各文字が高さ 4 cm以内</u>、トータルのロゴの高さは 5 cm以内で、<u>面積 30 cm²以内の長方形</u>とする。</p> <p>レオタード</p> <p>衣類への製造会社名/ロゴの表示は以下の通りとする。</p> <p>ーレオタードの前面に 1 ヶ所表示することができる。その大きさは、<u>各文字が高さ 4 cm以内</u>、トータルのロゴの高さは 5 cm以内で、<u>面積 30 cm²以内の長方形</u>とする。</p> <p>ーレオタードの前面に 2 ヶ所表示することができる。ウエストより上部、下部にそれぞれ 1 ヶ所とするが、それぞれの表示が接してはならない。その大きさは、<u>文字の高さ 3 cm以内</u>、トータルのロゴの高さ <u>4 cm以内</u>で、<u>面積は 20 cm²以内の長方形</u>とする。</p> <p>トップス、トレーニングウェア上衣、T シャツ、トレーナー、レインジャケット</p> <p>衣類の製造会社名/ロゴをベストの<u>前に</u> 1 ヶ所表示できる。その大きさは、<u>各文字が高さ 4 cm以内</u>、トータルのロゴの高さは 5 cm以内で、<u>面積 30 cm²以内の長方形</u>とする。</p> <p>下半身の衣類</p> <p>製造会社名/ロゴを 1 ヶ所表示できる。<u>高さ 4 cm以内</u>、<u>面積 20 cm²</u>とする。</p>	<p>1 x 製造会社名/ロゴ・<u>40cm²</u>、最大の高さ 5cm、</p> <p>(すべての衣類共通)</p> <p>(表示位置については記載なし)</p>

2	<p>〔国際〕所属団体名、所属団体スポンサー名／ロゴ、または所属団体ロゴまたはアスリートスポンサーロゴのいずれか 1 つをベストまたはレオタードの全部の<u>右胸</u>に表示することができる。</p> <p>直接シャツにプリントした場合は字の高さ、ワッペンをつけた場合はその高さは <u>4 cm</u>以内、面積 <u>40 cm²</u>以内の長方形とする。</p> <p><u>所属団体名はベストの後部につけることができる。その文字の高さは 4 cm 以内とするが、長さの制限は設けない。</u></p>	<p>2 x アスリートスポンサー名/ロゴ・<u>40cm²</u>、最大の高さ 5cm;</p> <p>(すべての衣類共通)</p> <p>(表示位置については記載なし)</p>
3	<p>〔国内〕所属団体名、所属団体ロゴ、所属団体スポンサー名、所属団体スポンサーロゴ、アスリートスポンサー名、アスリートスポンサーロゴを<u>以下のいずれかの形態でベスト/レオタードの前に表示することができる。</u></p>	<p>〔国内〕所属団体名/ロゴ、所属団体スポンサー名/ロゴ、アスリートスポンサー名/ロゴを<u>以下の形態で1つずつ2つまでベスト、パンツまたはレオタード（上・下）に表示することができる。</u></p>
4	<p>(新規追加)</p>	<p>ii <u>所属団体スポンサー名/ロゴ、所属団体スポンサー名+所属団体スポンサーロゴの組み合わせあるいはアスリートスポンサー名/ロゴ、アスリートスポンサー名+アスリートスポンサーロゴの組み合わせのいずれか1つ。(名前とロゴを切り離して表示することはできず並列して表示しなければならない)。文字およびロゴの大きさは 40 cm²以内、高さは 5 cm 以内とする。</u></p>
5	<p>競技中に競技者によって使用されるその他の衣類（ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンドなど）の製造会社名／ロゴは、衣類（製品）1 つにつき 1 ヶ所表示することができる。面積は <u>6 cm²</u>以内とする。</p>	<p>競技中に競技者が使用する他のアパレル（靴下（膝丈の靴下を含む）、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンドなど）の製造会社の名前/ロゴは、1 つ表示することができる。このような表示の最大の大きさは <u>6 cm²</u>で、<u>最大の高さは 3cm</u>とする。</p>

競技役員の衣類

	従来	新広告規程
6	<p>上半身の衣類の製造会社名／ロゴは、<u>1 ヶ所</u>表示することができる。そのような表示は<u>文字の高さ 4 cm 以内</u>、トータルのロゴの高さは</p>	<p>大会スポンサーである衣類の製造会社名/ロゴは、競技役員の上半身の服と下半身の服にそれぞれ 1 つずつ表示できる。このような表示は、最大の最大</p>

	5 cm以内で、面積 40 cm ² 以内の長方形とする。 役員の下半身の衣類に表示されている広告または他の表示は、本規程 4.1.4 で定められた競技者に対するものと同じ要件を満たさなければならない。	きさは 40cm ² 、最大の高さが 5cm の長方形の形状でなければならない。
7	競技会名／ロゴを 1 ヶ所表示することができる。そのような表示は <u>文字の高さ 4 cm以内、</u> トータルのロゴの高さは 5 cm以内で、 <u>面積 40 cm²以内の長方形</u> とする。	大会名または大会ロゴ、あるいはその両方が <u>最大 5cm の高さ</u> で 1 つ表示できる。

競技者・競技役員共通 持ち物等

	従来	新広告規程
8	(新規追加)	すべてのタオル（ビーチタオル、バスタオル、ハンドタオル、フェイスタオル）およびブランケットには以下の表示ができる。 <u>・製造会社名/ロゴは 1 つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さは 5cm;</u> <u>および</u> <u>・アスリートスポンサー名/ロゴは 2 つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さは 5cm;</u> <u>あるいは</u> <u>・競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ</u>
9	競技者および競技役員が競技場で使用するバッグの <u>製造会社名/ロゴは、各バッグ 2 ヶ所まで</u> 表示することができる。それぞれの表示の大きさは <u>25 cm²以内</u> とする。	すべてのバッグ（タグとラベルを含む）には以下の表示ができる。 <u>・製造会社名/ロゴは 1 つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さは 5cm;</u> <u>および</u> <u>・アスリートスポンサー名/ロゴは 2 つ表示できる。最大の大きさは 40cm²、最大の高さは 5cm;</u> <u>あるいは</u> <u>・アスリート名/アスリートのソーシャルメディアのハッシュタグ</u>

アスリートビブス（ナンバーカード）

	従来	新広告規程
10	アスリートビブスは横 24 cm以内、縦 20 cm以内とする。	ビブスの最大の大きさは幅 24cm x 高さ 16cm とする。
11	<p>競技者を特定する表示の上の表示の高さは 6 cm以内とする。そこにはスポンサー名/ロゴ、もしくは <u>IAAF または本連盟が事前に承認した場合に限り</u>、そのようなスポンサーの商業的表示を掲出することができる。</p> <p>〔国際〕競技者を特定する表示の下には、スポンサー名/ロゴまたは開催都市名を表示することができ、文字の高さは 4 cm以内とする。<u>IAAF が事前に承認した場合に限り</u>、スポンサーの商業的表示を掲出することができる。</p>	<p>競技会の種目ごとに最大 2 つのスポンサーを表示できる。</p> <p>競技者識別表示より上の表示の最大の高さは 6cm とする。そのような表示は、これが <u>大会主催者によって事前に承認されていれば</u>、1 つの大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイスを表示することができる。</p> <p>競技者識別表示より下の表示の最大の高さは 4cm とする。そのような表示には、<u>大会主催者によって事前に承認されていれば</u>、(a) 1 つの大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイスまたは (b) 大会が開催されている都市または地域を表示できる。</p>
12	<p>〔国内〕競技者を特定する表示の下には、大会名/ロゴ、加盟団体名、スポンサー名/ロゴ、または開催都市名のいずれかを表示することができ、文字の高さは 4 cm以内とする。<u>IAAF または本連盟が事前に承認した場合に限り</u>、スポンサーの商業的表示を掲出することができる。</p>	<p>〔国内〕競技者識別表示より下の表示の最大の高さは 4cm とする。そのような表示には、<u>大会主催者によって事前に承認されていれば</u>、(a) 大会名/ロゴ、(b) 加盟団体名、(c) 大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイス、(d) 大会が開催されている都市または地域のいずれかを表示できる。</p>

プレゼンテーションビブス

	従来	新広告規程
13 (新規追加)		<p><u>プレゼンテーションビブスは、表彰台に上がる競技者が受賞時のセレモニーキットに取り付ける。最大の大きさは幅 24cm x 高さ 16cm とする。</u></p> <p><u>プレゼンテーションビブスは、上部に最大の高さ 6cm の大会スポンサー名/ロゴがある。大会ロゴは、大会スポンサー名/ロゴの下に表示される。</u></p>

競技場内における広告・展示物等の規則について

公益財団法人 日本陸上競技連盟

1 規則が適用される競技会

- ① 日本陸連主催・共催競技会
(日本選手権・インターハイ・全日中・国体・U20U18 日本選手権等が該当。)
- ② アスリートビブス広告採用競技会
- ③ テレビ・インターネット等で不特定多数の公衆に放送される競技会
- ④ 大会要項や競技注意事項で規則を適用すると宣言している競技会

2 衣類以外の規則（製造会社名/ロゴ等）

ソックス・帽子・手袋(対になっているものはそれぞれに1つずつ)

- ・製造会社名/ロゴ 1個 “1個” 最大6cm²まで（高さ3cm）

メガネ・サングラス

- ・製造会社名/ロゴ 2個 “1個” 最大6cm²まで（高さ3cm）

バッグ・タオル（ブランケット含む）

- ① 製造会社名/ロゴ 1個 “1個” 最大40cm²まで（高さ5cm）
- ② 競技者スポンサー名/ロゴ 2個 “1個” 最大40cm²まで（高さ5cm）
- ③ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

3 衣類等の規則（製造会社名/ロゴ等）:

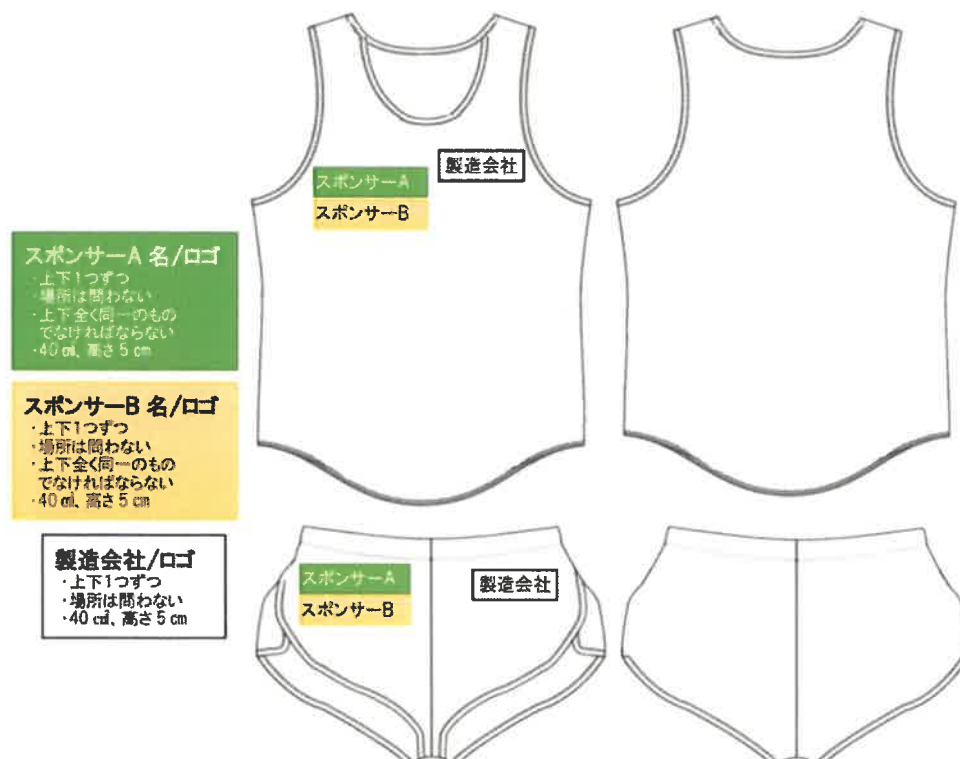
上衣・下衣（ユニフォーム、Tシャツ、タイツ等）

①国際大会、②国内大会（クラブチーム・個人用）、③国内大会（学校用）。

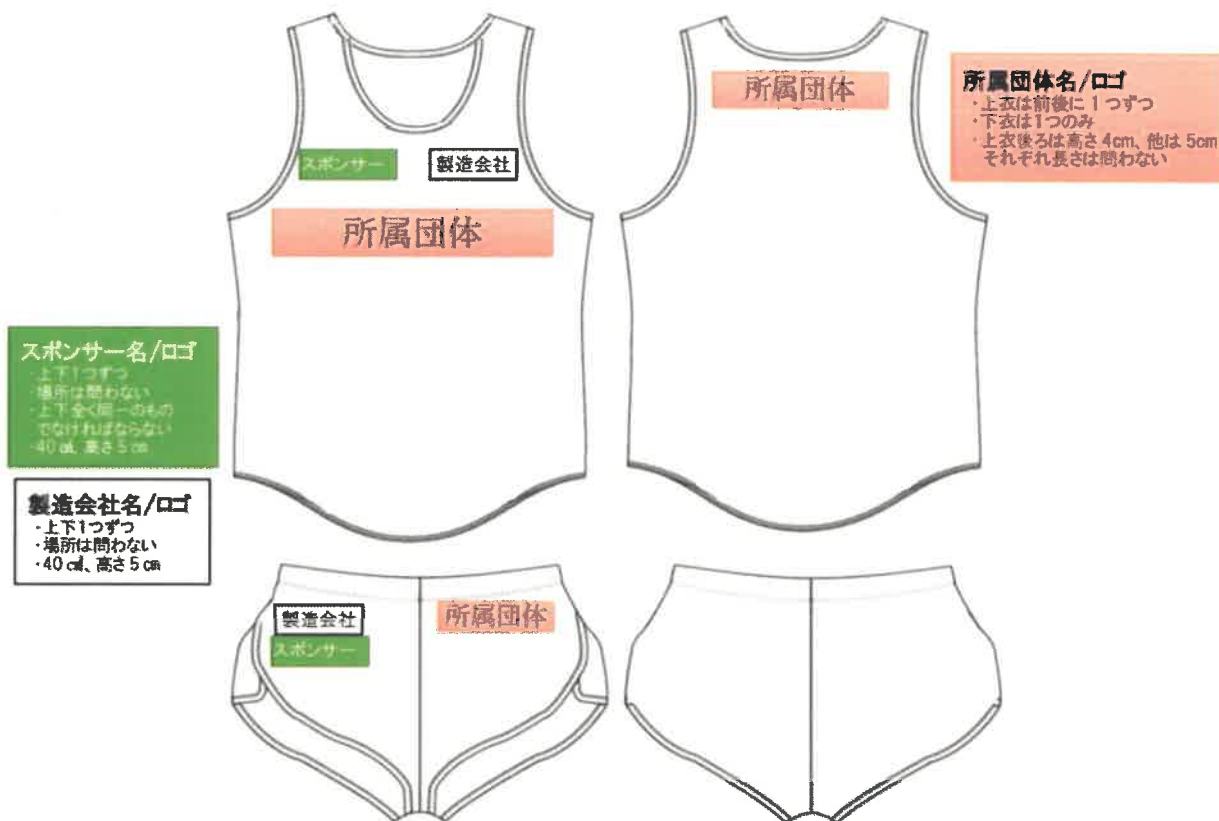
競技会・競技者によって異なるため、事前にどのパターン（規則）に該当するのか確認が必要。

特に高体連の大会ではスポンサー名・ロゴの表示は認めていない。また、国体や都道府県対抗大会では独自のルールを決めていることが多いので注意すること。

①国際大会（国内大会において、クラブチーム名（登録団体名）を表示しない競技者にも適用）



②国内大会（クラブチーム・個人用）

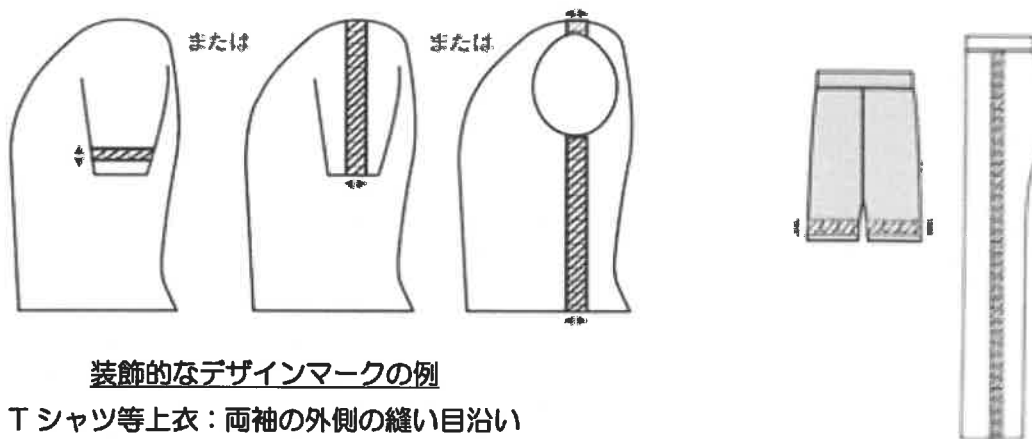


③国内大会（学校用）



衣類への製造会社のグラフィック、象徴的なロゴの表示について

製造会社のグラフィック、または象徴的なロゴ（名前や文字を含まない）は、「装飾的なデザインマーク」として以下のうちの1か所に、1回または幅10 cm以内の帯状で繰り返して表示できる。ただし、そのような使用が、WAの意見や裁量により、衣服の外観を支配したり、過度に損なったりしない場合に限る。



装飾的なデザインマークの例

- Tシャツ等上衣：両袖の外側の縫い目沿い
- パンツまたはレオタード：両袖、両裾の先端
- レオタード、レギンス等：両脚の外側の縫い目沿い

2021 広告規程

本規程は WA 広告規程に記載されているものを日本語訳したもので、国際大会での使用を基本とする。本規程を国内大会で使用する場合、[国内]-本連盟独自に追加したもの-を適用し、さらに WA を JAAF あるいは大会主催者に読み替えて使用する必要がある。

WA 広告規程 (2019 年 11 月 23 日)

Book C – C7.1

1. マーケティングおよび広告規程

1.1 この規則は国際競技会の定義で規定されている 1.1a、1.3、1.4、1.5 および 1.9 の大会に適用する。地域陸連は 1.6、1.7、1.8 および 1.10 の競技会に適用するマーケティングおよび広告規程を独自に作成し発表することができる。それらが無い場合には、競技規則に基づき WA に認められた適用可能な規程を適用する。

条項 1.1 に関する注意

地域陸連がこの競技規則に基づきカウンスルによって認められた規程を適用することを選択するなら、地域陸連は内部承認の過程に従って同意を求めなければならない。

地域陸連が独自のマーケティングおよび広告の規則と規程を作成するか、この競技規則およびそれに準じて発行される規程が適用されるかに関係なく、WA ではなく地域陸連が、規程の適用と施行に責任を負う。国際競技会の定義で規定されている 1.3、1.4、1.5、および 1.9 の大会の場合、WA ではなく大会主催者が、規程の適用と施行に責任を負う。

[国内] 本規程は、以下の(i)から(v)の競技会に適用される。

(i)本連盟主催・共催競技会

(ii)本連盟後援競技会

(iii)テレビ放映またはインターネット等による不特定多数に公衆送信される競技会

(iv)アスリートビブス広告協賛を付した競技会

(v)その他大会要項において本規程の適用を定め競技会における広告および展示物に関して規定する競技会

1.2 宣伝目的のあるマーケティングおよび広告の表示は、国際競技会の定義で指定されているすべての競技会で許可される。ただし、そのような広告および表示は、これらの規則の条件およびそれらの下で示されるすべての規程に準拠している必要がある。

1.3 カウンスルは、広告の形式、および本規則に基づいて実施される国際競技会での宣伝またはその他の資料の表示方法に関する詳細なガイダンスを提供する規程を随時承認する。これらの規程は、少なくとも次の原則に従うものとする。

1.3.1 総則：WA の見解において、品格に欠ける、目障りとなる、侮辱的、中傷的、その他公序良俗に反するマーケティングは、国際競技会の趣旨を考慮して、禁止されている。

1.3.2 アルコール飲料：アルコール飲料のマーケティングは次のものが許可される。

(a) 関連する法律に準拠しているもの

(b) アルコール含有量が 20%を超えないアルコール飲料

2021 広告規程

1.3.3 たばこおよびたばこ関連製品：たばこ製品またはたばこ関連製品および電子たばこ（e-shisha または e-hookah を含む）または電子たばこ関連製品（リフィルなど）のマーケティングは禁止されている。

1.3.4 武器および兵器：武器および兵器（それらの製造会社を含む）のマーケティングは禁止されている。

1.3.5 政治的/宗教的マーケティング：政治的（例：政党、政治団体、政治運動、政治的概念・主義主張あるいはその他政治目的を推進する宣伝）および宗教的（例：宗教、宗教活動、宗教的概念・主義主張あるいはその他宗教目的を推進する宣伝）のマーケティングは禁止されている。

1.3.6 すべてのマーケティングおよび広告は、適用される法令と安全上の規則を守らなければならない。

1.3.7 [国内] 行政指導

道路を使用する競技会における広告および展示物は、道路管理者、警察の指導ならびに自治体の屋外広告物条例の範囲内で認められる。従って主催者は事前に道路占用許可および道路使用許可等の必要な許可を得なければならない。

1.4 カウンシルはいつでも本規則に基づく規程を修正することができる。

[国内] 本規程は発効時期を含め理事会の議決を必要とする。ただし、WA 規程改定に伴う改定の場合はその限りではない。

Book C – C7.4

マーケティングおよび広告規程（国際競技会 1.5、1.9 適用）

衣類とアクセサリ

1. 定義

つぎに太文字で表記する用語は、本規程の目的のために以下の特定の意味をもつ。

広告

販売促進の性質をもつあらゆる広告および展示物。

適用法

すべての法律および法的規制（開催国の法律および競技者の母国の法律を含む）、ならびに安全や衛生に関する法律および放送局によって発行された、または放送局に適用されるあらゆる法的規制。

アスリート

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。競技者。

アスリートキット

競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット（トラックスーツ、T シャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レイ

2021 広告規程

ンジャケット)、および競技会にて競技者が着用するあらゆるその他のキットや衣服など。

アスリートスポンサー

競技者に関して商業的権利を許諾されたあるいは取得した会社。

ベット

WA Book of Rules D4.2 Manipulation of Sports Competition Rules (スポーツ競技規則の操作に係る規則) で定義されている通り。賭け事。

賭博行為

賭博の申し入れ、受け入れ、または賭けをする行為は、これらに限定されないが、合法的な賭けオペレーターや違法な賭けオペレーターによって提供される固定およびランニングオッズ、トータライザー/トートゲーム、ライブベッティング、ベッティングエクスチェンジ、スプレッドベッティング、ピアツーピアベッティングおよびその他のゲームなど、一般にスポーツベッティングと呼ばれるアクティビティが含まれる。

ビブス

競技会中に競技者が身に着ける識別カード (国名、名前や番号で識別)。

招集所

競技前、競技エリアに入る直前に競技者が集合する競技会会場にある部屋。

競技者係

競技前に招集所ですべての競技者の衣類や携行品を競技規則に基づいて確認する 1 名以上の競技役員。

招集所審判長

招集所に関して競技規則に従って任命された 1 名以上の審判長。

競技会

競技者が参加し、競技する陸上競技会 (いろいろな形式・種目で)。

競技会役員

競技規則に従って大会主催者により任命された役員およびその代表。

憲章

Generally Applicable Definitions (定義) で定義されている通り。

大会

国際競技会の定義で規定されている 1.5、1.9 に基づいて開催される競技会。

大会主催者

競技運営に責任があり、適切なWAのラベルまたは許可を与えられた主催者。

競技会会場

すべての競技場内競技の場合、主催者の管理下にあるスタジアム内およびスタジアムに直接隣接するエリア (屋内または屋外)。すべての競技場外競技の場合、主催者の管理下にあるコースまたはルート。

大会スポンサー

2021 広告規程

地域または国レベルの競技会に関して地域ベースの商業的権利を獲得および与えられた会社で、タイトルスポンサーを含む。

大会名

大会の公式タイトル（タイトルスポンサー名を含む）。

競技エリア（FOP）

競技者が競技を行う場所（競技場外の競技ではコースも含む）および競技者が表彰を受ける場合は、待機場所、ミックスゾーン、報道エリア、表彰台およびビクトリーランエリアも含まれる。フィールド・オブ・プレイ。

賭け事

カジノ、オンライン、賭博店でプレイされる種類のゲーム（ポーカー、ビンゴ、バックギャモン、ルーレット、バカラ、ブラックジャック、ケノ、スロットマシン、サイコロを含むが、これらに限定されない）。

規程

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

規則

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

国際競技会

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

ジュリー

競技規則の下で設置された抗議対応の陪審員。

ロゴ

シンボル、デザインまたはその他の図案化された表示、スローガン、会社名（ウェブサイトやソーシャルメディア上の肩書を含む）、製品名あるいは競技会名。

マーケティング

広告、宣伝、報道、契約、推奨、販売促進、後援、または出版物を含むがこれらに限定されない製品またはサービスの販売および販売促進活動。

プレゼンテーションビブス

表彰式で表彰台に上がる競技者が身に着ける色付きのビブス。

プロバイダー

競技会の企画、開催に必要なあらゆる製品またはサービス（以下に例示）を競技者、競技役員あるいは競技会に製造または供給することを主な事業とするすべての会社。例えば、飲料、コピー機、車両、計時、計測、コンピューター（ハードウェア/ソフトウェア）、通信、ホームエレクトロニクス（テレビ/オーディオ/ビデオ/放送設備）など。あるいは主催者によって認められたあらゆる製品またはサービスを競技者、競技役員あるいは競技会に供給するすべての会社。

審判長

2021 広告規程

競技規則に従って任命された審判長。

タイトルスポンサー

大会のタイトルスポンサーになっている大会スポンサー。

商標

すべての登録済みおよび未登録の商標、サービスマーク、トレードドレス、および出所、産地、提携、認証または承認のその他の標識、商号、エンブレム、ロゴ、企業名、スローガンおよび商用シンボル、キャッチフレーズ、スローガン、タグライン、そのためのすべてのアプリケーション、および関連するすべての営業権。

これらの規程で定義されていない太字の用語は、関連する規則または規程に記載されているのと同じ意味を持つ。

2. 初めに

2.1 これらの規程は、憲章第 4.1 条 (d)、47.2 条 (d) および国際競技規則におけるマーケティングおよび広告規程に従って作成され、2019 年 11 月 23 日から有効になる。

2.2 国際競技規則におけるマーケティングおよび広告規程に従って、これらの規程は、WA カウンシルにより随時改正される場合がある。規程に加えられた改正は後のバージョンに含まれ、そのような変更がカウンシルによって承認された日から有効になる。

2.3 WA は、憲章第 4.1 条 (d) に従い、規則と規程、およびそれらが施行される司法制度の発展を通じてスポーツとしての陸上競技を規制する。

WA は、国際競技大会を創設し、管理、統制、監督することを義務付けられている（憲章第 4.1 条 (c)）

2.4 これらの規程は、競技者、競技者スポンサー、大会スポンサー、スチールカメラマンとカメラクルー、プロバイダーの人々、主催者（ボランティアを含む）の、またはこれらの人々による、またはこれらの人々に関連するマーケティングを、国際競技会の定義で規定されている 1.5 および 1.9 に該当する大会に関連する競技会会場で管理する。

2.5 これらの規程は、WA 競技規則と WA 規程と併せて読む必要がある。

2.6 次の間にあるいかなる不一致の範囲では

2.6.1 これらの規程および規則では、規則の関連条項が適用される。

2.6.2 これらの規程と憲章では、憲章の関連条項が適用される。

3. 総則

3.1 競技会会場でのマーケティングはすべて、規則と規程、これらの規程、WA によって発行された適用可能なガイドライン、およびすべての適用法に準拠する必要がある。

3.2 (a) 競技者 (b) 大会スポンサー、または (c) スチールカメラマンとカメラクルー (d) これらの規程に記載されているプロバイダーのスタッフおよびその他の人物の、または彼

2021 広告規程

らによる、または彼らに関連するマーケティングは、すべて競技会会場で、これらの規程に従っている必要があり、逆に（競技エリアを含む）競技会の技術的運営に悪影響を与えてはならない。

3.3 これらの規定で明示的に許可されているか、主催者によって承認されている場合を除き、広告、ロゴ、またはその他のブランド表示が付いたアイテムは、競技者、競技役員、大会スポンサー、スチールカメラマン、カメラクルー、プロバイダー、またはこれらの規程に記載されている、または大会の開催や開発に参加または支援しているその他の人物によって競技会会場に表示、持ち込み、着用、または配置することはできない。

3.4 大会ロゴと大会マスコットは、アスリートキットや競技役員に表示することはできないが、大会ロゴは、11 項に従って、スチールカメラマンとカメラクルーのビブスに表示できる。

3.5 許可と禁止

3.5.1 一般：WA の意見では、品格に欠ける、目障りとなる、侮辱的、中傷的、その他公序良俗に反するマーケティングは、大会の趣旨を考慮して、禁止されている。

3.5.2 アルコール飲料：アルコール飲料のマーケティングは次のものが許可される。

3.5.2.1 3.1 項に準拠しているもの。

3.5.2.2 アルコール含有量が 20% を超えないアルコール飲料。

3.5.3 たばこおよびたばこ関連製品：たばこ製品またはたばこ関連製品および電子たばこ（e-shisha または e-hookah を含む）または電子たばこ関連製品（リフィルなど）のマーケティングは禁止されている。

3.5.4 武器および兵器：武器および兵器（それらの製造会社を含む）のマーケティングは禁止されている。

3.5.5 サプリメント/栄養補助食品：サプリメント/栄養補助食品/製品のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WA によって禁止されている。

3.5.6 エネルギードリンク：エネルギードリンク（刺激物を含む）のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WA によって禁止されている。

3.5.7 スポーツドリンク/水分補給タブレット：スポーツドリンク/水分補給タブレットのマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、事前の書面による承認を得て許可される。

3.5.8 製薬会社および(または)製品：製薬会社および(または)製薬製品のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WA によって禁止されている。

3.5.9 賭博行為/賭け事：賭博行為と関連する製品ならびにサービスのマーケティングは、Athletics Integrity Unit との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WA に

2021 広告規程

よって禁止されている。

3.5.10 宝くじ：国や地方自治体の宝くじのマーケティングは許可される。

3.5.11 政治的/宗教的マーケティング：

政治的（例：政党、政治団体、政治運動、政治的概念・主義主張あるいはその他政治目的を推進する宣伝）および宗教的（例：宗教、宗教活動、宗教的概念・主義主張あるいはその他宗教目的を推進する宣伝）なマーケティングは禁止されている。

4. アスリートスポンサー

4.1 競技者がアスリートキットにアスリートスポンサーロゴを表示したい場合、競技者は、これらの規程に定められた要件が満たされている場合に限り、表示することができる。誤解を避けるために記すが、大会主催者の書面による承認がない限り、競技者は、後援する大会スポンサーのカテゴリと競合するアスリートスポンサーロゴを競技会会場で表示することはできない。

〔注意〕合計で最大2つの異なるアスリートスポンサーが、アスリートキット、および許可されている場合は個人の所有物やアクセサリーに表示することを許可されている。同じスポンサーをキット、個人の所有物、アクセサリーのすべてのアイテムに表示しなければならない。

〔国内〕1つのアスリートスポンサーが、アスリートキット、および許可されている場合は個人の所有物やアクセサリーに表示することを許可されている。同じスポンサーをキット、個人の所有物、アクセサリーのすべてのアイテムに表示しなければならない。

4.2 誤解を避けるために記すが、製造会社およびアスリートスポンサーは、アスリートキットまたは他の衣服（5.5 項参照）および個人の所有物またはアクセサリー（6 項参照）のアイテムに、これらの規程に従って1つのブランド名/ロゴを1回のみ表示できる。同じ名前/ロゴを、アスリートキット、他の衣服、個人の所有物、アクセサリーなどに複数回表示することはできない。

4.3 競技会会場で着用するアスリートキット

4.3.1 これらの規程に準拠したアスリートキットは、競技者が常に競技会会場で着用しなければならない（ウォームアップエリアやウォームアップトラックでのウォームアップセッション中、および式典中の競技者を含む）。誤解を避けるために記すが、競技者は、WAによって書面で承認されている場合、競技会会場で加盟国のチームキットを着用できる。

5. アスリートキット

5.1 キット

5.1.1 これらの規程で明示的に許可されていないアスリートキットのマーケティングまたはその他の識別表示は固く禁じられており、これらの規程の違反となる。

2021 広告規程

5.1.2 以下の名前/ロゴは、(WAによって別段の指定がない限り)さらなるガイドンスで示された配置に従ってアスリートキットに表示してもよい。

- ・ 製造会社名/ロゴ
- ・ アスリートスポンサー名/ロゴ

5.2 トップス、ベスト、パンツを含むアスリートキット

5.2.1 競技用トップス (ベスト、Tシャツ他)

最大以下の表示が許可される。

- ・ 1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・ 2x アスリートスポンサー名/ロゴ(2つの異なるアスリートスポンサーでなければならない)
- 40cm², 最大の高さ 5cm;

5.2.2 競技用パンツ、タイツ、レギンス他

最大以下の表示が許可される。

- ・ 1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・ 2x アスリートスポンサー名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;

5.2.3 レオタード (上半身と下半身を含むワンピース)

最大以下の表示がレオタードの上半身に許可される。

- ・ 1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・ 2x アスリートスポンサー名/ロゴ(2つの異なるアスリートスポンサーでなければならない)
- 40cm², 最大の高さ 5cm;

5.2.4 レオタード (ワンピース-下半身)

最大以下の表示がレオタードの下半身に許可される。

- ・ 1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・ 2x アスリートスポンサー名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;

5.2.5 他のアスリートキット (上半身)

競技者が着用するセレモニーキット、トラックスーツ、スウェットシャツ、レインジャケットを含む。

最大以下の表示が許可される。

- ・ 1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・ 2x アスリートスポンサー名/ロゴ(2つの異なるアスリートスポンサーでなければならない)
- 40cm², 最大の高さ 5cm;

5.2.6 他のアスリートキット (下半身)

競技者が着用するセレモニーキット、トラックスーツ、スウェットパンツを含む。

最大以下の表示が許可される。

2021 広告規程

- ・1x 製造会社名/ロゴ - 40cm², 最大の高さ 5cm;
- ・2x アスリートスポンサー名/ロゴ(2つの異なるアスリートスポンサーでなければならない)
- 40cm², 最大の高さ 5cm;

〔国内〕 所属団体名/ロゴ、クラブスポンサー名/ロゴ、アスリートスポンサー名/ロゴを以下の形態で1つずつ2つまでベスト、パンツまたはレオタード（上・下）に表示することができる。

i 所属団体/ロゴ、所属団体名+所属団体ロゴの組み合わせいずれか1つ。文字およびロゴの高さは5cm以内とするが長さの制限は設けない。ただし、文字が表示されたワッペンをつける場合はワッペンの高さは5cm以内とし、長さの制限は設けない。

ii 所属団体スポンサー名/ロゴ、所属団体スポンサー名+所属団体スポンサーロゴの組み合わせあるいはアスリートスポンサー名/ロゴ、アスリートスポンサー名+アスリートスポンサーロゴの組み合わせのいずれか1つ（名前とロゴを切り離して表示することはできず並列して表示しなければならない）。文字およびロゴの大きさは40cm²以内、高さは5cm以内とする。

所属団体名は、ベストまたはレオタードの後部にも表示することができる。その文字の高さは4cm以内とし、長さの制限は設けない。

〔国内〕 日本学生陸上競技連合、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟に加盟している学校教育法第1条、第124条および第134条に規定する学校の学校名/マークはベストまたはレオタードの前部および後部にそれぞれ1つずつ表示できるものとし、大きさに制限は設けない。また、スポンサー名/ロゴ、スポンサー名+スポンサーロゴの組み合わせあるいはアスリートスポンサー名/ロゴ、アスリートスポンサー名+競技者個人スポンサーロゴの組み合わせのいずれか1つを表示できる。（名前とロゴを切り離して表示することはできず並列して表示しなければならない）。文字およびロゴの大きさは40cm²以内とし、高さは5cm以内とする。

※スポンサー名/ロゴは製造会社名/ロゴと同じではない。また、スポンサー名/ロゴを表示する場合は、各アスリートキットに同じものを表示する。

〔国内〕 都道府県名/ロゴ

i 都道府県対抗競技会においては、所属する都道府県名/ロゴをベストまたはレオタードの前部および後部にそれぞれ1つずつ表示することができる。また、パンツまたはレオタード（下）にも1つ表示することができる。

ii 加入団体の所在地を示す場合は、クラブ名とは切り離した形で各アスリートキットに1つ表示できる。高さは4cm以内とし、長さの制限は設けない。

5.3 アスリートキットの製造会社のグラフィック、または象徴的なロゴ（名前や文字を含まない）は、「装飾的なデザインマーク」として以下のうちの1か所に、1回または幅10cm以内の帯状で繰り返して表示できる。ただし、そのような使用が、WAの意見や裁量により、

2021 広告規程

衣服の外観を支配したり、過度に損なったりしない場合に限る。

- ・パンツまたはレオタードの両袖、両裾の先端
- ・両袖の外側の縫い目沿い（Tシャツ、トラックスーツ上衣、他）
- ・両脚の外側の縫い目沿い（レオタード、レギンス他）

5.4 シューズ

競技者が使用する靴の製造会社の名前/ロゴのサイズに制限はない。競技者の名前、競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ（すなわち商用参照のないハッシュタグ）も同様に、サイズや配置の制限なしに表示できる（これには、競技者自身の靴のブランドが含まれる）。

5.5 他の衣服

競技中に競技者が使用する他のアパレル（靴下（膝丈の靴下を含む）、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、メガネ、サングラス、リストバンド、前腕バンドなど）の製造会社の名前/ロゴは、1つ表示することができる。このような表示の最大の大きさは6cm²で、最大の高さは3cmとする。

（注意）メガネ、サングラスは、製造会社の名前/ロゴを2つまで表示することができる。

6. 個人の所有物およびアクセサリー

6.1 すべてのタオル（ビーチタオル、バスタオル、ハンドタオル、フェイスタオル）およびブランケットには以下の表示ができる。

6.1.1 製造会社名/ロゴは1つ表示できる。最大の大きさは40cm²、最大の高さは5cm; および

6.1.2 アスリートスポンサー名/ロゴは2つ表示できる。最大の大きさは40cm²、最大の高さは5cm;

あるいは

6.1.3 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

〔国内〕競技会名/ロゴも表示することができる。大きさに制限は設けない。

6.2 すべてのバッグ（タグとラベルを含む）には以下の表示ができる。

6.2.1 製造会社名/ロゴを表示できる。最大の大きさは40cm²、最大の高さは5cm; および

6.2.2 アスリートスポンサー名/ロゴは2つ表示できる。最大の大きさは40cm²、最大の高さは5cm;

あるいは

6.2.3 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアのハッシュタグ

6.3 ドリンクの提供者、製造会社、および(または)アスリートスポンサーの名前/ロゴは、競技者の個人の飲料ボトルに2回表示できる。ただし、容量が1リットルを超えることはできない。ロゴの最大の大きさは40cm²、最大の高さは5cmで、競技者は個人の飲料ボ

2021 広告規程

トルを競技エリアに持ち込むことができる。

6.4 フィールド競技および混成競技（円盤投、砲丸投、ハンマー投、やり投、棒高跳など）で競技者が使用する道具に表示されるマーケティングに関する規程は、マーケティングおよび広告規程 -国際競技会の定義で規定されている 1.5 および 1.9- に記載されている。

6.5 競技者は、ビデオレコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、無線送信機、携帯電話、ヘッドフォン、カメラ、ボディカメラを競技エリアに持ち込むことはできない。さらに、競技規則で明示的に許可されていない限り、他のアイテムを競技エリアに持ち込むことはできない。誤解を避けるために記すが、競技者はウォームアップエリアと競技エリアで時計を着用することはできる。

6.6 競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは、無地でも、テープに競技者の名前が付いていてもかまわない。医療用テープまたは一般テープに記載された商品名/ロゴは、大会主催者の書面での承認が必要である。

6.7 競技者の随員メンバー（家族、コーチ、競技者代理人など）は、禁止されているアイテム（これらの規程に準拠していないアイテムを含む）を競技エリア内の競技者に渡すことはできない。彼らが競技会会場にいる場合、該当する限り、6 項に準拠する必要がある。

7. ネイル、ボディーアート、ヘアデザイン、ジュエリー

7.1 アスリートスポンサー名/ロゴは、以下では表示できない。

7.1.1 タトゥー（恒久的または一時的かを問わず、ヘナ染料または同様の製品の使用を含む）；

7.1.2 ヘアデザイン

7.1.3 コンタクトレンズ；

7.1.4 またはネイルアート

誤解を避けるために記すが、競技者はタトゥー、ヘアデザイン、コンタクトレンズを着用してもよい。

7.2 競技者はジュエリーを身に付けることができる（ボディピアスおよびこれらの規程の 6.5 項の対象となる時計を含む）。ジュエリー（デザインにジュエリーブランドの名前またはロゴのデザインが含まれているものを含む）の着用は認められている。

8. アスリートビブス

8.1 ビブスの最大の大きさは幅 24cm x 高さ 16cm とする。

8.2 競技者識別表示の高さは 6cm 以上とし、見やすいものとする。

8.3 競技会の種目ごとに最大 2 つのスポンサーを表示できる。

8.4 競技者識別表示より上の表示の最大の高さは 6cm とする。そのような表示は、これが大会主催者によって事前に承認されていれば、1 つの大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイスを表示することができる。

2021 広告規程

8.5 競技者識別表示より下の表示の最大の高さは4cmとする。そのような表示には、大会主催者によって事前に承認されていれば、(a) 1つの大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイスまたは(b)大会が開催されている都市または地域を表示できる。

[国内] 競技者識別表示より下の表示の最大の高さは4cmとする。そのような表示には、大会主催者によって事前に承認されていれば、(a) 大会名/ロゴ、(b) 加盟団体名、(c) 大会スポンサー名/ロゴまたはマーケティングデバイス、(d) 大会が開催されている都市または地域のいずれかを表示できる。

8.6 ビブスは、競技役員による番号（または他の競技者識別表示）の最大の視認性が確保されるよう印刷されなければならない。

8.7 ビブスとビブスの番号（または他の競技者識別表示）は、大会中競技エリアで競技を行っている間は、常に見えるようにしなければならない（つまり、折りたたんだり、見えないように隠したりしない）。

8.8 種目ごとに異なる大会スポンサーをビブスに表示することができる（例：女子 100m と男子やり投など）。

[国内] 駅伝競走においては、アスリートビブスに番号数字の代わりにチーム名（都道府県名、学校名等）、区間を表す文字もしくは競技者の大会登録番号をバランスよく表示することができる。ただし、会社名（チーム名）は表示できないものとする。

9. プレゼンテーションビブス

9.1 プレゼンテーションビブスは、表彰台に上がる競技者が受賞時のセレモニーキットにとりつける。最大の大きさは幅 24cm x 高さ 16cm とする。

9.2 プレゼンテーションビブスは、上部に最大の高さ 6cm の大会スポンサー名/ロゴがある。大会ロゴは、大会スポンサー名/ロゴの下に表示される。

10. 競技役員の衣類

10.1 大会スポンサーである衣類の製造会社名/ロゴは、競技役員の上半身の服と下半身の服にそれぞれ1つずつ表示できる。このような表示は、最大の大きさは 40cm²、最大の高さが 5cm の長方形の形状でなければならない。

10.2 大会スポンサーである衣類の製造会社のグラフィック、または象徴的なロゴ（名前や文字を含まない）は、装飾的な「デザインマーク」として1回、以下のうちの1か所に、幅 10 cm以内の帯状で繰り返して表示できる。ただし、そのような使用が、大会主催者の意見や裁量により、衣服の外観を支配したり、過度に損なったりしない場合に限る。

- ・両袖、両裾の先端
- ・両袖の外側の縫い目沿い
- ・両脚の外側の縫い目沿い

10.3 大会名/ロゴ、あるいはその両方が最大 5cm の高さで1つ表示できる。タイトルスポ

2021 広告規程

ンサーがついている大会で大会名を表示する場合は、完全な大会名を表示しなければならない（タイトルスポンサー名に限定した表示をすることはできない。）。

〔国内〕大会名/ロゴを表示できる。大きさに制限は設けない。タイトルスポンサーがついている大会で大会名を表示する場合は、完全な大会名を表示しなければならない（タイトルスポンサー名/ロゴに限定した表示をすることはできない。）。

10.4 競技会にタイトルスポンサーがない場合、衣類の製造会社以外の大会スポンサー名/ロゴが1つ表示できる。

〔国内〕本連盟、地域陸協、加盟団体の名称/ロゴは1つ表示することができる。

11. スチールカメラマン/テレビカメラクルーのビブス

11.1 競技場内にアクセスできるスチールカメラマンまたはテレビのカメラクルーメンバーは、大会主催者が提供する公式のインフィールドビブスを着用する。

11.2 スチールカメラマンの公式のインフィールドビブスは次のものが表示される。

11.2.1 最大の高さ 10cm で大会名か大会ロゴ

11.2.2 大会スポンサー名/ロゴは、前面と背面に1つずつ表示できる。そのような表示の最大の高さは、大会主催者と別段の合意がない限り 10cm とする。

11.3 テレビカメラクルーの公式のフィールドビブスは次のものが表示される。

11.3.1 最大の高さ 10cm で大会名か大会ロゴ

11.3.2 大会スポンサー名/ロゴか放送局名は、前面と背面に1つずつ、最大の高さは、大会主催者と別段の合意がない限り 10cm で表示できる。

12. 競技会会場内の大会スポンサーの衣服

12.1 大会開催中に商品やサービスを提供する大会スポンサーロゴは、競技会会場にいるスタッフの上半身の衣服に表示できる。そのような表示の最大の大きさは 40 cm²、最大の高さは 5cm とする。

12.2 また大会スポンサーの衣服には、大会名と大会ロゴとともに衣料品を提供する大会スポンサー名/ロゴを表示できる。タイトルスポンサー付きの大会または大会スポンサーを提示する大会で、大会名を表示する場合は、大会スポンサー名だけでなく、完全な大会名が表示されなければならない。そのような表示の最大の高さは 4cm とする。

13. 競技会会場内の他の役員

13.1 競技会会場内の他のすべての役員（ボランティア、プロバイダーの要員、組織委員会の職員、スタジアムの要員など）は、大会主催者が提供する公式の大会用衣服を着用するか、ブランドのない衣服を着用しなければならない。

14. 指名された代表者

2021 広告規程

大会主催者は大会でのこれらの規程の遵守、管理、解釈、監督を行う権限と機能を持つ代表者を指名するものとする。

15. 一般的な執行

大会主催者の命令に従わなかったり、競技役員が大会主催者の指定代理人の見解で必要とされる実行命令を拒否したりした場合、その人物または競技役員は、規則および(または)これらの規程に従って制裁の対象となる場合がある。

16. 大会での実施

招集所

16.1 競技規則に従い、すべての競技者がこれらの規程の5項、6項、7項、および8項を遵守し、競技前に招集所でチェックし確認することが、競技者係の責任である。具体的には、競技者係は、競技者が承認されたアスリートキットを着用し、ビブスが適切に着用されていること、該当する場合、競技者の衣服、アクセサリ、個人の所有物、ネイル、ボディーアート、ヘア、およびジュエリーのマーケティングが規則とこれらの規程を遵守し、許可されていない物品が競技エリアに持ち込まれていないことを確認する。競技者係は、未解決の問題または発生した問題（招集所での抗議や異議を含む）を招集所審判長に照会する。

16.2 アスリートキットに表示されるマーケティングまたはその他の識別表示のサイズ、および該当する場合、衣服や個人の所有物（競技エリアに持ち込まれる場合）は、大会主催者が指定の代表者を通じて着用中または使用できる状態で測定される。

16.3 競技者の場合

16.3.1 アスリートキット、ビブス、または該当する場合は、衣服、アクセサリ、個人の所有物、ネイル、ボディーアート、ヘア、およびジュエリーを持っている、または着用して競技エリアに入ろうとする場合、競技者係/大会主催者の指定した代表者がこれらの規程に違反していると判断すれば、招集所審判長は、競技者が参加するために競技エリアに入ることを許可してはならない。

16.3.2 競技者係の命令に従うことを拒否した場合、競技者係は次の16.4項に従わなければならない。

16.4 16.3項に従い、競技者係はそのような事実を招集所審判長に直ちに報告し、可能であれば写真の証拠と詳細（競技者の名前、ビブス番号または名前、違反の内容など）を記録する。招集所審判長は、問題を解決するか、大会主催者の代理人に問題を照会することができる。照会に応じて、大会主催者の代理人は直ちにこれらの規程の適用を再考および決定する。競技者は、招集所審判長または大会主催者の代理人の決定に従わなければならない。

16.5 大会主催者の代理人は、招集所審判長と連携して招集所で発生する未解決の問題またはこれらの規程の適用に関連する問題を決定する。

16.6 大会主催者による指定代理人の指名は、規則およびこれらの規程に従って、招集所審

2021 広告規程

判長および競技者系の権限および権力を妨げたり損なったりすることはない。

競技エリア

16.7 競技者は、競技のために競技エリアにいる間、これらの規程を遵守しなければならない。一旦競技エリアに入ったら、競技者はこれらの規程を適用する権限を持つ担当の審判長の責任に帰する。

16.8 審判長は、必要に応じて、競技エリアでのこれらの規程の適用に関連する問題やあらゆる問題を決定する際に、大会主催者の代理人と協力して取り組む。

17. 競技者に対する違反と救済

17.1.1 取り外し、覆い、または広告のない衣服の着用

アスリートキット、該当する場合は、衣服、アクセサリ、個人の所有物、ネイル、ボディーアート、ヘア、およびジュエリーがこれらの規定に準拠していない場合、競技者は、違反しているアイテムを取り除く、隠す、または広告のない服を着用するように指示される場合がある。

17.1.2 遵守の拒否

競技者が競技者係、招集所審判長、または大会主催者の代理人（該当する場合）の指示に従うことを拒否した場合、競技者はこれらの規程に基づく制裁の対象となる。

17.1.3 準拠アスリートキットから非準拠アスリートキットへのその後の変更

招集所でのチェックと許可の後に、準拠しているアスリートキット、および該当する場合、衣服、アクセサリ、個人の所有物、ネイル、ボディーアート、ヘア、およびジュエリーを非準拠のアスリートキットに変更した競技者は、これらの規程に基づく制裁の対象となる。

17.1.4 非準拠のアスリートキットでの競技エリアへの参加

審判長や大会主催者の代理人によってこれらの規程に準拠していないと判断されたアスリートキット、および該当する場合、衣服、アクセサリ、個人の所有物、ネイル、ボディーアート、ヘア、ジュエリーで競技に参加する競技者は、これらの規程に基づく制裁の対象となる。

18. 競技者に対する制裁

18.1 これらの規程に違反している、または遵守するように要求されているが、遵守していない競技者は、以下の制裁の対象となる場合がある。

18.1.1 警告を与えられる

18.1.2 競技エリアへの立ち入りを拒否または退去を要求される

18.1.3 競技会での失格

18.1.4 競技結果の無効または

18.1.5 罰金の宣告、または出場料は、関連する大会主催者から競技者に支払うわれな

2021 広告規程

い。

18.2 19.1 項で言及されている制裁は、関連する審判長によってこれらの規程に準拠していない競技者に課せられる場合がある。

18.3 これらの規程に基づいて課された制裁は、事実と課された制裁の簡単な概要を含め、WA への写しとともに書面で確認され、そのような制裁が課された直後に当事者に提供される。

18.4 競技者に罰金が科せられた場合、罰金は、判決に従いこれらの規程に違反した競技者が直接支払う。

19. 上訴

19.1 大会での提出

招集所または競技エリアでのこれらの規程に従って行われた決定（課された制裁を含む）は、競技者から上訴できる。このような上訴は、JURY（「上訴機関」）に提出される。

この形式の紛争解決手続きは緊急措置であることを意図しているため、最初の決定についての上訴機関による再調査の要求は、不服のある最初の決定の受領後、24 時間以内に行う。

19.2 大会での決定

上訴機関は、大会主催者の代理人および(または)関連する審判長による書面の報告書を再調査し、上訴機関または上訴当事者から要求された場合、大会主催者の代理人および(または)関連する審判長および(または)上訴当事者による口頭での報告も審査する。上訴機関は、要請の受領後、速やかにその決定に到達する。上訴機関は、最初の決定を覆す、変更する、または修正できる。上訴機関は、事実の簡単な概要と結論を含め、書面でその決定を確認し、決定から 1 週間以内にそのような書面による決定を上訴当事者に提供する。上訴機関の決定は最終的なものであり、かつすべての当事者に拘束力をもつ。

Book C – C7.5

マーケティングおよび広告規程（国際競技会 1.5、1.9 適用）

衣類とアクセサリ以外

1. 定義

つぎに太文字で表記する用語は、本規程の目的のために以下の特定の意味をもつ。

広告

販売促進の性質をもつあらゆる広告および展示物。

広告ボード

競技会会場に設置される静的、固定式、電子式、回転式、ヴァーチャル、その他を問わず、広告用またはその他の識別表示用に適した外観で、境界（周辺）ボード、インフィールドボードも含む。

適用法

2021 広告規程

すべての法律および法的規制（競技が開催される国の法律および競技者の母国の法律を含む）、ならびに安全や衛生に関する法律および放送局によって発行された、または放送局に適用されるあらゆる法的規制。

アスリート

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。競技者。

ベット

WA Book of Rules D4.2 Manipulation of Sports Competition Rules（スポーツ競技規則の操作に係る規則）で定義されている通り。賭け事。

賭博行為

賭博の申し入れ、受け入れ、または賭けをする行為は、これらに限定されないが、合法的な賭けオペレーターや違法な賭けオペレーターによって提供される固定およびランニングオッズ、トータライザー/トートゲーム、ライブベッティング、ベッティングエクスチェンジ、スプレッドベッティング、ピアツーピアベッティングおよびその他のゲームなど、一般にスポーツベッティングと呼ばれるアクティビティが含まれる。

ビブス

競技会中に競技者が身に着ける識別カード（国名、名前や番号で識別）。

競技会

競技者が参加し、競技する陸上競技会（いろいろな形式・種目で）。

競技会役員

競技規則に従って大会主催者により任命された役員およびその代表。

憲章

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

大会

国際競技会の定義で規定されている 1.5、1.9 に基づいて開催される競技会。

大会ロゴ

大会のシンボル、デザイン、その他の図案化された表示、および(または)大会の公式名（ウェブサイトのアドレスとソーシャルメディア上の肩書を含む）（該当する場合は、関連する大会の正式名称に企業のタイトルスポンサー名を含む）。

大会主催者

競技運営に責任があり、適切なWAのラベルまたは許可を与えられた主催者。

競技会会場

すべての競技場内競技の場合、主催者の管理下にあるスタジアム内およびスタジアムに直接隣接するエリア（屋内または屋外）。すべての競技場外競技の場合、主催者の管理下にあるコースまたはルート。

大会スポンサー

地域または国レベルの競技会に関して商業的権利を獲得および与えられた会社で、タイト

2021 広告規程

ルスポンサー、大会サポーター、大会サプライヤー、公的機関を含む。

競技エリア (FOP)

競技者が競技を行う場所（競技場外の競技ではコースも含む）および競技者が表彰を受ける場合は、待機場所、ミックスゾーン、報道エリア、表彰台およびビクトリーランエリアも含まれる。フィールド・オブ・プレイ。

賭け事

カジノ、オンライン、賭博店でプレイされる種類のゲーム（ポーカー、ビンゴ、バックギャモン、ルーレット、バカラ、ブラックジャック、ケノ、スロットマシン、サイコロを含むが、これらに限定されない）。

規程

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

規則

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

インフィールドボード

大会のスタジアムでトラックの内側に設置される広告ボード。

国際競技会

Generally Applicable Definitions（定義）で定義されている通り。

ロゴ

シンボル、デザインまたはその他の図案化された表示、スローガン、会社名（ウェブサイトやソーシャルメディア上の肩書を含む）あるいは製品名。

マーケティング

広告、宣伝、報道、契約、推奨、販売促進、後援、または出版物を含むがこれらに限定されない製品またはサービスの販売および販売促進活動。

境界（周辺）ボード

大会スタジアムのトラックの外側の 1 列目 2 列目、ウォームアップトラックまたはその近く、またはスタジアム以外の大会または競技会のコースに沿って配置される広告ボード。

プレゼンテーションビブス

表彰式で表彰台に上がる競技者が身に着ける色付きのビブス。

プロバイダー

競技会の企画、開催に必要なあらゆる製品またはサービス（以下に例示）を競技者、競技役員あるいは競技会に製造または供給することを主な事業とするすべての会社。例えば、飲料、コピー機、車両、計時、計測、コンピューター（ハードウェア/ソフトウェア）、通信、ホームエレクトロニクス（テレビ/オーディオ/ビデオ/放送設備）など。あるいは主催者によって認められたあらゆる製品またはサービスを競技者、競技役員あるいは競技会に供給するすべての会社。

タイトルスポンサー

2021 広告規程

関連する大会の公式名に組み込まれている大会のタイトルスポンサーになっている大会スポンサー。

商標

すべての登録済みおよび未登録の商標、サービスマーク、トレードドレス、および出所、産地、提携、認証または承認のその他の標識、商号、エンブレム、ロゴ、企業名、スローガンおよび商用シンボル、キャッチフレーズ、スローガン、タグライン、そのためのすべてのアプリケーション、および関連するすべての営業権。

これらの規程で定義されていない太字の用語は、関連する規則または規程に記載されているのと同じ意味を持つ。

2. 初めに

2.1 これらの規程は、憲章第 4.1 条 (d)、47.2 条 (d) および国際競技規則におけるマーケティングおよび広告規程に従って作成され、2019 年 11 月 23 日から有効になる。

2.2 国際競技規則におけるマーケティングおよび広告規程に従って、これらの規程は、WA カウンシルにより随時改正される場合がある。規程に加えられた改正は後のバージョンに含まれ、そのような変更がカウンシルによって承認された日から有効になる。

2.3 WA は、憲章第 4.1 条 (d) に従い、規則と規程、およびそれらが施行される司法制度の発展を通じてスポーツとしての陸上競技を規制する。

WA は、国際競技大会を創設し、管理、統制、監督することを義務付けられている（憲章第 4.1 条 (c)）

2.4 WA が随時発行する大会関連の規程に別段の定めがない限り、これらの規程は、本書に記載されている団体、または国際競技会の定義 1.5 で規定されている、1.9 に該当する大会組織または開発への参加者、または支援者による競技会会場でのマーケティングの表示、取り込み、配置を決定する。これらの規程は、国際競技会の定義に該当する他の大会に適用するために、関連する大会主催者によって採用される場合がある（特定の規程が適用される国際大会の定義で規定されている 1.1 (a)、1.3 および 1.4 に該当するものを除く）。

2.5 これらの規定は、WA 競技規則と WA 規程と併せて読む必要がある。

2.6 次の間にあるいかなる不一致の範囲では

2.6.1 これらの規程および規則では、規則の関連条項が適用される。

2.6.2 これらの規程と憲章では、憲章の関連条項が適用される。

3. 総則

3.1 競技会会場でのマーケティングは、

a) 規則と規程、これらの規程、WA によって発行された適用可能なガイドライン、および適用されるすべての法律に準拠していなければならない。および

2021 広告規程

- b) 逆に競技会の高潔性または技術的行為を妨げてはならない（競技エリアを含む）。
- c) WAS 競技会中に観客および放送局のカメラビューを妨害してはならない。ただし、競技会に参加している競技者や競技役員が偶然に引き起こした妨害は除く。 および
- d) テレビカメラおよびレールカメラを妨害してはならない。

3.2 大会主催者とWAによって承認されたこれらの規定で明示的に許可されている場合を除き、広告、ロゴ、またはその他のブランド表示が付いたアイテムは、競技者、チームスタッフ、競技役員、主催者、大会スポンサー、スチールカメラマン、カメラクルー、プロバイダー、またはこれらの規程に記載されている、または大会の開催や開発に参加または支援しているその他の団体によって競技会会場に表示、持ち込み、または配置することはできない。

3.3 競技会会場に表示または配置されるマーケティング、広告、および(または)ロゴは、大会主催者の事前承認の対象となる。

3.4 これらの規程で規定されていない、またはこれらの規程から逸脱している競技会会場でのマーケティングの追加の機会は、大会主催者とWAの事前の書面による合意によって提供される場合がある。

3.5 許可と禁止

3.5.1 一般：WAの意見では、品格に欠ける、目障りとなる、侮辱的、中傷的、その他公序良俗に反するマーケティングは、大会の趣旨を考慮して、禁止されている。

3.5.2 アルコール飲料：アルコール飲料のマーケティングは次のものが許可される。

3.5.2.1 3.1 項に準拠しているもの。

3.5.2.2 アルコール含有量が20%を超えないアルコール飲料。

3.5.3 たばこおよびたばこ関連製品：たばこ製品またはたばこ関連製品および電子たばこ（e-shisha または e-hookah を含む）または電子たばこ関連製品（リフィルなど）のマーケティングは禁止されている。

3.5.4 武器および兵器：武器および兵器（それらの製造会社を含む）のマーケティングは禁止されている。

3.5.5 サプリメント/栄養補助食品：サプリメント/栄養補助食品/製品のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WAによって禁止されている。

3.5.6 エネルギードリンク：エネルギードリンク（刺激物を含む）のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WAによって禁止されている。

3.5.7 スポーツドリンク/水分補給タブレット：スポーツドリンク/水分補給タブレットのマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、事前の書面による承認を得て許可される。

3.5.8 製薬会社および(または)製品：製薬会社および(または)製薬製品のマーケティングは、WA 健康科学部との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WAによって

2021 広告規程

禁止されている。

3.5.9 賭博行為/賭け事：賭博行為/賭け事と関連する製品ならびにサービスのマーケティングは、Athletics Integrity Unit との協議の後、書面で特に承認されていない限り、WA によって禁止されている。

3.5.10 宝くじ：国や地方自治体の宝くじのマーケティングは許可される。

3.5.11 政治的/宗教的マーケティング：政治的（例：政党、政治団体、政治運動、政治的概念・主義主張あるいはその他政治目的を推進する宣伝）および宗教的（例：宗教、宗教活動、宗教的概念・主義主張あるいはその他宗教目的を推進する宣伝）なマーケティングは禁止されている。

3.5.12 [国内] 日本実業団連合所属チームの対抗競技会における選手・所属先応援用旗、織、幕、小旗などの掲出は、この規則から除外し、主催者の指示に従うものとする。

[国内] 学校教育法第 1 条、第 124 条および第 134 条に規定する学校が出場する学校対抗競技会における学校名を記載した旗、織、幕、小旗などの掲出は、この規則から除外し、主催者の指示に従うものとする。

3.6 WA のロゴの使用

3.6.1 WA 名/ロゴの大会主催者による使用は、大会主催者と WA 間の関連付けを暗示、示唆、または作成する方法であってはならない。WA 名/ロゴは、関連する WA ブランドガイドラインに従って使用するものとし、大会スポンサーが WA の商業関連会社であり、WA が事前に書面による承認を与えていない限り、大会スポンサーの名前またはロゴの隣、あるいは一緒に、または共に、使用することはできない。

4. すべての大会でのマーケティング

4.1 表彰台

表彰台の前部、上部などに、大会ロゴまたは 1 つ以上の大会スポンサーロゴが表示できる。そのような表示の最大の高さは、WA と別段の合意がない限り、30cm とする。

4.2 背景

表彰台の背後、ミックスゾーン内や記者会見での背景には、WA のロゴ、大会ロゴ、および（または）1 つ以上の大会スポンサーロゴを表示することができる。このような表示の最大の高さは、WA と別段の合意がない限り、30cm とする。

4.3 大会スポンサーのアナウンス

4.3.1 競技会の前、進行中または終了後に大会スポンサーについてアナウンスすることができる。そのようなアナウンスはジングルを伴うこともできるが、適切な方法で行わなくてはならず、競技や放送局の報道を妨げてはならない。競技会中は大会スポンサーに関するアナウンスは 1 時間につき最大 60 秒以内とする。

4.3.2 大会スポンサーのアナウンスは放送の録音に影響を与えてはならないため、放送の実況解説およびインタビューの位置の近くに配置された発表システムのスピーカ

2021 広告規程

一の音量を適切に調整しなければならない。

4.4 スコアボード/大型映像

4.4.1 スコアボードの外側のフレーム（ジャイアントスクリーンとも呼ばれる）は、商業関連会社名である場合を除き、製造会社の広告を一切表示しない。

大会スポンサーロゴは、それらの最大の距離はロゴの端と画面の端の間が 1.2m 以内であることを条件に、外側のフレームに配置できる。

4.4.2 音声を伴うかどうかにかかわらず、大会スポンサーの広告（広告枠、コマーシャルなど）は、競技の間のデッドタイムと同様に各セッションの始まる前か終わった後ただちにスコアボードに表示できる。

4.4.3 競技会中に大会スポンサーロゴをスコアボードに表示してもよい。

〔国内〕音声を伴わない広告は、競技運営の妨げにならないときに 30 秒以内で表示することができる。

4.5 構築物

スタート、フィニッシュ、表彰式の構築物は次のものが表示できる。

(i) 大会公式タイトル（最大の高さ 1m）

(ii) 大会ロゴ（最大の高さ 50cm）

(iii) 計時サービスを提供する大会スポンサーロゴを付けた公式計時装置

(iv) 大会スポンサーロゴ（最大の高さ 50cm）

4.6 フィニッシュラインテープ

大会スポンサー名/ロゴならびにまた大会ロゴをフィニッシュラインテープの両側に繰り返し表示することができる。最大の高さは 20 cm とする。

〔国内〕競技会名/ロゴも表示することができる。

〔国内〕クロスカントリーの大会でも本条項を適用する。

4.7 スペースブランケット

競技者に競技中あるいは競技後に提供されるスペースブランケットの両側に 2 つの大会スポンサーロゴを表示できる。大きさは 40 cm² で最大の高さは 5cm とする。

〔国内〕主催者が用意する毛布、ガウン、バスタオル、スペースブランケットなどの保温用具に大会名/ロゴ、製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴ（複数可）を繰り返し表示することができる。大会名/ロゴの大きさに制限は設けないが、スポンサー名/ロゴ、製造会社名/ロゴの大きさは 40 cm² とし、高さは 5cm 以内とする。

〔国内〕道路競技で競技者が着用または持ち込むことができる保温用具の製造会社名/ロゴの大きさは条項 4.7 で認められる範囲とする。

4.8 賞品

競技会後やフィニッシュラインで、または表彰式で競技者に渡される（メダルを除く）賞品には 1 つ以上の大会スポンサーや大会ロゴを表示できる。それぞれのロゴの最大の高さは 5cm とする。

2021 広告規程

4.9 製品の配置

大会スポンサーの製品は、競技会中にトラック、フィールド内、競技会のコースに沿って、また記者会見場を含む、競技会会場に配置できる。このような配置のサイズ、場所、方法は、大会主催者が決定する。

5. 競技場内競技会でのマーケティング

5.1 トラックの表面（メインとサブ）

5.1.1 トラックの表面の製造会社のロゴ

当該大会の大会スポンサーである場合に限り、トラック舗装材の製造会社の平らなロゴを最大 2 ヶ所、透過性のある色調で舗装材表面に表示することができる。平面表示の高さは屋外競技場で 1m 以内、室内競技場で 0.5m 以内とする。これらの表示はトラックのマーキングを妨げてはならず、競技中に競技者が通過するエリアの外側でなければならない。

5.1.2 競技場名および(または)所在地名および(または)大会ロゴ

競技場名ならびにまたは所在地名ならびにまたは大会ロゴを最大 2 ヶ所、透過性のある色調でトラック舗装材表面に表示することができる。ただし、大会ロゴにタイトルスポンサーロゴ名が含まれる場合を除き商業的なロゴが含まれてはならない。それらの表示は、屋外競技場で 5m 以内、室内競技場では 2.5m 以内でトラックの色とする。トラックの色を基調に透過性のある色調による表示の陰影をつくるため、トラックのベースカラーは白色で 66%まで薄めなければならない。ただし、トラックのマーキングを妨げてはならず、可視性を確保しなければならない。

5.1.3 大会スポンサーロゴ

大会スポンサーロゴを最大 2 ヶ所、透過性のある色調で舗装材表面に表示することができる。平面表示の高さは屋外競技場で 1m 以内、室内競技場で 0.5m 以内とし、どんな色でもよい。トラックのマーキングを妨げてはならず、競技中に競技者が通過するエリアの外側でなければならない。

5.1.4 WA 認証ロゴ

WA 認証製品（トラック舗装材）ならびにまたは WA 認証施設としてのロゴのどちらかを 2 ヶ所または双方を 1 ヶ所ずつ、透過性のある色調で舗装材表面に表示することができる。平面表示の幅は屋外競技場で 0.5m 以内、室内競技場で 0.25m 以内とするが、トラックのマーキングを妨げてはならず、競技中に競技者が通過するエリアの外側でなければならない。

WA 認定ロゴは、ライセンス使用の規約の対象となり、関連する WA ブランドガイドラインに従って使用されなければならない、WA の商業関連会社でありかつ WA が事前に書面で承認していなければ大会スポンサー名および(または)ロゴと併記併載してはならない。

2021 広告規程

5.2 広告ボード/広告幕

5.2.1 総則

(i) 内容：

広告ボードには、ロゴや、大会主催者によって認められた、大会スポンサー、大会、開催地、放送局の、または、常に上記 3.5 項を条件として、大会主催者が定める第三者などの、その他識別やコンテンツを表示することができる。

(ii) 両面：

広告ボードは、両面に広告を表示できる。

(iii) LED テクノロジーが使用されている場合、solus および(または)共有 solus 設定が許可される。

5.2.2 屋外競技場

5.2.2.1 境界（周辺）ボード

(i) 1 段目：

境界（周辺）ボードは、100m 直線沿いのリバースカメラアングル、カメラブラインド側を含むトラックの外縁から 0.30m 以上離れた標準位置に設置する。

これはメインスタンド側カメラが映せず、バックスタンド側などに設置されたリバースカメラアングルのカメラが映せるホームストレート沿い外周に設置したボードを含む。それらは一定の高さで 1 列とする。トラックボードのすぐ後ろの 2 列目は認められていない。

(ii) 2 段目：

境界（周辺）ボードには 2 段目が認められる。それらは一定の高さとする。

(iii) 大きさ：境界（周辺）ボードの大きさは最大の高さ 1.2m とする。

5.2.2.2 100m スタート後方の境界（周辺）ボード

(i) 境界（周辺）ボードまたは背景を 100m (110mH) のスタート後方に 1 枚置くことができるが、地面に設置しても、地面から 0.5m もち上げて設置してもよい。100m のスタート後方の境界（周辺）ボードには、1 つ以上の大会スポンサーロゴを表示できる。

(ii) 100m スタート後方の境界（周辺）ボードおよび背景は最大の高さは 2.5m で幅はトラックの幅とする。

5.2.2.3 インフィールドボード

(i) 位置：

インフィールドボードは、もしあるなら、インフィールドのいずれの個所であっても内側の縁から 0.50m 以上離して標準位置に設置する。

(ii) 総計：

インフィールドボードの最大の長さは総計 120m まで認められる。

(iii) 大きさ：

2021 広告規程

インフィールドボードは最大長さ 3m×高さ 0.50m とする。インフィールドボードは無表示の支柱や台座を使って最大 0.10m かさ上げして設置できる。地面から上部までの最大の高さは 0.60m とする。

[国内] 広告幕

(i) 位置：

広告幕は壁面やフェンスに設置することができる。

(ii) 1 段：

広告幕は 1 段に制限される。しかし、競技場内の恒久的構造物に取りつけるものであれば、追加の広告段の設置が認められる。

(iii) 大きさ：

広告幕の大きさは原則として幅 6m×高さ 1m とするが、最大幅 12m×高さ 1.8m 以内までは認められる。

(iv) 素材：

広告幕の材質に関して競技場管理者の規則がある場合はこれに従うものとする。

5.2.3 室内競技場

5.2.3.1 境界（周辺）ボード

(i) 1 段目：

境界（周辺）ボードは、フィニッシングストレートに沿った（「フィニッシングストレートボード」）リバーカメラアングル、カメラブラインド側を含むトラックの外縁の周りに設置する。

これはメインスタンド側カメラが映せず、バックスタンド側などに設置されたリバーカメラアングルのカメラが映せるホームストレート沿い外周に設置したボードを含む。それらは一定の高さで 1 列とする。

トラックボードのすぐ後ろの 2 列目は認めない。

(ii) 2 段目：

境界（周辺）ボードには 2 段目が認められる。それらは一定の高さとする。

(iii) 大きさ：境界（周辺）ボードの大きさは最大の高さ 1m とする。

5.2.3.2 インフィールドボード

(i) 位置：

インフィールドボードは、もしあるなら、インフィールドのいずれの個所であっても、同様にストレートの長さに沿って、内側の縁から 0.50m 以上離して標準位置に設置する。

(ii) 総計：

インフィールドボードの最大の長さは総計 30m まで認められる。

(iii) 大きさ：

インフィールドボードは最大長さ 3m×高さ 0.40m とする。インフィールドボード

2021 広告規程

は無表示の支柱や台座を使って最大 0.10m かさ上げして設置できる。支柱や基部を含めた地面から上部までの最大の高さは 0.50m とする。

〔国内〕 広告幕

(i) 位置：

広告幕は壁面やフェンスに設置することができる。

(ii) 1 段：

広告幕は 1 段に制限される。しかし、競技場内の恒久的構造物に取りつけるものであれば、追加の広告段の設置が認められる。

(iii) 大きさ：

広告幕の大きさは原則として幅 6m×高さ 1m とするが、最大幅 12m×高さ 1.8m 以内までは認められる。

5.2.4 室内競技場の競技者保護用マット

大会スポンサーロゴまたは大会ロゴは、60m の直走路の終わりにある競技者保護用マットに表示できる。そのような表示の最大の高さ 1.5m で、最大幅はトラックの幅とする。

5.3 すべてのスタジアムのウォームアップ場

境界（周辺）ボードをウォームアップ場に設置できる。その最大の高さ 1.2m で一定の高さとする。

5.4 カムカーペット（90 度システム広告）

カムカーペットをトラックの表面やインフィールドに使用できる。メインカメラアングルからの相対的な外観の最大サイズは、1.2m とする。

5.5 インフィールドの表面の広告

屋外のスタジアムでは大会ロゴ、大会スポンサーロゴあるいは大会主催者によって決定された第三者のロゴは、カーペットやその他の素材やインフィールドの表面に描いたり敷設したりできる。

大会、大会スポンサーあるいは大会主催者によって決定された第三者のロゴのいずれか 1 つを表示する場合の最大の大きさは 80m²、2 つを表示するならロゴの最大の大きさは 60m² とし、インフィールドの着地場所に配置したり妨げたりしないものとする。

6. 競技場外競技会でのマーケティング

6.1 境界（周辺）ボード

(i) 内容：

境界（周辺）ボードには、ロゴや大会主催によって認められた大会スポンサー、大会、放送局の、または常に 3.5 項を条件として、大会主催者によって決定された第三者の、その他識別表示やコンテンツを表示することができる。

(ii) 位置：

2021 広告規程

境界（周辺）ボードはスタート地点、フィニッシュ地点および競技会のコース周辺に設置できる。

(iii) 大きさ：

境界（周辺）ボードの最大の高さは 1.2m とする。

(iv) 両面：

境界（周辺）ボードの両面に広告を表示できる。

(v) LED テクノロジーが使用されている場合、solus および(または)共有 solus 設定が許可される。

〔国内〕 広告ボード/広告幕：

位置：

広告ボード/広告幕はコースに沿って一列に設置できる。

素材：

広告ボード/広告幕を支える構造は、いかなる天候、特に強風でも十分に広告ボード/広告幕の重さを支えることができる堅固なものとする。

大きさ：

広告ボード/広告幕の最大の高さは 1.2m とする。ただし、シリーズ/タイトルスポンサーは 1.5m まで認められる。

〔国内〕 発着点となる競技場内の広告ボード/広告幕は条項 5.2.2.1 を適用する。

〔国内〕 発着点となる競技場内のインフィールドボードは競技運営上支障がない場合は、条項 5.2.2.3 を適用する。

6.2 カムカーペット（90 度システム広告）/道路標示

カムカーペットはコースや道路に配置され、大会スポンサー、WA、大会、開催都市、放送局および上記 3.5 項を条件として、大会主催者によって決定された第三者のロゴが表示できる。メインカメラアングルからの相対的な外観の最大サイズは、1.2m とする。

6.3 その他の広告表示

大会主催者の承認を条件としてスタートエリアとフィニッシュエリアと同じようにその他の広告看板、道路標識、アーチ、風船式のアーチ、座席装飾カバー、その他の表示方法などは、既知あるいは、今後開発されるかに関係なく、競技のコースの周囲（応援ゾーンなど）に配置することができる。

このようなその他の広告看板には、大会主催者が決定した大会スポンサー、大会、開催都市、放送局、またはその他の第三者のロゴが表示できる。

6.3.1 〔国内〕 競技会においては、開催時期の告知、会場案内、歓迎装飾等を目的に設置する看板等を表示する形態のもの（協賛者名を表示したイベント開催時期の告知看板や歓迎装飾バナーを街灯等に添加したものなど）は、協賛者名等の表示の大きさとは原則として表示面積の半分を超えないものとする。

6.3.2 〔国内〕 応援用のグッズ：

2021 広告規程

公道上の観衆用に主催者等が準備する応援グッズは競技運営上支障がなく、終了後に投棄などが無いよう充分配慮すること。

7. 競技会で使用する備品・道具

7.1 競技会備品

7.1.1 総則

2つの「WA 認証製品」ロゴが、WA のガイドラインに合致している競技会備品や投てき物（砲丸、円盤、やり、ハンマー）、バトンに表示できる。

7.1.1.2 競技備品は公式の大会仕様にブランド化してもよい。

7.1.1.3 プロバイダーや製造会社のロゴは、適用法で要求されているその他の識別表示を含めて、競技会備品や投てき物（砲丸、円盤、やり、ハンマー）、バトンに表示できる。

7.1.2 砲丸、円盤、やり、棒高跳用ポール、ハンマー、クロスバー、アップライト、周回用ベル、スターティングブロック、レーン表示器

7.1.2.1 競技会で使用する砲丸、円盤、やり、棒高跳用ポール、ハンマー、クロスバー、アップライト、周回用ベル、スターティングブロック、レーン表示器にはプロバイダーや製造会社のロゴを2回表示できる。表示の最大の高さは4cmとする。

7.1.2.2 加えて、クロスバー、アップライト、周回用ベル、スターティングブロックに大会スポンサーロゴを1つと、大会ロゴを表示できる。表示の最大の高さは4cmとする。

7.1.3 リレーバトン

プロバイダーあるいは製造会社のロゴを2つまで表示できる。表示の最大の高さは4cmとする。大会ロゴも表示できる。

7.1.4 着地用マット

プロバイダーあるいは製造会社のロゴと、1つの大会スポンサーロゴが合計4回着地用マットに表示できる。この表示は側面でなければならない、上面には表示できない。表示の最大の高さは30cmとする。

7.1.4.2 加えて、大会ロゴを着地用マットの上面そして側面に表示できる。表示の大きさはその着地場所に合った大きさとする。

7.1.5 ハードルと障害物競走用移動障害物

7.1.5.1 ハードルと障害物競走用移動障害物の両面に次のうち3つの表示ができる。

(i) プロバイダー、または製造会社のロゴ

(ii) 大会スポンサーロゴ

(iii) 開催都市名

(iv) 競技場名

(iv) 大会ロゴ

2021 広告規程

7.1.5.2 ハードルへの表示は最大の高さ 5 cm、障害物競走用移動障害物への表示は最大の高さ 10 cm とする。

7.1.6 踏切版

大会スポンサーロゴ、あるいは大会スポンサーであるプロバイダーまたは製造会社のロゴだけが踏切版の近くに配置することができる。

7.2 他の備品

7.2.1 電子機器

情報を表示するために競技会で使用される電子機器（測定装置、時計、風力計、電子スコアボードなど）には、そのような機器を製造、サービス、または販売する大会スポンサーロゴが、そのような機器の両側面に表示される。そのような表示の最大の高さは 20cm とする。

7.2.2 情報表示盤

インフィールドのスコアボードが競技会情報を知らせることに使用されている場合を除いて、大会、WA、大会スポンサーロゴ、ビデオやアニメーションを順番にインフィールドのスコアボードに表示できる。

7.3 放送、データ処理、情報技術機器

7.3.1 製造会社が大会スポンサーであるか、WAによって明示的に承認されているか、適用法で義務付けられている場合を除き、競技会会場で使用される放送、データ処理、および情報技術機器には、製造会社のロゴを表示しない。

そのような機器には、大会ロゴまたは商業関連会社のロゴのいずれかが表示される。最大の高さは 20cm とする。

7.4 傘、日よけ

7.4.1 競技エリアで使用する傘、日よけには大会ロゴを表示できる。および競技場内の競技では 1 つの商業関連会社のロゴを表示できる。競技場外の競技では 1 つ以上の大会スポンサーロゴを表示できる。最大の大きさは 40 cm² とする。

7.4.2 競技エリア内の計時/計測機器の日よけは、もし必要ならば、最大の高さ 1.7m、最大の直径 1.2m あるいは各側面の最大幅 1m の長方形の場合のみ使用できる。計測機器を提供、サービス、販売する大会スポンサーロゴは 1 つ日よけに表示できる。最大の高さは 40cm とする。

7.5 飲食物、ドリンク、スポンジステーション

7.5.1 飲食物、ドリンク、スポンジステーションの数と配置は関連する競技会の要件と、同様に規則と規程に従っていなければならない。

7.5.2 競技場内競技会

7.5.2.1 ドリンクステーションの最大の高さは 1.4m、直径 1m、長方形のドリンクステーションなら各側面の最大幅は 1m とする。

2021 広告規程

ドリンクステーションの形や形状には、ドリンクの大会スポンサーが提供するドリンクのパッケージのデザイン（ボトルや缶など）を組み込むことができる。

7.5.5.2 大会スポンサーロゴは、ステーションの縁の周りに表示するか、長方形のステーションの場合は各側面に表示できる。そのような表示の最大の高さは 40cm とする。

7.5.3 競技場外競技会

大会スポンサーロゴは、テーブルの周りのスカートや、ステーションに使用されているテーブルの上の日よけに表示できる。表示の最大の高さは 20cm、全長は 10m とする。

7.5.4 ステーションの人員

競技場外競技会では、規則や規定で特に規定されていない限り、ドリンクを提供する大会スポンサーのスタッフメンバー、または他の許可された人物がステーションから軽食、ドリンク、スポンジを配布する。

ドリンクを提供する大会スポンサーロゴ、その他の商業関連会社のロゴ、大会ロゴ、または開催都市の名前は、軽食、ドリンク、および(または)スポンジを配布するステーションの人員の上半身の衣服に表示できる。その表示の最大の大きさは 40 cm²とする。

7.6 その他の備品

競技会会場で使用されるその他の技術機器のメーカー製造会社のロゴ、その他の商業関連会社のロゴ、大会ロゴ、または開催都市の名前は、そのようなその他の機器の両側に 2 回だけ表示できる。そのような表示の最大の高さは 10cm とする。大会に関連する大会スポンサーではないプロバイダーまたは技術機器のメーカーのロゴは、適用法で要求される識別表示を除いて、削除または隠さなくてはならない。

8. 車両

8.1 総則

競技会会場で使用される車両は、その製造会社が商業関連会社でない限り、車両のモデルの標準シリーズ生産で表示されたもの以外の製造会社のロゴを表示できない。

8.2 追跡車両

競技場外の競技において競技を追跡する放送制作用車両は、大会ロゴまたは大会スポンサーロゴのどちらかを車の両側に表示できる。そのような表示の最大の高さは 40cm でなければならない。

〔国内〕道路運送車両保安基準により、フロントガラスおよび左右フロントドアガラスに貼付けすることはできない。

〔参照〕道路交通法および道路運送車両法等の保安基準

「車両のフロントガラス、左右フロントドアガラスに不透過物（70%以上光を遮断するもの）を貼ってはならない」

8.3 先導車/計時車

2021 広告規程

8.3.1 大会スポンサーロゴは、先導車/計時車の両側・上部に1回ずつ表示できる。そのような表示の最大の高さは40cmとする。その表示は、レース中、すべての先導車/計時車で同じでなければならない。

8.3.2 加えて、計時に関するサービスを提供する大会スポンサーは先導車/計時車への1つの製品配置(先導車/計時車の上部にある時計の形の製品配置など)を許可される。先導車/計時車の時計の視認性を損なわないものとする。

8.4 カーパレード

適用法に準ずることを前提に、大会スポンサーは、レース前の最初の先導車/計時車(「カーパレード」など)の前に、大会のコースを走行する車に製品配置という手法でその製品を搭載して走行させることができる。さらに、そのような車には、車の側面と上部に大会スポンサーロゴを表示できる。そのような表示の最大の高さは40cmとする。

8.5 遠隔操作車両

8.5.1 大会ロゴ、大会スポンサーロゴ、WAのロゴ、および(または)プロバイダーのロゴは、ラジコン車両、ドローン、または競技会会場で機器として使用されるその他の遠隔制御デバイスに表示できる。表示の最大の高さは10cmとする。

8.6 ゴルフカート

8.6.1 競技会会場で使用されるゴルフカートには、ゴルフカートの両側に大会ロゴまたは大会スポンサーロゴのどちらかを表示できる。表示の最大の高さは20cmとする。

9. 画面上の識別表示

9.1.1 大会スポンサーロゴは、テレビまたはその他の現在または将来の技術で伝送される、競技会の映像信号に表示できる(「画面上の表示」)。ただし、このような表示が適用法に従っている場合に限る。

10. デジタル技術の使用

10.1.1 ヴァーチャル広告を挿入するためのデジタル技術(現在知られている、または今後考案、開発、発明されたもの)を使用した広告は、認められるが、競技会の高潔性を妨げないよう適切な方法で行われなければならない。

10.1.2 ヴァーチャル広告は、競技会の放送を見ている人々を邪魔してはならない。

10.1.3 ヴァーチャル広告は、競技会の前、最中、および後に、競技エリアの外と競技エリアの両方に表示することが許可されている。

10.1.4 ビブスへの適用を除き、競技会会場内のすべての人(観客、競技者、競技役員を含む)にヴァーチャル広告を表示することは禁止する。

11. 一般的な執行

11.1 大会主催者は大会でのこれらの規程の遵守、管理、解釈、監督を行う権限と機能を持

2021 広告規程

つ代表者を指名するものとする。

11.2 大会主催者の命令に従わなかったり、競技役員が大会主催者の指定代理人の見解で必要とされる実行命令を拒否したりした場合、その人物または競技役員は、規則および(または)これらの規程に従って制裁の対象となる場合がある。

12. 紛争

12.1 これらの規程に起因または関連して発生する紛争は、最初に当事者（またはその代理人）と関連する WAS 競技会の大会主催者（またはその代理人）である最高経営責任者の間で解決される。

2021年度 S級公認審判員昇格審査結果について

2021. 1. 16

1. 昇格審査結果報告

- ① 昇格候補者審査は、2021年1月16(土)に実施。
- ② 申請308名中、303名を昇格候補者とした。
- ③ 競技会の出席回数は、直近過去6年間で30回以上を基準とした。陸連主催及び加盟団体からの申請による公認競技会を基本にした（各年度4月1日～3月31日の競技会出席回数）。
- ④ 審判講習会出席回数は、直近過去6年間で3回以上を基準とした。同一年度に複数回出席している場合でも1回とカウントした。実技講習会の類はこの講習会の回数には含めない。
※審判講習会： 都道府県主催の伝達講習会、陸連主催の全国競技運営責任者会議
- ⑤ 同一日に複数の競技会に出席していても1回とカウントした（競技会は1日単位でのカウント）。
- ⑥ S級昇格者には委嘱状及びS級バッジを贈呈する。

2. 昇格審査におけるお願い等

- ① 昇格候補の該当者がいない場合は、申請期日までに該当者なしのご一報をお願いいたします。
- ② 加盟団体の審査でA級昇格時には手帳に昇格年月日の記載と承認印の押印をお願いいたします。
- ③ 旧黒表紙手帳を使用している審判員は、新手帳（紺表紙）のものに切り替えてください。また、ページの付け足しなどは行わないでください。
- ④ 手帳を切り替えた際には改めて新手帳に写真の貼付及び加盟団体の割刻印、氏名、住所、生年月日、昇格年月日の記載・承認印をお願いいたします。写真は旧手帳のものを使い回さずに、新たに撮り直したものを使用してください。
- ⑤ 新規手帳の清書（転記）は、行わないでください。手帳の審査では、審査対象年数の審判精励実績をその都度処理された経過も含めて確認しています。清書することで疑義が生じる可能性も出てきますので、それまで使用していた手帳をそのままご提出ください。S級昇格を機に手帳を新調される場合は、写真とともに新手帳をお送りください。
- ⑥ 審判手帳、申請書類などの日付記載は、西暦で統一をお願いいたします。
- ⑦ 講習会実施の日付は、競技会の欄ではなく、審判講習会のページに記載してください。また、手帳に記載されている講習会の日付、講師名が、各加盟団体より提出された審判講習会開催実績報告書のものとは異なる、手帳に講師名の記載がないなどのケースがありました。報告書と異なるものについては、出席回数にカウントしませんので、講習会の際に確実に日付と講師名を手帳へ記載していただきますよう、よろしくお願いします。
- ⑧ 手帳の「審判の記録（競技会記載欄）」には、競技役員（審判員）として出席した場合のみ記載してください。大会役員（会長、副会長等）としての参加は、競技会出席回数に含まれません。また、担当役員欄は空欄にせず、具体的な競技役員名を記載してください。
- ⑨ 講習会および競技会への参加回数が少ないことに対してやむを得ない事情がある場合（震災の影響、離島に居住など）は、理由書にその内容をより具体的に明記してください。なお、仕事が忙しいなどの理由はやむを得ない事情にはなりません。
- ⑩ 各加盟団体での審判講習会（伝達講習会）は、シーズンが始まる前の3月に、遅くても4～5月までには実施し、受講させるようにして下さい。
- ⑪ 毎年審判講習会への出席が難しい審判員等に向けて、加盟団体として補講（別途講習会を開催、またはそれに見合う対応）等を行い、それを以って講習会出席と見なすことも構いません。その場合も、審判講習会開催実績報告書への記載とともに、手帳への記入をお願いいたします。

2021年度 S級公認審判員 昇格候補者

2021年2月13日

NO	都道府県	氏 名		氏 名		氏 名		氏 名	
1	北海道	大住 俊久	笹木 央	橋本 善洋	八重樫 雅之	山田 道明	金子 博之		
		伊林 勝美	及川 悟						
2	青森	鈴木 義則	熊谷 強						
3	岩手	坂野 和男	伊藤 成子	及川 武志	菅原 俊一				
4	宮城	高橋 和博	三浦 善晴	今野 君雄	江刺 善之	西村 正勝	千田 文彦		
		保角 博行	松本 治	野地 和美	星 寛				
5	秋田	藤田 永孝							
6	山形	佐藤 徳男	佐藤 隆						
7	福島	鷲 宏明	新田 義永	佐藤 弘四郎	長谷部 正光	天沼 芳美	藤田 義一		
		町田 壽章	大関 勇一	鈴木 浩一	山下 訓史				
8	茨城	小松崎 一郎	内田 小智	横倉 寿美	武藤 洋一				
9	栃木	渡邊 光男	佐藤 哲夫	伊藤 哲二	小菅 徹				
10	群馬	堤 陽司	高德 好男	綿貫 成年	中村 信勝				
11	埼玉	小野寺 みどり	木村 貞枝	小林 均	中山 まなみ	嶽 昭男	川田 雅之		
12	千葉	宮崎 隆司	二瀬 裕	勝又 美代志	小林 武彦				
13	東京	蜂谷 豊	市東 康之	市之瀬 輝明	吉田 佳津子	野末 雅文	浅川 俊彦		
		今 貴枝	齋藤 重夫	川原 清子	永井 俊道	木村 里香	渡辺 穰		
		鈴木 貴子	隈川 哲男	金近 道純	笠井 保弘	金 政	二日市 克		
		宮鍋 武徳	小林 稔	吉浦 徹	米長 保	増田 友子	菊池 昌久		
		橋口 広忠	合田 浩二	金子 正芳	下山 良成	倉持 昇一			
14	神奈川	池田 佳昭	久慈 久雄	佐野 昇司	杉山 誠	高田 彬成	高原 良祐		
		中嶋 誠次							
15	山梨	半田 昌一	羽田 和矢	小俣 宏紀					
16	新潟	中澤 正明	長谷川 和弘	武藤 宣義					
17	長野	吉田 淳一	木下 純市	北村 光由	宮原 喜与志	新村 昌之			
18	富山	盛田 龍彦	岩本 昌明	橋 一代					
19	石川	澤田 英樹	澤邊 泰延	酢野 隆司					
20	福井	藤田 博志	小竹 正仁	野瀬 聡	松田 文博	朝尾 忍			
21	静岡	綾部 信明	稲葉 清彦	栗原 由紀夫	菅沼 博明	原 栄一	神尾 慎一		
		深澤 健一	矢田 一総	和田 陽次郎	堀之内 大	水谷 陽介	織部 高弘		
		竹田 利恵子	山本 康夫	神谷 晃尚	櫻井 誠	渥美 淳一	杉山 金吾		
		岩崎 正光							
22	愛知	深谷 晶彦	清水 文雄	上原子 昭三	森園 知博	鈴木 康雄	新美 準人		
		小野田 隆	田中 輝彦	石井 哲郎					
23	三重	松本 基之	向井 秀則	佐波 実	村島 正敏	濱口 克行			
24	岐阜	脇田 篤実	市橋 達朗	林田 仁	加藤 臣典	杉山 典孝	高橋 雅久		
		奈波 宏和	上野 悟一郎	加藤 昭久	牧野 安孝	渡辺 喜久子			
25	滋賀	立岡 秀寿	宇治橋 智美	林 正晴	藤田 泰樹	八木 佐知男			
26	京都	森 啓祐	竹下 宗樹	相模 浩史	田中 一郎	下泉 太	本城 宗久		
		濱口 十二	奥野 俊昭						
27	大阪	鶴川 久寿	森 新	井阪 治夫	大堂 芳明	石田 卓也	中村 陽子		
		児島 真一	畠山 功	妻澤 利彦	中谷 泰三	小林 亨	井関 雅		
		平田 正	中須賀 久尚						
28	兵庫	近藤 和彦	山崎 義文	一柳 昌孝	小菅 浩	小川 久人	橋本 昌明		
		久田 洋一	犬伏 実	奥野 耕太郎					
29	奈良	葛本 義人							
30	和歌山	関 めり子	氏野 修次	森本 文雄					
31	鳥取	吉田 明美	堀尾 昌志						

2021年度 S級公認審判員 昇格候補者

2021年2月13日

32	島根	別所 美喜子 手銭 俊夫	矢野 力 佐々木 ひとみ	中島 強志 房野 登美裕	石橋 栄 古野 毅	森脇 真次 佐々木 慶一	足立 里江 下脇 由記子
33	岡山	伊東 洋一郎 難波 利彦	服部 修二 時末 令子	小塚 喜久男 水本 謙一	今福 美智子 池田 国光	児島 英章	小林 桂子
34	広島	築地 美樹 石津 克己 佐藤 剛生	鈴木 晶雄 玉田 のぶえ	原田 耕行 上川内 良任	阿川 啓雄 藤本 法生	重田 勝男 鈴木 裕志	宮村 賢治 戸田 泰夫
35	山口	中川 容祐 上山 幸久	松里 博利 西村 仁明	金堀 恒和 竹本 佳彦	森澄 猛 松富 妃都美	磯部 芳規	源 清美
36	香川	由良 寿英	高井 信一	古市 歩	近藤 正幸		
37	徳島	市橋 賢治	鈴江 良造	林 英司			
38	愛媛	織田 英毅 児玉 信也	渡部 誠 佐藤 一久	武井 一郎	竹内 喜重	西山 勝男	内山 英
39	高知	安岡 学	酒井 泉	小川 啓祐	門脇 浩彦		
40	福岡	城田 尚一 因 広道 仲野 牧子	中村 久充 三好 公晴 田淵 義徳	小柳 美智子 西嶋 正智 福澤 恒彦	靄田 義孝 柴田 敏江	坂井 英明 藤野 祐一	中山 安 井上 真一
41	佐賀	中島 政三	北御門 勇次				
42	長崎	森 芳幸					
43	熊本	大林 龍一 増浪 誠	高松 孝夫 宮下 祐一	瀧森 智 吉田 勝仁	鶴田 宗平 吉野 宏幸	西村 国彦	平山 浩継
44	大分	仲摩 昇	田崎 弘宣	廣末 敬	添田 順子	平山 勝治	
45	宮崎						
46	鹿児島						
47	沖縄	宮里 朝之	大城 勝也	伊佐 正信			

S級公認審判員 申請・昇格候補者数一覧

2021.1.13

都道府県名	申請数	昇格候補者数
1. 北海道	8	8
2. 青森	2	2
3. 岩手	4	4
4. 宮城	10	10
5. 秋田	1	1
6. 山形	2	2
7. 福島	10	10
8. 茨城	4	4
9. 栃木	4	4
10. 群馬	4	4
11. 埼玉	6	6
12. 千葉	4	4
13. 東京	29	29
14. 神奈川	7	7
15. 山梨	3	3
16. 新潟	3	3
17. 長野	5	5
18. 富山	3	3
19. 石川	3	3
20. 福井	5	5
21. 静岡	19	19
22. 愛知	9	9
23. 三重	5	5
24. 岐阜	11	11
25. 滋賀	5	5
26. 京都	9	8
27. 大阪	14	14
28. 兵庫	10	9
29. 奈良	1	1
30. 和歌山	3	3
31. 鳥取	2	2
32. 島根	12	12
33. 岡山	10	10
34. 広島	13	13
35. 山口	10	10
36. 香川	4	4
37. 徳島	5	3
38. 愛媛	8	8
39. 高知	4	4
40. 福岡	15	15
41. 佐賀	2	2
42. 長崎	1	1
43. 熊本	11	10
44. 大分	5	5
45. 宮崎		
46. 鹿児島		
47. 沖縄	3	3
合計	308	303

陸上競技審判ハンドブック（2021-2022）について

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

今回発行したハンドブックの主な変更点は以下の通りです。

- ・全体に関すること
 - IAAF（国際陸連）⇒WA
 - 条文番号を WA の表記に
 - ナンバーカード⇒アスリートビブス
 - 記録用紙等を最新のものに変更
- ・HB01 公認審判員
 - 公認審判員の服装に関して スターター・審判長・各部署主任等を目立つ色の帽子や腕章等で識別してもよいことを明文化
 - C 級審判員に関することを追加
- ・HB03 競技役員
 - 技術総務：パラ陸上での留意点を追加
 - ジュリー：抗議対応の仕方を明確化、抗議受付場所が TIC の時の対応を追加
 - 進行担当総務員：職務内容を進行に関することに限定
 - TIC：職務内容をより具体化
 - アナウンサー：スタートやり直し時のアナウンス内容例を変更
 - フィニッシュ後の競技者を担当する係（ミックスゾーン係・入賞者管理係・表彰係）を新設
 - 記録・情報処理員：番組編成に関する事例・具体例を追加
 - 医師：新型コロナウイルス感染症に関することを追加
 - 公式計測員：パラ陸上に関することを追加、認証シールを更新
 - 競技者係：シューズに関するルールを追加
- ・HB04 トラック競技
 - トラック競技審判長：再レースの具体例を追加
 - 監察記録用紙を新しいものに変更
 - 出発係：WA の考えを記載
- ・HB05 フィールド競技
 - 補助員の役割の具体例を追加
- ・HB06 混成競技
 - 組またはグループの再編成に関して具体例を記載
- ・HB07 競歩競技
 - 新しいパドルの写真、新しい記録用紙を追加

・HC コラム

- 広告規定から見たユニフォーム【国内規程・WA 規程のユニフォーム図を挿入】
- ポストイベントとは、ミックスゾーンとは【新設】
- フレンドリーな表彰式の実施【新設】
- フォトコーディネーターと撮影エリアについて【新設】
- 靴底の測定方法について【新設】
- グループスタート等で代用縁石を設置する際の置き方について【新設】
- SIS について【新設】
- ハンマー投囲い補助ネットの設置方法について【図面を変更】

・パラ陸上とマスターズ陸上の基礎知識に関する項目を新設

障害物競走等、グループスタートにおける代用縁石の置き方について

国内の競技場では代用縁石を置くことから、代用縁石を縁石とみなして、トラックの計測は縁石の外側から 300mm の所で計測している。そのために、国内の競技場の 10000m におけるグループスタートのスタートラインは直線の長さにも関係するが(5 レーンの)800m のスタートラインの前方に引かれている(図 1 参照)。

一方、海外の競技場のグループスタートのスタートラインは(5 レーンの)800m のスタートラインと重なっている所から引かれている。これは内側のライン外側から 200mm の所でトラックの計測を行っているためである(図 2 参照)。

厳格に言えば国内競技会において代用縁石を設置する際は、競技規則に則れば全線に置く必要がある(図 3 参照)。しかしながら、競技場保有の代用縁石の数が足りなければ、1 本おきに置かざるを得ない。また、国内で実施する国際大会においては全線設置を基本としてレースがスタートした後は速やかにすべての代用縁石を撤去することとなる。グループスタートのレースが複数組ある場合もレースごとに並べることが望ましい。

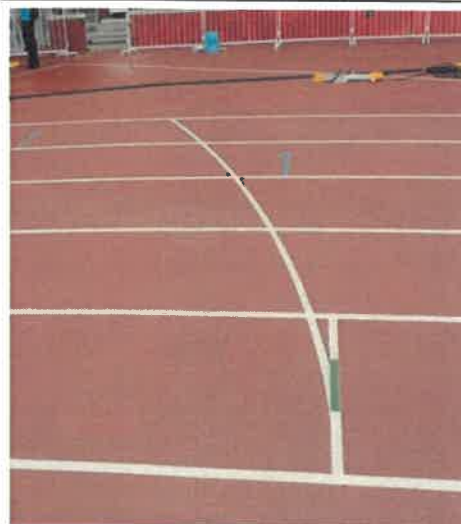
グループスタートする際に第 2 グループのスタートラインからすぐに縁石を設置すると、第 1 グループ外側の競技者が縁石につまずくことがある。そのため、第 2 グループのスタートラインから(約 5~10m 程度)縁石を設置せず、第 1 グループの競技者の安全性を考慮しながら 2 個または 3 個のコーンを置くことが望ましい。縁石に代わりコーンを設置していることを競技者に伝えるとよい。



全線に設置した代用縁石【図 3】



国内競技場におけるグループスタートのスタートライン【図 1】



海外競技場におけるグループスタートのスタートライン【図 2】

2020 東京オリパラマニュアルについて

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

・構成について

- オリンピックマニュアル、パラリンピックマニュアル、オリンピック（マラソン・競歩）の3冊構成
- A5 サイズの冊子を予定(予算の関係で PDF で配布の可能性あり)

・マニュアルに掲載する内容

陸上競技と関連ある組織委員会について	競技役員・補助員行動指針
緊急連絡網・役員連絡網	競技役員無線連絡網・部署間連絡網
日程・競技種目	部署毎備品一覧と担当者・管理場所
コーチングエリア・練習会場に関わること	場内競技マニュアル
注目すべきルール（商標）	マラソンマニュアル
注目すべきルール（国際ルール）	競歩マニュアル
競技役員行動表・AD 有効化ユニフォーム受領	パラリンピックマニュアル
アクセスコントロールについて	備え付け投てき物一覧
競技場配置図・競技エリア図・競技場レイアウト	チームリーダーズマニュアルに記載される注意事項
マラソン・競歩コース	各種用紙サンプル
フィールド競技役員・用器具配置表	フィールド競技種目別競技場所レイアウト

※今後変更の可能性がります

・状況

- 最終確認終了後、TD(Luis Saladie 氏)に送付しチェックを依頼する予定である。
- WA から発出された COVID-19 対策ガイドラインを盛り込んでいく。

C 級審判員制度創設

日本陸上競技連盟 競技運営委員会

1. 基本的事項

- (1) 日本陸連でC級審判員を公認審判員規程に追加し、導入を進めていく。
- (2) B級審判員の下に位置付けされるが、補助員とは一線を画すものとする。B級昇格を見据え、現場活動を通して基礎的な審判技術を学ぶ。
- (3) 各加盟団体は、C級資格取得者の数を日本陸連へ報告する。

2. 資格取得について

- (1) 日本陸連に登録しているもので、その年度内に16歳に達する者はC級審判員資格を取得することができる。(高体連登録以外の者については各都道府県陸協から登録する)
- (2) 加盟団体は、各都道府県高体連の協力のもと、講習会や実技研修受講状況等によりC級資格を付与する。その時期は加盟団体へ一任する。

3. 講習会・テキスト等

- (1) 講習会等については、各都道府県高体連と各加盟団体が協力して実施する。その開催時期については一任する。
- (2) 講習会で使用するテキストは、ガイドライン的な意味合いもあり初年度は日本陸連で作成する。その後は、各加盟団体においてルール修改正に合わせ更新していく。
- (3) 実技研修受講については加盟団体へ一任とする。

4. 委嘱・審判業務内容

- (1) 各加盟団体が高体連と連携し委嘱を行う。
- (2) 審判活動を行う際には、C級審判員のみで競技役員チームを編成してはならない。B級以上の審判員の監督のもと、主任の責任において審判活動を行う。
- (3) 計測および判定については、当該審判長・審判員主任が班を作成するに当たり、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を担う環境を作ること。
- (4) 日当交通費や食事等の待遇は各加盟団体に一任する。

5. 識別と服装

- (1) 審判活動中の服装については各加盟団体に一任する。
- (2) 現行の審判員章と同デザインで色違い〔黄緑色〕のものを購入し、着用する。

6. 審判員手帳

- (1) 既存の審判員手帳を利用し、B 級以上の審判員と同様の活動記録を記載する。
- (2) C 級の種別欄については、在庫分は余白で対応し新規発注分より記載部分を変更する。

7. B 級への昇格について

- (1) その年度内で 18 歳に達する者は、B 級へ昇格できる資格を有する
- (2) 受講する講習会の内容は、新規 B 級取得者と同等とすることを基本とする。
- (3) C 級時の審判活動を考慮し、実技研修は免除することも可能とする。
- (4) B 級昇格基準は、C 級審判員としての活動を考慮することで各加盟団体へ一任する。

8. その他

- (1) 審判員として活動中の事故は、主催者側が競技者及び審判員に掛けている保険等に対応し、そのことをしっかり事前に伝達する。

C級公認審判員制度 実施概要

2021年度より導入

2021年2月全国競技運営責任者会議資料

C級審判員制度とは？

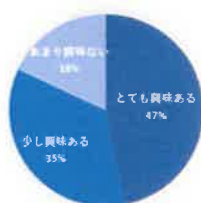
- ・陸連へ登録したものは
16歳になる年度より取得可能
- ・生涯にわたり活躍できる公認審判員の
入門編として位置付けられる
- ・補助員とは一線を画すものとする
- ・審判業務には一定の条件あり



2021年度より公認審判員規程へ追加

高校生の意識調査結果①

審判に興味ある？



- ・SNSを活用して高校生へアンケート実施、全国から1007件の回答 (2020.7.16-31)
- ・回答者の83%はT&Fの補助員経験あり

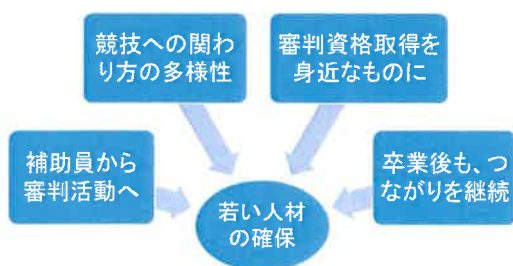
高校生の意識調査結果②

将来、審判をやってみたい？

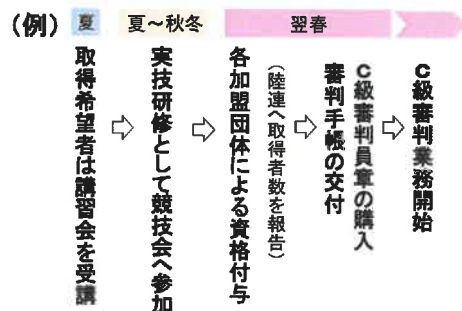


→ 83%の高校生が審判をやってみたい！

C級審判制度の目指すところは？



資格取得の流れ（時期・基準は加盟団体に一任）



講習会

- 加盟団体と各都道府県高体連は協力して取得希望者へ講習会を実施し、資格の認定は各加盟団体で行う
- 開催時期については一任する
- 初年度の講習会で使用するテキストは陸連にて作成し、次年度以降は各加盟団体においてルール修正等に合わせ更新していく

講習カリキュラム(テキスト内容)

- ①審判員に求められる資質
- ②様々な運営役員
- ③トラック競技について
- ④フィールド競技について
- ⑤混成競技について
- ⑥競歩競技について
- ⑦道路競技について

実技研修

- 競技会に実技研修生として参加し、現場で審判員の動きを学ぶ
- 各加盟団体の競技会事情に合わせ実施し、内容については一任する
- 競技活動との兼ね合いを考え、半日を一コマとする等の工夫が必要
- 審判業務現場の「将来の芽を育む」意識が重要

資格の付与

- 各加盟団体は、講習会受講および研修活動の状況から判断してC級審判員資格を付与する
- その基準と時期は各加盟団体へ一任する
- C級審判資格者数を日本陸連へ報告する
- B級以上と同様に審判員手帳を交付
- C級審判員としての育成のため、競技会への審判委嘱を積極的に各加盟団体は行う

公認審判員規程

【改正】

第2条 ...本連盟の登録会員でその年度内に16歳に達する者は、C級公認審判員となり得る資格を有する。ただし、C級を取得していなくても本連盟の登録会員でその年度内に18歳に達する者は、B級を取得することが可能である。

第4条 ...A級、B級、C級公認審判員は、加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。

第7条 ...審判活動を行う際には、C級審判員のみで競技役員チームを編成してはならない。B級以上の審判員の監督のもと、主任の責任において審判活動を行う。また、計測および判定については、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を担う。

審判業務内容

- C級審判員のみで競技役員チームを編成して審判することは認められない
- B級以上の審判員のもとで、主任の責任において審判活動を行う
- 計測および判定については、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を行う環境を作ること

識別や服装について

○審判活動時の服装は各加盟団体に一任

○審判員章（C級）を着用

B級以上の審判員章と
同じデザインで色違い
の《黄緑色》



待遇等

○日当交通費・食事等は陸協の判断に一任

○審判員手帳に競技会の記録をする

記載内容はB級以上と同一とする

審判種別記入欄は新規発注分より新設予定、それまでは
余白を利用

○審判員として活動中の事故は、主催者側が
競技者及び審判員に掛けている保険等で
対応する

事前に周知伝達しておくこと

B級への昇格について

○その年度内に18歳に達するC級審判員は
B級に昇格できる資格を有する

○昇格希望者は、B級新規取得者と同等の
講習会を受講する

○実技研修については、C級審判員として
の活動実績を考慮し免除することも可能
とする

新制度を最大限に生かすには？

○審判業務に興味のある高校生は多い
驚きのアンケート結果

○ただ待っているだけでは集まらない
C級審判員制度のPR・補助員への声掛け

○審判員の芽を潰さず育てていく環境
審判員は厳しくて怖い!?

○競技卒業後も陸上競技場へ
審判員になった先輩からプラスの連鎖へ…

公認審判員規程の改正

現行	改正
<p>任 務</p> <p>第1条 公認審判員は、国際陸上競技連盟ならびに日本陸上競技連盟（以下本連盟という）の競技規則により、本連盟または加盟団体が主催、共催あるいは所管する競技会の審判をすることを任務とする。</p>	<p>任 務</p> <p>第1条 公認審判員は、国際陸上競技連盟ならびに日本陸上競技連盟（以下「本連盟」という。）の競技規則により、本連盟または加盟団体が主催、共催あるいは所管する競技会の審判をすることを任務とする。</p>
<p>資 格</p> <p>第2条 公認審判員は、加盟団体の登録会員でなければならない。加盟団体の登録会員で18歳（3月末日を基準とする）に達した者は、公認審判員となり得る資格を有する。</p>	<p>資 格</p> <p>第2条 公認審判員は、本連盟の登録会員でなければならない。本連盟の登録会員でその年度内に16歳に達する者は、C級公認審判員となり得る資格を有する。ただし、C級を取得していなくても本連盟の登録会員でその年度内に18歳に達する者は、B級を取得することが可能である。</p>
<p>種 別</p> <p>第3条 公認審判員は、S級、A級、B級とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. S級公認審判員 永年にわたって審判活動に精励し、熟練した審判技術と知識を有する者。 2. A級公認審判員 数多くの審判活動を通して、より高い審判技術と知識を身につけた者。 3. B級公認審判員 審判講習会を受講し、公認審判員として必要な技術と知識を身につけた者。 	<p>（種別）</p> <p>第3条 公認審判員は、S級、A級、B級、C級とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. S級公認審判員 永年にわたって審判活動に精励し、熟練した審判技術と知識を有する者。 2. A級公認審判員 数多くの審判活動を通して、より高い審判技術と知識を身につけた者。 3. B級公認審判員 審判講習会を受講し、公認審判員として必要な技術と知識を身につけた者。 4. C級公認審判員 審判講習会を受講し、公認審判員として基礎的な技術と知識を身につけた者。

現行	改正
<p>推薦と昇格</p> <p>第4条 A級公認審判員で満10年を経過し、55歳（3月末を基準とする）に達した者はS級公認審判員となりうる資格を有する。毎年、加盟団体から推薦された者について、競技運営委員会で審査の上認定し本連盟がこれを委嘱する。</p> <p>加盟団体からの本連盟へのS級公認審判員の推薦期限は12月末日とする。</p> <p>B級公認審判員で原則として満10年を経過した者はA級公認審判員となり得る資格を有する。</p> <p>A級、B級公認審判員は、加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。</p> <p>加盟団体は毎年4月末日までに本連盟に対し当年4月1日現在の関係公認審判員数を報告しなければならない。</p> <p>日本学生陸上競技連合に登録する学生については、申請に基づき本連盟がB級公認審判員に委嘱することができる。</p>	<p>推薦と昇格</p> <p>第4条 A級公認審判員で満10年を経過し、その年度内に55歳に達する者は、S級公認審判員となりうるに昇格できる資格を有する。毎年、加盟団体から推薦された者について、競技運営委員会で審査の上認定し、本連盟がこれを委嘱する。</p> <p>加盟団体からの本連盟へのS級公認審判員の推薦期限は12月末日とする。</p> <p>B級公認審判員で原則として満10年を経過した者は A級公認審判員となり得るに昇格できる資格を有する。</p> <p>C級公認審判員でその年度内に18歳に達する者は、B級公認審判員となり得るに昇格できる資格を有する。</p> <p>A級、B級、C級公認審判員は、加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。</p> <p>加盟団体は毎年4月末日までに本連盟に対し当年4月1日現在の公認審判員数を報告しなければならない。</p> <p>日本学生陸上競技連合に登録する学生については、申請に基づき本連盟がB級公認審判員に委嘱することができる。また、高等学校体育連盟に登録する高校生については、申請に基づき本連盟がC級公認審判員に委嘱することができる。</p>

現行	改正
<p>解任と復権</p> <p>第5条 公認審判員は、次の1、2項のいずれかに該当するときは、自動的にその任を解かれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録会員でなくなったとき。ただし、特別の事情によって、一時的に登録会員でなくなっても、その特別な事情が解消し再び登録会員となったときには、以前の資格を回復する。 2. 競技会の審判を委嘱されたにもかかわらず、1年以上特別の理由なくその任にあたらないとき。 3. 前1、2項により解任された者で復権を希望する者に対しては、申請に基づきS級公認審判員は本連盟競技運営委員会審判部が審査し、本連盟がこれを委嘱する。またA級およびB級公認審判員については加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。 	<p>解任と復権</p> <p>第5条 公認審判員は、次の1、2項のいずれかに該当するときは、自動的にその任を解かれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録会員でなくなったとき。ただし、特別の事情によって、一時的に登録会員でなくなっても、その特別な事情が解消し再び登録会員となったときには、以前の資格を回復する。 2. 競技会の審判を委嘱されたにもかかわらず、1年以上特別の理由なくその任にあたらないとき。 3. 前1、2項により解任された者で復権を希望する者に対しては、申請に基づき S級公認審判員は本連盟競技運営委員会が審査し、本連盟がこれを委嘱する。また A級、B級及びC級公認審判員については加盟団体で審査し、本連盟がこれを委嘱する。
<p>審判員の証明</p> <p>第6条 公認審判員は、本連盟が定める公認審判員手帳を所持し、公認審判員証（カード）およびバッジを着用して競技会の審判にあたるものとする。</p>	<p>審判員の証明</p> <p>第6条 公認審判員は、本連盟が定める公認審判員手帳を所持し、公認審判員証（カード）およびバッジを着用して競技会の審判にあたるものとする。</p>
<p>競技会の構成</p> <p>第7条 本連盟および加盟団体の主催、共催あるいは主管する競技会の審判は、補助員を除きすべて公認審判員をもって構成する。</p>	<p>競技会の構成</p> <p>第7条 本連盟および加盟団体の主催、共催あるいは主管する競技会の審判は、補助員を除きすべて公認審判員をもって構成する。ただし、審判活動を行う際には、C級審判員のみで競技役員チームを編成してはならない。B級以上の審判員の監督のもと、主任の責任において審判活動を行う。また、計測および判定については、B級以上の審判員が必ず1名以上ついて指導を行いながら業務を担う。</p>

現行	改正
公認審判員の処分 第8条 公認審判員として登録会員規程第2条に抵触した者は同規程第17条により登録会員処分規程に定められた処分の対象となる。	公認審判員の処分 第8条 公認審判員として登録会員規程第2条に抵触した者は同規程第17条により登録会員処分規程に定められた処分の対象となる。
付 則 第9条 公認審判員推薦手続き、公認審判員の取り扱い等については別に定める。	付 則 第9条 公認審判員推薦手続き、公認審判員の取り扱い等については別に定める。
(2019年3月14日改正)	(2021年1月25日改正)

World Athletics : Athletics Officiating A Practical Guide
日本陸上競技連盟 C 級公認審判員養成テキスト

第 1 章 ガイドブックの目的

陸上競技の競技規則は、一部日本の実情に合わせて変更しているものを除き、基本的に中学校・高校の競技会でも世界陸上でも日本選手権でも同じです。このテキストの目的は市区町村の競技会から国際的な競技会まで競技役員に対して適切なアドバイスを与えることです。競技場の状態や設備は都道府県によってさまざまなため、以下に述べるようにはいかないこともあるかもしれません。しかしながら、できるだけ、公平で規則に忠実な運営をしたいものです。

注：本ガイドブックの中で「審判員」と呼称する場合は、現場で判定に関わる者を指し、「競技役員」と呼称する場合は、その競技会の運営全般に関わる者を指します。

第 2 章 審判員の資質（良い競技役員に求められること）

多くの競技会は理想的にはより少ない人数で運営されなければなりませんが、陸上競技会が適切に運営されるには少なくとも 50 名以上の競技役員の協力が必要となります。基本的な責務は競技種目を注意深く準備して参加している競技者に公平な競争を通して自己記録の更新の機会を与えることです。

まず、競技者を第一に考えなければならないことを強調しておきます。日本陸上競技連盟（以後、日本陸連）、World Athletics（以後、世界陸連）の競技規則は、参加競技者ができるだけ不公平にならないように考慮されています。

・陸上競技ルールブック

WA の競技規則は 2 年ごとに、日本陸連の競技規則は毎年発行されています。審判員にとってルールの知識が豊富なことは重要です。規則正しく審判をしようとしている者にとってルールブックは不可欠なものです。しかし、ルールはすべての可能性がある事象をカバーしてはいないので、経験の深い審判員同士でさえ、あるルールの解釈が違った意見になることがあります。そのような場合の指導方針は「ルールの意図するところは何か？」を考慮することです。

また、競技会ごとに決められた申し合わせはプログラムの競技注意事項に書かれています。ルールブックと合わせて必ず、確認をしましょう。

○判定

競技役員は、特定の競技者が有利になることのない、また不利益を被ることがない、公正な競争を保証しなければなりません。言い換えれば、全ての競技者に平等であることです。

審判員はいかなる状況であっても、「全ての競技者にとって公平な決定とは何か？」を考えなければなりません。

○社会性

多くの競技者は競技中緊張しているので、競技役員のちょっとした独裁的な態度が競技者をすぐに不快な状況に陥らせる可能性があります。それを避けるために競技者のことを理解し、対応しなければなりません。少数の競技者は非協力的な場合があります、これらはしっかりと対応しなければなりません。審判長は競技者にイエローカードを提示して警告を与えることができます。またレッドカードを提示することによって競技者を、以後の競技から除外することもできます。

○遅延

競技が競技日程通りに進行しない場合があります。天候の急変など理由は様々ですが、できるだけ元の競技時程に戻るよう工夫します。ただし、競技者を急かすことのないよう注意したいものです。

<まとめ>

それゆえ、競技役員に求められる資質は、

- ①常識と機転
- ②高いレベルの集中力
- ③素早い反応
- ④不愛想でなく、はつらつとした、断固とした態度
- ⑤競技の要求や規則についての知識と理解
- ⑥競技者の要求の理解

次に陸上競技役員の役割について可能な限り詳細に定義していきます。

第3章 運営役員

レベルの高い競技会では、競技役員間に役割の違いがあります。すべての競技会では、総務があり、レベルの高い他の競技会では競技会ディレクターをおくことがあります。

(1) 競技会ディレクター

すべての競技役員と連絡を取り合って競技会の進行をつかさどる役員。必要に応じてトラック、フィールド（跳躍競技、投てき競技）と分業して現場とのやり取りをします。

またテレビ中継が入るような競技会ではテレビ中継のスタッフと連携して競技会を進めます。

(2) 総務

競技役員の任命と競技会運営業務の遂行に全体的な責任を持つ役員。必要に応じて総務員（アシスタント）を置き、業務を分担します。

(3) 技術総務

競技会に必要な用器具や帳票類の準備に責任を持つ役員。

(4) 公式計測員(国内大会のみ)

競技場の設備や用器具の規格を測定・確認する責任者（技術総務と兼務が多い）。

(5) 用器具係

技術総務の下で競技に必要な用器具類をトラックやフィールドに設置する担当者。

(6) 競技者係

競技者の招集を行い、スタートライン（フィールド）に立つ前の競技者の準備を確認する役員。

(7) ジュリー

競技者が競技の結果に不満を持ち、審判長に説明を求め、その説明に納得できない場合に最終的な裁定を求めることができるシステムがあり、その裁定を行う役員。通常、経験が豊富な方が複数名で票決を行うことになっています。

(8) マーシャル

競技場内（Field of Play = FOP）に関係者以外を入れないようにしたり、カメラマンのコントロールや役目についていない審判員を排除したりして場内を整理統合する役員。

(9) 医務員（医師）

競技者や競技役員、時には観客の救護にあたる医師・看護師等の医療従事者。

(10) NFR・DCO・シャペロン（ドーピングテスト関係）

ドーピングテストのために中央から派遣される責任者が NFR(National Federation Representative)、検体採取に立ち会う役員が DCO(Doping Control Officer)、テスト対象競技者を監視しエスコートする係員がシャペロンと呼ばれます。

(11) アナウンサー

スタートリストの紹介、途中経過の通知やフィニッシュ予想時間の通知、競技結果報告などを行う役員。

(12) 記録情報処理員

競技現場で記録を PC 入力したり、写真判定室や風力計測員、トラック競技審判長から寄せられた競技結果を取りまとめたりして、公表に備える役員。

(13) 役員係・庶務係

競技役員の出席点呼、審判記録の整理、昼食の手配、競技場使用料の支払い等、競技会運営にかかわる周辺の事案を処理する役員。

(14) 報道係

取材に来る報道関係者を受け付け、取材許可を与え、報道関係者をコントロールする役員。

(15) 表彰係（入賞者管理係）

賞状作成、受賞記念品を整理したり入賞者を確保して入賞者待機場所に連れてきて表彰式を執り行ったりする役員。

第4章 トラック競技

(1) トラック競技審判長

トラック競技の成績について責任を持つ審判員。監察員の報告を受けて競技者が失格で

あるかどうかを判定する権限や、決勝審判員が着順の判断に疑義・混乱が生じているときに最終的な決定を下す権限を持ちます。また再レースや組編成の適否を判断し不適切な場合には組直しをさせる権限も持ちます。さらに競技者やコーチ・監督から抗議や質問を受けた時にはそれに対して回答を行い、競技会にジュリーが指名されていない場合は審判長の裁定が最終的な決定となります。

スタートを特に取り扱う審判長がスタート審判長と呼ばれます。

①トラック競技審判長の任務

- (a)すべてのトラック競技を統括し、すべての競技規則が遵守されていることを監察する。
- (b)トラック競技審判員主任および監察員に任務を割り当てる。
- (c)トラック競技審判員間の見解の相違に対して決定を行う。
- (d)各種目の成績表を点検し、署名する。
- (e)管轄するトラック競技のいかなる争点や抗議、異議に対しても規則に則して処理する。
- (f)不適切な行為をした競技者に対しては警告を与える、または除外をする。

それゆえ審判長はルールブックの各該当規則についての解釈をしっかりと持ち、それを応用する力量を持たなければなりません。競技規則でカバーしきれない決定をしなければならないときは、公平性、気配り、慎重さが求められます。

トラック競技審判長は技術総務と協力して競技場を点検します。すべての競技用具が利用可能で準備されており、すべての必要なトラックマーキングがあることを確認しなければなりません。

また、会場内の連絡網やそれぞれの部署が機能的に運営できる状態になっているかを確認して競技会を開始し、最初の種目を時間通りにスタートさせなければなりません。

注意していても、事故は時々発生します。審判長は事故が起こりうると容易に想像できる場合にはその原因を取り除くために、できるだけ早く問題を解決する責任があります。

時々、まれに再レースを行うような判断を迫られるような状況が発生します。審判長は競技結果が無効で、可能であれば同日に、不可能ならば近日中に再レースを実施させる権限を持っています。

(2)トラック競技審判員（決勝審判員）

トラック審判員（決勝審判員）はトラックの同じ側に位置し、競技者がフィニッシュした順序を決定します。主任は最終の順位を決定します。写真判定装置がない状況で、もし主任は順位決定をすることができなかつたら、事案をトラック審判長に報告します。

①トラック競技審判員の資質

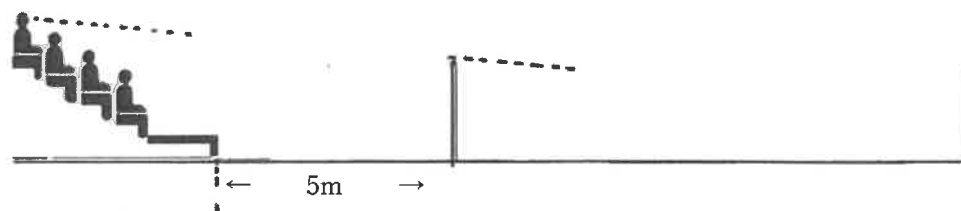
- (a)他の審判員と相談せずに競技者がフィニッシュした順序を決定しなければいけません。
- (b)冷静でなければなりません。
- (c)高度な集中力を持たねばなりません。

②審判員の位置

審判員が任務を十分に遂行するためにはフィニッシュを見るために最も見やすい位置を確保することが重要です。

フィニッシュ面の延長上の位置が不可欠

それらはトラックの外端から少なくとも 5 m 離れていて、競技者がよりはっきりと見える十分な高さであるべきです。



大抵の陸上競技場は審判員にはっきりとしたフィニッシュの様子を提供できる移動が容易で適切な階層のスタンドを備えています。

それ故まとめると、良い審判員の位置取りは以下の 3 点になります。

- (a) フィニッシュラインの延長線上に位置取る。
- (b) グラウンドレベルよりも高い位置にいる。
- (c) トラックの外端からある程度離れたところに位置取る。

トラック競技審判員に必要な用具

ルールブックに加えてトラック競技審判員は義務を遂行するために求められる様々な物を所持しています。競技会のプログラムや書類を画板に留めるクリップやゴムバンド、鉛筆やスベアの用紙がそれにあたります。いろいろなことを経験するうちに必要なものが増えていきます。

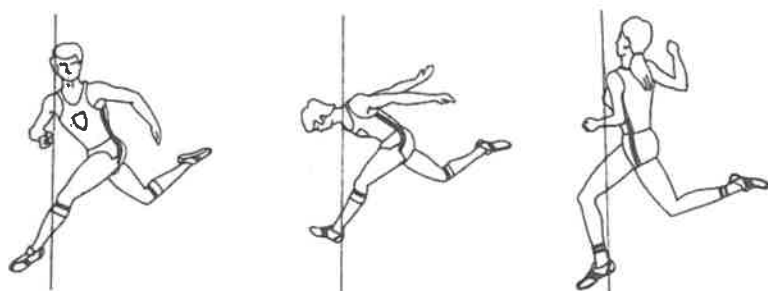
③トラック競技審判員の義務

競技会が始まる前に審判員はトラック競技審判員主任から役割分担のスケジュールを受け取りプログラムに任務を書き込んでおきます。

④競技者の順位

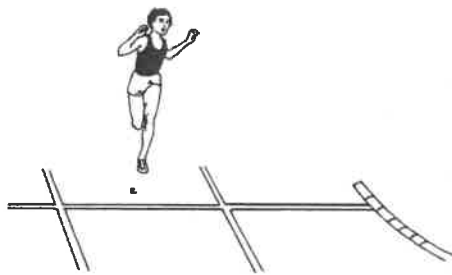
トラック競技審判員はフィニッシュ地点で決定した順位を競技者が身に付けている番号

(ビブス・腰ナンバー標識) で記録表に記入します。



競技者は上記の図のフィニッシュラインのスタート側に近い方の垂直面に胴体(トルソー=頭・首・

腕・脚や手足と区別される) が到達した順序で順位づけられます。



経験豊富な審判員は通常フィニッシュライン手前約 10m から走者を見えています。そしてフィニッシュラインに目を移します。経験の少ない審判員はフィニッシュラインだけで走者を見ている傾向があります。そうすると実際のフィニッシュから 1 メートルほど手前で順位を決めてしまう危険性があります。実際

には最後の 1 メートルで追い抜かれることもあるので、フィニッシュラインの 1 メートル前で判断をするのと同じくらい危険です。

もし走者がフィニッシュラインに達する直前に転倒した場合、もし走者のトルソーのいかなる部分でもラインに達していれば順位が付きます。

主任が各審判員の提出した順位を記録し、審判長が最終判定を行います。

審判員が全員一致していれば問題ありません。審判員から提出された着順が完全に一致していなかった場合、審判長が結果を定めなければなりません。

⑤トラック競技審判員のその他の機能

トラック競技審判員の主な任務である着順を決めることと同様に、できる限り；

(a)800m を超える全ての種目においてスタートからフィニッシュまでレースを見ることにより正しい距離をカバーしていることを確認します。

(b)また周回記録員として振る舞うことや最終回の前にベルを鳴らすことを要求されるかもしれません。決勝審判員は長距離において周回記録員を補助することもあります。

(3)写真判定員

写真判定員主任とアシスタント写真判定員は写真判定装置が使用される競技会では指名されます。写真判定員主任は計時装置の機能について責任を持ちます。アシスタント写真判定員と協力して競技者の順位とそれぞれの時間を決定します。承認された全自動計時システムが使用される時、それから読み取った記録が公式とされます。しかしながらもし、写真判定員主任が装置は適切に機能していないと決めればバックアップ計時員の手動計時が公式となります。



もし電気計時装置がスターターのピストルや承認された機器によ

って始動しなかった場合、画面で読まれた時間は公式ではないが、画面上で得られた時間間隔は利用できます。

競技の開始前に写真判定員はトラック競技審判長、ス



ターターと協力してゼロコントロールテストを監督します。

(4)計時員（第 127 条、第 165 条 CR20,TR19）

①計時員

主要競技会の写真判定装置の導入にかかわらず、手動計時の需要は依然としてあります。

②ストップウォッチ

計時員に求められる第一は、手動で操作するストップウォッチに信頼をすることです。時計は大切に扱われる必要があり非常に高い水準で維持される必要があります。それらはスプリットタイマーがあると有益です。

③時計の持ち方

時計の持ち方はただ一つの持ち方がある訳ではありませんが、エラーを減らすある方法があります。

(a)時計はスタートとフィニッシュで正確に同じ方法で保持します。

(b)それらを静止して保持し無駄な動きを排除します。

(c)親指をスタートボタンの上に置き、人差し指は反対側のボタンの上に置きます。

(d)親指でボタンを強く押して時計をスタートさせ、さらに人差し指でボタンを押して時計を止めます。

④スタート

計時員は競技者が位置に着いたらすぐにスターターを注視し準備態勢をとります。計時員の注意はただ一つのこと集中しそれ以外のあらゆることは無視します。スターターがピストルを上げたら、計時員はスターターのピストルの閃光か煙を見たらすぐに時計をスタートさせる準備をします。

⑤フィニッシュ

高いスタンドは有利であるとはいえ、フィニッシュラインのスタートラインに近い側の端の垂直面に競技者のトルソーのどの部分でもが到達した瞬間にレースが終わります。

計時員はフィニッシュラインに近づく走者を見るのではなく、競技者が最後の数メートルを走っている間のフィニッシュラインに注意を集中します。

優勝者の計時は先頭の走者のトルソーのどこかの部分がフィニッシュラインの面に到達した瞬間に時計を止めなければならないので最も簡単な仕事です（トルソーは頭、首、腕、脚、足を含まない）。

他の走者の計時のために計時員は走者がフィニッシュの手前の位置から見ます。計時員はその注意力をフィニッシュラインに集中します。

レース終了後、各計時員は各自の計測時間を公式書類に書き込みます。各書式には、種目、着順の次に自分の時計から読み取った計測時間を書きます。彼は各競技者の時間を決定する計時員主任にその記録用紙を渡します。もし 100 分の 1 秒計を使っていたならば、時間を 10 分の 1 秒に切り上げて公式時間を記録します。

⑥反応の均一性

時計を即座に始動させたり止めたりすることは不可能ですが、ピストルの閃光を見てからの反応時間と競技者がフィニッシュラインに到達してから時計を止める時間が同じであれば、計時員は正しい時間を得ることができます。それ故、この間隔がいつも同じ、常に同じであることが不可欠です。これはスタートにおいてもフィニッシュにおいても冷静な集中状態でのみ得ることができます。

もし経験豊富な計時員と一緒に働く未熟な計時員が経験豊富な計時員よりも計った時間が早いということがわかるならば、それはフィニッシュ地点の予想あるいはスタート時点の遅い反応に原因があるかもしれません。もし時間が遅かったとすれば、それはフィニッシュの遅れた反応のためでしょう。根気強い練習、そして豊富な練習だけが良い計時員を育てます。

⑦ミーティングにて

計時員主任は様々な計時員に彼らの任務、各個人が主任の計画においてこれらの指示をはっきりと遂行すべきことを伝達します。各計時員は他の計時員と相談せずに要求されたことを行なわねばならず、未熟な計時員はどうしてエラーが起こったかを知りたい時でも、完全な記録が決定されるまで他人と時間について相談してはいけません。

⑧写真判定（全自動電気計時）

規則では手動計時と写真判定の二つの計時方法が認められます。写真判定が用いられる競技会では写真判定員主任は計時機器の機能について責任を持ちます。写真判定員と共同して競技者の着順とそれぞれの記録を決定します。これらの場合、手動計時員は写真判定員主任と写真判定員の必要不可欠なバックアップチームとなります。それらのすべてはトラック競技審判長の責任下にあります。

(5)監察員（第 127 条 CR20）

監察員はトラック競技審判長のアシスタントであり、彼らが見た競技規則違反を審判長に報告します。監察員は決定を下す権限はありません。彼らは審判長が決定した位置に座り、もしくは立ってレースを監察します。

各監察員は黄旗を持ち、それによって彼らが審判長に報告すべき事を見た時に挙げます。トランシーバーやインカムがあればそれらを使って監察員主任あるいは審判長に報告します。彼ら競技者の番号やその他必要な情報を記録し、適切な物（監察マーク等）で競技者が違反のあった場所にマークします。



①監察員の義務

(a)競技規則違反がないか、発生した事案が意図的なのか偶発的なのか決定する補助として競技者を見ること

(b)特に曲走路において、割り当てられたレーン外を走っていないか走者を見ること、もし、

目撃したら起こった箇所のトラックに正確にマークするか記録し、トラック競技審判長に報告する。



(c)ハードルや障害物競走で障害物を正確に越えているかどうかを見る。

(d)リレーのテイク・オーバー・ゾーンを監督する。

(e)800m、4×200m、4×400m リレー等でブレイクラインをチェックする。

(6)周回記録員（第 131 条 CR24）

①周回記録員の任務

800m を越える距離のレースで次のことをします。

(a)1500mを越えるレースでは周回数やラップタイムを記録します。

(b)最終回に鐘を鳴らします。できればすべての競技者に行うことを推奨します。

(c)周回記録員はレース中の競技者に残りの周回を知らせるボードを用意します。この表示は先頭の走者が直走路に入ったときに変更します。周回遅れの競技者には手持ちのカードによって残りの周回を知らせます。

(d)手動計時と写真判定の連携でどのランナーがフィニッシュするかを知らせること。これは周回遅れの競技者がいるときには重要です。

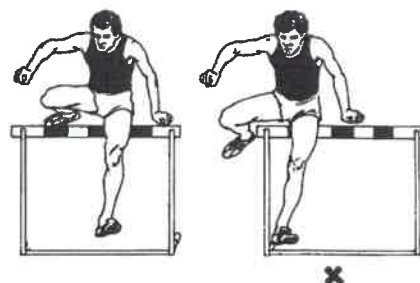


(7)特殊種目

①ハードル競走（WA ルール第 168 条 TR22）

全てのハードルレースはレーンを走り、各競技者はレース中そのレーンをキープしなければなりません。

ハードルを超える時に抜き足（脚）がハードルのバーの上部水平面より低い競技者、自分のレーンでないハードルを跳



び越えた競技者、審判長の見解で手や足で故意にハードルを倒した競技者は失格となります。

ハードルは WA ルール第 168 条（TR22）に詳細が述べられています。

②障害物競走（第 169 条 TR23）

障害物は通常非常に重いので、それらを倒したり、移動させたりすることはほとんど不可能です。

競技者は障害物を彼が選ぶどのような方法で越えても構いません。彼は障害物をハードルレースのように越えても良いし、手を使って跳び越えても良いし、バーの最上部に足をおいて、あるいはバーの最上部に両足を乗せても良いことになっています。ハードルレースと同様に競技者は障害物を越える際に抜き足（脚）が障害物のバーの最上部の水平面よりも下であってははいけません。

水濠において競技者はこの特殊な 3.66m の障害物を跳び越えても水の中を進んでも良いが通過しなければならず、水を避けて横に飛び出したり、最後まで進むことなく離れたりすれば失格となります。



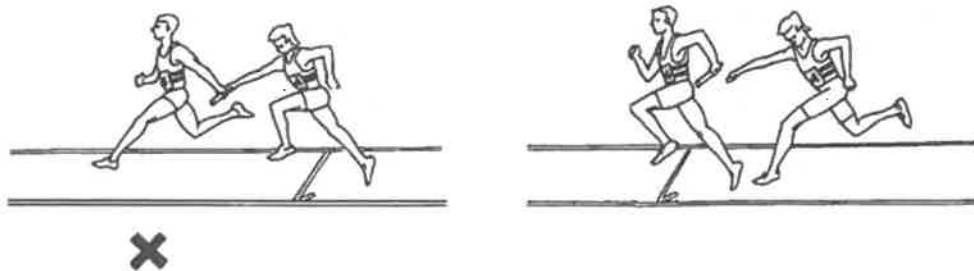
③リレー競走（第 170 条 TR24）

テイク・オーバー・ゾーンに割り当てられた監察員はどのレーンにどのチームが割り当てられているかを知る必要があります。テイク・オーバー・ゾーンに割り当てられる監察員の人数は競技会の規模や性質によります。しばしば複数レーンを担当し、そのために多くの責任・義務が要求されます。

各競技者は各自の指定されたテイク・オーバー・ゾーン内で引き継ぎを開始し終了させなければなりません。競技者は各自のレーン内においてチェックマークを一つだけ置くことができ、粘着テープを使用します。

監察員は引き継ぎ場所で準備ができたことをスターターに知らせなければなりません。

そして、レースが開始したら、バトンがテイク・オーバー・ゾーン内で競技者から他の競技者に手渡しされるのを注意深く監察しなければなりません。手渡しは受け取る競技者の手だけにバトンが収まった時点で完了します。バトンの位置だけが決定的であり手や足、胴体といったものは重要ではありません。時々受け渡しの際にバトンが落下します。それは落した者が拾わなければなりません。バトンを落した前走者は、それを拾うためにレーンを離れることができますが、走る距離を短くしない、他のチームを妨害しない限り失格には該当



しません。バトンが手渡された後でさえ、競技者が安全にレーンを離れる前に他の競技者を

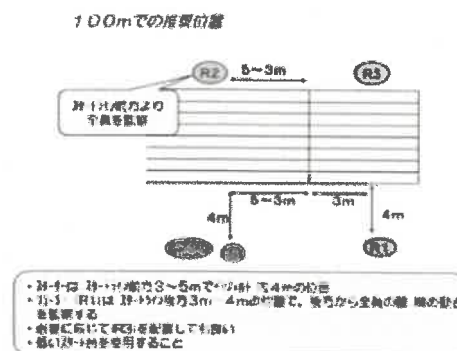
邪魔しないかどうか監察します。

4×400m リレーにおいて、最初の引き継ぎは、まだ割り当てられたレーンにいるために問題は減多に起きません。しかし第2、第3の引き継ぎではバトンを受け取る競技者が割り当てられたエリアにいるか確認し、不公平な押し合いや妨害がないかどうかを特別に注意深く見ます。

この引き継ぎにおいて、競技役員は前走者がフィニッシュラインから 200m の地点での順番で次走者を内側から外側に整列させます。

すべてのチームがバトンの引き継ぎを終えた時、引き継ぎ場所担当の競技役員は審判長にすべてが正しく行われたかどうかを知らせなければなりません。

規則違反があったならば監察員は黄旗をあげてトラック競技審判長に知らせ、トラック競技審判長は速やかに監察員と連絡を取り事実を確認し、関係するチームの失格が妥当かを決定します。



(8)レースのスタート



①スターター (第 129 条、第 130 条、第 162 条 CR22,23,TR16)

良いスターターは身体的、精神的に反応や視力が良く、機敏に対応できなければなりません。またスターターは良く通る明瞭な声で指示を発するべきです。彼は自信を持ち、静かに決心し、パニックなしでどんな状況にも対処する忍耐力を持たなければなりません。

スターターは競技者から信頼を持たれるためにも公正かつ正確でなければなりません。スターターは競技者を助けませんし、自分を誇示するためにそこにいるのではありません。

初心者のスターターは、経験豊富なスターターを可能な限り頻繁に見て、質問をし、可能な限り出発係として行動し、重要な義務についてできるだけ多く学ぶ必要があります。

②スターターの任務

スターターは協力者としてリコーラーと出発係がありますが、レースのスタートにおける第一の決裁者です。最終的な決裁者はスタート審判長になりますが、その前の判断はスターターにより為されます。スターターは競技会の定時進行やすべての競技者が公平で良いスタートができるように保証しなければなりません。出発係は競技者の氏名・番号ならびに、

正しいレーンやスタートラインというスタートポジションに着くことを確認します。出発係はまた、競技者が正しく衣類を着用し、もし競技者が全天候でない競技場で自分のスターティングブロックを使うときには、規則に示された仕様に合致していることを確認します。さらにリレーの第1走者に対してバトンを用意する必要があります。

③スターターの位置

スターターは競技会開始前に、最適なポジションを定めるためにトラックを見ておく必要があります。レースが階段状のレーンで開始される時（200m、400m等）は最も重要であり、スタート地点周辺のすべてのグラウンド設備・機器がクリアであること、スターターや競技者の気を散らすことがないようにする必要があります。計時員が準備完了していない状態でスタートすることはできないので、計時員主任がどこに立っているか、フィニッシュ地点の準備完了がどんな方法でスターターに伝えるか確認することは必要です。もし写真判定を使用するならば、スターターは写真判定員主任が準備できていることを確認する必要があります。

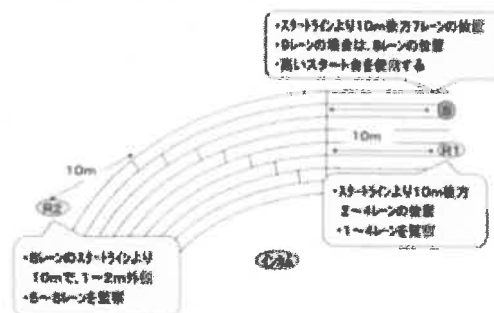
どこ立つべきかを決めるための考慮する要点は

- (a) スターターから最も遠い競技者に明瞭に声が聞こえる適切な距離
- (b) すべての競技者を狭い視野に収めることができること
- (c) 計時員を目視でき、また計時員から見えること

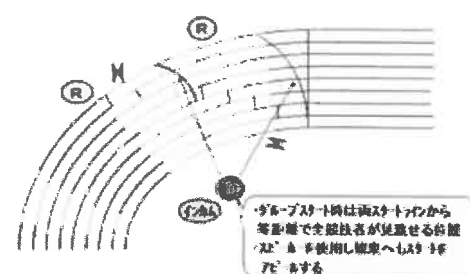
競技者がクラウチングポジションでスタートする時、最初の動作は後ろ側の踵で為され反対側の手がグラウンドから離れるものです。それゆえスターターと/またはリコーラーはグラウンドから離れるいかなる手の動きでも見ることができるよう、可能な限り狭い範囲の視野で競技者の手ははっきりと見えるようにすることが不可欠です。

図は各種目におけるスターターの推奨する位置です。

200mでの推奨位置



長距離種目でのスターター・リコーラーの位置



④スタートの手順

約1分前に、スターターは自身のポジションに立ち、計時員、決勝審判員、写真判定員に準備ができたことを知らせ、それに返信するという手続きが始まります。

- (a) 競技者を待機位置に立たせる。
- (b) ピistolを構える。
- (c) 「On your marks (位置について)」を明瞭な声で発する。
- (d) すべての競技者がスタート位置に構えているのが見えることを確認する。

階段状のレーンでスタートするすべてのレースにおいて、スターターは彼の指示が競技者の近くに配置されたスピーカーに連動するマイクロフォンを使います。そのような装置が使えないとき、スターターは各競技者と自身の距離がほぼ同一になるような場所に立ちます。WAの推奨では、110mHまでのレースにおいてスターターは競技者の前方インフォールド側に立ちます。

400mまでのレース(4×400mリレーのスタートを含む)では競技者がスタートラインの手前でレーンの中になければなりません。両手と少なくとも片膝はグラウンドに接触していなければならず、(靴が地面に接触していなければならないことではなく)両足がスターティングブロックに接触していなければなりません。

(e) すべての競技者が自らの位置に着いて安定し完全に静止したとき、スターターはピistolを発砲させる前、競技者に十分な集中をさせるためにわずかな間を置きます。

(f) すべての動きが止まったときにスターターは「Set (用意)」の指示を与え静止を確認して発砲します。もしスターターあるいは出発係が競技者の手や足の状況に満足しなかった場合、あるいは競技者が理想的な時間内で構えなかった場合、スターターは「立って (Stand up)」の指示を行い、スタートの手順をやり直します。

良い、公平なスタートとは発砲よりも前に出発することなく、誰も取り残されることなく全競技者が素早く同時に出発することです。

「Set (用意)」を用いないレースにおいては、競技者がスタートポジションに足を置き静止を確認して発砲します。

(9)不正スタート

もし競技者がピistolや承認されたスタート機器の発砲前に、最終で完全なセットポジションからスタート動作を開始した場合、不正スタートとなります。

「On your marks」「Set」の指示の後、競技者は遅滞なくスタートできる体勢にならなければなりません。不適切な遅延はまたイエローカードが与えられます。スターター/スタート審判長は、もし競技者がいかなる方法においても他の競技者を不公平に惑わせた場合は警告を与える行為と判断して良いでしょう。

リコールの発砲は、ピistolの発砲を聞くことなしに発砲と同時にスタートしたような場合に必要です。もしスターターがスタートの状況に満足できない場合は直ちにリコールの発砲をすべきです。リコール後、ピistolを再充填し、スタートの手続きを前と同じように正確に繰り返すべきです。さらなる中断を避けようとしてセットから号砲までの滞留時間を短くすべきではありません。

「立って」の指示はスターターが良い公平なスタートができないと判断した時にはいつでも与えるべきです。これらはトラック上の障害物、航空機の騒音、観衆やアナウンサーによる原因、あるいは競技者が構えに入る時間が長すぎるときに与えます。また「立って」の指示は不正スタートの後にも与えられます。

Start Information System (S.I.S.) の使用

大規模競技会の際に、スターティングブロックは Start Information System が使用されます。このシステムは現在様々な競技会で使われています。この場合、スターターは機器によって反応時間が1000分の100秒未満の時に検知され発せられるシグナル音をいつでも聞き取ることができるように機器に連結したヘッドフォンを身につけます。(機器によっては自動的にリコール音を発信するものがあります) スターターはピストルを発砲した後、信号音を聞くやいなや、リコールをし、スターターはどの競技者に不正スタートの責任があるか検証するために、すぐに SIS の反応時間を確認する必要があります。



(10)風力計測員 (第134条 CR27)

風力計は200mまでのすべてのレースと走幅跳、三段跳で使います。風力計を操作する審判員は規則と機器の操作に熟知していなければいけません。

操作している間、風力計の近辺には障害物(人も含めて)がないようにすっきりさせておくことが重要です。



第5章 フィールド競技

フィールド競技は、8つの異なった種目が行われます。それぞれは固有の技術と異なった規則で行われますが、種目を審判するにあたって、共通の事項があります。

フィールド種目において、審判員は競技者を彼らの気分を害することなく対応し、公平に競技を行わせる必要があります。また、チームによる努力が必要なので、審判長・主任の指示のもと、しっかりと自分の与えられた任務を果たすことが大切になります。

(1)フィールド競技審判長

フィールド競技審判長は、規則通りの遂行や成績に責任を持ちます。具体的には、競技場所の決定や同時に複数の競技に出場している競技者の試技順序の変更、さらに助力を受け

ている競技者への警告や除外の判断、計測の立ち合い、計測装置の点検の立ち合いなどです。審判長はさらに招集所から表彰まで、参加競技者の行為について責任を持ちます。

小規模な競技会では審判長は一人で十分かもしれませんが、男女や違った年齢グループのように多くのフィールド種目がある競技会では2人以上の審判長で任務を分担してもよく、そのような場合は、相互に協力します。

➤審判長の任務は、割り当てられたフィールド種目を取り仕切ります。すべての審判員主任が現場にいて適切な審判員に任務を割り当てさせます。競技規則が正確に守られていることに責任を持ちます。審判員間で意見が異なる場合は決定します。

➤走高跳・棒高跳において、バーの競技開始の高さやそれに続く上げ方、許される試技回数を確実に競技者に伝えます。これがプログラムに印刷されているならば、それでも構いません。

➤競技規則に明記されていない問題点の議論について決定します。

➤競技者の行為についての異議・抗議について決定します。減多に適用する権限ではありませんが、不適切な行為を行った競技者を競技会から除外します。

➤種目を時間通りに進行させます。

➤記録が達成されたときにも計測と器具を点検し記録の計測を監督します。

➤審判長の見解で、もし競技場所の状態が良くないと判断したときには競技場所を変更します。風の強さや方向の変化は競技場所を変更するに十分な理由とは見なされません。

➤最終結果を確認し記録表に署名します。

➤審判長は競技開始前に、技術総務と協力してすべての施設を点検します。競技会中、審判長は様々な審判員が適切に任務を遂行していることを確認するために巡回します。審判長は競技の進行状況についても監督します。

規則とその詳細

この章で、WA や日本陸連のハンドブック/ルールブックに記載されているすべての規則や詳細を説明しません。とりわけ走高跳や棒高跳において同成績があるときの解決法や多くの参加者がいるときの競技運営の方法を学んでください。

(2) フィールド競技審判員

各フィールド種目は1人の主任と3人以上の審判員が必要です。主任から与えられた任務をしっかりと遂行しましょう。競技の進行中に注意力をそらしたり気を抜いたりすることはできません。競技者が試技を行おうとするとき、各審判員は何が起こるかに集中し、同時に行われているトラックや他のフィールド競技の様子も注意します。

競技規則は公平に適用しなければなりませんし、公平で適切な判断をする必要があります。審判員は競技に必要なすべての用器具がそろっているかを確認するために、競技開始前に競技場所を確認します。そして技術総務と用器具係に監督された用器具を受け取るゆとりを持ちましょう。

①種目の審判

ここでは各種目に共通していることについての説明にとどめ、各種目の詳細は後に記載します。審判員は競技者の氏名を主催者から提供されたリストで確認しなければなりません。また、手書きでの競技会であるならば、それらを競技者の番号とチーム名とともに記録用紙に書かねばなりません。競技者以外の他のすべての人々（コーチ、父母、友人は認められません）は競技場所から排除しなければなりません。個人の投てき物は競技会において使用確認および承認がなされなければ、持ち込むことはできません。フィールド競技審判員は試技の有効あるいは無効を示すために白旗または赤旗を適切に挙げる必要があります。

②試技順

競技における試技順は、競技会の開始前に主催者が抽選し決定します。

走高跳と棒高跳を除くすべてのフィールド競技では、最後の 3 つのラウンドの試技順は、最初の 3 つの試技後に記録されたランキングと逆の順序（記録の低い順）になります。

競技者が同時に 2 つの種目に出場する場合のみ、審判長は 1 ラウンドに 1 回の試技、または走高跳と棒高跳の 1 試技ごとに、抽選で決定された順序とは異なる順序で試技を行うことを認めることができます。また、競技者が試技の場にはいない場合、許可された制限時間が過ぎると、それはパス扱いとなります。同時に 2 つの種目に出場する場合以外は無効試技と見なされます。

③不適切な遅れ

与えられた試技時間を過ぎた場合、試技は認められず、無効試技として記録されます。すべての種目では 1 分間の試技時間が与えられています。走高跳と棒高跳では、競技者が 2 人または 3 人しか残っていない場合、走高跳が 1 分 30 秒、棒高跳が 2 分に延長されます。競技者が 1 人だけの場合、時間はそれぞれ 3 分と 5 分となります。混成競技では競技者が 1 人だけの場合、単独種目とは試技時間が異なるので注意が必要です。現在、競技者が 2 回連続して試技を行う場合、関連するルールでより多くの時間を許可する場合を除き、棒高跳で 3 分間、その他のフィールド種目で 2 分間許可されます。この規定は混成競技にも適用されます。

競技者は残り時間を示す時計を見ることが出来なければなりません。時計が利用できない場合、審判員は黄色の旗をあげるか、他の方法で残りの時間が 15 秒であることを示さなければなりません。

競技者が制限時間の終了時に試技を開始した場合、試技は許可されます。試技時間が過ぎれば無効試技として記録されます。競技者が試技の過程で妨害された場合、代替試技が与えられます。例えば、競技者が競技している最中の他の競技者、競技役員または観客の横断または、カメラマンのフラッシュでの妨害などです。

いったん競技が始まると、競技者は練習目的で競技エリアを使用することはできません。

④メジャーの使い方/科学計測装置

メジャーを使うときは、強く引っ張りすぎないように注意すべきであり、そうしないと記

録の読み取りに影響します。審判員はゼロポイントと読み取りポイント間を絶対に真っ直ぐにしなければなりません。

(3) 高さの跳躍競技（走高跳と棒高跳）

共通事項は以下の通りです。

① 一般的注意事項

用器具は適切に機能するように確認します。競技用に選んだクロスバーが損傷したり壊れたりした場合に備えて予備のバーを手元に置いておきましょう。着地場所はどのような跳躍方法をとる競技者やどのような高さから着地する棒高跳競技者にとっても安全なようにします。

競技のためにバーをセットする際、バーの中央または、バーがたわんで最も低くなった場所を計測します。バーは新たな高さ毎に確認します。新たな計測は、競技者がもしバーの上に落ちたときやバーを蹴り飛ばしたとき、あるいは大会記録等に挑戦するような場合には行ないます。大会記録等に挑む場合、バーが記録の高さに置かれたときには毎回計測し直さねばなりません。

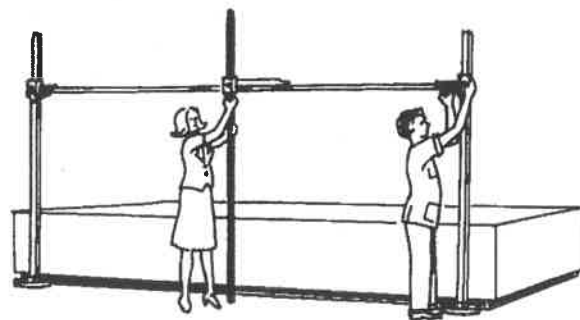
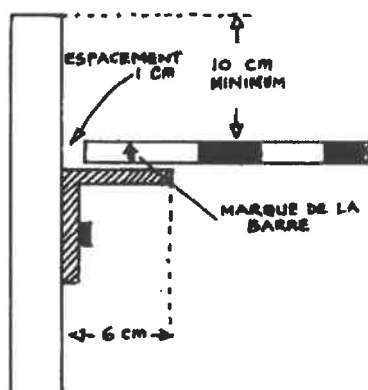
競技者は跳躍種目においてビブスを胸または背のどちらか一方にだけつけることができます。

最初の高さと競技開始後に引き続き上がっていく高さは競技開始前に競技者に伝えられます。最初の高さから試技をしない競技者に開始の高さを聞いておきます。この情報は競技者を呼び出す審判員によって記録用紙に記載します。

競技者がたった1人にならない限り、各ラウンド後に走高跳で2cm、棒高跳びで5cmより少なくバーを上げることはできませんし、バーの上げ幅を増すべきではありません。このルールはまだ競技している競技者らが世界記録/日本記録の高さに上げることに合意した場合は適用されません。

混成競技において、バーの上げ方は競技会を通して一律です。

棒高跳において競技開始前に競技者は支柱の位置（アップライト）を担当する競技役員に希望を伝えます。そしてこれを記録用紙に記載します。競技者は支柱の位置を変更したい場



合には当初要求した位置に支柱が移動する前に競技役員に伝えます。そうでなければ、支柱を移動させる時間は競技者の試技時間に含まれます。

記録用紙には、跳躍をパスする場合には「－」、成功の場合には「○」、失敗の場合には「×」を記入します。(記録用紙には)点(ドット)を用いたり空欄にしたりしないようにします。競技者が3回続けて失敗した場合には、競技を終了します。それゆえ競技者は、ある高さで試技をパスした場合、パスした時点でその高さの試技はできませんがまだより高い高さで試技をしても良いことになります。競技者がどの高さにおいても試技を放棄した場合、彼は以後の高さの試技する権利を失います。

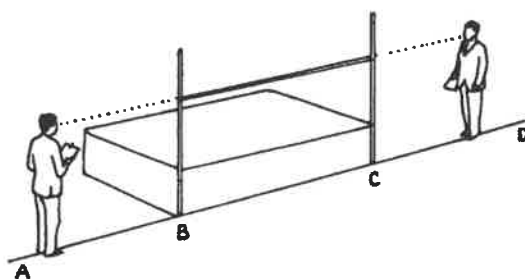
他の全ての競技者が競技を終了した場合でさえ、優勝した競技者は試技する権利を失うまでその権利を持ち続ける(混成競技を除き、事前に周知された高さのリストはもはや適用されません)ことができます。彼の最も良い記録が公式の優勝記録となります。

吹き流しは風の強さと方向を示すために全ての跳躍種目の踏み切り位置付近に置きます。

②走高跳

審判員主任と少なくとも2人の審判員が必要で、1人は必要に応じてバーのセットや置き直しを補助するために必要です。4人目の審判員がおけるならば特に競技者の呼び出しにあたります。

競技者が触れたならばバーが容易に前にも後ろにも地面に落下するために支柱とバーの端の間には少なくとも10mmの間隔がなければなりません。審判員は支柱の延長線上に立って風が吹いているときに風によってバーが落ちたのか競技者が触れてバーが落ちたのか



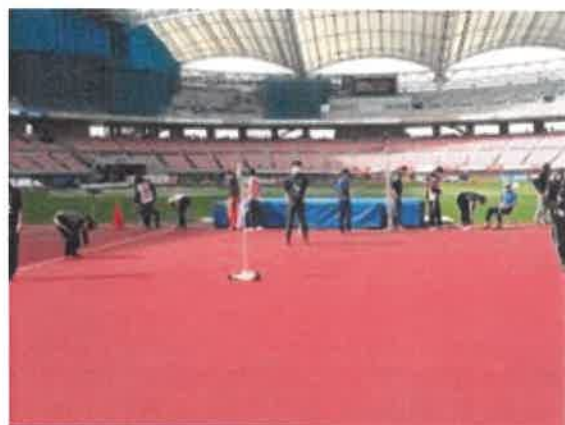
を注意深く見て決めます。競技者が跳躍する前に風がバーを振動させてしまうことがあり、審判員は後までバーをじっくり見る必要があります。

もし競技者がバーに向かって助走を開始するが、跳躍し

ないと決めた場合、中断することができます。この場合、彼がABCD(図参照)のラインを越えた着地場所やマットに触れなければ無効試技ではありません。

競技者は助走や踏み切りを補助する2個までの除去可能なマーカー(容易に取り除くことが不可能な物質;炭酸マグネシウムのようなものの使用は許可されません)を置くことが許されます。

バーを払いのけることは別にして、バー



を越えることなく支柱の手前の面を越えた着地マットまたは地面に触れた場合は無効試技です。

もし競技者が跳躍中にバーに触れ、それが振動を起こした場合、審判員は競技者が触った結果落ちていないかどうか確かめるまで判定してはなりません。

旗挙げの審判員だけが試技が成功かどうか判断できます。

③棒高跳

走高跳と同様に審判員主任と少なくとも 2 人の審判員が必要です。

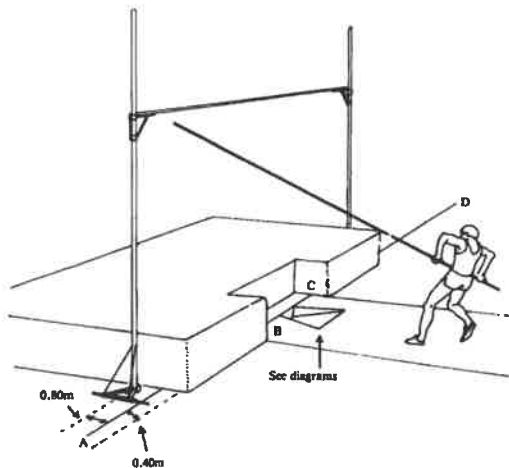
競技者は助走路に沿って外側に 2 個までのマークを置くことができます。またコーチが踏切の状況を見るために、主催者は 0 ライン（ボックスのストップボード内側上縁を通るライン）を起点として、2.5m から 5m までは 0.5m ごとに、5m から 18m までは 1m ごとにディスタンスマーカーを設置する。

風が強いとき、審判員はバーが競技者の行為によって落ちたのか風によって落ちたのかを判断するのが困難です。強い追い風の時には、競技者が試技を始める前に支柱にバーを固定しておくことも必要です。

ボックスが固定されているため、競技者は支柱を着地場所側に 80cm まで移動できますが、それは 0 ラインが基準となります。

判定の補助としてストップボードの内側上縁のレベルで助走路の中心線と直角に 1cm 幅の白線を引きます。このラインは着地マットの二つの突出部の外側にも延長されます。

競技者やポールがバーを越える前に触れることが許されないのはストップボードの上を含む垂直面より着地場所側の地面もしくは着地場所です。



いることの確認を受けなければなりません。ポールに巻いたテープの状態が適切（粘着テープは最大 2 層）かどうか競技中時々再確認することが必要です。競技者は所有者の許可なしに他人のポールを使う権利はありません。

実際には、着地場所の上面に触れるのは競技者のポールの端ですが、もし競技者がストップボードに達する前に止まり、ポールを着地場所の上で維持できていれば、無効試技ではありません。

競技者は自分の所有するポールを使うことができますが、これらは仕様 に 合致して



もし競技者のポールが跳躍中に破損した場合、無効試技とは数えません。

競技役員はポールが損傷しないように競技者がリリースした後のポールを受けてもかまいません。ただしポールがバーや支柱から離れて行くまでポールを確保してはなりません。ポールはバーの下を通過することもあります。

(4)距離の跳躍競技（走幅跳・三段跳）

①一般的注意事項

着地場所の砂の表面は踏切板の表面と同じ高さでなめらかでなければなりません

砂場は競技者に危険がないように、よく掘り返し柔らかく湿らせておかねばなりません。

競技者は助走路内や着地場所にマーカーを置くことは許されませんが、助走路の外側に 2 個まで置いて良いことになっています。

競技者は踏切板の着地場所側の端よりも手前で踏み切らなければなりません。

跳躍距離は砂場の痕跡の踏切板寄りから踏切板の着地場所側の端までを測ります。手を含む体のいかなる場所で作られたものでも痕跡として扱います。もし競技者が残した痕跡が踏切線に近い外側の地面に触れた場合は無効試技です。もし計測距離が丁度 cm で無い場合は計測した距離以下の最も近い cm で記録されます (cm 未満切り捨て)。

踏切板の審判員は、競技者の体のいかなる部分も踏切線を越えた先の地面に触れていないことや跳躍することなしに走り抜けているかどうかや跳躍中の行為を目視しなければなりません。

もし競技者がピンの長いスパイクシューズを使っているとこの爪先が地面に触れることなく、痕跡を残すこともなく踏切板の着地場所側端を越えることが可能です。

競技者が砂場に着地したら審判員はピンを砂場の痕跡に垂直に刺しメジャーのゼロをここに固定します。それから距離は踏切板の端でメジャーをわずかに左右に最小値が示されるまで動かしてメジャーが踏切線に対して直角であることを確認して読み上げます。もし



着地場所の痕跡が直角に測定しようとするとき踏切板の外側にあるならば、画板等を使って踏切線を延長させることが必要になります。

走幅跳と三段跳では風速を助走路に沿って置かれたマーカーを競技者が通過した時点から 5 秒間各試技において計測しなければなりません。走幅跳におけるマーカーは踏切線から 40m 地点、三段跳では 35m 地点に置かれます。両種目において風力計は踏切線から 20m、助走

路から 2m 以内に置かれ、その高さは 1.22m です。

この二つの種目において、競技者が跳躍を完了するには、競技者は着地場所の砂場の中を歩いて戻ってはならず、着地場所より前方の砂場との境界線から出なければなりません。

②走幅跳

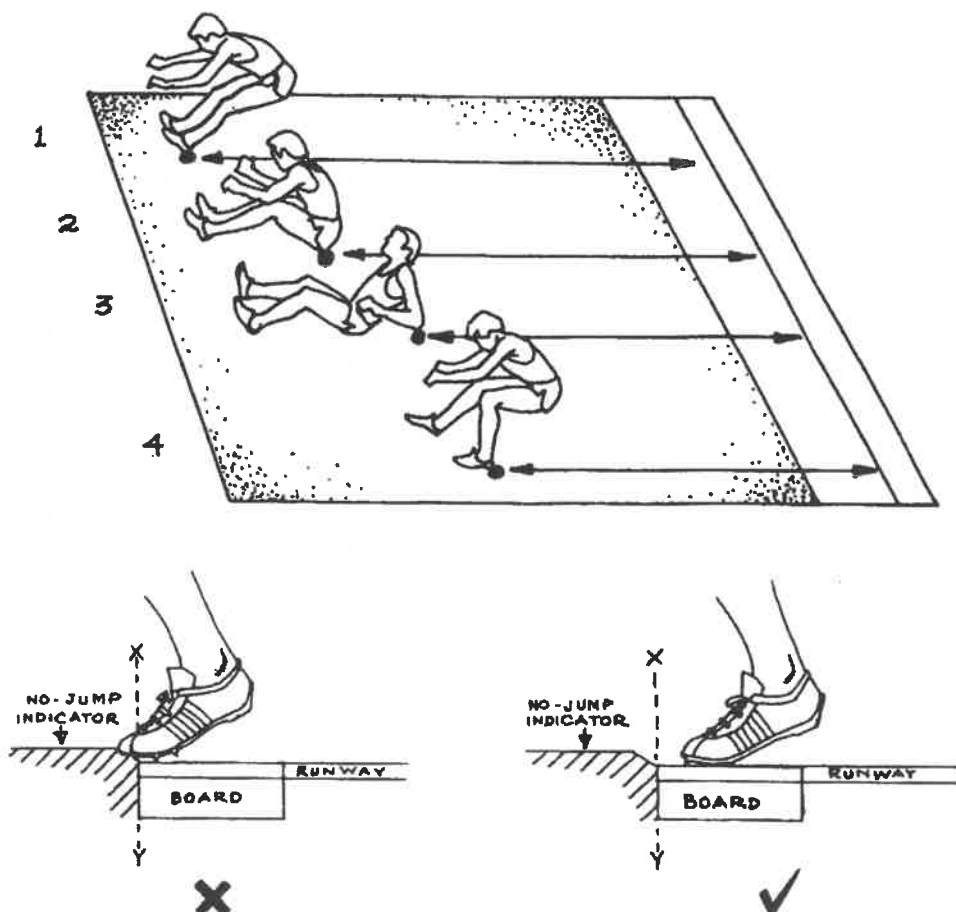
第 1 の審判員主任と少なくとも 2 人の審判員が必要です（加えて風力計測員）。

審判員主任は踏み切りが正しく行われたかどうかを決定する責任があります。彼は無効試技を示すために挙げる赤旗を、有効試技を示すために挙げる白旗を持たねばなりません。主任はまた跳躍距離を記録し、確認しなければなりません。

第 2 の審判員は砂場の痕跡にピンを刺しメジャーのゼロを固定します。

第 3 の審判員はメジャーを固定し踏切線に対して正しい角度になっているかを確認します。加えて記録を記入する審判員がいます。

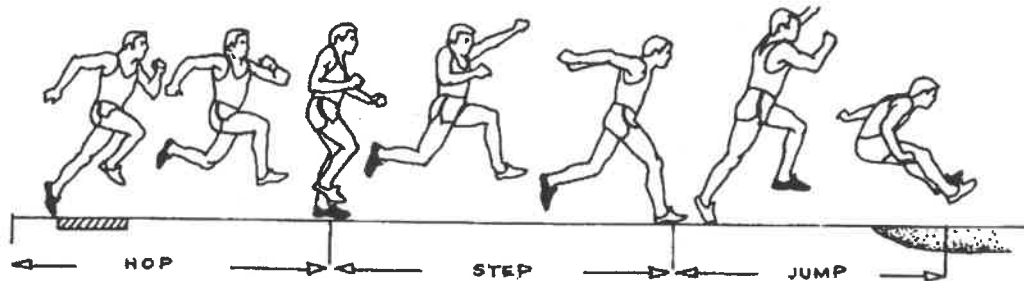
主任は記録を読み上げ、記録用紙に記録します。第 3 の審判員も記録用紙に記録します。もし四人の審判員がいれば、彼は助走路の遠い端で競技者の呼び出しを担当します。跳躍が計測された後、主任は次の競技者のために砂場を均し準備されるまで助走路に立つべきで



す。コーンがあればそれを踏切板前に置いて試技開始するタイミングではないことを知らせます。

③三段跳

三段跳は同じ脚が着地するホップ、続いて他の脚が着地するステップ、それから着地場所に着地するジャンプからなります。右足踏み切りの場合、正しい連続は、右・右・左そして



走幅跳のように着地となります。それ以外は無効試技です。経験の少ない競技者は「振り出し」脚が助走路表面に触れることがありますが、引き続き連続する正しい脚であり、ステップからジャンプの着地にもたらされます。これは無効試技ではありません。

イラストの連続は左足踏み切りの正しいものです。追加の審判員には走幅跳に比べて踏切板から最後の着地までの間の一連の動作を見ることが求められます。

全ての競技者に公平を確保するため、競技開始前に跳躍の有効の決定は着地場所から離脱するまでだということを競技者に伝えます。

(4)投てき種目（砲丸・円盤・ハンマー・やり）

①一般的注意事項

これらの 4 種目はそれらの違った技術によって区分されますが、それら全てに適用されるルールがあります。

砲丸・円盤・ハンマーは全てサークルから投げます。競技者はサークルの金属の縁の内側に触れても良いが、一旦投てきが開始されたら競技者は金属の縁の上部を含めた外側の地面に体のいかなる部分も触れてはなりません。

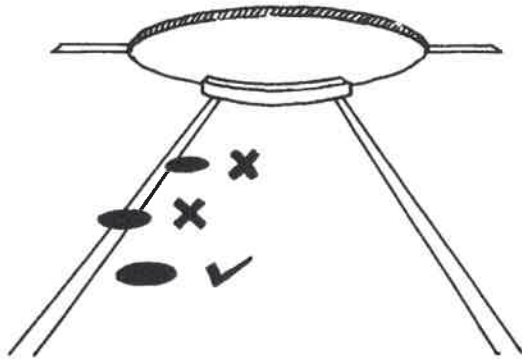
このルールに抵触しなければ、競技者は、許された時間内で静止した状態から試技を再開しても良く、またサークルから出ても構いません。

器具はグラウンドに引かれた有効投てきを示す白線の内側に完全に落下しなければなりません。審判員はマーキング用のピンを置いて着地地点を示します。

計測は投てき器具の落下による明かで最も近い痕跡からサークルの縁の内側（やり投では弧の内側）まで、投てき後直ちに行ないます。

競技中の安全確保はこれらすべての種目に共通する最重要課題です。競技者、競技役員と観衆は最大限保護されなければなりません。競技者には安全のためのルールを周知します。

練習投てきは審判員の監督下で競技場所でのみ行うことができます。競技が開始されたら競技者は練習目的で投てき器具を使うこと、あるいはサークルや着地区域を練習で使う



ことは認められません。投てき器具は練習中や競技中常に運び戻さなければならず、投げ返したり転がしたりしてはなりません。

着地場所の中には何も印があってはなりません。ラインの一つずつがグラウンドのどの部分からも見えるようにするため、記録や個人の投てきを示すマーカーは有効投てきを示す白線の外側に置か

す。

多くの競技会において主催者は各競技者の個人的な要求にあう投てき器具を十分なだけ供給できないと考えられます。競技者はこのような場合、彼ら所有の器具を提供することが認められますが、それは検査を受けねばならず、もし規格に合致すれば、審判長もしくはその権利がある競技役員によって承認されます。もし個人の器具が認められれば、それには識別するための印が付けられ、審判員は常に監視を行い、使用されているすべての器具が主催者によって供給または承認されていることを確認する必要があります。個人の器具は競技終了まで共同利用の一部になり、どの競技者も利用できます。個人器具の所有者は他の競技者によるその器具の利用を拒否できません。

競技者は審判員が他の着地区域にいる審判員の準備が整うのが完了するまで、試技の開始を許されません。競技役員は試技が開始されるまでサークルの中ややり投のスターティングラインに立っています。コーンが用意できればそれを置いて代えることもできます。

いかなる物質もサークルや競技者の靴にまき散らしたり吹き付けたりしてはなりません。

2本または3本の指をまとめてテーピングするような仕掛けは許されません。しかしながら、指1本ずつが独立して動かせるならば手のテーピングは許されます。

松ヤニのような粘着性の物質を投てき器具のグリップをより良くするために、手に付け



るかもしれません。しかしそれらは濡れた布で容易に拭き取れ、後に残らないような物でなければなりません。

競技場所において競技者は試技が許されます。プログラム順で試技を行います。

有効試技の最中に投てき器具が壊れた場合、競技者には代替の試技が与えられます。

投てき試技局面の最後には審判員が集中して何が起きているかを見なくてはならない

たくさんものがあります。サークルで判定する審判員は投てき器具の飛行を見る必要はなく、競技者特に足を見続けなければなりません。

②サークルからの種目

競技者はサークルの中で静止状態から試技を開始しなければなりません。サークルに走り込んだり飛び込んだり、静止状態なしに試技を始めることは許されません。

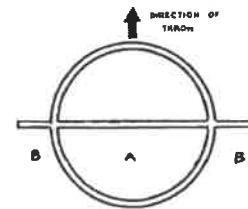
競技者が試技を始めたとき、もし彼が体のどの部分でもサークルの上部(砲丸投ではスト



ップボードの上部)やサークルの外側の地面に触れたら、無効試技になります。

競技者は投てき器具が落下するまでサークルの中で待たねばなりません。

サークルを離れる時、重要なのはサークル外の地面への最初の接触が、サークル(の縁枠の上部を含む)の中心を通して外側に引かれた白線の完全に後ろかどうかです。



脚の動きは非常に速い(特に円盤投・ハンマー投)ので、審判員にとって違反が起きているかどうかを判断するのは困難です。もし疑いがあったならば、競技者は「疑わしきは罰せず」で対処すべきです。2人の審判員が全ての投てき地点には必要です。

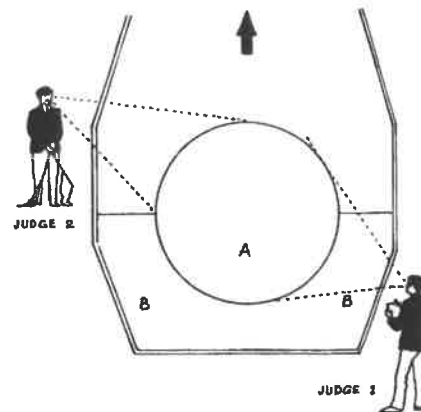
③砲丸投

この種目の有効試技は、いわゆる「put」つまり片手で砲丸を肩から「push」することです。競技者は砲丸を首又は顎に付けるかまさに付けるような状態から開始し、その時から手は下げず、その時から砲丸は肩の線から後ろになってはなりません。これは全て(肩を使った)投げる動作であってはいけないということです。競技者は頭と一緒に動く砲丸が更なる勢いを得るために、しゃがんだ状態から開始することができます。競技者はサークルの中を横切って跳んだり滑るように移動したりしても構いません。ある競技者は勢いを付けるために回転動作を行う者がいます。

右利きの競技者の例；第1の審判員はサークルの右側で競技者の手と足の違反を見て；競技者を呼び出し、距離を記録します。

第 2 の審判員は主にサークル上部とストップボード上部の足の違反をストップボード側の位置から見ます。有効試技・無効試技の表示に旗が使えるならば、主任審判員として行動します。

左利きの競技者の場合は、これらの審判員は次のように位置を変えます。第 3 の審判員は砲丸が着地するセクターの外にいます。そして、砲丸の痕跡のサークルに近い端にピンを刺します。砲丸が落ちた場所にマークを付けるのは簡単ですが、砲丸が前の着地点の非常に近くに落下する可能性があります。

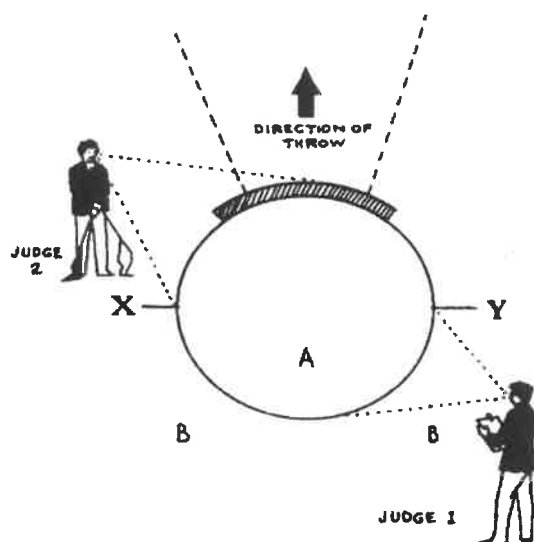


メジャーはストップボードの上を通り、サークルの中心を通して 1 人の審判員が引く間にもう 1 人の審判員が測定した距離を読み取ります。計測は試技の後、直ちに行われなければなりません。砲丸投において、全ての投てきは切り捨てした 1cm 単位で記録されます。

④円盤投

円盤を投げる方法に規定はありません。競技者は自分が選んだポジションを採用し、円盤をリリースする前に自由にターンをすることができます。

投てき者によって行われたターンのために、経験の浅い競技者によって円盤があらゆる方



向にリリースされる危険があります。ルールブックで推奨されているように、サークルの近くにいる他のすべての競技者と競技役員は囲いの外にいます。

サークルのところには 2 人の審判員が必要です。

第 1 の審判員は競技者を呼び出し、競技者がターンするときに、特にサークルの後方で、足の違反を監視します。

第 2 の審判員は、足の違反を監視する-これらは円盤がリリースされる

瞬間に行います。

競技者はしばしば、自分の足がサークルの上部に触れたことに気づき、すぐに引き戻すことがあります。

サークルのところにいる審判員主任は紅白旗を持ち、投てきが有効か無効かを示します。着

地区域のもう一人の審判員は旗を持たずに同じ任務を行います。

着地区域には 3 人の審判員がいて、少なくとも一人は円盤の落下地点の近くにいます。実際の落下地点は見つけるのは難しいので、着地区域にいる審判員は、特にグラウンドが硬く円盤が跳ねる場合には注意深く見る必要があります。

もし円盤が前方の縁から着地した場合にはカーブした痕跡が明らかに見えるでしょう。着地した後、前縁に向かって傾いた場合は、カーブした痕跡の後ろに約 20cm の痕跡があるかどうかを確認する注意が必要です。もし円盤の着地が完全に平らであったら芝を掃いたようになるだけかもしれません。審判員はできるだけ円盤が地面に衝突する地点に近づかなければなりません。

痕跡用のピンは着地した痕跡の投てきサークルに最も近い側に置かねばなりません。審判員はできるだけすばやく、この作業を終える必要があります。

この種目では長いメジャーが必要であり、各投てきを即座に計測するために常に延ばしたままにしておきます。

メジャー端の「0」点は円盤が着地した痕跡位置に使用します。メジャーはサークルの中心を通してサークルの内側で計測されます。メジャーはねじってはならず、できるだけ真っ直ぐにしなければなりません。長いメジャーは高価であり、それが鋼鉄製ならば、不注意な人によって踏みつけられたり絡ませられたりして容易に壊れてします。

円盤投げにおいても cm 未満切り捨てで計測されます。

⑤ハンマー投

これは最も危険な投てき物が使われ、競技者、競技役員そして観客にあらゆる可能な傷害予防措置が取られなければなりません。その行動に対する警告を無視するようないかなる競技者に対しても甘い態度を見せてはなりません。

効果的な保護囲いであるために、2 枚の可動パネルは正しい位置になければなりません。右利きの競技者（反時計回りに回転する）には、左側のパネルを「閉め」て右側のパネルを「開け」ます。左利きの競技者では反対になります。

サークルの周りの囲いは完璧な安全装置であると思い込まないようにしましょう。審判員主任が囲いを点検すべきであるにしても、審判員らはハンマーが、例えば囲いの下あるいは以前修理した古い穴から囲いを突き抜ける余地のないことを確認すべきです。競技者がターンして囲いに向かって放たれたハンマーはものすごい力を持つので、それは常に非常に危険な物体として扱わねばなりません。ハンマーはネットの上を越えていくこともあるので、これも注視する必要があります。

審判員は競技前の練習投てきを監督します。そして競技が開始されたら競技者はハンマーを持って練習は許されません。もしレース中にハンマーがトラックに落下する可能性があり、それによってランナーを危険にさらす可能性があるならば、試技を許可できません。34.92 度の着地区域の外側 60 度を立ち入り禁止にした安全区域がありますが、ハンマーはどの方向にも行く可能性があります。

サークルのところの二人の審判員は円盤投と同じように審判活動を行います。着地区域の審判員は投てき物を注意深く見ていなければなりません、落下地点に近くいる必要は



ありません。なぜならば常にはっきりとした痕跡が付くからです。芝がわずかしかなない硬いグラウンドではハンマーはバウンドしてそれがどこへ行くか正確に予測することは不可能です。

投てき者はハンマーを放す瞬間、ハンドルによって生じる摩擦力から掌を守るために手袋の装着が認められています。しかしその手袋は腹面および背面が滑らかで親指以外の指の先端が露出

していなければなりません。

投てき者が試技を始めるためにサークルに入ったとき、彼はハンマーの頭部をサークルの外側あるいは内側に置いて構いません。彼が一旦投てきを開始したら、体のいかなる部分もサークルやサークルの外側の地面に触れることは許されません。

もし予備スイングやターンの最中にハンマーの頭部が地面に触れてもそれだけの理由で無効試技にはなりません。動作を一旦中断してやり直すことは認められます。

ハンマー投では、ターンの間にハンマーがグラウンドに衝突するかもしれず、ワイヤー・ハンドルが壊れ、競技者はバランスを崩しサークルから出てしまうかもしれません：この場合には競技者は代わりの試技を与えられます。

この種目においても距離は 1cm 未満切り捨てで計測されます。

⑥やり投

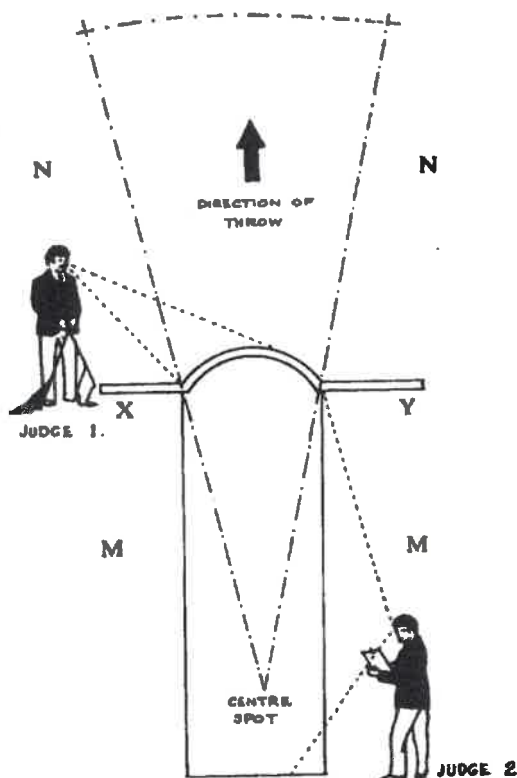
やりは鋸の一種であり、突風によって偏向する可能性のある武器です。着地区域にいる審判員は注意深く見なければなりません。

投てき者がその後方でやりを放さなければならぬ弧（スターティングライン）は円の一部であり、それゆえメジャーが通らなければならない中心があり、（目盛りを読むときには）弧に対して直角に交わることをよく確かめる必要があります。

投てき場所には 2 名の審判員がいます。

第 1 の審判員はラインのところにいて投てきが有効か無効かを示す旗を持ちます。投てき者が体の一部がスターティングラインやそれを越えた先の地面に触れていないかどうかを確かめなければなりません。投てきが完了した後、着地区域に競技役員がいなくなるまで助走路に立ちます。

第 2 の審判員は競技者を呼び出し、助走を監視し、やりが規則通りに保持されているかどうかを見ます。彼はまたやりが肩よりも上、上腕よりも上で投げられていることを監視します。



記録を計測するとき、1 人の審判員はスターティングラインの中心でメジャーを保持し、他の審判員が読み上げる距離を記録します。距離は 1cm 未満切り捨てで計測されます。

投てきは着地区域の内側にやりの頭部が最初に触れた地点から即時に計測します。

審判員が二人いればやりの着地には十分です。彼らは着地するやりを側面からよく見えるように二つのサイドラインのそれぞれ立つべきです。

彼らの責任範囲は

- ・着地区域の内側に完全にやりの頭部が落下したことを確認します
 - ・それが最初の着地であること
- やりの飛行を見ているときに、審判員は着地の時に（近づきすぎることなく）側に

寄って行っても構いません。

有効試技はやりの金属製の頭部が他のどの部分よりも先に地面に触れなければなりません。投てき者は投げ終わった後、やりが落下するまで助走路で待たなければなりません。彼はそれから、スターティングラインとその外側に延長されたラインの後ろ側から助走路を離れなければなりません。彼は通常「M」のエリアに入ります。



第 6 章 混成競技

五種競技から十種競技まで男女別、年齢段階別に数種類あります。規則に定められた順序で 1 日ないし 48 時間以内で行われます。

混成競技実施時には混成競技係と混成競技審判長が委嘱されます。混成競技審判長は混

成競技各種目について管轄し競技者の成績について責任を持ちます。

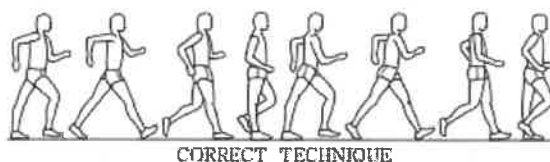
混成競技係は混成競技控室の管理と混成競技選手の動向を監督します。混成競技控室は各種目間の休憩室になります。競技者が快適に過ごせるような環境づくりをします。またこの部屋は各競技日の第一種目を除き招集所ともなります。競技者の点呼や FOP (競技場所) への持込品の点検、スパイクシューズの点検なども行います。控室から FOP への誘導や競技中のトイレへの引率、競技終了後の競技者の控室/ミックスゾーンへの誘導などマーシャルに準じた業務も行います。

○一般種目との主な違い；詳細については各項目の内容を確認してください。

- ・スタート：1 度目の不正スタートは許されるが 2 度目以降の不正スタートからは当該競技者が失格となります。
- ・フィールド種目はすべて 3 回の試技だけです。
- ・高さの跳躍種目では 1 人になってもバーの高さは自由になりません。
- ・最終種目の 1500m/800m ではそれまでの成績順で上位者のみのグループを作ります。
- ・風力を計測する種目の平均値が 2.0m 以内であれば混成競技の成績として公認されます。単独種目としてはそれぞれが 2.0m 以内でなければ公認されません。

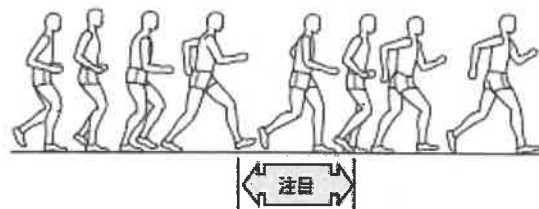
第 7 章 競歩競技

トラックで行われる競歩と道路で行われる競歩があります。陸上競技の中で唯一審判員の主観的な歩型の評価が競技者の失格に影響する種目です。



歩型の評価では、ロス・オブ・コンタクト (接地不良 = 「両脚が同時にグラウンドから離れることなく歩くこと」の違反) あるいはベント・ニー (膝曲がり = 「前脚

は接地の瞬間から垂直の位置になるまで真っ直ぐに伸びていなければならない」の違反) を審判員の目視で行わなければならない。



競歩審判員は主任を含めてトラックでは 6 名、道路は 6 名以上 9 名以内が配置されます。通常、主任は判定をせず、他の審判員からのレッドカードの集計・確認と失格の宣告を行います。競歩の定義に抵触しそうな競技者に対してはイエローパドルを提示して注意を促します。このイエローパドルは同一の審判員から同一のパドルは 1 回のみしか出すことができません。明らかに競歩の定義に違反している競技者に対してはイエローパドルを提示することなくレッドカードが出されます。3 名以上の競歩審判員からレッドカードが出された場合、その競技者は失格となります。

<ペナルティゾーン>

近年採用されたシステムで、レッドカードが 3 枚で出たとしても即失格とせず、レースの距離に応じてペナルティゾーンにて歩型の修正を行わせ、競技を完遂させることを狙っています。ペナルティータイムは、5 km以下では 30 秒、10km では 1 分、20km では 2 分と距離に応じて滞留時間が決められています。しかしながらレース再開後 4 枚目のレッドカードが出れば失格となります。

競歩競技では、競歩審判員の他に、競歩審判員主任補佐、競歩記録員、競歩掲示板係、連絡員など競歩に特化した競技役員が委嘱されます。

第 8 章 道路競技

トラック & フィールドのシーズンが終わるとともに、舞台が道路に移りマラソンや駅伝が主体となります。道路で行われる競技には競技場内以上に多くの競技役員が編成されます。トラックで行われていた長距離レースが道路に延長されたと考えると大きな違いはありませんが、コースが一方向路、往復、周回と様々なため、その大会に応じた競技役員の配置が求められます。競技運営車両に乗務してレースを監察することや、途中棄権者の収容などが、その例です。

○飲食物供給所

トラックでも 5000m 以上のレースで気象状況に応じて行われるが、道路では必置となっています。飲食物供給所は道路コース計測にも関わるので予め計画されて設置されます。またエリートレースではパーソナルドリンクステーションが設けられ、競技者のチーム役員が手渡しすることも認められています。この時は手渡しの方法に、テーブルより前に出てはならない、伴走してはならないという規則があるため、これを監視する審判員が必要となります。

○たすきの中継所

駅伝では各走者がたすきを保持し、中継所でたすきを手渡ししなければなりません。そのためのたすきを引き継ぐ中継所が設けられ、そこで区間毎の記録や順位が判定されます。その為の計時員や順位判定の審判員が配置されます。現在多くの競技会ではシューズやアスリートビブスに装着したトランスポンダーチップでの計測が主流になっていますが規模の小さな競技会では依然採用されています。

2020年度 公認審判員数

2020年12月31日現在

	S級公認審判員 数（男）	S級公認審判員 数（女）	A級公認審判員 数（男）	A級公認審判員 数（女）	B級公認審判員 数（男）	B級公認審判員 数（女）	合計
1 北海道	150	12	245	35	725	184	1351
2 青森	67	4	73	6	412	119	681
3 岩手	72	3	103	17	286	82	563
4 宮城	105	10	118	23	386	115	757
5 秋田	92	2	86	7	422	68	677
6 山形	90	0	142	16	440	113	801
7 福島	137	5	231	29	199	66	667
8 茨城	87	2	112	21	382	101	705
9 栃木	39	2	83	3	200	39	366
10 群馬	55	0	90	5	417	87	654
11 埼玉	77	3	137	12	342	68	639
12 千葉	84	5	188	19	721	164	1181
13 東京	416	53	322	102	409	183	1485
14 神奈川	223	5	200	24	885	204	1541
15 山梨	72	4	114	17	249	50	506
16 新潟	61	0	147	9	690	138	1045
17 長野	103	0	127	6	487	116	839
18 石川	67	3	96	8	415	125	714
19 福井	45	1	93	12	262	80	493
20 長野	103	0	127	6	487	116	839
21 静岡	212	16	249	41	444	121	1083
22 愛知	109	5	132	9	623	203	1081
23 三重	64	1	90	97	270	112	634
24 岐阜	68	3	125	14	271	71	552
25 滋賀	98	3	225	25	391	106	848
26 京都	107	5	136	15	797	335	1395
29 大阪	196	17	291	56	623	222	1405
28 兵庫	83	4	187	9	579	102	964
29 奈良	26	1	228	28	266	98	647
30 和歌山	18	1	117	10	234	38	418
31 鳥取	55	4	153	18	83	31	344
32 島根	81	8	98	17	385	85	674
33 岡山	100	4	162	37	225	91	619
34 広島	137	7	189	20	415	104	872
35 山口	91	3	132	23	276	54	579
36 徳島	31	2	69	9	79	34	224
37 香川	37	0	80	5	132	40	294
38 愛媛	61	3	135	7	278	98	582
39 高知	41	5	66	12	144	45	313
40 福岡	173	12	168	22	474	126	975
41 佐賀	45	2	96	13	104	22	282
42 長崎	35	2	79	7	243	40	406
43 熊本	92	12	144	22	187	38	495
44 大分	111	7	110	33	190	60	511
45 宮崎	48	5	103	15	298	69	538
46 鹿児島	64	1	155	22	573	173	988
47 沖縄	73	3	196	41	165	31	509
合計	4401	250	6749	1004	17565	4767	34736

都道府県別公認陸上競技場一覧表

(2020年10月21日現在)

No.	都道府県名	第1種	第2種	第3種	第4種						計			合計
					全天候	第4種ライト 全天候	一部全天候	第4種ライト 一部全天候	土質	第4種ライト 土質	全天候	一部全天候	土質	
1	北海道	1	6	10	1		3		4		18	3	4	25
2	青森	1	2	3	3						9	1		10
3	岩手	1	2	3	1				1		7	1		8
4	宮城	1		6			1				7	1		8
5	秋田	1	2	6					2		9		3	12
6	山形	1	1	4	2		1		2		8	1	2	11
7	福島	1	1	8	3						13			13
8	茨城	1	2	6							9			9
9	栃木	1	2	3	3		1				9	1		10
10	群馬	1	2	4	2						9			9
11	埼玉	1	2	7	6						16			16
12	千葉	1	3	12	5	1					22			22
13	東京	1	3	13	12		1				29	1		30
14	神奈川	2	6	7	4						19			19
15	山梨	1	2	3	1						7			7
16	新潟	1	6	4	2	1	1		3		14	1	4	19
17	長野	1	4	3			2		1	1	8	2	1	11
18	富山	1	3	2							6			6
19	石川	1	4	4	2						11			11
20	福井	1	2	5							8			8
21	静岡	2	4	5	1				1		12		1	13
22	愛知	1	2	8	3		1				14	1		15
23	三重	1	2	2	1						6			6
24	岐阜	1	1	5	3						10			10
25	滋賀		1	3	2						6			6
26	京都	1	2	3	1		1		1		7	1	1	9
27	大阪	2	2	4		1	1				9	1		10
28	兵庫	3	2	3	5		3		5		13	3	5	21
29	奈良	1	1	1			2				3	2		5
30	和歌山	1		2	2					1	5		1	6
31	鳥取	1	1	2	1				1		5		1	6
32	島根	1	2	3			2		3	1	6	2	4	12
33	岡山	1	3	2	1						7			7
34	広島	1	5	3	1		1		1		10	1	1	12
35	山口	1	1	1	3				2		6		2	8
36	香川	1	1	3							5			5
37	徳島	1	1	1							3			3
38	愛媛	1	1	2	1		1	1			5	2		7
39	高知	1	1	3					1		5		1	6
40	福岡	1	4	5	2						12			12
41	佐賀			5			1				5	1		6
42	長崎	1	2	2	1		1				6	1		7
43	熊本	1	1	3	3		1		1		8	1	1	10
44	大分	1	2	2	1						6			6
45	宮崎	1	1	5			1				7	1		8
46	鹿児島	1		6	4		2				11	2		13
47	沖縄	1	1	8	1						11			11
合計		50	99	205	84	3	28	1	29	3	441	31	32	504

都道府県別公認長距離競走路・競歩路一覧表

(2020年10月21日現在)

No.	都道府県名	競走路								競歩路			計	
		100km	マラソン	30km	ハーフ	20km	10哩	10km	5km	50km	20km	10km	競走路	競歩路
1	北海道	1	5		10			1		1	1		17	2
2	青森		1		1								2	0
3	岩手		3	1	6		1			1	1		11	2
4	宮城		1		5								6	0
5	秋田		2		1								3	0
6	山形		1		4					1			5	1
7	福島		3		3								6	0
8	茨城		4		3		1	2					10	0
9	栃木				1								1	0
10	群馬		3		1			1					5	0
11	埼玉		1		4			1					6	0
12	千葉		1		2								3	0
13	東京	1	4	1	15	1					1		22	1
14	神奈川				5								5	0
15	山梨		1										1	0
16	新潟		3		3			1					7	0
17	長野		3		4								7	0
18	富山		2		2								4	0
19	石川		4		4					1	1		8	2
20	福井				1								1	0
21	静岡		1		2								3	0
22	愛知		1		2						1		3	1
23	三重		1		1								2	0
24	岐阜		1		2								3	0
25	滋賀		2										2	0
26	京都		2		2				1				5	0
27	大阪		4	1	1			1					7	0
28	兵庫		4		3	1		1			2		9	2
29	奈良		1										1	0
30	和歌山	1	1		1								3	0
31	鳥取		3		2								5	0
32	島根		1		4								5	0
33	岡山		2		5								7	0
34	広島				2								2	0
35	山口		2		2								4	0
36	香川				1								1	0
37	徳島		2		1								3	0
38	愛媛		1										1	0
39	高知	1	1										2	0
40	福岡		4		2			3					9	0
41	佐賀		1		2		1	2					6	0
42	長崎		2										2	0
43	熊本		1		2		2						5	0
44	大分		3		1								4	0
45	宮崎		3		2								5	0
46	鹿児島		3		2								5	0
47	沖縄		3		1								4	0
合計		4	92	3	118	2	5	13	1	4	7	0	238	11

公認陸上競技場・競走路 一覧表

2020/12/31時点

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
1	北海道1	北海道	9827	札幌市厚別公園（陸）	011010	第1種継続	2019/11/25	2024/11/24	○
2	北海道2	北海道	9276	札幌市円山（競）	012010	第2種継続	2016/11/7	2021/11/6	
3	北海道3	北海道	9646	函館市千代台公園（陸）	012040	第2種継続	2019/4/25	2024/4/24	
4	北海道4	北海道	9396	花咲スポーツ公園（陸）	012080	第2種継続	2017/9/5	2022/9/4	
5	北海道5	北海道	9509	帯広の森（陸）	012100	第2種継続	2018/5/2	2023/5/1	
6	北海道6	北海道	9357	釧路市民（陸）	012110	第2種継続	2017/6/1	2022/5/31	
7	北海道7	北海道	9523	室蘭市入江（運）（陸）	012120	第2種継続	2018/6/1	2023/5/31	
8	北海道8	北海道	9841	北見市東綾公園（陸）	013020	第3種継続	2020/6/10	2025/6/9	
9	北海道9	北海道	9730	千歳市青葉（陸）	013080	第3種継続	2019/11/30	2024/11/29	
10	北海道10	北海道	9881	士別市	013130	第3種継続	2020/10/17	2025/10/16	○
11	北海道11	北海道	9223	網走市（運）（陸）	013170	第3種継続	2016/8/1	2021/7/31	
12	北海道12	北海道	9882	深川市（陸）	013360	第3種継続	2020/10/7	2025/10/6	○
13	北海道13	北海道	9284	岩見沢市東山公園（陸）	013380	第3種継続	2016/10/31	2021/10/30	
14	北海道14	北海道	9598	芦別市（陸）	013410	第3種継続	2018/11/1	2023/10/31	
15	北海道15	北海道	9708	小樽手宮公園（競）	013420	第3種継続	2019/9/18	2024/9/17	
16	北海道16	北海道	9749	札幌市厚別公園補助（競）	013440	第3種継続	2019/11/25	2024/11/24	○
17	北海道17	北海道	9814	苫小牧市緑ヶ丘公園（陸）	013450	第3種継続	2020/4/30	2025/4/29	
18	北海道18	北海道	9512	江差町民多目的広場（陸）	014130	第4種継続	2018/4/29	2023/4/28	
19	北海道19	北海道	9599	浜中（運）（陸）	014140	第4種継続	2018/10/5	2023/10/4	
20	北海道20	北海道	9741	白老桜ヶ丘公園（陸）	014210	第4種継続	2019/6/1	2024/5/31	
21	北海道21	北海道	9712	美幌町柏ヶ丘（陸）（陸）	014220	第4種継続	2019/9/15	2024/9/14	
22	北海道22	北海道	9292	北斗市（運）（陸）	014270	第4種継続	2015/11/28	2020/11/27	
23	北海道23	北海道	9277	富良野（陸）	014280	第4種継続	2016/9/11	2021/9/10	
24	北海道24	北海道	9205	洞爺湖湖畔（マ）	017020	長距離競走路継続	2016/5/1	2021/4/30	
25	北海道25	北海道	9260	美唄市（ハ）	017200	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/6/1	2021/5/31	
26	北海道26	北海道	9386	別海町パイロット（マ）	017220	長距離競走路継続	2017/9/1	2022/8/31	
27	北海道27	北海道	9547	士別（ハ）	017270	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/7/13	2023/7/12	
28	北海道28	北海道	9524	サロマ湖ウルトラ（100km）	017350	長距離競走路継続	2018/6/26	2023/6/25	
29	北海道29	北海道	9551	札幌（ハ）	017360	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/8/18	2023/8/17	
30	北海道30	北海道	9885	日刊スポーツ（ハ）	017400	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/11/1	2025/10/31	
31	北海道31	北海道	9543	北海道（マ）	017420	長距離競走路継続	2018/8/25	2023/8/24	
32	北海道32	北海道	9566	とかち帯広の森（ハ）	017470	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/10/31	2022/10/30	
33	北海道33	北海道	9867	旭川（ハ）	017500	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/6/1	2025/5/31	
34	北海道34	北海道	9544	はまなす車いす（ハ）	017510	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/8/24	2023/8/23	
35	北海道35	北海道	9869	函館（マ）	017520	長距離競走路継続	2020/10/1	2025/9/30	
36	北海道36	北海道	9868	旭川（10km）	017530	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/10/1	2025/9/30	
37	北海道37	北海道	9709	フードパレーとかち（ハ）	017540	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2019/9/1	2024/8/31	
38	北海道38	北海道	9878	東京2020オリンピック（マ）	017550	長距離競走路新設	2021/1/11	2026/1/10	
39	北海道39	北海道	9879	東京2020オリンピック（50km歩）	017560	長距離競走路新設	2021/1/11	2026/1/10	
40	北海道40	北海道	9880	サッポロ ラン ウォーク（ハ）	017570	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2021/1/11	2026/1/10	
41	青森1	青森	9695	新青森県総合（運）（陸）	021020	第1種新設	2019/9/1	2024/8/31	○
42	青森2	青森	9828	弘前市（運）（陸）	022010	第2種継続	2020/4/21	2025/4/20	○
43	青森3	青森	9884	むつ（運）（陸）	022040	第2種継続	2020/10/1	2025/9/30	○
44	青森4	青森	9255	八戸市東（運）（陸）	023110	第3種継続	2016/10/10	2021/10/9	
45	青森5	青森	9218	青森県総合（運）（陸）	023200	第3種継続	2016/6/10	2021/6/9	
46	青森6	青森	9696	新青森県総合（運）補助（陸）	023210	第3種新設	2019/9/1	2024/8/31	○
47	青森7	青森	9893	六ヶ所村大石総合（運）（陸）	024070	第4種継続	2020/5/1	2025/4/30	○
48	青森8	青森	9293	平川市（陸）	024110	第4種新設	2016/12/1	2021/11/30	
49	青森9	青森	9742	八戸うみねこ（ハ）	027050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/12/1	2024/11/30	
50	青森10	青森	9818	あおもり桜（マ）	027060	長距離競走路新設	2020/4/1	2025/3/31	
51	青森11	青森	9695-投	新青森県総合（運）（陸）付帯（投）		投てき場	2019/9/1	2024/8/31	
52	岩手1	岩手	9499	北上（陸）	031020	第1種継続	2018/4/1	2023/3/31	○
53	岩手2	岩手	9864	一関（運）（陸）	032010	第2種継続	2020/8/1	2025/7/31	
54	岩手3	岩手	9788	岩手県営（運）（陸）	032020	第2種継続	2020/4/22	2025/4/21	○
55	岩手4	岩手	9590	森山総合公園（陸）	033170	第3種継続	2018/11/10	2023/11/9	
56	岩手5	岩手	9364	北上陸上補助（競）	033190	第3種継続	2017/3/1	2022/2/28	○
57	岩手6	岩手	9362	宮古（運）（陸）	033220	第3種新設	2017/7/12	2022/7/11	
58	岩手7	岩手	9125	遠野（運）（陸）	034060	第4種継続	2015/12/1	2020/11/30	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
59	岩手	岩手	9294	日居城野（陸）	034080	第4種継続	2016/11/26	2021/11/25	
60	岩手	岩手	9206	西和賀町営（30km）	037070	長距離競走路継続	2016/6/1	2021/5/31	
61	岩手	岩手	9697	大船渡市（10哩）	037200	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/8/28	2024/8/27	
62	岩手	岩手	9038	金ヶ崎（ハ）	037220	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2015/5/3	2020/5/2	
63	岩手	岩手	9822	金ヶ崎（ハ）	037230	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/5/3	2025/5/2	
64	岩手	岩手	9894	金ヶ崎（20km歩）	037230	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/12/1	2025/11/30	
65	岩手	岩手	9245	北上総合（運）（50km）（歩）	037250	長距離競走路継続	2016/8/20	2021/8/19	
66	岩手	岩手	9374	北上総合（運）（マ）	037260	長距離競走路継続	2017/3/31	2022/3/30	
67	岩手	岩手	9229	啄木の里ふれあい（ハ）	037290	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/6/30	2021/6/29	
68	岩手	岩手	9365	一関市公認（ハ）	037300	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/5/31	2022/5/30	
69	岩手	岩手	9379	宮古市（ハ）	037310	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/8/1	2022/7/31	
70	岩手	岩手	9387	イーハトーブ花巻（ハ）	037320	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/10/1	2022/9/30	
71	岩手	岩手	9285	奥州きらめき（マ）	037330	長距離競走路新設	2016/11/1	2021/10/31	
72	岩手	岩手	9676	遠野じんぎすかん（ハ）	037340	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2019/5/1	2024/4/30	
73	宮城	宮城	9684	いわて盛岡シティ（マ）	037350	長距離競走路新設	2019/6/14	2024/6/13	
74	宮城	宮城	9777	宮城スタジアム	041020	第1種継続	2020/3/21	2025/3/20	○
75	宮城	宮城	9685	仙台大学（陸）	043050	第3種継続	2019/6/15	2024/6/14	○
76	宮城	宮城	9207	栗原市築館総合（運）（陸）	043090	第3種継続	2016/4/1	2021/3/31	
77	宮城	宮城	9298	角田市（陸）	043110	第3種継続	2016/12/1	2021/11/30	
78	宮城	宮城	9778	宮城スタジアム補助（競）	043140	第3種継続	2020/3/21	2025/3/20	
79	宮城	宮城	9208	仙台市（陸）	043150	第3種継続	2016/6/15	2021/6/14	
80	宮城	宮城	9840	加美町陶芸の里スポーツ公園（陸）	043160	第3種継続	2020/5/5	2025/5/4	○
81	宮城	宮城	9591	白石川緑地（陸）	044110	第4種継続	2018/10/1	2023/9/30	
82	宮城	宮城	9664	カップ（ハ）	047060	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/3/29	2024/3/28	
83	宮城	宮城	9796	栗原市（ハ）	047130	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/4/1	2025/3/31	
84	宮城	宮城	9371	東北・みやぎ復興（マ）	047150	長距離競走路新設	2017/6/19	2022/6/18	
85	宮城	宮城	9600	仙台国際（ハ）	047160	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/11/1	2023/10/31	
86	宮城	宮城	9820	KHB松島（ハ）	047170	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2020/6/20	2025/6/19	
87	宮城	宮城	9829	亘理町（ハ）	047180	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2020/9/30	2025/9/29	
88	宮城	宮城	9777-投	宮城スタジアム付帯（投）		投てき場	2020/3/21	2025/3/20	
89	秋田	秋田	9745	秋田県営（陸）	051020	第1種継続	2019/12/1	2024/11/30	○
90	秋田	秋田	9397	大館市長根山（運）（陸）	052020	第2種継続	2017/9/1	2022/8/31	
91	秋田	秋田	9870	八橋（運）	052030	第2種継続	2020/10/1	2025/9/30	
92	秋田	秋田	9845	本荘由利総合（運）水林（陸）	053060	第3種継続	2020/5/5	2025/5/4	○
93	秋田	秋田	9746	秋田県営補助（陸）	053150	第3種継続	2019/12/1	2024/11/30	○
94	秋田	秋田	9830	横手市十文字（陸）	053160	第3種継続	2020/5/2	2025/5/1	
95	秋田	秋田	9538	鹿角市総合（運）総合（競）	053170	第3種継続	2018/6/25	2023/6/24	
96	秋田	秋田	9376	能代市（陸）	053180	第3種継続	2017/7/15	2022/7/14	
97	秋田	秋田	9844	北秋田市鷹巣（陸）	053190	第3種継続	2020/5/25	2025/5/24	
98	秋田	秋田	9895	湯沢市稲川（陸）	054020	第4種ライト継続	2020/11/15	2025/11/14	
99	秋田	秋田	9134	潟上市元木山（陸）	054210	第4種継続	2016/1/1	2020/12/31	
100	秋田	秋田	9286	大館ハチ公（ハ）	057030	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/12/1	2021/11/30	
101	秋田	秋田	9846	田沢湖（マ）	057060	長距離競走路継続	2020/4/1	2025/3/31	
102	秋田	秋田	9715	県都一周（マ）	057070	長距離競走路継続	2019/10/10	2024/10/9	
103	秋田	秋田	9039-投	秋田県営（陸）付帯（投）		投てき場	2018/11/1	2023/10/31	
104	山形	山形	9135	NDソフトスタジアム山形	061030	第1種継続	2015/12/1	2020/11/30	
105	山形	山形	9209	鶴岡市小真木原（陸）	062030	第2種継続	2016/5/1	2021/4/30	
106	山形	山形	9136	山形県総合（運）補助（陸）	063050	第3種継続	2015/12/1	2020/11/30	
107	山形	山形	9421	米沢市営（陸）	063070	第3種継続	2017/9/26	2022/9/25	
108	山形	山形	9203	山形県あかねヶ丘（陸）	063080	第3種継続	2016/4/28	2021/4/27	
109	山形	山形	9842	酒田市光ヶ丘（陸）	063090	第3種継続	2020/7/31	2025/7/30	○
110	山形	山形	9273	上市市営（陸）	064010	第4種継続	2016/10/10	2021/10/9	
111	山形	山形	9752	山形県立寒河江高等学校運動場	064100	第4種継続	2019/12/1	2024/11/30	
112	山形	山形	9247	東根市立第一中学校（陸）	064110	第4種継続	2016/7/1	2021/6/30	
113	山形	山形	9366	新庄市（陸）	064140	第4種継続	2016/10/30	2021/10/29	
114	山形	山形	9219	高島中学校（グ）	064150	第4種新設	2016/6/1	2021/5/31	
115	山形	山形	9380	白鷹若鮎（ハ）	067040	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/8/1	2022/7/31	
116	山形	山形	9866	高島まほろば（50km歩）	067070	長距離競走路継続	2020/10/1	2025/9/30	
117	山形	山形	9698	高島（ハ）	067120	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/9/1	2024/8/31	
118	山形	山形	9721	光洋精機アスリートフィールド長井ながい黒獅子（ハ）	067130	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/10/6	2024/10/5	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
119	山形16	山形	9704	酒田シティ (ハ)	067150	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/8/24	2024/8/23	
120	山形17	山形	9592	ながい山の港町 (マ)	067160	長距離競走路継続	2018/9/30	2023/9/29	
121	福島1	福島	9647	とうほう・みんなのスタジアム	071040	第1種継続	2019/3/26	2024/3/25	○
122	福島2	福島	9185	いわき (陸)	072020	第2種継続	2016/3/10	2021/3/9	
123	福島3	福島	9249	雲雀ヶ原 (陸)	073020	第3種継続	2016/8/6	2021/8/5	
124	福島4	福島	9469	白河市総合 (運) (陸)	073030	第3種継続	2017/11/26	2022/11/25	
125	福島5	福島	9648	県営あづま (陸) 補助 (陸)	073090	第3種継続	2019/3/26	2024/3/25	○
126	福島6	福島	9248	福島市信夫ヶ丘 (競)	073100	第3種継続	2016/9/1	2021/8/31	
127	福島7	福島	9500	田村市 (陸)	073110	第3種継続	2018/2/19	2023/2/18	
128	福島8	福島	9459	郡山 (総) 開成山 (陸)	073120	第3種継続	2017/9/1	2022/8/31	
129	福島9	福島	9412	猪苗代町 (運) (陸)	073140	第3種継続	2017/11/4	2022/11/3	
130	福島10	福島	9415	あいづ (陸)	073150	第3種継続	2017/12/1	2022/11/30	○
131	福島11	福島	9225	いわき (陸) 補助 (競)	074020	第4種継続	2016/3/10	2021/3/9	
132	福島12	福島	9470	カントリーパークとうわ (陸)	074100	第4種継続	2018/3/20	2023/3/19	
133	福島13	福島	9614	福島大学 (陸)	074130	第4種継続	2018/6/1	2023/5/31	
134	福島14	福島	9567	FTVふくしま (マ)	077040	長距離競走路継続	2018/11/1	2023/10/31	
135	福島15	福島	9230	しらかわ (マ)	077100	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/9/15	2021/9/14	
136	福島16	福島	9683	円谷幸吉メモリアル公認 (ハ)	077130	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/6/28	2024/6/27	
137	福島17	福島	9689	いわき (マ)	077140	長距離競走路継続	2019/8/8	2024/8/7	
138	福島18	福島	9274	猪苗代湖 (ハ)	077190	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/10/15	2021/10/14	
139	福島19	福島	9505	会津若松市鶴ヶ城 (ハ)	077220	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/4/20	2023/4/19	
140	茨城1	茨城	9170	笠松 (運) (陸)	081010	第1種継続	2016/3/21	2021/3/20	
141	茨城2	茨城	9769	笠松 (運) 補助 (陸)	081010	第3種継続	2020/3/27	2025/3/26	○
142	茨城3	茨城	9172	ケーズデンキスタジアム水戸 (競)	082020	第2種継続	2016/4/1	2021/3/31	
143	茨城4	茨城	9446	古河市中央 (運) (陸)	082060	第2種新設	2018/4/1	2023/3/31	
144	茨城5	茨城	9568	石岡市 (運) (陸)	083070	第3種継続	2018/10/1	2023/9/30	
145	茨城6	茨城	9471	日立市市民 (運) (陸)	083090	第3種継続	2018/1/1	2022/12/31	
146	茨城7	茨城	9327	龍ヶ崎市 (陸)	083100	第3種継続	2017/3/5	2022/3/4	
147	茨城8	茨城	9472	筑波大学 (陸)	083110	第3種継続	2018/4/1	2023/3/31	
148	茨城9	茨城	9625	勝田全国 (マ)	087010	長距離競走路継続	2019/2/11	2024/2/10	
149	茨城10	茨城	9779	かすみがうら (マ)	087070	長距離競走路継続	2020/1/1	2024/12/31	
150	茨城11	茨城	9886	板東市将門 (ハ)	087080	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/11/1	2025/10/31	
151	茨城12	茨城	9623	水戸千波湖 (10km)	087110	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/1/1	2023/12/31	
152	茨城13	茨城	9261	守谷 (ハ)	087130	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/10/1	2021/9/30	
153	茨城14	茨城	9345	ちくせい (10km)	087140	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/4/30	2022/4/29	
154	茨城15	茨城	9548	かさま陶芸の里 (ハ)	087160	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/7/1	2023/6/30	
155	茨城16	茨城	9780	霞ヶ浦 (10哩)	087170	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/1/1	2024/12/31	
156	茨城17	茨城	9871	つくば(マ)	087180	長距離競走路継続	2020/10/1	2025/9/30	
157	茨城18	茨城	9140	水戸 (マ)	087190	長距離競走路新設	2016/1/1	2020/12/31	
158	茨城19	茨城	9170-投	笠松 (運) (陸) 付帯 (投)		投てき場	2016/3/21	2021/3/20	
159	栃木1	栃木	9823	栃木県総合 (運) (陸)	091020	第1種新設	2020/4/15	2025/4/14	○
160	栃木2	栃木	9569	栃木市総合 (運) (陸)	092020	第2種継続	2018/9/3	2023/9/2	
161	栃木3	栃木	9650	佐野市 (運) (陸)	092030	第2種継続	2019/3/30	2024/3/29	○
162	栃木4	栃木	9475	美原公園 (陸)	093060	第3種継続	2017/10/17	2022/10/16	
163	栃木5	栃木	9186	小山 (運) (陸)	093070	第3種継続	2016/3/26	2021/3/25	
164	栃木6	栃木	9649	栃木県総合 (運) (陸)	093080	第3種新設	2019/4/1	2024/3/31	○
165	栃木7	栃木	9187	鹿沼 (運) (陸)	094040	第4種継続	2016/4/15	2021/4/14	
166	栃木8	栃木	9651	真岡市総合 (運) (陸)	094050	第4種継続	2019/3/31	2024/3/30	
167	栃木9	栃木	9792	足利市 (総) (陸)	094060	第4種継続	2019/4/1	2024/3/31	
168	栃木10	栃木	9637	下野市大松山 (運) (陸)	094070	第4種新設	2019/1/1	2023/12/31	
169	栃木11	栃木	9713	高根沢町元気あっぷ (ハ)	097020	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/11/1	2024/10/31	
170	群馬1	群馬	9321	正田醤油スタジアム群馬 (陸)	101010	第1種継続	2017/3/15	2022/3/14	○
171	群馬2	群馬	9358	高崎市浜川 (競)	102020	第2種継続	2017/4/30	2022/4/29	
172	群馬3	群馬	9473	伊勢崎市 (陸)	102030	第2種継続	2018/4/27	2023/4/26	
173	群馬4	群馬	9638	群馬県営補助 (陸)	103080	第3種継続	2019/1/10	2024/1/9	○
174	群馬5	群馬	9173	桐生市 (陸)	103100	第3種継続	2016/4/30	2021/4/29	
175	群馬6	群馬	9580	渋川市総合公園 (陸)	103130	第3種新設	2018/9/30	2023/9/29	
176	群馬7	群馬	9899	太田市 (運) (陸)	103140	第3種新設	2020/11/1	2025/10/31	○
177	群馬8	群馬	9328	富岡市北部 (運) (陸)	104020	第4種継続	2017/3/23	2022/3/22	
178	群馬9	群馬	9474	群馬県立ふれあいスポーツプラザ (陸)	104040	第4種新設	2018/4/1	2023/3/31	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
179	群馬10	群馬	9898	前橋総合（運）（陸）	104050	第4種ライト継続	2020/10/1	2025/9/30	○
180	群馬11	群馬	9539	群馬敷島（10km）	107010	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/7/1	2023/6/30	
181	群馬12	群馬	9426	高崎市榛名湖畔（マ）	107110	長距離競走路継続	2018/2/1	2023/1/31	
182	群馬13	群馬	9581	前橋・渋川シティ（マ）	107120	長距離競走路継続	2018/10/1	2023/9/30	
183	群馬14	群馬	9770	ぐんま（マ）	107140	長距離競走路継続	2020/3/15	2025/3/14	
184	群馬15	群馬	9682	伊勢崎市（陸）付設（ハ）	107150	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2019/6/30	2024/6/29	
185	群馬16	群馬	室83	ベルアスレティクスジャパン室内棒高跳場		空外種目別施設	2019/2/1	2024/1/31	
186	埼玉1	埼玉	9476	熊谷スポーツ文化公園（陸）	111020	第1種継続	2018/5/1	2023/4/30	○
187	埼玉2	埼玉	9476-投	熊谷スポーツ文化公園（陸）		投てき場	2018/5/1	2023/4/30	○
188	埼玉3	埼玉	9318	川越（運）（陸）	112030	第2種継続	2017/4/15	2022/4/14	
189	埼玉4	埼玉	9188	上尾（運）（陸）	112040	第2種継続	2016/4/21	2021/4/20	
190	埼玉5	埼玉	9435	鴻巣市立（陸）	113070	第3種継続	2018/2/10	2023/2/9	
191	埼玉6	埼玉	9262	新座市総合（運）（陸）	113080	第3種継続	2016/9/1	2021/8/31	
192	埼玉7	埼玉	9624	東松山（陸）	113090	第3種継続	2019/3/31	2024/3/30	
193	埼玉8	埼玉	9447	越谷市立しらこぼと（運）（競）	113120	第3種継続	2017/10/20	2022/10/19	
194	埼玉9	埼玉	9477	熊谷スポーツ文化公園補助（陸）	113130	第3種継続	2018/5/1	2023/4/30	○
195	埼玉10	埼玉	9322	さいたま市駒場（運）（競）	113140	第3種継続	2017/4/1	2022/3/31	
196	埼玉11	埼玉	9388	川口市青木町公園（総）（陸）	113150	第3種新設	2017/10/1	2022/9/30	
197	埼玉12	埼玉	9370	城西大学総合（グ）	114030	第4種継続	2017/6/1	2022/5/31	
198	埼玉13	埼玉	9549	大東文化大学東松山キャンパス総合（グ）	114040	第4種継続	2018/8/13	2023/8/12	
199	埼玉14	埼玉	9095	自衛隊体育学校（陸）	114060	第4種継続	2015/9/1	2020/8/31	
200	埼玉15	埼玉	9760	セントポールス・フィールド	114070	第4種継続	2019/7/23	2024/7/22	○
201	埼玉16	埼玉	9743	早稲田大学織田幹雄記念（陸）	114080	第4種継続	2019/11/11	2024/11/10	○
202	埼玉17	埼玉	9513	セナリオハウスフィールド三郷	114090	第4種新設	2018/5/3	2023/5/2	
203	埼玉18	埼玉	9771	上尾シティ（ハ）	117030	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/3/8	2025/3/7	
204	埼玉19	埼玉	9162	ふかやシティ（ハ）	117050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/3/21	2021/3/20	
205	埼玉20	埼玉	9024	さいたま国際（マ）	117070	長距離競走路新設	2015/4/15	2020/4/14	
206	埼玉21	埼玉	9883	小江戸川越（ハ）	117080	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2020/12/10	2025/12/9	
207	千葉1	千葉	9824	千葉県総合スポーツセンター（陸）	121010	第1種継続	2020/6/8	2025/6/7	○
208	千葉2	千葉	9804	船橋市（運）（陸）	122010	第2種継続	2020/4/1	2025/3/31	
209	千葉3	千葉	9663	千葉県立柏の葉公園総合（競）	122060	第2種継続	2019/4/20	2024/4/19	
210	千葉4	千葉	9175	千葉県総合スポーツセンター東総運動場（陸）	122070	第2種継続	2016/4/1	2021/3/31	
211	千葉5	千葉	9839	松戸市（運）（陸）	123040	第3種継続	2019/10/1	2024/9/30	○
212	千葉6	千葉	9735	国際武道大学（陸）	123060	第3種継続	2019/9/30	2024/9/29	○
213	千葉7	千葉	9436	順天堂大学さくらキャンパス（陸）	123080	第3種継続	2018/2/1	2023/1/31	○
214	千葉8	千葉	9479	千葉県総合スポーツセンター第2（陸）	123160	第3種継続	2018/4/1	2023/3/31	
215	千葉9	千葉	9460	岩名（運）小出義雄記念（陸）	123170	第3種継続	2018/4/30	2023/4/29	
216	千葉10	千葉	9782	野田市総合運動公園（陸）	123220	第3種継続	2020/4/1	2025/3/31	
217	千葉11	千葉	9781	鴨川市（運）	123230	第3種継続	2020/3/23	2025/3/22	
218	千葉12	千葉	9398	東金アリーナ（陸）	123240	第3種継続	2017/10/1	2022/9/30	
219	千葉13	千葉	9478	ゼットエーオリプリスタジアム	123250	第3種継続	2018/5/15	2023/5/14	
220	千葉14	千葉	9174	県立青葉の森公園（陸）	123260	第3種継続	2016/7/1	2021/6/30	
221	千葉15	千葉	9501	成田市中台（運）（陸）	123270	第3種継続	2018/5/20	2023/5/19	
222	千葉16	千葉	9686	木更津市営江川（総）（陸）	123280	第3種新設	2019/6/9	2024/6/8	
223	千葉17	千葉	9329	国府台公園（陸）	124080	第4種継続	2017/6/10	2022/6/9	
224	千葉18	千葉	9691	八千代市総合（グ）（陸）	124090	第4種継続	2019/9/7	2024/9/6	
225	千葉19	千葉	9807	浦安市（運）（陸）	124100	第4種ライト継続	2020/4/1	2025/3/31	
226	千葉20	千葉	9176	印西市松山下公園（陸）	124110	第4種継続	2016/4/1	2021/3/31	
227	千葉21	千葉	9652	富津市臨海（陸）	124120	第4種継続	2018/8/1	2023/7/31	
228	千葉22	千葉	9714	鎌ヶ谷市市営（陸）	124130	第4種新設	2019/6/25	2024/6/24	
229	千葉23	千葉	9428	幕張メッセ（ハ）	127090	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/2/1	2023/1/31	
230	千葉24	千葉	9582	佐倉市公認（マ）	127110	長距離競走路継続	2018/12/1	2023/11/30	
231	千葉25	千葉	9233	手賀沼エコ（ハ）	127120	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/9/1	2021/8/31	
232	千葉26	千葉	室内-90	印西市松山下公園総合体育館室内棒高跳場		室内競技場（暫定的施設）			
233	東京1	東京	9736	国立（競）	131040	第1種新設	2019/11/4	2024/11/3	○
234	東京2	東京	9722	江東区夢の島（競）	132070	第2種継続	2019/10/10	2024/10/9	○
235	東京3	東京	9308	八王子市上柚木公園（陸）	132080	第2種継続	2017/3/1	2022/2/28	○
236	東京4	東京	9808	駒沢オリンピック公園（総）（陸）	132090	第2種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
237	東京5	東京	9330	代々木公園（陸）	133040	第3種継続	2016/4/7	2021/4/6	
238	東京6	東京	9753	世田谷区立（総）（陸）	133060	第3種継続	2020/1/10	2025/1/9	○

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
239	東京7	東京	9532	中央大学多摩校地運動施設（陸）	133070	第3種継続	2017/9/1	2022/8/31	
240	東京8	東京	9665	都立大井ふ頭中央海浜公園（陸）	133080	第3種継続	2019/3/31	2024/3/30	
241	東京9	東京	9666	法政大学多摩校地（陸）	133150	第3種継続	2019/4/30	2024/4/29	
242	東京10	東京	9301	国士館大学多摩（陸）	133160	第3種継続	2016/12/20	2021/12/19	
243	東京11	東京	9583	舎人公園（陸）	133170	第3種継続	2018/10/10	2023/10/9	
244	東京12	東京	9653	武蔵野市立武蔵野（陸）	133180	第3種継続	2019/4/1	2024/3/31	
245	東京13	東京	9783	秋留台公園（陸）	133190	第3種継続	2020/4/1	2025/3/31	
246	東京14	東京	9307	味の素スタジアム西（競）	133230	第3種継続	2017/3/1	2022/2/28	
247	東京15	東京	9448	町田市立（陸）	133240	第3種継続	2018/3/7	2023/3/6	
248	東京16	東京	9678	江戸川区（陸）	133250	第3種継続	2019/5/24	2024/5/23	○
249	東京17	東京	9737	オリンピックスタジアムウオーモアップトラック	133260	第3種新設	2019/11/4	2024/11/3	
250	東京18	東京	9540	葛飾区奥戸総合スポーツセンター（陸）	134170	第4種継続	2018/6/29	2023/6/28	
251	東京19	東京	9570	東京都板橋区立新河岸（陸）	134180	第4種継続	2018/9/1	2023/8/31	
252	東京20	東京	9673	東京学芸大学（陸）	134190	第4種継続	2019/4/22	2024/4/21	
253	東京21	東京	9699	府中市民（陸）	134200	第4種継続	2019/8/1	2024/7/31	
254	東京22	東京	9344	立川公園（陸）	134220	第4種継続	2016/12/1	2021/11/30	
255	東京23	東京	9731	日本大学（陸）	134230	第4種継続	2019/3/1	2024/2/28	○
256	東京24	東京	9667	一橋大学（陸）	134240	第4種継続	2019/4/30	2024/4/29	
257	東京25	東京	9672	東京大学（陸）	134250	第4種継続	2019/5/1	2024/4/30	
258	東京26	東京	9177	帝京大学八王子キャンパス（陸）	134260	第4種新設	2016/4/1	2021/3/31	
259	東京27	東京	9189	帝京大学グループ千住総合（グ）	134270	第4種新設	2016/4/1	2021/3/31	
260	東京28	東京	9300	東京女子体育大学（陸）	134280	第4種新設	2016/12/20	2021/12/19	
261	東京29	東京	9628	練馬区立練馬（総）公園（陸）（陸）	134300	第4種新設	2019/3/13	2024/3/12	
262	東京30	東京	9784	八王子富士森公園（陸）	134310	第4種継続	2020/3/1	2025/2/28	○
263	東京31	東京	9831	青梅（30km）	137040	長距離競走路継続	2020/8/12	2025/8/11	
264	東京32	東京	9266	高島平日刊スポーツ（20km）	137050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/10/10	2021/10/9	
265	東京33	東京	9858	府中市郷土の森（ハ）	137060	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/4/1	2025/3/31	
266	東京34	東京	9449	板橋City（マ）	137220	長距離競走路継続	2018/3/1	2023/2/28	
267	東京35	東京	9556	神宮外苑絵画館（20km）（歩）	137230	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/9/1	2023/8/31	
268	東京36	東京	9728	江東シーサイド（ハ）	137260	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/10/10	2024/10/9	
269	東京37	東京	9587	国営昭和記念公園マスタース（ハ）	137310	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/10/1	2023/9/30	
270	東京38	東京	9579	世田谷246（ハ）	137360	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/10/1	2023/9/30	
271	東京39	東京	9887	ハイテク上流（ハ）	137440	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/12/1	2025/11/30	
272	東京40	東京	9571	立川シティ（ハ）	137450	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/11/21	2023/11/20	
273	東京41	東京	9514	東京・柴又（100km）	137470	長距離競走路継続	2018/5/14	2023/5/13	
274	東京42	東京	9423	東京・赤羽（上流）（ハ）	137490	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/11/4	2022/11/3	
275	東京43	東京	9710	足立フレンドリー（ハ）	137500	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/10/1	2024/9/30	
276	東京44	東京	9234	東京（マ）	137520	長距離競走路新設	2016/9/30	2021/9/29	
277	東京45	東京	9256	東京トライアル（ハ）	137530	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2016/9/15	2021/9/14	
278	東京46	東京	9287	いたばしリバーサイド（ハ）	137540	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2016/11/10	2021/11/9	
279	東京47	東京	9299	葛飾（ハ）	137550	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2016/12/21	2021/12/20	
280	東京48	東京	9555	グランドチャンピオンシップ（マ）	137560	長距離競走路新設	2018/9/1	2023/8/31	
281	東京49	東京	9572	国営昭和記念公園（ハ）	137570	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/9/1	2023/8/31	
282	東京50	東京	9573	MINATOシティ（ハ）	137580	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/9/3	2023/9/2	
283	東京51	東京	9606	国営昭和記念公園パークラン（ハ）	137590	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/11/30	2023/11/29	
284	東京52	東京	9763	東京2020パラリンピック（マ）	137610	長距離競走路新設	2020/4/19	2025/4/18	
285	東京53	東京	9872	陸上自衛隊立川駐屯地（ハ）	137620	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2020/10/1	2025/9/30	
286	神奈川1	神奈川	9515	日産スタジアム	141020	第1種継続	2017/12/12	2022/12/11	
287	神奈川2	神奈川	9815	川崎市等々力（陸）	141050	第1種新設	2020/4/1	2025/3/31	○
288	神奈川3	神奈川	9785	神奈川県立スポーツセンター（陸）	142010	第2種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
289	神奈川4	神奈川	9806	城山（陸）	142020	第2種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
290	神奈川5	神奈川	9331	ShonanBMWスタジアム平塚	142040	第2種継続	2017/3/15	2022/3/14	
291	神奈川6	神奈川	9630	厚木市荻野（運）（競）	142050	第2種継続	2019/4/1	2024/3/30	
292	神奈川7	神奈川	9163	三ツ沢公園（陸）	142070	第2種継続	2015/10/27	2020/10/26	
293	神奈川8	神奈川	9654	相模原ギオンスタジアム	142080	第2種継続	2019/4/1	2024/3/31	○
294	神奈川9	神奈川	9639	不入斗公園（陸）	143030	第3種継続	2019/4/30	2024/4/29	○
295	神奈川10	神奈川	9873	日本体育大学横浜健志台キャンパス（陸）	143050	第3種継続	2020/11/13	2025/11/12	○
296	神奈川11	神奈川	9413	東海大学湘南校舎（陸）	143060	第3種継続	2017/11/1	2022/10/31	
297	神奈川12	神奈川	9631	日産フィールド小机（競）	143130	第3種継続	2018/6/15	2023/6/14	
298	神奈川13	神奈川	9461	秦野市カルチャーパーク（陸）	143170	第3種継続	2018/4/5	2023/4/4	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
299	神奈川県	神奈川	9791	大和市営大和スポーツセンター（陸）	143180	第3種継続	2020/3/15	2025/3/14	○
300	神奈川県	神奈川	9816	川崎市等々力第二（陸）	143190	第3種新設	2020/4/1	2025/3/31	○
301	神奈川県	神奈川	9584	慶應義塾大学日吉（陸）	144020	第4種継続	2018/9/20	2023/9/19	
302	神奈川県	神奈川	9615	相模原ギオンフィールド	144030	第4種継続	2018/12/20	2023/12/19	
303	神奈川県	神奈川	9443	柳島スポーツ公園総合（競）	144050	第4種新設	2018/3/1	2023/2/28	
304	神奈川県	神奈川	9588	綾瀬市民スポーツセンター屋外運動場（陸）	144060	第4種新設	2018/10/1	2023/9/30	
305	神奈川県	神奈川	9332	よこすかシーサイド（ハ）	147010	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
306	神奈川県	神奈川	9843	丹沢湖（ハ）	147080	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/8/1	2025/7/31	
307	神奈川県	神奈川	9516	日産スタジアム付設（ハ）	147190	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/3/31	2023/3/30	
308	神奈川県	神奈川	9369	神奈川（ハ）	147200	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2017/7/1	2022/6/30	
309	神奈川県	神奈川	9510	女子美術大学周回（ハ）	147210	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/5/1	2023/4/30	
310	神奈川県	神奈川	8637-投	日産スタジアム付帯（投）		投てき場	2016/3/18	2021/3/17	
311	神奈川県	神奈川	室内-93	日本体育大学横浜・健志台キャンパス第1体育館内陸高跳場		室内競技場（暫定的施設）			
312	山梨県	山梨	9640	山梨県小瀬スポーツ公園（陸）	151010	第1種継続	2019/4/2	2024/4/1	
313	山梨県	山梨	9480	甲府市緑が丘スポーツ公園（競）	152010	第2種継続	2018/4/1	2023/3/31	
314	山梨県	山梨	9147	山梨県富士北麓公園（陸）	152020	第2種継続	2015/12/7	2020/12/6	
315	山梨県	山梨	9641	山梨県小瀬スポーツ公園補助（陸）	153010	第3種継続	2019/4/2	2024/4/1	
316	山梨県	山梨	9655	櫛形総合公園（陸）	153030	第3種継続	2019/4/1	2024/3/31	
317	山梨県	山梨	9354	都留市総合（運）やまびこ（競）	153040	第3種継続	2017/4/29	2022/4/28	
318	山梨県	山梨	9267	山梨学院川田「未来の森」（運）（陸）	154010	第4種継続	2016/10/13	2021/10/12	
319	山梨県	山梨	9416	富士山（マ）	157040	長距離競走路継続	2017/11/10	2022/11/9	
320	新潟県	新潟	9525	デンカビッグスワンスタジアム	161020	第1種継続	2018/6/14	2023/6/13	○
321	新潟県	新潟	9279	柏崎市（陸）	162010	第2種継続	2016/11/1	2021/10/31	
322	新潟県	新潟	9372	高田公園（陸）	162020	第2種継続	2016/7/1	2021/6/30	
323	新潟県	新潟	9220	長岡市営（陸）	162030	第2種継続	2016/5/20	2021/5/19	
324	新潟県	新潟	9280	十日町市（陸）	162050	第2種継続	2016/11/20	2021/11/19	
325	新潟県	新潟	9069	新発田市五十公野公園（陸）	162070	第2種継続	2015/10/1	2020/9/30	○
326	新潟県	新潟	9070	新潟市（陸）	162080	第2種継続	2015/11/1	2020/10/31	
327	新潟県	新潟	9552	美山（陸）	163100	第3種継続	2018/8/1	2023/7/31	
328	新潟県	新潟	9526	デンカスワンフィールド	163120	第3種継続	2018/6/14	2023/6/13	
329	新潟県	新潟	9295	佐渡市（陸）	163130	第3種継続	2016/11/28	2021/11/27	
330	新潟県	新潟	9717	胎内市総合（グ）（陸）	163140	第3種継続	2019/9/20	2024/9/19	
331	新潟県	新潟	9231	五泉市（陸）	164020	第4種継続	2016/6/21	2021/6/20	
332	新潟県	新潟	9239	小千谷市白山（運）（陸）	164060	第4種継続	2016/9/29	2021/9/28	
333	新潟県	新潟	9417	加茂市（陸）	164180	第4種継続	2017/11/5	2022/11/4	
334	新潟県	新潟	9832	三条蒸総合（グ）	164200	第4種ライト継続	2020/6/1	2025/5/31	
335	新潟県	新潟	9290	湯沢町中央公園（陸）	164220	第4種継続	2016/12/1	2021/11/30	
336	新潟県	新潟	9533	新潟医療福祉大学（陸）	164230	第4種継続	2018/5/26	2023/5/25	
337	新潟県	新潟	9400	新井総合公園（陸）	164240	第4種継続	2017/10/17	2022/10/16	
338	新潟県	新潟	9723	新発田市五十公野公園（陸）付属（マ）	167030	長距離競走路継続	2019/10/9	2024/10/8	
339	新潟県	新潟	9847	柏崎（マ）	167120	長距離競走路継続	2020/7/1	2025/6/30	
340	新潟県	新潟	9729	弥彦（10km）	167140	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/5/12	2024/5/11	
341	新潟県	新潟	9323	新潟市南区白根（ハ）	167170	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
342	新潟県	新潟	9705	新潟ビッグスワン（ハ）	167190	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/3/11	2024/3/10	
343	新潟県	新潟	9381	新潟シティ（マ）	167200	長距離競走路新設	2017/9/1	2022/8/31	
344	新潟県	新潟	9593	燕（ハ）	167210	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/11/1	2023/10/31	
345	長野県	長野	9833	長野県松本平広域公園補助（競）	171020	第3種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
346	長野県	長野	9141	伊那市（陸）	172030	第2種継続	2016/1/1	2020/12/31	
347	長野県	長野	9724	飯田市（総）	172050	第2種継続	2019/10/10	2024/10/9	○
348	長野県	長野	9440	佐久総合（運）（陸）	172060	第2種継続	2018/3/6	2023/3/5	
349	長野県	長野	9191	長野市営（陸）	172070	第2種継続	2016/4/22	2021/4/21	
350	長野県	長野	9610	菅平高原スポーツランド（陸）	173080	第3種継続	2018/10/10	2023/10/9	
351	長野県	長野	9809	長野県松本平広域公園（陸）	173090	第1種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
352	長野県	長野	9291	茅野市（運）（陸）	173100	第3種継続	2016/12/1	2021/11/30	○
353	長野県	長野	9192	長野市営補助（競）	174020	第4種継続	2016/4/22	2021/4/21	
354	長野県	長野	9390	岡谷市営（陸）	174040	第4種継続	2017/10/10	2022/10/9	
355	長野県	長野	9852	下諏訪町（総）（陸）	174050	第4種ライト継続	2020/10/10	2025/10/9	
356	長野県	長野	9517	大町市（運）（陸）	174110	第4種継続	2018/5/27	2023/5/26	
357	長野県	長野	9553	大町市（運）（陸）付属（マ）	177150	長距離競走路継続	2018/8/1	2023/7/31	
358	長野県	長野	9213	木曾やぶはら高原（ハ）	177160	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/6/1	2021/5/31	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
359	長野15	長野	9616	長野（マ）	177170	長距離競走路継続	2018/11/1	2023/10/31	
360	長野16	長野	9617	長野車いす（ハ）	177190	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2018/12/12	2023/12/11	
361	長野17	長野	9541	諏訪湖（ハ）	177210	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2018/6/27	2023/6/26	
362	長野18	長野	9687	上田古戦場（ハ）	177250	長距離競走路ハ・フマリツ以下新設	2019/7/1	2024/6/30	
363	長野19	長野	9896	松本（マ）	177260	長距離競走路新設	2020/12/28	2025/12/27	
364	富山1	富山	9503	富山県総合（運）（陸）	181020	第1種継続	2018/5/1	2023/4/30	○
365	富山2	富山	9346	小矢部（陸）	182020	第2種継続	2017/4/20	2022/4/19	
366	富山3	富山	9834	魚津市桃山（運）桃山（陸）	182030	第2種継続	2020/5/7	2025/5/6	○
367	富山4	富山	9382	五福（陸）	182040	第2種継続	2017/8/1	2022/7/31	
368	富山5	富山	9518	富山県総合（運）補助（競）	183060	第3種継続	2018/5/1	2023/4/30	
369	富山6	富山	9511	高岡市宮城光寺（陸）	183080	第3種継続	2018/5/1	2023/4/30	
370	富山7	富山	9853	扇状地（ハ）	187030	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2020/9/1	2025/8/31	
371	富山8	富山	9747	魚津市しんきろう（ハ）	187040	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2019/12/1	2024/11/30	
372	富山9	富山	9594	黒部名水（マ）	187050	長距離競走路継続	2018/11/20	2023/11/19	
373	富山10	富山	9848	富山（マ）	187060	長距離競走路継続	2020/7/24	2025/7/23	
374	石川1	石川	9642	石川県西部緑地公園（陸）	191010	第1種継続	2019/3/31	2024/3/30	○
375	石川2	石川	9391	小松（運）末広（陸）	192020	第2種継続	2017/8/1	2022/7/31	○
376	石川3	石川	9232	能美市物見山（陸）	192050	第2種継続	2016/10/1	2021/9/30	
377	石川4	石川	9534	松任総合（運）（陸）	192060	第2種継続	2018/6/30	2023/6/29	
378	石川5	石川	9874	金沢市営（陸）	192070	第2種継続	2020/9/3	2025/9/2	
379	石川6	石川	9605	七尾市城山（陸）	193010	第3種継続	2018/11/3	2023/11/2	
380	石川7	石川	9240	かほく市うのけ総合公園（陸）	193060	第3種継続	2016/9/1	2021/8/31	
381	石川8	石川	9643	石川県西部緑地公園（陸）補助（競）	193090	第3種継続	2019/3/31	2024/3/30	○
382	石川9	石川	9190	加賀市（陸）	193120	第3種継続	2016/4/10	2021/4/9	
383	石川10	石川	9268	学校法人稲置学園（総）	194050	第4種継続	2016/10/5	2021/10/4	
384	石川11	石川	9677	津幡（運）（陸）	194070	第4種新設	2019/5/10	2024/5/9	
385	石川12	石川	9418	輪島（50km）（歩）	197030	長距離競走路継続	2017/4/17	2022/4/16	
386	石川13	石川	9383	松任（ハ）	197040	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2017/8/1	2022/7/31	
387	石川14	石川	9236	金沢百万石（ハ）	197100	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2016/10/1	2021/9/30	
388	石川15	石川	9356	金沢（ハ）	197160	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
389	石川16	石川	9226	猿鬼（ハ）	197180	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2016/7/1	2021/6/30	
390	石川17	石川	9558	能登和倉万葉の里（マ）	197220	長距離競走路継続	2018/8/1	2023/7/31	
391	石川18	石川	9813	金沢（マ）	197240	長距離競走路継続	2019/11/20	2024/11/19	
392	石川19	石川	9304	こまつドーム（マ）	197260	長距離競走路新設	2017/1/1	2021/12/31	
393	石川20	石川	9611	加賀温泉郷（マ）	197270	長距離競走路新設	2018/12/7	2023/12/6	
394	石川21	石川	9750	能美市営（20km歩）	197280	長距離競走路ハ・フマリツ以下新設	2020/1/1	2024/12/31	
395	石川22	石川	9642-投	石川県西部緑地公園（陸）付帯（投）		投てき場	2019/3/31	2024/3/30	
396	福井1	福井	9810	福井県福井（運）（陸）	201010	第1種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
397	福井2	福井	9281	三国（運）（陸）	202020	第2種継続	2016/3/19	2021/3/18	
398	福井3	福井	9527	奥越ふれあい公園（陸）	202050	第2種継続	2018/6/1	2023/5/31	
399	福井4	福井	9222	鯖江市東公園（陸）	203010	第3種継続	2016/6/11	2021/6/10	
400	福井5	福井	9811	福井県福井（運）補助（陸）	203040	第3種継続	2020/4/1	2025/3/31	
401	福井6	福井	9237	越前市東（運）（陸）	203050	第3種継続	2016/8/1	2021/7/31	
402	福井7	福井	9862	敦賀市総合（運）（陸）	203060	第3種新設	2020/10/1	2025/9/30	○
403	福井8	福井	9519	福井新聞（ハ）	207030	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2018/7/1	2023/6/30	
404	静岡1	静岡	9793	静岡県草薙（総）（陸）	211010	第1種継続	2020/5/1	2025/4/30	○
405	静岡2	静岡	9193	小笠山総合（運）静岡スタジアム	211030	第1種継続	2016/4/1	2021/3/31	
406	静岡3	静岡	9158	浜松市四ツ池公園（陸）	212010	第2種継続	2016/4/29	2021/4/28	
407	静岡4	静岡	9786	富士総合（運）（陸）	212020	第2種継続	2020/4/15	2025/4/14	
408	静岡5	静岡	9401	御殿場市（陸）	212030	第2種継続	2017/9/15	2022/9/14	
409	静岡6	静岡	9180	愛鷹広域公園多目的（競）	212050	第2種継続	2016/4/15	2021/4/14	
410	静岡7	静岡	9238	静岡市清水（総）（陸）	213040	第3種継続	2016/8/1	2021/7/31	
411	静岡8	静岡	9221	静岡市西ヶ谷（総）（陸）	213060	第3種継続	2016/6/2	2021/6/1	
412	静岡9	静岡	9194	小笠山総合（運）補助（競）	213100	第3種継続	2016/4/1	2021/3/31	
413	静岡10	静岡	9794	静岡県草薙（総）補助（陸）	213120	第3種継続	2020/5/1	2025/4/30	
414	静岡11	静岡	9164	裾野市（運）（陸）	213130	第3種継続	2016/3/24	2021/3/23	
415	静岡12	静岡	9309	藤枝総合（運）（陸）	214010	第4種継続	2017/3/5	2022/3/4	
416	静岡13	静岡	9644	焼津市総合（グ）（陸）	214020	第4種継続	2019/3/22	2024/3/21	
417	静岡14	静岡	9333	焼津みなと（ハ）	217110	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
418	静岡15	静岡	9305	浜松シティ（ハ）	217180	長距離競走路ハ・フマリツ以下継続	2017/1/15	2022/1/14	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
419	静岡県	静岡県	9282	静岡（マ）	217190	長距離競走路継続	2016/12/1	2021/11/30	
420	静岡県	静岡県	9193-投	小笠山総合（運）静岡スタジアム付帯（投）		投てき場	2016/4/1	2021/3/31	
421	静岡県	静岡県	室内-91	湖西市総合運動施設アミニティプラザ棒高跳場		室内競技場（暫定の施設）			
422	愛知県	愛知県	9662	パロマ瑞穂スタジアム	221010	第1種継続	2019/4/1	2024/3/31	○
423	愛知県	愛知県	9334	物産フードサイエンス1969知多スタジアム	222010	第2種継続	2017/4/1	2022/3/31	
424	愛知県	愛知県	9347	豊田市（運）（陸）	222030	第2種継続	2017/4/1	2022/3/31	
425	愛知県	愛知県	9181	豊橋市営（陸）	223030	第3種継続	2016/3/16	2021/3/15	
426	愛知県	愛知県	9269	愛知県一宮（総）（陸）	223040	第3種継続	2016/10/1	2021/9/30	
427	愛知県	愛知県	9629	中京大学梅村（陸）	223060	第3種継続	2019/4/1	2024/3/31	
428	愛知県	愛知県	9481	パロマ瑞穂北（陸）	223090	第3種継続	2018/6/1	2023/5/31	
429	愛知県	愛知県	9668	ウェーブスタジアム刈谷	223130	第3種継続	2019/4/1	2024/3/31	
430	愛知県	愛知県	9214	半田（運）（陸）	223140	第3種継続	2016/4/22	2021/4/21	
431	愛知県	愛知県	9313	豊川市（陸）	223150	第3種継続	2017/4/1	2022/3/31	
432	愛知県	愛知県	9835	岡崎市龍北（総）（陸）	223160	第3種新設	2020/7/5	2025/7/4	○
433	愛知県	愛知県	9319	白谷海浜公園（陸）	224030	第4種継続	2017/4/1	2022/3/31	
434	愛知県	愛知県	9537	至学館大学（陸）	224040	第4種継続	2018/5/14	2023/5/13	
435	愛知県	愛知県	9392	蒲都市公園（グ）（陸）	224060	第4種継続	2017/9/1	2022/8/31	
436	愛知県	愛知県	9159	安城市（陸）	224070	第4種継続	2015/12/28	2020/12/27	
437	愛知県	愛知県	9759	犬山（ハ）	227070	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/1/15	2025/1/14	
438	愛知県	愛知県	9250	名古屋ウイメンズ（マ）	227110	長距離競走路継続	2016/9/1	2021/8/31	
439	愛知県	愛知県	9429	穂の国・豊橋（ハ）	227130	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/3/1	2023/2/28	
440	愛知県	愛知県	9751	物産フードサイエンス1969知多スタジアム付設（20km）（歩）	227140	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2020/1/1	2024/12/31	
441	愛知県	愛知県	室内-94	中京大学梅村室内直走路		室内競技場	2020/12/1	2025/11/30	
442	三重県	三重県	9411	三重交通Gスポーツの杜伊勢（陸）	231010	第1種継続	2017/10/20	2022/10/19	○
443	三重県	三重県	9859	四日市市中央（陸）	232020	第2種新設	2020/8/29	2025/8/28	○
444	三重県	三重県	9450	AGF鈴鹿（陸）	233080	第3種継続	2018/3/31	2023/3/30	
445	三重県	三重県	9195	三重交通Gスポーツの杜伊勢（陸）補助（競）	233100	第3種新設	2016/4/11	2021/4/10	○
446	三重県	三重県	9335	メイハンフィールド	234060	第4種新設	2017/4/1	2022/3/31	
447	三重県	三重県	9812	お伊勢さん（ハ）	237080	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/6/1	2025/5/31	
448	三重県	三重県	9819	みえ松阪（マ）	237090	長距離競走路新設	2020/5/1	2025/4/30	
449	三重県	三重県	8625-投	三重交通Gスポーツの杜伊勢（陸）付帯（陸）		投てき場	2016/4/11	2021/4/10	
450	岐阜県	岐阜県	9462	岐阜メモリアルセンター長良川（競）	241020	第1種継続	2018/3/20	2023/3/19	○
451	岐阜県	岐阜県	9270	多治見市星ヶ台（競）	242020	第2種継続	2016/8/1	2021/7/31	○
452	岐阜県	岐阜県	9520	中津川公園（競）	243060	第3種継続	2018/5/15	2023/5/14	
453	岐阜県	岐阜県	9674	高山市中山公園（陸）	243070	第3種継続	2019/5/1	2024/4/30	
454	岐阜県	岐阜県	9772	大垣市浅中公園総合（グ）（陸）	243090	第3種継続	2020/3/25	2025/3/24	○
455	岐阜県	岐阜県	9463	岐阜メモリアルセンター長良川補助（競）	243100	第3種継続	2018/3/20	2023/3/19	○
456	岐阜県	岐阜県	9348	関市中池公園（陸）	243110	第3種継続	2017/4/1	2022/3/31	○
457	岐阜県	岐阜県	9732	岐阜協立大学（陸）	244020	第4種継続	2019/11/25	2024/11/24	
458	岐阜県	岐阜県	9679	土岐市総合活動センター（陸）	244030	第4種継続	2019/6/1	2024/5/31	
459	岐阜県	岐阜県	9071	各務原市総合（運）（陸）	244040	第4種新設	2015/8/1	2020/7/31	
460	岐阜県	岐阜県	9257	いびがわ（マ）	247040	長距離競走路継続	2016/9/20	2021/9/19	
461	岐阜県	岐阜県	9863	ぎふ清流（ハ）	247110	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/10/1	2025/9/30	
462	岐阜県	岐阜県	9349	刃物のまち関シティ（ハ）	247120	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
463	滋賀県	滋賀県	9618	皇子山総合（運）（陸）	252020	第2種継続	2018/12/20	2023/12/19	
464	滋賀県	滋賀県	9875	東近江市総合（運）布引（陸）	253040	第3種継続	2020/10/10	2025/10/9	
465	滋賀県	滋賀県	9241	甲賀市（陸）	253050	第3種継続	2016/10/1	2021/9/30	
466	滋賀県	滋賀県	9444	びわこ成蹊スポーツ大学陸上フィールド	253060	第3種新設	2018/3/18	2023/3/17	
467	滋賀県	滋賀県	9711	栗東市野洲川（運）（陸）	254020	第4種継続	2018/9/1	2023/9/1	○
468	滋賀県	滋賀県	9402	立命館大学BKCクインススタジアム	254050	第4種新設	2017/10/1	2022/9/30	
469	滋賀県	滋賀県	9900	SGホールディングスグループ（陸）	254060	第4種新設	2020/12/21	2025/12/20	
470	滋賀県	滋賀県	9621	びわ湖毎日（マ）	257030	長距離競走路継続	2019/3/2	2024/3/1	
471	滋賀県	滋賀県	9375	あいの土山（マ）	257040	長距離競走路継続	2017/8/1	2022/7/31	
472	京都府	京都府	9030	たけびしスタジアム京都	261010	第1種継続	2015/7/1	2020/6/30	○
473	京都府	京都府	9336	京都府立山城総合（運）（陸）	262020	第2種継続	2017/3/5	2022/3/4	
474	京都府	京都府	9324	京都府立丹波自然（運）（陸）	262030	第2種新設	2017/3/31	2022/3/30	
475	京都府	京都府	9393	亀岡（運）（競）	263060	第3種継続	2017/10/18	2022/10/17	
476	京都府	京都府	9367	京都市西京極総合（運）補助（陸）	263070	第3種継続	2017/5/31	2022/5/30	
477	京都府	京都府	9865	京丹後はごろも（陸）	263080	第3種新設	2020/9/24	2025/9/23	○
478	京都府	京都府	9720	福知山市立桃映中学校運動場	264020	第4種継続	2019/7/26	2024/7/25	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
479	京都8	京都	9275	京都産業大学総合（グ）（陸）	264040	第4種継続	2016/11/1	2021/10/31	
480	京都9	京都	9153	京都府立山城総合（運）第2（競）	264050	第4種継続	2016/4/1	2021/3/31	
481	京都10	京都	9595	福知山（マ）	267080	長距離競走路継続	2018/10/1	2023/9/30	
482	京都11	京都	9773	京都（マ）	267130	長距離競走路継続	2020/3/15	2025/3/14	
483	京都12	京都	9482	舞鶴赤れんが（ハ）	267140	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/4/1	2023/3/31	
484	京都13	京都	9706	亀岡（運）（競）付設（ハ）	267150	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/10/1	2024/9/30	
485	京都14	京都	9596	福知山（5km）	267160	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/10/1	2023/9/30	
486	大阪1	大阪	9196	ヤンマースタジアム長居	271010	第1種継続	2016/5/20	2021/5/19	
487	大阪2	大阪	9359	ヤンマーフィールド長居	271040	第1種継続	2017/5/20	2022/5/19	○
488	大阪3	大阪	9680	堺市金岡公園（陸）	272010	第2種継続	2019/5/31	2024/5/30	
489	大阪4	大阪	9325	万博記念（競）	272040	第2種継続	2017/3/10	2022/3/9	
490	大阪5	大阪	9314	浪商学園（陸）	273050	第3種継続	2017/5/18	2022/5/17	
491	大阪6	大阪	9451	大阪府服部緑地（陸）	273090	第3種継続	2017/11/13	2022/11/12	
492	大阪7	大阪	9296	東大阪市花園中央公園多目的（競）	273110	第3種継続	2017/2/20	2022/2/19	
493	大阪8	大阪	9795	枚方市立（陸）	273120	第3種継続	2020/3/31	2025/3/30	○
494	大阪9	大阪	9154	高槻市立（陸）	274060	第4種継続	2016/1/31	2021/1/30	
495	大阪10	大阪	9764	吹田市立（総）	274070	第4種新設	2020/4/1	2025/3/31	○
496	大阪11	大阪	9692	ヤンマースタジアム長居付設（30km）	277010	長距離競走路継続	2019/7/8	2024/7/7	
497	大阪12	大阪	9632	KIX泉州国際（マ）	277100	長距離競走路継続	2019/3/1	2024/2/29	
498	大阪13	大阪	9160	ヤンマーフィールド長居付設（マ）	277110	長距離競走路継続	2016/3/15	2021/3/14	
499	大阪14	大阪	9890	大阪国際女子（マ）	277160	長距離競走路継続	2020/11/14	2025/11/13	
500	大阪15	大阪	9892	大阪（ハ）	277170	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/11/14	2025/11/13	
501	大阪16	大阪	9483	ヤンマースタジアム長居付設（10km）	277190	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/3/30	2023/3/29	
502	大阪17	大阪	9622	大阪（マ）	277200	長距離競走路新設	2019/1/1	2023/12/31	
503	大阪18	大阪	9891	大阪国際女子（マ）予備	277210	長距離競走路新設	2021/1/31	2021/1/31	
504	大阪19	大阪	9901	淀川左岸太子橋・佐太西（10km）	277220	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2021/1/1	2025/12/31	
505	大阪20	大阪	室内-81	大阪城ホール		室内競技場（暫定的施設）			
506	兵庫1	兵庫	9484	加古川（運）（陸）	281060	第1種継続	2018/3/1	2023/2/28	
507	兵庫2	兵庫	9838	兵庫県立三木総合防災公園（陸）	281070	第1種継続	2020/9/1	2025/8/31	○
508	兵庫3	兵庫	9836	神戸総合（運）ユニバー記念（陸）	281080	第1種新設	2019/6/15	2024/6/14	○
509	兵庫4	兵庫	9337	姫路市立（陸）	282040	第2種継続	2017/3/31	2022/3/30	
510	兵庫5	兵庫	9465	尼崎市記念公園（陸）	282060	第2種継続	2018/3/25	2023/3/24	
511	兵庫6	兵庫	9161	太子町総合公園（陸）	283130	第3種継続	2016/3/30	2021/3/29	
512	兵庫7	兵庫	9065	兵庫県立三木総合防災公園第二（陸）	283150	第3種継続	2015/9/1	2020/8/31	
513	兵庫8	兵庫	9464	兵庫県立明石公園（陸）	283160	第2種継続	2018/4/1	2023/3/31	
514	兵庫9	兵庫	9837	神戸総合（運）補助（競）	283170	第3種新設	2020/9/1	2025/8/31	○
515	兵庫10	兵庫	9414	関西学院第2フィールド（陸）	284040	第4種継続	2017/11/1	2022/10/31	
516	兵庫11	兵庫	9466	芦屋市総合公園（陸）	284050	第4種継続	2018/3/31	2023/3/30	
517	兵庫12	兵庫	9585	小野市大池総合公園（陸）	284060	第4種継続	2018/10/1	2023/9/30	
518	兵庫13	兵庫	9574	伊丹市立伊丹スポーツセンター（陸）	284070	第4種継続	2018/10/1	2023/9/30	
519	兵庫14	兵庫	9575	加西市立善防中学校（陸）	284080	第4種継続	2018/10/10	2023/10/9	
520	兵庫15	兵庫	9657	赤穂城南緑地運動施設（陸）	284090	第4種継続	2019/5/30	2024/5/29	
521	兵庫16	兵庫	9626	加古川（運）（陸）補助（競）	284100	第4種継続	2019/3/1	2019/2/29	
522	兵庫17	兵庫	9774	洲本市市民交流センター（陸）	284140	第4種継続	2020/3/1	2025/2/28	
523	兵庫18	兵庫	9849	西宮市立（陸）	284150	第4種継続	2020/8/25	2025/8/24	
524	兵庫19	兵庫	9860	豊岡市立豊岡総合スポーツセンター（陸）	284170	第4種継続	2020/9/24	2025/9/23	
525	兵庫20	兵庫	9377	住友総合（グ）（陸）	284180	第4種継続	2017/8/1	2022/7/31	
526	兵庫21	兵庫	9739	小野希望の丘（陸）	284200	第4種新設	2019/12/1	2024/11/30	○
527	兵庫22	兵庫	9700	神戸しあわせの村周回（20km）	287160	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/8/2	2024/8/1	
528	兵庫23	兵庫	9506	兵庫県立加古川河川敷（マ）	287290	長距離競走路継続	2018/4/1	2023/3/31	
529	兵庫24	兵庫	9718	篠山城跡（マ）	287310	長距離競走路継続	2019/11/28	2024/11/27	
530	兵庫25	兵庫	9762	北はりま田園（ハ）	287320	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/1/1	2024/12/31	
531	兵庫26	兵庫	9738	“日本のへそ”西脇子午線（ハ）	287340	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/11/1	2024/10/31	
532	兵庫27	兵庫	9142	神戸（マ）	287350	長距離競走路継続	2016/1/1	2020/12/31	
533	兵庫28	兵庫	9656	世界遺産姫路城（マ）	287360	長距離競走路継続	2019/6/1	2024/5/31	
534	兵庫29	兵庫	9437	六甲アイランド甲南大学周辺（20km）（歩）	287380	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/2/1	2023/1/31	
535	兵庫30	兵庫	9559	六甲アイランド（10km）	287390	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2018/9/30	2023/9/29	
536	兵庫31	兵庫	9755	六甲アイランド甲南大学西側（20km歩）	287400	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2019/12/27	2024/12/26	
537	奈良1	奈良	9452	奈良市鴻ノ池（陸）	291010	第1種継続	2018/3/31	2023/3/30	
538	奈良2	奈良	9338	奈良県立橿原公園（陸）	292010	第2種継続	2017/4/1	2022/3/31	○

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
539	奈良3	奈良	9453	奈良市鴻ノ池（陸）補助（競）	293030	第3種継続	2018/3/31	2023/3/30	
540	奈良4	奈良	9138	奈良市立都祁中学校運動場	294030	第4種継続	2015/11/28	2020/11/27	
541	奈良5	奈良	9310	奈良県立添上高等学校（陸）	294040	第4種継続	2017/3/10	2022/3/9	
542	奈良6	奈良	9761	奈良（マ）	297050	長距離競走路継続	2020/1/1	2024/12/31	
543	和歌山1	和歌山	9485	紀三井寺公園（陸）	301010	第1種継続	2018/4/7	2023/4/6	
544	和歌山2	和歌山	9258	橋本市（運）多目的（グ）	303060	第3種継続	2016/9/1	2021/8/31	
545	和歌山3	和歌山	9339	紀三井寺公園補助（競）	303080	第3種継続	2016/11/1	2021/10/31	
546	和歌山4	和歌山	9633	南山スポーツ公園（陸）	304010	第4種継続	2019/4/1	2024/3/31	
547	和歌山5	和歌山	9855	新宮市民運動（競）	304020	第4種ライト継続	2020/10/1	2025/9/30	
548	和歌山6	和歌山	9733	南紀田辺スポーツセンター	304030	第4種継続	2019/11/1	2024/10/31	
549	和歌山7	和歌山	9082	紀州口熊野（マ）	307110	長距離競走路継続	2015/10/1	2020/9/30	
550	和歌山8	和歌山	9252	高野山・龍神温泉ウルトラ（100km）	307120	長距離競走路新設	2016/8/25	2021/8/24	
551	鳥取1	鳥取	9197-投	鳥取県立布勢総合（運）（陸）付帯（投）		投てき場	2016/4/10	2021/4/9	
552	鳥取2	鳥取	9197	鳥取県立布勢総合（運）（陸）	311010	第1種継続	2016/4/10	2021/4/9	○
553	鳥取3	鳥取	9340	米子市営東山（陸）	312030	第2種継続	2017/4/28	2022/4/27	
554	鳥取4	鳥取	9409	倉吉市営（陸）	313070	第3種継続	2017/6/1	2022/5/31	
555	鳥取5	鳥取	9586	鳥取県立布施総合（運）補助（競）	313080	第3種継続	2018/12/23	2023/12/22	
556	鳥取6	鳥取	9797	境港市営竜ヶ山（陸）	314010	第4種継続	2020/3/24	2025/3/23	
557	鳥取7	鳥取	9607	大山町名和総合（運）（陸）	314020	第4種継続	2018/6/1	2023/5/31	
558	鳥取8	鳥取	9707	船岡（ハ）	317030	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/9/20	2024/9/19	
559	鳥取9	鳥取	9385	サカイ・マリン（マ）	317110	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2017/10/10	2022/10/9	
560	鳥取10	鳥取	9486	鳥取砂丘山陰海岸・因幡万葉の里（マ）	317150	長距離競走路継続	2018/6/1	2023/5/31	
561	鳥取11	鳥取	9576	さわやか湖山池（ハ）	317160	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/9/1	2023/8/31	
562	島根1	島根	9350	島根県立浜山公園（陸）	321010	第1種継続	2017/4/20	2022/4/19	
563	島根2	島根	9507	益田（陸）	322010	第2種継続	2018/4/30	2023/4/29	
564	島根3	島根	9198	松江市営（陸）	322030	第2種継続	2016/4/13	2021/4/12	
565	島根4	島根	9670	奥出雲町三成公園（陸）	323060	第3種継続	2019/3/30	2024/3/29	
566	島根5	島根	9487	大東ふれあい運動場（陸）	323080	第3種継続	2018/4/1	2023/3/31	
567	島根6	島根	9351	島根県立浜山公園補助（競）	323090	第3種継続	2017/4/20	2022/4/19	
568	島根7	島根	9306	島根県立隠岐高等学校屋外運動場	324020	第4種継続	2016/10/10	2021/10/9	
569	島根8	島根	9577	大田市立第二中学校（陸）	324040	第4種継続	2018/9/10	2023/9/9	
570	島根9	島根	9215	邑智郡公認（陸）	324090	第4種継続	2016/5/23	2021/5/22	
571	島根10	島根	9854	江津市中央公園多目的広場	324100	第4種ライト継続	2020/4/1	2025/3/31	
572	島根11	島根	9545	安来（運）（陸）	324110	第4種継続	2018/7/5	2023/7/4	
573	島根12	島根	9634	浜田市（陸）	324130	第4種継続	2019/3/25	2024/3/24	
574	島根13	島根	9619	まつえレディース（ハ）	327050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/10/1	2023/9/30	
575	島根14	島根	9431	よしか・夢・花（ハ）	327090	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/9/9	2022/9/8	
576	島根15	島根	9560	萩・石見空港（ハ）	327120	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/10/1	2023/9/30	
577	島根16	島根	9888	出雲くにびき（ハ）	327150	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/11/30	2025/11/29	
578	島根17	島根	9601	国宝松江城（長）	327160	長距離競走路新設	2018/11/1	2023/10/31	
579	岡山1	岡山	9199	岡山県総合（グ）（陸）	331010	第1種継続	2016/4/8	2021/4/7	
580	岡山2	岡山	9546	倉敷（運）（陸）	332010	第2種継続	2018/4/1	2023/3/31	
581	岡山3	岡山	9658	岡山県津山（陸）	332020	第2種継続	2019/3/25	2024/3/24	○
582	岡山4	岡山	9775	岡山県笠岡（陸）	332030	第2種継続	2020/1/1	2024/12/31	○
583	岡山5	岡山	9394	備前市総合（運）（陸）	333050	第3種継続	2016/9/1	2021/8/31	
584	岡山6	岡山	9488	岡山県（陸）補助（陸）	333080	第3種継続	2018/4/12	2023/4/11	
585	岡山7	岡山	9604	環太平洋大学（陸）	334040	第4種継続	2018/10/22	2023/10/21	
586	岡山8	岡山	9242	新見市しんごう湖畔（ハ）	337050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/9/1	2021/8/31	
587	岡山9	岡山	9289	井原公認（マ）	337090	長距離競走路継続	2016/11/1	2021/10/31	
588	岡山10	岡山	9876	べいふあーむ笠岡（ハ）	337120	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/11/1	2025/10/31	
589	岡山11	岡山	9315	岡山古備高原車いすふれあい（ハ）	337130	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/4/1	2022/3/31	
590	岡山12	岡山	9259	山陽女子（ハ）	337140	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/10/4	2021/10/3	
591	岡山13	岡山	9408	そうじゃ吉備路（ハ）	337150	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/11/14	2022/11/13	
592	岡山14	岡山	9748	おかやま（マ）	337170	長距離競走路継続	2019/12/1	2024/11/30	
593	広島1	広島	9442	広島広域公園（陸）	341020	第1種継続	2017/12/2	2022/12/1	○
594	広島2	広島	9297	福山市竹ヶ端（運）（陸）	342010	第2種継続	2017/1/1	2021/12/31	
595	広島3	広島	9504	みよし（運）（陸）	342030	第2種継続	2018/3/31	2023/3/30	
596	広島4	広島	9432	広島県立びんご（運）（陸）	342040	第2種継続	2018/2/7	2023/2/6	
597	広島5	広島	9825	東広島（運）（陸）	342050	第2種継続	2020/6/1	2025/5/31	○
598	広島6	広島	9210	広島県総合（グ）メインスタジアム	342060	第2種継続	2015/10/26	2020/10/24	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
599	広島7	広島	9425	広島広域公園補助（競）	343080	第3種継続	2017/12/2	2022/12/1	
600	広島8	広島	9271	上野総合公園（陸）	343100	第3種継続	2016/12/10	2021/12/9	
601	広島9	広島	9635	呉市総合スポーツセンター（陸）	343110	第3種継続	2019/3/1	2024/2/29	
602	広島10	広島	9798	広島県総合（グ）補助（競）	344110	第4種継続	2020/4/29	2025/4/28	
603	広島11	広島	9725	広島経済大学（陸）	344120	第4種継続	2019/10/18	2024/10/17	
604	広島12	広島	9889	広島県立西条農業高等学校（陸）	344130	第4種継続	2020/10/31	2025/10/30	
605	広島13	広島	9395	土師ダム湖畔（ハ）	347060	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/9/9	2022/9/8	
606	広島14	広島	9243	ヒロシマMIKAN（ハ）	347110	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/8/1	2021/7/31	
607	山口1	山口	9766	維新百年記念公園（陸）	351020	第1種継続	2020/2/8	2025/2/7	○
608	山口2	山口	9688	下関市営下関（陸）	352010	第2種継続	2018/6/28	2023/6/28	○
609	山口3	山口	9817	防府市スポーツセンター（陸）	352030	第4種新設	2020/3/31	2025/3/30	○
610	山口4	山口	9368	維新百年記念公園補助（陸）	353070	第3種継続	2017/6/2	2022/6/1	
611	山口5	山口	9861	山口県立光高等学校（陸）	354070	第4種ライト継続	2020/10/31	2025/10/30	
612	山口6	山口	9373	宇部市恩田（運）（陸）	354080	第4種継続	2017/7/1	2022/6/30	
613	山口7	山口	9521	55フィールド	354100	第4種新設	2018/5/16	2023/5/15	
614	山口8	山口	9903	山口循環（ハ）	357020	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2021/2/1	2026/1/31	
615	山口9	山口	9659	防府読売（マ）	357040	長距離競走路継続	2019/3/28	2024/3/27	
616	山口10	山口	9528	周防大島町公認（ハ）	357050	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/6/7	2023/6/6	
617	山口11	山口	9454	下関海響（マ）	357060	長距離競走路継続	2018/6/1	2023/5/31	
618	香川1	香川	9316	香川県立丸亀（競）主（競）	361020	第1種継続	2017/3/31	2022/3/30	○
619	香川2	香川	9311	高松市屋島（競）	362030	第2種新設	2017/3/31	2022/3/30	○
620	香川3	香川	9201	綾川町総合（運）（陸）	363020	第3種継続	2016/4/1	2021/3/31	
621	香川4	香川	9317	香川県立丸亀（競）補助（競）	363050	第3種継続	2017/3/31	2022/3/30	
622	香川5	香川	9355	観音寺市総合（運）（陸）	363060	第3種新設	2016/5/12	2021/5/11	
623	香川6	香川	9902	香川県立丸亀（競）付属（ハ）	367010	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2021/1/1	2025/12/31	
624	香川7	香川	室内-79	高松市屋島（競）室内棒高跳競技場		室内棒高跳競技場	2017/3/31	2022/3/30	
625	香川8	香川	室内-92	観音寺市立総合体育館室内棒高跳場		室内競技場（暫定的施設）			
626	徳島1	徳島	9200	鳴門・大塚スポーツパークボカリスエツスタジアム	371010	第1種継続	2016/5/1	2021/4/30	
627	徳島2	徳島	9757	徳島市（陸）	372010	第2種新設	2020/2/1	2025/1/31	○
628	徳島3	徳島	9801	徳島県鳴門総合（運）第二（陸）	373020	第3種継続	2020/3/31	2025/3/30	○
629	徳島4	徳島	9433	海陽町海部川清流（マ）	377050	長距離競走路継続	2018/1/3	2023/1/2	
630	徳島5	徳島	9787	とくしま（マ）	377060	長距離競走路継続	2019/6/1	2024/5/31	
631	徳島6	徳島	9767	阿波シテイ（ハ）	377070	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/2/1	2025/1/31	
632	愛媛1	愛媛	9802	愛媛県総合（運）（陸）	381010	第1種継続	2020/4/1	2025/3/31	○
633	愛媛2	愛媛	9166	西条ひうち（陸）	382010	第2種継続	2016/5/1	2021/4/30	
634	愛媛3	愛媛	9803	愛媛県総合（運）補助（競）	383050	第3種継続	2019/10/1	2024/9/30	
635	愛媛4	愛媛	9341	丸山公園（陸）	383060	第3種継続	2017/3/15	2022/3/14	
636	愛媛5	愛媛	9204	今治市桜井スポーツランド（陸）	384020	第4種継続	2016/4/20	2021/4/19	
637	愛媛6	愛媛	9719	新居浜市東雲（陸）	384040	第4種継続	2019/9/23	2024/9/22	
638	愛媛7	愛媛	9856	弓削商船高等専門学校（陸）	384060	第4種ライト継続	2020/7/1	2025/6/30	
639	愛媛8	愛媛	9660	愛媛マラソン松山（マ）	387060	長距離競走路継続	2019/4/1	2024/3/31	
640	高知1	高知	9756	高知県立春野総合（運）（陸）	391010	第1種継続	2020/1/1	2024/12/31	○
641	高知2	高知	9799	高知市（陸）	392010	第2種継続	2020/5/1	2025/4/30	○
642	高知3	高知	9467	高知県立春野総合（運）（陸）補助（競）	393030	第3種継続	2018/3/8	2023/3/7	
643	高知4	高知	9612	宿毛市総合（運）（陸）	393040	第3種継続	2018/12/7	2023/12/6	
644	高知5	高知	9693	高知県立青少年センター（陸）	393050	第3種新設	2019/5/18	2024/5/17	○
645	高知6	高知	9227	高知工業高等専門学校（陸）	394010	第4種継続	2016/7/3	2021/7/2	
646	高知7	高知	9244	四万十川ウルトラ（100km）	397040	長距離競走路継続	2016/11/4	2021/11/3	
647	高知8	高知	9378	高知龍馬（マ）	397060	長距離競走路継続	2017/6/3	2022/6/2	
648	高知9	高知	8972投	高知県立春野総合（運）（陸）付帯（投）		投てき場	2018/7/31	2023/7/30	
649	福岡1	福岡	9489	福岡市博多の森（陸）	401060	第1種継続	2018/4/1	2023/3/31	○
650	福岡2	福岡	9183	御大典記念（グ）	402010	第2種継続	2016/4/1	2021/3/31	
651	福岡3	福岡	9636	小郡市（陸）	402030	第2種継続	2019/2/28	2024/2/27	
652	福岡4	福岡	9701	福岡県立久留米スポーツセンター（陸）	402040	第2種継続	2018/7/30	2023/7/29	○
653	福岡5	福岡	9490	北九州市立本城（陸）	402050	第2種継続	2018/4/1	2023/3/31	
654	福岡6	福岡	9312	福岡大学（陸）	403120	第3種継続	2017/4/1	2022/3/31	
655	福岡7	福岡	9342	北九州市立鞘ヶ谷（競）	403140	第3種継続	2017/3/31	2022/3/30	
656	福岡8	福岡	9128	九州共立大学（陸）	403150	第3種継続	2015/12/1	2020/11/30	
657	福岡9	福岡	9202	福岡市博多の森補助（陸）	403160	第3種継続	2016/5/1	2021/4/30	○
658	福岡10	福岡	9410	福岡市平和台（陸）	403170	第3種継続	2017/11/6	2022/11/5	

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
659	福岡11	福岡	9800	豊津（陸）	404020	第4種継続	2020/2/1	2025/1/31	
660	福岡12	福岡	9167	嘉麻市嘉穂総合（運）嘉穂（陸）	404030	第4種継続	2016/4/1	2021/3/31	
661	福岡13	福岡	9143	福岡朝日国際（マ）	407070	長距離競走路継続	2015/12/31	2020/12/30	
662	福岡14	福岡	9597	嘉穂（マ）	407170	長距離競走路継続	2018/11/1	2023/10/31	
663	福岡15	福岡	9744	久留米（10km）	407200	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/1/20	2025/1/19	
664	福岡16	福岡	9550	天拝山（10km）	407220	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/9/1	2023/8/31	
665	福岡17	福岡	9758	福岡小郡（ハ）	407230	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/1/1	2024/12/31	
666	福岡18	福岡	9789	北九州（マ）	407250	長距離競走路継続	2020/3/1	2025/2/28	
667	福岡19	福岡	9608	福岡（マ）	407260	長距離競走路継続	2018/12/1	2023/11/30	
668	福岡20	福岡	9850	行橋（ハ）	407270	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2020/10/1	2025/9/30	
669	福岡21	福岡	9384	大牟田（10km）	407280	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2017/9/1	2022/8/31	
670	佐賀1	佐賀	9403	伊万里市国見台（陸）	413010	第3種継続	2017/9/20	2022/9/19	
671	佐賀2	佐賀	9851	唐津市（陸）	413030	第3種継続	2020/3/20	2025/3/19	
672	佐賀3	佐賀	9897	鹿島市（陸）	413040	第3種継続	2020/12/1	2025/11/30	
673	佐賀4	佐賀	9529	佐賀県（総）補助（競）	413050	第3種新設	2018/6/1	2023/5/31	○
674	佐賀5	佐賀	9826	S A G A サンライズパーク（陸）	413060	第3種継続	2020/8/1	2025/7/31	○
675	佐賀6	佐賀	9456	鳥栖市（陸）	414010	第4種継続	2018/3/26	2023/3/25	
676	佐賀7	佐賀	9303	唐津（10哩）	417010	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2017/2/1	2022/1/31	
677	佐賀8	佐賀	9145	歌垣の郷（10km）	417060	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2016/1/1	2020/12/31	
678	佐賀9	佐賀	9726	鳥栖（10km）	417070	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/11/1	2024/10/31	
679	佐賀10	佐賀	9419	さが桜（マ）	417080	長距離競走路継続	2017/12/26	2022/12/25	
680	佐賀11	佐賀	9702	伊万里（ハ）	417090	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/9/1	2024/8/31	
681	佐賀12	佐賀	9620	公認祐徳（ハ）	417100	長距離競走路ハーフマラソン以下新設	2019/1/1	2023/12/31	
682	長崎1	長崎	9441	長崎県立総合（運）（陸）	421030	第1種継続	2018/3/6	2023/3/5	○
683	長崎2	長崎	9211	佐世保市総合（グ）（陸）	422020	第2種継続	2016/5/7	2021/5/6	
684	長崎3	長崎	9530	長崎市総合（運）かきどまり（陸）	422040	第2種継続	2018/5/15	2023/5/14	
685	長崎4	長崎	9149	長崎県立総合（運）補助（競）	423060	第3種継続	2016/1/4	2021/1/3	
686	長崎5	長崎	9491	島原市営（陸）	423070	第3種継続	2018/4/1	2023/3/31	
687	長崎6	長崎	9352	峰総合（運）（陸）	424010	第4種継続	2017/3/10	2022/3/9	
688	長崎7	長崎	9492	大村市（陸）	424060	第4種継続	2017/8/20	2022/8/19	
689	長崎8	長崎	9265	雲仙小浜（マ）	427010	長距離競走路継続	2016/11/16	2021/11/15	
690	長崎9	長崎	9765	長崎平和	427070	長距離競走路新設	2020/1/29	2025/1/28	
691	熊本1	熊本	9493	えがお健康スタジアム	431020	第1種継続	2018/3/31	2023/3/30	
692	熊本2	熊本	9535	熊本市水前寺（競）	432010	第2種継続	2018/6/20	2023/6/19	○
693	熊本3	熊本	9272	熊本県営八代（運）（陸）	433060	第3種継続	2016/10/20	2021/10/19	
694	熊本4	熊本	9531	阿蘇市阿蘇農村公園「あびか」（陸）	433070	第3種継続	2018/4/6	2023/4/5	
695	熊本5	熊本	9494	熊本県民総合（運）補助（競）	433080	第3種継続	2018/3/31	2023/3/30	
696	熊本6	熊本	9495	多良木町多目的総合（グ）（陸）	434030	第4種継続	2018/3/30	2023/3/29	
697	熊本7	熊本	9561	九州学院（陸）	434040	第4種継続	2018/9/1	2023/8/31	
698	熊本8	熊本	9404	荒尾（運）（陸）	434060	第4種継続	2017/10/13	2022/10/12	
699	熊本9	熊本	9645	益城町総合（運）（陸）	434100	第4種継続	2019/4/1	2024/3/31	
700	熊本10	熊本	9694	本渡（運）（陸）	434110	第4種継続	2019/9/1	2024/8/31	
701	熊本11	熊本	9675	金栗杯玉名公認（ハ）	437010	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/5/7	2024/5/6	
702	熊本12	熊本	9562	熊本甲佐（10哩）	437040	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2018/9/1	2023/8/31	
703	熊本13	熊本	9283	熊本城（マ）	437120	長距離競走路継続	2016/12/1	2021/11/30	
704	熊本14	熊本	9740	奥球磨（ハ）	437140	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/11/15	2024/11/14	
705	熊本15	熊本	9493-投	熊本県民総合（運）（陸）付帯（陸）		投てき場	2018/3/31	2023/3/30	
706	大分1	大分	9151	大分スポーツ公園昭和電工ドーム大分	441020	第1種継続	2016/2/1	2021/1/31	
707	大分2	大分	9445	日田市（陸）	442020	第2種継続	2018/3/20	2023/3/19	
708	大分3	大分	9438	大分市営（陸）	442040	第2種継続	2018/3/1	2023/2/28	○
709	大分4	大分	9152	大分スポーツ公園昭和電工（グ）	443040	第3種継続	2016/2/1	2021/1/31	
710	大分5	大分	9424	佐伯市（陸）	443050	第3種継続	2017/1/10	2022/1/9	
711	大分6	大分	9496	宇佐市平成の森公園（陸）	444020	第4種新設	2018/4/1	2023/3/31	
712	大分7	大分	9542	大分国際車いす（マ）	447030	長距離競走路継続	2018/7/1	2023/6/30	
713	大分8	大分	8979	別府大分毎日（マ）	447050	長距離競走路継続	2015/2/1	2020/1/31	
714	大分9	大分	9627	別府大分毎日（マ）	447050	長距離競走路継続	2019/3/1	2024/2/29	
715	大分10	大分	9603	おおいた（ハ）	447060	長距離競走路ハーフマラソン以下継続	2019/1/1	2023/12/31	
716	大分11	大分	9508	とみくじ（マ）	447070	長距離競走路継続	2018/6/1	2023/5/31	
717	大分12	大分	9151-投	大分スポーツ公園昭和電工フィールド		投てき場	2020/1/14	2025/1/13	
718	宮崎1	宮崎	9589	宮崎県総合（運）（陸）	451010	第1種継続	2018/10/1	2023/9/30	○

No.	都道府県	都道府県	公認番号	競技場名	コード番号	種別	公認開始	公認終了	300mH
719	宮崎2	宮崎	9353	延岡市西階（陸）	452020	第2種継続	2017/3/28	2022/3/27	
720	宮崎3	宮崎	9405	日南総合（運）（陸）	453030	第3種継続	2017/10/2	2022/10/1	
721	宮崎4	宮崎	9554	宮崎県総合（運）第三（競）	453040	第3種継続	2018/9/1	2023/8/31	
722	宮崎5	宮崎	9086	小林総合（運）市営（陸）	453050	第3種継続	2015/10/1	2020/9/30	
723	宮崎6	宮崎	9468	串間市営（陸）	453080	第3種継続	2017/3/25	2022/3/24	
724	宮崎7	宮崎	9877	宮崎市生目の杜（運）（陸）	453090	第3種継続	2020/10/10	2025/10/9	
725	宮崎8	宮崎	9522	都城（運）（陸）	454030	第4種継続	2018/6/11	2023/6/10	
726	宮崎9	宮崎	9734	宮崎県西都公認（マ）	457020	長距離競走路継続	2019/10/20	2024/10/19	
727	宮崎10	宮崎	9768	都農尾鈴（ハ）	457030	長距離競走路ハ・フマソン以下継続	2020/2/11	2025/2/10	
728	宮崎11	宮崎	9422	延岡西日本（マ）	457090	長距離競走路継続	2018/2/10	2023/2/9	
729	宮崎12	宮崎	9602	日南つわぶき（ハ）	457150	長距離競走路ハ・フマソン以下継続	2018/11/11	2023/11/10	
730	宮崎13	宮崎	9563	青島太平洋（マ）	457160	長距離競走路継続	2018/9/10	2023/9/9	
731	宮崎14	宮崎	8805-投	宮崎県総合（運）（陸）付帯（投）		投てき場	2016/3/16	2021/3/15	
732	鹿児島1	鹿児島	9669	鹿児島県立鴨池（陸）	461010	第1種継続	2019/4/1	2024/3/31	○
733	鹿児島2	鹿児島	9727	日置市伊集院総合（運）（陸）	463050	第3種継続	2019/10/1	2024/9/30	○
734	鹿児島3	鹿児島	9439	薩摩川内市総合（運）（陸）	463080	第3種継続	2018/3/1	2023/2/28	
735	鹿児島4	鹿児島	9326	国分（運）（陸）	463090	第3種継続	2017/4/1	2022/3/31	
736	鹿児島5	鹿児島	9821	鹿屋体育大学（陸）	463100	第3種継続	2020/6/1	2025/5/31	
737	鹿児島6	鹿児島	9805	鹿児島県立鴨池補助（競）	463120	第3種継続	2020/4/30	2025/4/29	○
738	鹿児島7	鹿児島	9661	ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅（陸）	463130	第3種新設	2019/4/1	2024/3/31	
739	鹿児島8	鹿児島	9406	阿久根総合（運）（陸）	464010	第4種継続	2017/10/8	2022/10/7	
740	鹿児島9	鹿児島	9564	加世田（運）（陸）	464170	第4種継続	2018/9/1	2023/8/31	
741	鹿児島10	鹿児島	9790	出水市（運）	464180	第4種継続	2020/3/31	2025/3/30	
742	鹿児島11	鹿児島	9360	指宿市営（陸）	464190	第4種継続	2017/4/1	2022/3/31	
743	鹿児島12	鹿児島	9497	名瀬（運）（陸）	464200	第4種継続	2018/4/1	2023/3/31	
744	鹿児島13	鹿児島	9498	名瀬（運）（陸）	464200	第4種継続	2018/4/1	2023/3/31	
745	鹿児島14	鹿児島	9578	いぶすき菜の花（マ）	467070	長距離競走路継続	2018/9/19	2023/9/18	
746	鹿児島15	鹿児島	9217	あくねボンタン（ハ）	467080	長距離競走路ハ・フマソン以下継続	2016/6/1	2021/5/31	
747	鹿児島16	鹿児島	9434	出水ツル（マ）	467120	長距離競走路継続	2018/1/15	2023/1/14	
748	鹿児島17	鹿児島	9703	ランニング桜島（ハ）	467130	長距離競走路ハ・フマソン以下継続	2019/3/1	2024/2/29	
749	鹿児島18	鹿児島	9857	鹿児島（マ）	467190	長距離競走路継続	2020/8/31	2025/8/30	
750	鹿児島19	鹿児島	室内88	ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅室内（競）		室内競技場	2019/4/1	2024/3/31	
751	沖縄1	沖縄	9776	沖縄県総合（運）（陸）	471030	第1種継続	2019/9/30	2024/9/29	○
752	沖縄2	沖縄	9536	沖縄市（陸）	472070	第2種継続	2018/6/23	2023/6/22	
753	沖縄3	沖縄	9407	石垣市中央（運）（陸）	473030	第3種継続	2017/10/1	2022/9/30	
754	沖縄4	沖縄	9253	宮古島市（陸）	473040	第3種継続	2016/10/1	2021/9/30	
755	沖縄5	沖縄	9609	浦添市（陸）	473110	第3種継続	2018/7/1	2023/6/30	
756	沖縄6	沖縄	9343	国頭（陸）	473130	第3種継続	2017/3/12	2022/3/11	
757	沖縄7	沖縄	9671	名護市（陸）	473140	第3種継続	2018/10/5	2023/10/4	
758	沖縄8	沖縄	9776	沖縄県総合（運）補助（競）	473150	第3種継続	2019/9/30	2024/9/29	○
759	沖縄9	沖縄	9022	糸満市西崎（陸）	473160	第3種継続	2015/4/15	2020/4/14	
760	沖縄10	沖縄	9457	金武町（陸）	473170	第3種継続	2017/8/9	2022/8/8	
761	沖縄11	沖縄	9420	名桜大学多目的（グ）	474040	第4種新設	2017/2/22	2022/2/21	
762	沖縄12	沖縄	9565	名護市（陸）付属（ハ）	477050	長距離競走路ハ・フマソン以下継続	2018/10/5	2023/10/4	
763	沖縄13	沖縄	9613	NAHAマラソン平和祈念公園（マ）	477070	長距離競走路継続	2018/12/20	2023/12/19	
764	沖縄14	沖縄	9427	おきなわ（マ）	477140	長距離競走路継続	2017/11/13	2022/11/12	
765	沖縄15	沖縄	9458	今帰仁村総合（運）付帯（マ）	477170	長距離競走路継続	2018/3/31	2023/3/30	

2020年度 全国競技運営責任者会議出席者一覧

No.	都道府県	A		B		JTO①	JTO②	JTO③	JRJJ①	JRJJ②
		出席者氏名	役職名	出席者氏名	役職名					
1	北海道	上村 卓	競技運営委員会	中田 光哉	競技運営委員会	上村 卓	中田 光哉			
2	青森	川下 友徳	競技部長	甲田 義人	審判部長					
3	岩手	小野寺 文郎	競技部長	箱石 文夫	審判部長					
4	宮城	小野 寛	競技委員長	森 研二	審判委員長					
5	秋田	金 宏明	競技委員長	山村 拓	審判委員長	山村 拓				
6	山形	池田 正敏	競技副委員長(記録情報担当)	庄司 隆志	競技副委員長(競技担当)	今野 光人				
7	福島	山下 訓史	競技委員長	星 正彦	審判副委員長	田中 信之	武田 正志			
8	茨城	内田 尊久	競技委員長	稲田 正人	審判委員長					
9	栃木	海老名 貴之	競技部長	小針 敏明	審判部長					
10	群馬	田中 恵一	競技運営委員会 競技運営委員長	荻野 歩	競技運営委員会 審判部長					
11	埼玉	清水 互	競技副委員長	鈴木 進	審判副委員長	竹村 義人				
12	千葉	伊藤 信夫	競技運営委員長	鈴木 小枝子	審判部長				宇井 菜那	
13	東京	東出 英樹	競技部副部長	古澤 幸男	審判部部長	中島 剛	野末 雅文	中村 信也	三浦 康二	石井 智也
14	神奈川	岡本 克巳	競技運営委員長	中野 賢一	審判部長	金澤 健敏				
15	山梨	三枝 幸雄	競技委員長	奥田 正治	審判委員長				小宮 和之	
16	新潟	蕨木 政典	競技部副部長	星野 利郎	審判部長	浅野 政和			田中 利夫	
17	富山	佐々木 貴義	競技部副部長	杉木 一文	審判部副部長					
18	石川	出澤 英之	競技部長	川嶋 聡	審判部長					
19	福井	南部 諭史	競技委員長	平木 寿治	審判委員長				吉井 靖博	
20	長野	酒井 剛	競技部長	小林 幸太郎	審判部長					
21	静岡	永田 勝久	競技委員長	井出 幸夫	審判委員長					
22	愛知	榊原 茂	競技委員長	櫻井 一美	審判委員長	伊藤 明久			斎藤 喜夫	
23	三重	東 一郎	審判委員長	和田 靖	競技委員長				山田 英生	
24	岐阜	河野 康彦	競技委員長			川瀬 巧	脇田 篤実		筒井 学	
25	滋賀	澤 知寿	競技部長	高田 毅	審判部長	長谷川 真一郎				
26	京都	西村 慶治	競技部長	長屋 敏弘	審判部長	長屋 敏弘			杉本 明洋	
27	大阪	草間 義彦	常務理事(競技副委員長)	定木 徹治	理事(審判部長)	宮田 英明	青木 正宏			
28	兵庫	秋山 秀文	競技委員長	本城 勝次	審判委員長					
29	奈良	中井 光	競技部長	安達 昌宏	審判部長					
30	和歌山	山下 育作	競技部長	市川 貴英	審判部長					
31	鳥取	小林 裕幸	競技部長	青木 茂	審判部長					
32	島根	島田 正大	競技部長	赤木 正英	競技運営委員会審判部長	松本 浩介				
33	岡山	中村 忠彦	競技運営委員長(競技部長)	堀川 正徳	審判委員長	尾川 登太郎			服部 功	
34	広島	田川 司	理事・競技運営委員長(競技部長)			浜崎 正信	新宅 昭二			
35	山口	衛藤 憲生	競技運営委員会委員長	石原 宏昭	競技運営委員会審判部長	藤田 昌彦				
36	徳島	近藤 清司	競技運営委員長	緒方 俊昭	審判部長					
37	香川	堀内 雅人	競技委員長	山本 雅典	審判部長	藤岡 英陽				
38	愛媛	大塚 泰史	競技委員長	乗松 良輔	審判委員長					
39	高知	三谷 裕之	競技委員長	池澤 教志	審判委員長					
40	福岡	山下 真一	副記録部長	青木 哲也	副専務理事	橋本 忠志	矢野 牧男			
41	佐賀	高橋 正秀	事務局員	田中 修司	審判委員長					
42	長崎	丸田 武人	競技部長	栗山 武士	審判部長					
43	熊本	家入 春三	競技部長	千々岩 繁	審判部長	平川 貴浩				
44	大分	上杉 貴志	大分陸上競技協会 競技部長	町田 圭	大分陸上競技協会 審判部長					
45	宮崎	相馬 勇一	競技部長	溝口 正喜	審判部長					
46	鹿児島	麻生 貴宣	常務理事 競技部長	中江 寿幸	記録部長 NTO					
47	沖縄	渡慶次 早苗	常務理事 競技部部長	大山 朝雄	審判部副部長					
48	実業団	参加者なし								
49	学連	古屋敷 律希	幹事長	公文 こころ	副幹事長					
50	高体連	古城 健	競技委員長	上村 佳節	事務局員					
51	中体連	舟橋 昭太	陸上競技部長	中村 信悟	関東ブロック代表					
52	マスターズ	伊藤 誠一	競技運営委員長	鈴木 久一	競技運営委員会副委員長					
53	定通制	益本 光章	事務局員	池田 演之	副競技部長					
54	日本パラ陸連	橋本 和秀	競技運営委員会 競技部部長	大島 さとみ	競技運営委員会 幹事					

日本陸連競技運営委員会			
委員長	鈴木 一弘	副委員長	岩崎 義治
副委員長	関根 春幸	委員(広告展示物規則検討)	杉本 太朗
委員(競技規則検討・ルールブック編集)	片岡 裕介	委員(競技会カレンダー・記録)	井上 博行
幹事(審判研修・育成)	赤峰 俊彦	幹事(競技規則検討・ルールブック編集)	羽田 雄一
幹事(ハンドブック編集)	関 隆史	委員(競技規則検討・ルールブック編集)	青柳 智之
委員(競技会カレンダー・記録)	伊地知 重信	委員(競技会カレンダー・記録)	岩脇 充司
委員(広告展示物規則検討)	緒方 信也	委員(広告展示物規則検討)	岡本 克巳
委員(ハンドブック編集)	梶田 茂	幹事(競技会カレンダー・記録)	片岡 典子
委員(ハンドブック編集)	黒澤 達郎	委員(広告展示物規則検討)	田中 康之
委員(競技会カレンダー・記録)	鍋島 太一	委員(審判研修・育成)	本橋 郁子
幹事(広告展示物規則検討)	町田 紀子	委員(審判研修・育成)	安池 滋
委員(競技規則検討・ルールブック編集)	渡邊 奈津実	連絡委員(施設用器具委員会)	高沼 正利
委員(式典表彰・国際プロトコール)	中村 要一	委員(式典表彰・国際プロトコール)	岡野 寛
委員(式典表彰・国際プロトコール)	石井 哲郎	委員(式典表彰・国際プロトコール)	中村 拓也

日本陸連事務局	
事業部	井上 博友
事業部	肥田 益 里枝
事業部	八幡 賢司
マスターズ陸連	石黒 千恵美
日本パラ陸連	関 幸生

編集・発行
公益財団法人日本陸上競技連盟 競技運営委員会

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階

TEL : 050-1746-8410

HP : <https://www.jaaf.or.jp/>

E-mail : sinpan@jaaf.or.jp

本資料を転載・利用する場合は『2020年度全国競技運営責任者会議資料』
よりと出典を明記してください。
また、誤字脱字があった場合は訂正の上、使用してください。